ISSN 1349-8428

文 部 科 学 省 「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援 (JPMXP0620335833)」
日本学術振興会 「科学研究費補助金・基盤研究 A (JP20H00089)」
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 (JPJS00218077184)」

日本版 General Social Surveys
基礎集計表・コードブック
JGSS-2021H

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2023 年 3 月

この基礎集計表・コードブックは、
日本版 General Social Surveys＜JGSS-2021H＞
データ Version 1.0 から作成したものです。

はじめに

本書は、日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センターが、2021 年 1 月から 3 月にかけて実施した「日本版総合的社会調査 JGSS-2021H」の基礎集計表・コードブックである。

JGSS-2021H は、科学研究費補助金基盤（A）「東アジアにおける健康と社会の持続可能性に関する総合的研究」（JP20H00089 ; 研究代表 : 岩井紀子）と文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」（JPMXP0620335833）の研究費を受けて実施した。

データの整備および本コードブックの刊行は、日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」（JPJS00218077184）と大阪商業大学の支援を受けた。

科学研究費基盤（A）JP20H00089 のメンバーは下記の研究者である。

研究課題　「東アジアにおける健康と社会の持続可能性に関する総合的研究」
研究種目・研究課題/領域番号　基盤研究（A）JP20H00089
研究期間　2020.4.1-2023.3.31
配分額　45,890,000 円（直接経費 : 35,300,000 円、間接経費 : 10,590,000 円）

研究代表者	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
研究分担者	宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部 教授
	佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部 准教授
	谷岡 一郎	大阪商業大学公共学部 教授
	仁田 道夫	東京大学 名誉教授
	岩井 八郎	摂南大学　客員教授　京都大学 名誉教授
	岡邊 健	京都大学教育学研究科 教授
	井上 茂	東京医科大学医学部 教授
	本庄 かおり	大阪医科薬科大学医学部 教授
	中谷 友樹	東北大学環境科学研究科 教授
	中村 真由美	富山大学経済学部 教授
	埴淵 知哉	東北大学環境科学研究科 准教授
	孟 哲男	大阪商業大学 JGSS 研究センター 主任研究員
	吉野 智美	大阪商業大学 JGSS 研究センター 主任研究員
	金 政芸	大阪商業大学 JGSS 研究センター PD 研究員
	林 萍萍	大阪商業大学 JGSS 研究センター PD 研究員
	佐野 和子	大阪商業大学 JGSS 研究センター PD 研究員
	沈 育萱	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員

2023 年 3 月時点

JGSS-2021H は、2021 年 4 月に文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成と科学研究費補助金基盤（A）を得たことにより、留置調査票（A票とB票）を 2 種類用意して実施することができた。調査の企画、データの作成、本書の作成にあたっては、本書の「I.1　JGSS-2021H プロジェクトメンバー」の協力を得ている。

JGSS-2021Hの調査準備は、COVID-19感染拡大下で行われたため、感染拡大の状況に鑑みて、調査票にCOVID-19に関する設問群を追加した。また、調査はJGSSで通常行っている面接法と留置法を組み合わせた方法から留置法のみに変更した。留置A票にEuropean Social Survey（ESS）と比較可能な設

問、留置Ｂ票に東アジア社会調査2020（EASS 2021）の健康モジュールを組み込んだ。

調査目的は、コロナ禍における日本人の意識や行動と EASS 2010 から 10 年後の健康と行動に関する詳細な情報を提供することである。さらに、研究代表者らが、2000 年からこれまでに蓄積してきた日本版総合的社会調査と East Asian Social Survey（EASS:東アジア社会調査；2006 年開始）のデータと合わせて、女性の就業、育児・教育責任、高齢者の生活費・介護責任、再生可能エネルギーの利用、節電行動、自然災害・環境汚染のリスク認知、地域の対応力について、時系列の分析を行い、社会の持続可能性にかかわる人々の意識と行動を明らかにし、解決に向けての提言を行うことである。

JGSS プロジェクトでは、JGSS と同様に総合的社会調査を実施している韓国・中国・台湾のチームと共同で East Asian Social Survey（東アジア社会調査）プロジェクトを 2003 年末に立ち上げ、共通するモジュールを作成して、それぞれの調査に組み込んできた。JGSS-2006 には EASS 2006 家族モジュールを、JGSS-2008 には EASS 2008 文化とグローバリゼーションモジュールを、JGSS-2010 には EASS 2010 健康と社会モジュールを、JGSS-2012 には EASS 2012 社会的ネットワークと社会関係資本モジュールを、JGSS-2015 には EASS 2015 仕事と生活モジュールを、JGSS-2017/JGSS-2018 には「EASS 2016 家族モジュール」を、JGSS-2017G/JGSS-2018G には「EASS 2018 文化とグローバリゼーションモジュール」を、そして JGSS-2021H と JGSS-2022H に「EASS 2021 健康モジュール」を組み込んだ。韓国チームと中国チームは EASS 2021 モジュールを組み込んだ調査を 2021 年に、日本と台湾チームは 2021 から 2022 年に実施した。

表１　日本・韓国・中国・台湾チームが実施した調査の概要

	日本		韓国	中国	台湾
調査名	JGSS-2021H (B 票)	JGSS-2022H (B 票)	KGSS 2021	CGSS 2021	TSCS 2021
実施時期	2021 年 1～3 月	2022 年 1～2 月	2021 年 8～11 月	2021 年 6～9 月	2021 年 9～2022 年 4 月
調査方法	留置法	留置法	面接法	面接法	面接法
調査対象	20～89 歳の男女	20～89 歳の男女	18 歳以上の男女	18 歳以上の男女	18 歳以上の男女
抽出方法	層化2段無作為抽出	層化2段無作為抽出	層化4段無作為抽出	層化 4 段無作為抽出	層化 3 段無作為抽出
計画標本	3,300	3,000	2,400	4,019	4,471
有効回答数	1, 800	1,581	1,205	2,717	1,581
回収率 1)	59.2%	57.9%	50.2%	67.6%	42.7%

1）各チームが報告している値に基づいており、算出方法は異なる。

JGSS プロジェクトで作成されたデータは､国内外のデータアーカイブから公開している｡国内では、2023 年 4 月から JGSS 研究センターが管理している JGSS データダウンロードシステム（JGSSDDS）を通して公開している。海外では、ミシガン大学の ICPSR とドイツの GESIS を通して公開している。

JGSS を利用した研究者などが所属する機関は、国内 269 大学、海外 416 大学、国内研究機関 52、海外研究機関 27 にわたっている。海外で利用できる日本の最新のデータが非常に限られている中で、JGSS プロジェクトは、海外の研究者に分析の機会を提供し、国際比較研究を促進する役割を果たしている。

JGSSプロジェクトは、公開性・継続性・国際性・革新性をモットーにして、前向きにかつ堅実に研究実績、調査についての知識・学術資料・データベース、他大学との共同研究・共同利用の実績を蓄積してきた。今後もこの姿勢の継続が目指されている。

JGSS 研究センターは、2018 年 10 月に、独立行政法人日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」（JPJS00218077184）を受託した。この事業は、人文学・社会科学研究に係るデータを分野や国を超えて共有・利活用する総合的な基盤を構築することにより、研究者がともにデータを共有しあい、国内外の共同研究などを促進することを目指している。同事業の詳細は https://www.jsps.go.jp/j-di/index.html を参照されたい。本センターでは、同事業により、JGSS ならびに EASS データの整備を推進するとともに、調査データの寄託を検討している研究者および機関に対して、データ寄託準備（英訳を含む）のサポートを行っている。

本調査に協力してくださった調査対象者の皆様に心からの謝意を申し上げます。

2023 年 3 月

文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター
センター長　岩井 紀子

目　　次

はじめに

Ⅰ．JGSS-2021H 調査概要
１．JGSS-2021H プロジェクトメンバー 1
２．調査の内容 3
３．調査の方法 21
４．回収率ならびに欠票の分析 27
５．データセットの重み付けについて 33
６．データの公開状況と入手方法 39

Ⅱ．JGSS-2021H 集計と索引
１．基礎集計・コード表：留置調査票 A 票 49
２．基礎集計・コード表：留置調査票 B 票 129
３．事項索引 177
４．変数名索引 191

Ⅲ．JGSS-2021H 資料
１．抽出地点リスト 203
２．職業コード 207
３．国際標準職業分類（ISCO） 213
４．GSS・世論調査と調査項目の対応表 229
５．留置調査票 A 票
６．留置調査票 B 票
７．回収状況記入票
８．依頼状（調査へのご協力のお願い）
９．パンフレット
10．調査要領

Ⅰ．JGSS-2021H 調査概要

Ⅰ.1 JGSS-2021H プロジェクトメンバー

JGSS 研究センター長　岩井 紀子　大阪商業大学総合経営学部 教授
JGSS 研究センター運営委員会委員長　谷岡 一郎　大阪商業大学総合経営学部 教授・学長

運営委員

平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
池田 謙一	同志社大学社会学部 教授
岩井 八郎	摂南大学 客員教授　京都大学 名誉教授
中谷 友樹	東北大学大学院環境科学研究科 教授
仁田 道夫	東京大学 名誉教授
岡太 彬訓	立教大学 名誉教授
岡邊 健	京都大学大学院教育学研究科 教授
宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部 教授
佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部 准教授

JGSS 研究センター研究員

孟 哲男	JGSS 研究センター 主任研究員
吉野 智美	JGSS 研究センター 主任研究員
金 政芸	JGSS 研究センター PD 研究員
林 萍萍	JGSS 研究センター PD 研究員
佐野 和子	JGSS 研究センター PD 研究員
沈 育萱	JGSS 研究センター 研究員

研究メンバー

岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部 教授
佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部 准教授
谷岡 一郎	大阪商業大学公共学部 教授
仁田 道夫	東京大学 名誉教授
岩井 八郎	摂南大学 客員教授　京都大学 名誉教授
岡邊 健	京都大学大学院教育学研究科 教授
中谷 友樹	東北大学大学院環境科学研究科 教授
井上 茂	東京医科大学医学部 教授
本庄 かおり	大阪医科薬科大学医学部 教授
埴淵 知哉	東北大学大学院環境科学研究科 准教授
中村 真由美	富山大学学術研究部社会科学系 教授
孟 哲男	JGSS 研究センター 主任研究員
吉野 智美	JGSS 研究センター 主任研究員
金 政芸	JGSS 研究センター PD 研究員
林 萍萍	JGSS 研究センター PD 研究員
佐野 和子	JGSS 研究センター PD 研究員
沈 育萱	JGSS 研究センター 研究員
孔 栄鍾	佛教大学社会福祉学部 講師（元 JGSS 研究センターPD 研究員）
潘 建秀	兵庫県立大学国際商経学部 特任助教（元 JGSS 研究センターPD 研究員）
郭 凱鴻	元 JGSS 研究センターPD 研究員

事務局

池田 治司	大阪商業大学 学術研究事務室 室長
曽福 美穂	大阪商業大学 学術研究事務室
平田 順一	大阪商業大学 学術研究事務室

（以上、2023 年 3 月時点の所属）

Ⅰ.2　調査の内容

JGSS-2021 Health（JGSS-2021H）は、JGSS プロジェクトが最初に実施した第 1 回本調査（JGSS-2000）から数えて第 13 回目の調査にあたる。JGSS-2021H は、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力、文部科学省「令和 2 年度　特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～機能強化支援～」(JPMXP0620335833)、JSPS 科研費 JP20H00089「東アジアにおける健康と社会の持続可能性に関する総合的研究」（令和 2～4 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）の支援を受けて、2021 年 1～3 月に全国 440 地点で 20～89 歳男女 6,600 人に留置記入依頼法のみで実施した調査である。データの整備は、日本学術振興会「JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」（JPJS00218077184）の支援を受けて行った。

JGSS-2021H では、留置調査票を 2 種類作成した。A 票には、COVID-19 に関する設問、災害に関する設問と JGSS の継続設問を組み込んだ。COVID-19 関連設問には、Europe Social Survey（ESS)のデータと比較可能な設問が含まれている。B 票には JGSS チームが、韓国・中国・台湾チームと共同で 2006 年から実施している East Asian Social Survey（EASS:東アジア社会調査）の 8 回目の国際比較調査である EASS 2021 Health モジュール、COVID-19 に関する設問と JGSS の継続設問を組み込んだ。

本稿では、JGSS 調査票の出発点となる JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後の調査項目の変遷にふれた上で、JGSS-2021H に組み込んだ調査項目を紹介する。

1. JGSS の調査方法と調査票の確定まで

1.1 2 回の予備調査による検討

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査項目を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することは出来ない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクトでは、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

1.2 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式（対象者自身が調査票に記入する）の部分がある。これは、International Social Survey Programme（ISSP）のための調査票を GSS に組み込んでいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そこで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用さ

れていた。JGSS では、GSS や NSFH（National Survey of Families and Households）を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第1回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballot の方法を用いて、対象者の半数には面接→留置、残りの半数には留置→面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。この結果、58.7%のケースでは面接を先に、41.3%のケースでは留置を先に行っており、どちらかというと、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員から聴き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なくなかった。そこで第 2 回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ 4 分の 3 を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

1.3 測定尺度と選択肢の検討

GSS と共通する質問項目を JGSS に組み込むに際しては、GSS で採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要があった。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要があった。そこで、第 1 回予備調査と第 2 回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なる A 票と B 票の 2 種類の留置調査票を用意して、split-ballot の方法で調査を実施した。全体の半分では A 票を、残りの半分では B 票を使用した。面接調査票は 1 種類である。A 票には GSS と互換性がある選択肢とスケールを、B 票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第 1 回予備調査は都市部のサンプル、第 2 回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2 つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第 2 回予備調査では、第 1 回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序（昇順／降順、性別）についても検討している。

この 2 つの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000 の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールか用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3 点尺度ではなく 5 点尺度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない 4 点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて 5 点尺度とする。選択肢の呈示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このように JGSS では、GSS の選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS 独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys（JGSS）第 1 回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys（JGSS）第 2 回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記録している。

2. JGSS の調査項目の変遷

第 1 回本調査となる JGSS-2000 の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、調査年度において社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの時事的な設問群から構成された。JGSS-2000、JGSS-2001、JGSS-2002 をへて JGSS-2003 では、留置調査票を 2 種類に分け、A 票には継続設問と時事設問を、B 票にはネットワーク設問を組み込んだ。JGSS-2005 からは、JGSS にふさわしい研究課題を、広く国内外の研究者に呼びかけて公募し、採択した課題を設問として組み込んでいる。JGSS-2006 からはさらに、EASS（東アジア社会調査：East Asian Social Survey）プロジェクトの開始により、留置 B 票に台湾・韓国・中国と共通する設問を組み込んでいる。JGSS-2021 では、ESS（欧州社会調査：European Social Survey）の設問をいくつか組込んでいる。このように、JGSS の調査内容は現在では、継続設問、時事設問、公募設問、東アジア共通設問（EASS モジュール）から構成されている。

JGSS-2000 から JGSS-2021 に至るまでの調査項目の具体的な変遷をたどる前に、JGSS の設問内容を構成する「研究課題の公募」と「EASS プロジェクト」についてふれておく。

2.1 研究課題公募の開始

JGSS-2005～2012 では、調査実施の 12～24 ヶ月前に研究課題を設問の形で公募し、採択したものを調査票に組み込んでいる。募集の目的は、研究者が関心のある研究課題に基づいた設問を組み込むことで、JGSS の調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとすること、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げるためである。研究課題の採択者は、JGSS 研究センターと連携して調査の設計段階から研究会に参加し、必要な調査データの収集・分析によって研究を遂行することになる。

表 1　JGSS 研究課題の公募

〈研究課題のテーマ・条件〉　テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。課題は、質問文・選択肢ともに完成した設問の形にする。設問の量は 1 問から可能。分量に特別な上限は設けないが、分量が多い場合、全体ではなく一部が採択されることがある。EASS の研究課題は、あらかじめ決められた調査テーマによる英語の設問で提案すること。

〈応募資格〉　大学または研究機関の研究者、大学院生。

〈応募方法〉　指定の用紙を JGSS の HP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、所属学会、研究課題、設問案、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査、JGSS データの利用経験、これまでの調査経験を明記して、メールに添付して提出。

〈選考方法と発表〉　選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。

〈採択者の義務〉　JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムに参加）となり、採択された設問に関連するデータのアフター・コーディングやクリーニングを担当。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学で行う研究会に参加する。日時は約 1 ヶ月前に連絡する（センターで開催する研究会の交通費一部支給のほか、センターの施設・設備利用が可能）。一般公開前に分析可能となるデータを使い、研究会に参加・報告、最初の成果を JGSS 研究論文集に掲載する論文として提出する（論文集：毎年 3 月 31 日に刊行、原稿〆切：毎年 1 月中旬）。

〈留意事項〉　採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められる。ただし、JGSS 研究論文集刊行までの間、研究成果の発表は、学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。

設問のテーマ・条件、応募資格、選考方法などは、表 1 のとおりである。JGSS プロジェクトに過去に参加したメンバーであっても、設問の組み込みを希望する場合は、募集要項に沿って応募しなければならない。また、EASS に組み込む設問についても、同様に研究課題を募集しているが、こちらはあらかじめ EASS の調査テーマに沿った課題について、英語による設問の作成が求められている。

JGSS-2005 では、研究者 4 名、大学院生 8 名、JGSS 委員会メンバー（当時）5 名からの応募があり、研究者 3 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー3 名（2 名は過去の設問の復活）の設問を採択した。その結果、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2006 では、研究者 2 名、大学院生 16 名（1 名は在米日本人）、JGSS メンバー5 名から応募があり、大学院生 2 名、JGSS メンバー3 名（2 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。「中学 3 年時になりたかった職業」、「離婚後の親子関係」、「海外援助」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2008 では、研究者 5 名（1 名は在米日本人；1 名はアメリカ人）、大学院生 2 名（1 名は在米日本人）、JGSS メンバー3 名から応募があり、研究者 1 名（在米日本人）、大学院生 1 名、JGSS メンバー2 名（1 名は過去設問の復活・拡張）の設問を採択した。「貿易に対する態度の規定要因」、「経済的不安感」、「知事の任期と支持率」、「エコ行動の変化」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2010 では、研究者 10 名、大学院生 5 名、JGSS メンバー4 名から応募があり、研究者 9 名、大学院生 3 名、JGSS メンバー4 名（3 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「裁判員制度」、「身体についての意識と行動」、「観光行動」、「英語の必要性」、「英語教育への意識」、「組織風土」、「耽溺行動」、「中高年の地域活動・ボランティア活動」、「インフルエンザの流行に関する意識と保健行動」、「皮膚のそう痒感」、「将来への希望」「癒し行動」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。「運動習慣」の設問も採択したが、EASS モジュールと重なる部分の整合性がつかず、応募者が希望するほど詳細に尋ねることもできないために、途中で組み込むことをあきらめた。

JGSS-2012 では、研究者 11 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー2 名から応募があり、研究者 7 名、大学院生 1 名、JGSS メンバー2 名（1 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「社会的承認」、「学齢期の社会活動の経験・生涯学習」、「大規模自然災害の発生可能性と不安感」、「自然災害に対する地域の対応力」、「友人ネットワーク」、「相談相手」、「異世代との会話機会」、「ネットワークの同質性・上下関係」、「垂直的・水平的ネットワーク多様性」、「社会への貢献」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。

JGSS-2015 は、JGSS-2012 までとは異なり、科学研究費補助金「東アジアにおけるワークライフバランスと社会の持続的可能性に関する総合的研究」（JSPS 科研費 JP26245060 平成 26～28 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）により調査を実施した。研究代表者と研究分担者が、JGSS の継続性と EASS 2014/2015 のテーマに関連する研究課題を練り、科研費を申請し、研究計画に即して調査票を作成した。したがって、JGSS-2015 では設問の公募は行っていない。

JGSS-2016 では、JGSS-2015 と同様に、科学研究費補助金により調査を実施した。この調査は、「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」（JSPS 科研費 JP15H03485 平成 27～29 年度基盤（B）研究代表：岩井八郎）による。JGSS-2016 は、JGSS-2015 の拡張版調査であり、生産年齢人口のうち回収率の低い 25～49 歳に対象を絞った。調査票は、JGSS-2015 とほぼ同一であり、JGSS-2015 と JGSS-2016 のデータを合わせて、就業者における教育と就業の行動と意識を分析する研究者が、研究代表と分担者を務めている。したがって、JGSS-2016 では設問の公募は行っていない。

JGSS-2017 は、文部科学省の平成 28 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」

により調査を実施した。データの入力と基礎クリーニングと職業産業コーディングは、JSPS 科研費 JP17H01007「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」（平成 29～31 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）により実施した。JGSS-2017 では、「EASS 2016 家族モジュール」と JGSS の継続設問に関連する研究課題を練る研究チームを編成して調査票を作成し、設問の公募は行っていない。

JGSS-2017G と JGSS-2018G は、文部科学省の平成 29～30 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成により調査を実施した。「EASS 2018 文化とグローバリゼーションモジュール」の設問を中心に調査票を作成し、設問の公募は行っていない。なお、JGSS-2017G と JGSS-2018G は、予算の関係から、面接調査法と留置調査法の両方を行うという JGSS のこれまでの調査とは異なり、留置調査法のみである。

JGSS-2018 は、JSPS 科研費 JP17H01007「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」（平成 29～31 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）と文部科学省の平成 29 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」により調査を実施した。データの入力と基礎クリーニングと職業産業コーディングは、日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」（JPJS00218077184）により実施した。JGSS-2018 では、採択された科研費の研究チームが、「EASS 2016 家族モジュール」の設問と JGSS 継続設問を中心に作成した JGSS-2017 の調査票をほぼそのまま用いており、設問の公募は行っていない。

JGSS-2021H は、留置調査票 B 票に組み込む設問については、2019 年 4 月から 7 月にかけて公募を行い、研究者 4 名から応募があり、3 名の設問を採択した。その結果、「睡眠時間」、「睡眠の質」、「平日に歩いている時間」、「少し息がはずむような身体活動を行う時間」、「平日に座っている時間」の設問が組み込まれた。留置調査票 A 票に組み込む設問については、2020 年 4 月から 7 月まで公募を行った。研究者 8 名、大学院生 1 名、JGSS メンバー2 名から応募があり、研究者 5 名、大学院生 1 名、JGSS メンバー2 名の設問を採択した。その結果、「子どもへの体罰」、「新型コロナウイルス感染症に対する不安」、「コロナ禍における行動自粛」、「新型コロナウイルスに関する情報源」、「新型コロナウイルスのワクチン接種」、「WHO が推奨する 5 つの予防行動の実施状況」、「非正規で働いている主な理由」、「新型コロナウイルスに感染した場合の責任」、などの設問が組み込まれた。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。

2.2 EASS プロジェクトの開始

JGSS-2006 以降は、留置票を常に 2 種類作成し、そのうちの一方（留置 B 票）に EASS モジュールを組み込むことになった。EASS とは、East Asian Social Survey（東アジア社会調査）の略であり、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行おうとするプロジェクトである。

このプロジェクトは 2003 年 6 月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がった。JGSS 以外に、GSS に範を取る台湾の TSCS（中央研究院社会学研究所チーム）、韓国の KGSS（成均館大学 Survey Research Center（SRC）チーム）、中国の CGSS（中国人民大学・西安交通大学チーム）がこのプロジェクトに参加している。

EASS プロジェクトの方法的な特徴は、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群（モジュール）を組み入れることで国際比較を行うという点にある。2006 年を初めとしてその後 2 年に 1 度、継続的にこのモジュールの組み入れを行っている。すでに実績のある継続調査を活用することで効果的・安定的に国際比較調査が継続できることを狙っている。第 1 回となる EASS 2006 のテーマは「家族（Families in East

Asia)」であり、第 2 回目の EASS 2008 は「東アジアの文化とグローバリゼーション（Globalization and Culture in East Asia)」、第 3 回目の EASS 2010 は「東アジアにおける健康と社会(Health and Society in East Asia)」、第 4 回の EASS 2012 は「東アジアのネットワーク・社会関係資本（Network Social Capital in East Asia)」、第 5 回の EASS 2014/2015 は「東アジアにおける仕事と生活（Work Life in East Asia)」、第 6 回の EASS 2016 は EASS 2006 と同様に「家族（Families in East Asia)」である。これらのモジュールを、JGSS-2006、JGSS-2008、JGSS-2010、JGSS-2012 の留置 B 票と、JGSS-2015、JGSS-2016、JGSS-2017 の留置票にそれぞれ組み込んで調査を行った。調査の詳細については、『EASS 2006 Family Module Codebook』『EASS 2008 Culture Module Codebook』『EASS 2010 Health Module Codebook』『EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』『EASS 2014/2015 Work Life Module Codebook』を参照されたい。

第 7 回となる EASS 2018 は、EASS 2008 と同様に「東アジアの文化とグローバリゼーション（Globalization and Culture in East Asia)」をテーマにしている。JGSS では文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成を 2016 年 4 月に得たことで、翌年の 2017 年に EASS 2018 のモジュールを組み込んだ調査である JGSS-2017G を実施した。上述したように、JGSS-2017G は JGSS の通常の調査と異なり、留置調査法のみで行った。EASS 2018 のモジュールは、JGSS-2018G にも組み込まれている。JGSS-2018G は、JGSS-2017G の拡大調査として実施したものであり、組み込んだ設問もまったく同じである。JGSS-2017G の有効回収数は 860 ケースで、EASS 2008 の文化とグローバリゼーションモジュールを組み込んだ JGSS-2008 留置 B 票の有効回収数 2,160 ケースの 4 割を下回った。そこで、計画標本 1,200 人の JGSS-2018G を行い、JGSS-2017G のデータと合わせて、統計分析に耐えうるケース数の確保を目指した。EASS 2018 文化とグローバリゼーションモジュールと JGSS-2017G の作成の詳細については、吉野・孟・岩井（2019）を参照されたい。

2.3 ESS との共同プロジェクトの開始

GSS を範とする調査は、世界各地で行われており、ヨーロッパでは、EASS に先駆けて、European Social Survey のプロジェクトが 2002 年に 22 カ国で始まった。EASS と同様に 2 年間隔で、毎回組み込む中核設問と、調査ごとに設定するテーマに関連する設問を参加国が協議して、各国の調査に組み込んでいる。2020 年から 2022 年に実施された第 10 回調査には、31 カ国が参加している。事務局は、ロンドン大学シティ校にある。ESS は、EASS に対して以前から共同プロジェクトの実施を呼びかけてきた、しかし、ESS モジュール設問数は多いため、なかなか合意に至らなかった。COVID-19 の感染が拡大して、ESS でも対面調査をどのように変更するかが模索される中で、JGSS に対して、COVID-19 に関する共通設問とデータ利用についての協議の申入れがあった。JGSS は、2021 年 1 月に Web 会議で協議したうえで、同年 6 月に ESS と学術研究協力協定（Memorandum of Understanding：MOU）を締結した。

JGSS は、この協定を締結する前の 2019 年秋に、「ESS の設問を組み込む調査を実施してヨーロッパと日本のデータを比較するプロジェクト」について、文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」に申請し、2020 年に採択された。上述したように、JGSS-2021 と JGSS-2022 は科研基盤 A と機能支援の助成金を組み合わせて、サンプル数を拡大して、Split-ballot 法で、留置 A 票と B 票の 2 種類の調査を実施した。2020 年 4 月～7 月に ESS との比較研究を公募し、ESS のモジュールに組み込まれている設問のうち、感染症対策への意見（感染拡大防止か経済活動か、行動追跡かプライバシーか、国境封鎖の重要性、移動制限の重要性）を、JGSS-2021H の A 票と B 票に組み込んだ。これらの設問は、JGSS-2022H の A 票と B 票にも組み込んだ。

2.4 調査項目の主な変更点

後掲する表 2 は、JGSS-2000 から JGSS-2018G までの設問の変遷を示している。JGSS-2000 から JGSS-2018 までの調査項目の主な変更点は以下の通りである。

JGSS-2000（面接調査票：19 頁 143 問 354 変数、留置調査票：15 頁 156 問 186 変数）と **JGSS-2001**（面接調査票：19 頁 146 問 346 変数、留置調査票：15 頁 158 問 189 変数）の調査票は、ほぼ同一である。これは、この二つのデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。**JGSS-2001** での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者のきょうだいの数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を追加、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

JGSS-2002（面接調査票：19 頁 110 問 360 変数、留置調査票：15 頁 160 問 261 変数）では、面接調査票の一部と留置調査票のかなりの部分を変えている。JGSS の中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSS の基本設問を残し、その他は新規設問群―「英語学習」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「多様な余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」―と入れ替えた。

JGSS-2003（面接調査票：12 頁 56 問 237 変数、留置調査票 A 票：14 頁 153 問 250 変数、留置調査票 B 票：22 頁 251 問 505 変数）では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を 2 種類用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、対象者のネットワークについての設問を中心とする留置 B 票である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手（最大 4 人）について詳しく尋ね、この 3 つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003 の面接票は、JGSS-2002 までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考えたからである。ネットワークについて尋ねる留置 B 票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置 A 票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行い、「少年法の改正」の設問を復活した。

JGSS-2005（面接調査票：15 頁 77 問 201 変数、留置調査票：15 頁 183 問 263 変数）では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を変更した。これまでは、「同居家族（一時的に別居している家族を含む）」と「子ども（同別居に関わらず）」について尋ねていたが、JGSS-2005 では、「配偶者」、「父母」、「子ども」、「その他の同居家族」、「一時別居家族」の順に尋ねている。また、JGSS-2003 で外していた「初職」と「配偶者のきょうだい」の設問を復活した。「住居形態・住居の所有形態」については、面接調査票から留置調査票に移した。設問の公募を通して、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」を新たに加えた。「寄付・募金」の設問については、JGSS-2002 に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000 以来組み込んでいる「情報機器の利用」に関する設問を 3 問に分けて、これまでよりも詳細に尋ねるようにした。なお、JGSS-2005 で使用した留置調査票は 1 種類である。

JGSS-2006（面接調査票：16 頁 86 問 259 変数、留置調査票 A 票：14 頁 165 問 198 変数、留置調査票 B 票：14 頁 37 問 161 変数）では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を再び変更した。これは、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールの一部を面接調査票に組み込ん

だことによる。JGSS-2006 では、「同居家族」、「一時的に別居している家族」、「父母（配偶者の父母を含む）」、「子ども」の順に尋ね、それぞれの属性だけではなく、婚姻状態、就労の有無、調査対象者との居住距離、接触頻度、連絡頻度も尋ねている。また、JGSS-2002 で尋ねた「子どもの教育費」の設問を復活した。

JGSS-2006 では 2 種類の留置調査票を用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票である。留置 A 票には、設問の公募を通して「中学 3 年時になりたかった職業」、「開発途上国への援助」を、また、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「監視社会」、「自殺についての意識」を新たに加えた。また、JGSS-2002 で尋ねた「学歴観」の設問の一部を復活させ、新規設問として「教育観」を加えた。「監視社会」については、「監視カメラ」や「ネットの書き込み内容の監視」だけでなく「防犯意識と防犯行動」まで広げて尋ねている。さらに、EASS 2008 モジュールの一部のプリテストとして、JGSS-2002 と 2003 に組み込んだ「英語学習」の設問を復活させ、「国別好感度」の設問を新たに追加した。ほかに時事設問として「憲法第 9 条の改正」、「女性・女系天皇」、「地域での清掃・リサイクル・見守り活動」の設問を組み込んだ。

一方、EASS 2006「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票では、韓国・中国・台湾との共通設問として、「結婚観・離婚観」、「家族観・性別役割観」、「家意識・扶養意識」、「理想の子ども数と性別」、「配偶者との出会い」、「夫婦間の意思決定」、「家事遂行」、「夫婦の情緒的関係」、「家族行動」、「世代間援助」などを尋ねている。JGSS の中心設問としてこれまでに継続的に尋ねてきた設問と重なる内容もあるが、他のチームとの比較を考えて、選択肢の表現や設問のワーディングを変更した。「Family」モジュール以外には、公募設問のうち「離婚後の親子関係」、「介護の経験と対象」、「ペットの死」を組み込み、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「食の外部化」を加えた。このほかに、調査対象者の意識と行動にかかわる JGSS の中心設問を組み込んでいる。

JGSS-2008（面接調査票：15 頁 86 問 197 変数、留置調査票 A 票：14 頁 152 問 202 変数、留置調査票 B 票：14 頁 163 問 198 変数）では、基本的には JGSS-2006 の面接調査票を引き継ぎ、回答者と配偶者の就労形態が「派遣社員」「自営業主・自由業者」の場合の実態や、「通常労働時間数」を追加して尋ねている。EASS に関連して、JGSS-2006 から面接調査票に加えた「回答者と配偶者の主な仕事以外からの収入を含む年収（非就労者も含む）」、「同居家族員・子ども・父母（配偶者の父母含む）の婚姻状態や就労の有無」は、引き続き尋ねている。また、「配偶者・両親・子ども以外の同居家族」についての設問を復活し、「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を加えている。

留置 A 票に新たに組み込んだ設問は、「知事の任期と支持率」、「経済的不安感」、「子どものしつけに関する意識」、「父親・母親の存在感の変化」、「子どもの道徳意識の変化」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「医療不安」、「地域の救急医療体制」である。医療に関する設問は、JGSS-2010 に組み込みを予定していた EASS 2010 の「Health」モジュールから設問の一部を試験的に加えた。「環境問題」に関しては、JGSS-2002 の設問の一部を復活し、「地球環境と経済成長・利便性」、「環境保護に資するエネルギー利用」、「環境保護のためのボイコット・バイコット行動」、「国産食品の購入」の設問を新たに加えている。「暴行被害経験」については、JGSS-2000／2001 の設問を基に、暴言被害についても尋ね、「体罰意識」の設問も復活した。さらに、JGSS-2000／2001 で尋ねた「少年法の改正」、「死刑制度への賛否」、「政府の役割の範囲」の設問、JGSS-2003 で尋ねた「福祉と税負担」の設問を復活した。

留置 B 票には、JGSS の基本設問の一部と、EASS 2008 の「Culture」モジュールを組み込んだ。韓国・中国・台湾との共通設問として、「文化接触」、「儀礼」、「友人に求める資質」、「価値観」、「好きな音楽」、

「訪問したことがある/知り合いのいる国・地域」、「外国での性風俗の娯楽の経験」、「社会的距離感（同僚として/近隣住民として/親類として）」、「外国人労働者の増加」、「国際問題への関心」、「ローカリズムとナショナリズム」、「グローバリゼーションとナショナリズム」、「英語能力」、「外国での教育・研修経験」、「外国企業とのかかわり」、「社会的ネットワーク」などを尋ねている。EASS モジュールに関連して、JGSS 独自の設問として、「日本製電気製品の購入」と「グローバリゼーションのもたらす功罪」を加えた。「環境保護に資するエネルギー利用」は、その普及を広くとらえるために、留置 A 票だけでなく、B 票にも組み込んだ。復活設問は、「婚外交渉」、「同性間の性的関係」、「ポルノの規制」、「ポルノと社会道徳」（以上、JGSS-2000／2001）、「カジノの合法化」（JGSS-2002／2003）である。

JGSS-2010（面接調査票：15 頁 84 問 184 変数、留置調査票 A 票：14 頁 150 問 193 変数、留置調査票 B 票：14 頁 155 問 224 変数）の面接調査票は、JGSS-2008 とほぼ同一である。JGSS-2008 の面接調査票から「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を除いたが、それ以外の部分は、JGSS-2008 と設問の内容・順番ともに同じである。

留置 A 票では、継続設問に加えて、「回答者・同居家族の耽溺行動」、「英語の必要性」、「英語教育の開始学年への意見」、「中学校以前の英語教育経験」、「裁判員制度」、「政策への意見：子ども手当・高校無償化・高速道路無料化・二酸化炭素排出量削減・最低賃金の引き上げ・同一労働同一賃金・配偶者控除の廃止」、「適切な消費税率への意見」、「マニフェスト順守への意見」、「夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見」、「町内会加入の有無」、「町内会での活動頻度」、「ボランティア活動」を新たに組み込んだ。「耽溺行動」については、EASS 2010 の「Health」モジュールにも採用され、留置 A 票とともに B 票にも組み込んでいる。また、新規設問に関連して、JGSS-2006 から「英会話のレベル」、「英語読解力のレベル」、「英語の使用」、「政府の支出」、「夫婦別姓意識」を、また JGSS-2001 からも、「最近の判決について」、「ドナーカードの所持」、「自分の墓について」、「共同墓または散骨希望の理由」を復活させた。

留置 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「Health」モジュールが組み込まれている。EASS モジュールには、アメリカの Quality Metric 社が開発し、「認定 NPO 法人 健康医療評価研究機構 iHope International」が日本語版のライセンスを管理している「SF 健康調査票 SF-12v2™」を、ライセンス契約をした上で組み込んでいる。具体的には、「主観的健康状態」、「健康上の理由による日常活動の困難」、「身体的健康の問題」、「精神的健康の問題」、「痛みによる仕事の困難」、「精神的健康状態」、「健康問題による人つきあいの困難」に関する 12 の設問であり、健康関連 QOL（Health-related Quality of Life）指標として利用している。韓国・台湾・中国との共通設問は、このほかに、「慢性的な病気の有無と種類」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「東洋医療の受診経験」、「加入している医療保険の種類」、「医療不安」、「予防接種の経験」、「新型インフルエンザの流行への不安」、「身長・体重・体型に関する意識」、「飲酒・喫煙・運動頻度などの生活習慣」、「飲酒・喫煙・ギャンブル・ゲームなどの耽溺行動」、「近隣の環境と環境被害」、「介護を必要とする家族の存在」、「将来への希望の有無」、「歳をとることへの不安」、「人間の本性」、「他人への信頼観」である。EASS モジュールのうち、「心配事を聞いてくれた人」、「経済的な面で助けてくれた人」、「その他の手助けをしてくれた人」については、JGSS 独自の設問形式をとっている。また、「環境被害」の中の「日照被害」は、JGSS のみが追加した設問である。

EASS モジュールに関連する設問としては、「体型が気になる程度・理由」、「体型管理」、「日常生活での精神状態（時間的・心のゆとり、孤独感）」、「心身のリラクゼーション行動の頻度」、「生活の享受」、「同居家族のインフルエンザ感染の有無」を新たに加えている。また、耽溺行動の設問と関連して、継続設問である余暇活動に関して、「ナンバーズ・ミニロト・ロト 6」、「サッカーくじ（toto）」、「公営ギャンブル」の項目を JGSS-2001 から復活させ、「ドライブ」、「カラオケ」、「映画鑑賞」、「音楽鑑賞」、

「園芸・庭いじり」、「将棋・囲碁」を今回は削除した。また、健康の設問と関連して、「アレルギー関連の症状の有無」を JGSS-2006 から復活させた。さらに EASS モジュール以外の JGSS 設問として、「国内・海外旅行頻度」、「国内・海外旅行頻度に関する希望」、「旅行で重視すること」、「職場の連帯感」を新たに組み込んでいる。

JGSS-2012（面接調査票：16 頁 101 問 243 変数、留置調査票 A 票：15 頁 175 問 250 変数、留置調査票 B 票：15 頁 171 問 242 変数）の面接調査票は、基本的には JGSS-2010 を引き継いでいるが、回答者の現職と初職、配偶者の現職、回答者が 15 歳時の頃の父の職業について、被雇用者であるかどうかを確認する設問を追加した。これは、EASS 2012 統合データにおける就労形態の分類に用いるためである。調査時点で就業していない回答者には、JGSS-2002 以来 10 年ぶりに、最後に就いていた仕事について尋ねている。さらに、離職理由を尋ねる設問を JGSS-2005 から復活させた。また、結婚や出産による離職経験を尋ねる設問も新たに加えた。通勤については、通勤手段を尋ねる設問を JGSS-2005 から復活させた。回答者や配偶者が社会に出た年次を特定するために、卒業した年齢（または中退した年齢）を尋ねる設問を加えた。さらに、結婚経験について、結婚回数やその当時の年齢、初婚年齢を尋ねる設問を JGSS-2006 から復活させ、離婚回数や配偶者との死別回数を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させている。

留置調査票では、2011 年 3 月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故が人々の意識と行動に与えた影響を把握するために、JGSS が過去に尋ねてきた関連設問を継続または復活して組み込むと同時に、新たな設問を組み込んだ。被災地との距離や地域の事情により意識や行動が異なる事柄が少なくないので、スペースの許す範囲で、留置 A 票と B 票の両方に組み込んだ。継続・復活設問としては、「エコ・エネルギーの利用」、「節電行動」、「ボランティア活動」、「環境汚染」、「寄付・募金」、「消費税率」、「メンタルヘルス」、「hopelessness」である。「環境汚染」は、EASS 2010 健康モジュールの設問の項目に「土壌汚染」を加え、「節電」は、JGSS で時々尋ねていた「電気はこまめに消す」に、「消費電力を減らす工夫をする」を加えた。新規設問としては、「生活水準と電力」、「原子力政策」、「大規模災害発生可能性・不安感」、「放射性物質による食品汚染への不安」、「震災の仕事・職場への影響」、「震災関連寄付・支援活動」、「震災後の会話の機会」、「震災復興のための増税への賛否」である。

A 票ではさらに、「震災に対する政府の対応への評価」、「時代をあらわす色・好きな色」、「自助志向」、「TPP への参加への賛否」を尋ねている。また、「女性・長子天皇への賛否」を JGSS-2006 から、「カジノ合法化への賛否」を JGSS-2008 から復活させた。

留置 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「東アジアにおけるネットワークと社会関係資本」（Network Social Capital in East Asia: NSC）モジュールを組み込んだ。韓国・中国・台湾との共通設問として、「ボランタリーな組織参加」、「積極的に参加した組織の階層性と同質性」、「親族と非親族との接触ネットワーク」、「ネットワークの垂直的多様性」、「ネットワークの地理的広がり」、「求職ネットワーク」、「会食ネットワーク」、「ソーシャル・サポート・ネットワーク」、「近隣ネットワーク」、「社会的寛容性」、「社会問題についての会合への参加」、「ボランティア活動・政治活動への参加」、「自然災害に対する地域の対応力」、「政治ネットワーク」、「公共問題への関心と政治的有効性感覚」、「信頼」、「社会関係資本と関連する他の項目（居住年数、人生に対する効力感、公開株の保有）」などを尋ねている。EASS モジュールに関連して、JGSS が追加した独自設問もある。「ボランティア活動・政治活動への参加」に関して「過去 1 年のその他のボランティア活動・政治活動」の項目を、「近隣ネットワーク」に関して「自分の問題はできるだけ他人に頼らずに解決したい」の項目を、「公開株の保有」に関して「債券（国債、外国債、地方債、社債）」、「外貨預金」、「投資信託」の保有などを尋ねている。

JGSS-2015 と JGSS-2016（面接調査票：17 頁 110 問 206 変数、留置調査票：15 頁 183 問 205 変数）の調査票はほぼ同一で、学歴に関する設問の順序が一部異なるだけである。したがって、ここでは

JGSS-2015 と JGSS-2016 を合わせて説明する。JGSS-2015 と JGSS-2016 の面接調査票は JGSS-2012 を引き継いでいるが、JGSS-2015 と JGSS-2016 では、「結婚（再婚）の意欲」、「希望する結婚（再婚）年齢」、「20 歳の頃の居住地」、「専門学校・専修学校に通った時期」を確認する設問を追加した。さらに、「高校の学科」、「出身高校の進学率」、「大学（大学院）の専攻分野」を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させた。さらに、EASS 2014/2015 の「東アジアにおける仕事と生活」（Work Life Module）に関連して、「通勤時間」、「正規の社員・職員として働いてきた会社・組織の数」を尋ねている。また EASS の他の 3 チームがいずれも ISSP 2015 Work Orientation を組込んでいることから、ISSP 2015 のうち、「これまでの仕事で身につけた経験や技能の効用」を尋ねている。EASS に関連する JGSS 独自設問として、「これまでに受けた学校教育の効用」を尋ねている。

留置調査票については、予算の制約により、JGSS-2015 と JGSS-2016 では留置調査票を 2 種類作成することは出来なかった。そのため、JGSS の継続設問、EASS 2014/2015「Work Life」モジュール、ISSP 2015 「Work Orientations」モジュールの一部、EASS モジュールに関連する JGSS 独自設問（「ワークライフバランスと女性の就業」が中心）、時事設問を、すべてひとつの調査票に組み込む必要があった。結果として、EASS モジュールは、すべてではなく、ごく一部を組み込むことに留まった。JGSS-2015 と JGSS-2016 にはさらに、JGSS-2012 に続いて東日本大震災関連設問を加え、時事設問群として、外国人の増加と受け入れに関する設問、先祖の墓の承継に関する設問、地域の抱える問題の深刻さを加えている。また、「家計管理」は JGSS-2001 から復活、「配偶者の健康状態」は JGSS-2002 から復活（JGSS-2006 留置 B 票には EASS スケールが組み込まれている）、「配偶者の家事」は JGSS-2006 から復活、「言葉の暴力の加害者」JGSS-2008 から復活、「家族介護」「自分の墓」「夫婦別姓意識」は JGSS-2010 から復活した。

JGSS-2017 と JGSS-2018 の調査票はほぼ同一である（面接調査票 JGSS-2017：17 頁 127 問 279 変数；JGSS-2018：17 頁 127 問 319 変数、留置調査票：JGSS-2017 留置調査票 A・B 票：15 頁 181 問 214 変数；JGSS-2018：15 頁 175 問 200 変数）。面接調査票は、対象者の属性に関する設問が中心であるが、JGSS-2015 と JGSS-2016 で用いた面接票のレイアウトを一部変更して、EASS 2016「Family」モジュールの一部を組み込んだ。そのほとんどは、EASS 2006「Family」モジュールが組み込まれた JGSS-2006 からの復活設問である。調査対象者が同居している世帯員ならびに一時別居している家族、さらに同別居に関わらず、親（配偶者の親）や別居している子どもの属性と、彼らとの交流頻度などについて、JGSS の通常の面接調査票よりも詳細に尋ねている。対象者・配偶者の両親との「別居理由」や一時的な別居家族の属性も追加された。

JGSS-2018 は、調査対象者による回答部分は JGSS-2017 と変わらないが、調査員への質問に「表札の有無」と「家のインターフォンの種類」を新たに追加した。

留置調査票は、JGSS の基本設問のほか、EASS 2016「Family」モジュールを組み込んでいる。また、ペット関連項目として「ペットの保有」「世話しているペット」の設問を JGSS-2006 から復活させ、「ペットを世話する時間」と「ペットの医療費」の設問を新たに加えた。さらに、時事設問群として「同性婚について」と「Grit スケール」を尋ねている。「Grit スケール」については、split-ballot の方法で、調査対象者の半分には JGSS チームによる翻訳のスケールを、残りの半分には Grit を最初に日本に紹介した研究チームによる訳のスケールを組み込んで、回答の違いを検討した。ほかにも、社会の持続可能性にかかわる人々の意識と行動―所得の再分配、育児・教育責任、高齢者の生活費・介護責任、自然災害のリスク認知、地域の対応力・存続可能性、再生可能エネルギーの利用、節電行動、原発政策―を尋ねている。節電行動は 2008 年から、再生可能エネルギーと環境汚染は 2010 年から継続して尋ねており、2011 年に発生した東日本大震災と原発事故の前後の人々の行動と意識について比較できるデータである。

JGSS-2018 では、「Grit スケール」を削除し、「自分の墓」と「実家の先祖の墓（承継の有無と今後）」の設問を JGSS-2015 から復活させた。他の設問は、JGSS-2017 と同じである。

JGSS-2017G と JGSS-2018G の調査票はほぼ同一である（留置調査票：14 頁 113 問 146 変数）。ともに、JGSS-2008 の留置 B 票に組み込んだ「EASS 2008 東アジア文化とグローバリゼーション」モジュールで収集したデータの 10 年後をとらえる目的で、「EASS 2018 東アジア文化とグローバリゼーション」モジュールを組み込んだ調査である。限られた経費で調査を実施するために、調査方法を通常の面接法と留置法から留置法に変更し、これまで面接票で尋ねていた中心的な設問である現職、学歴、収入、婚姻上の地位、配偶者の職業・学歴・収入、父母の学歴、世帯構成/世帯収入も留置票で尋ねた。就業に関する設問などの複雑な設問（枝分かれやスキップのある設問）については、複雑な質問は簡素化し、記入漏れや記入ミスができるだけ少なくなるように努めた。JGSS-2017G/2018G に組み込む EASS2018 モジュールの作成に際しては、EASS 2008 モジュール項目のうち、あまり活用されなかった「友人に求める資質」、「東アジアのアイデンティティ」、「社会的ネットワーク」に関する設問などを削除した。新規設問としては、「東アジアの儀礼」に関して、新たに「先祖や親族の墓参り」、「幸運を願いに神社や寺などを参詣」、「縁起の良いものや魔よけを身の回りにおく」を加え、日本独自の設問として「先祖の墓の継承」に関する設問を加えた。また、JGSS-2017 で質問文と選択肢のワーディングを検討した「JGSS 版 Grit スケール」を加えた。

3. JGSS-2021H の調査項目の概要

3.1 留置調査票 A 票

留置調査票 A 票は、主に調査対象者の COVID-19 に関わる意識や行動に関する設問（European Social Survey との共通設問を含む）と JGSS の継続設問（復活設問を含む）を組み込んでいる（22 頁 237 問 323 変数）。

留置調査票 A 票に新たに組み込んだ設問は、「新型コロナウイルス感染への不安」、「新型コロナウイルスに対する予防行動」、「新型コロナウイルスに感染した場合の責任」、「新型コロナウイルスワクチン接種の予定」、「感染リスクの可能性」、「新型コロナウイルス感染拡大の影響：経験、行動自粛、仕事・職場の変化」、「感染症対策についての意識：感染拡大防止か経済活動か、行動追跡かプライバシーか、国境封鎖の重要性、移動制限」（ESS 設問）、「政府の新型コロナウイルス対応に対する評価」、「新型コロナウイルスの情報源」、「自宅周辺の危険な場所の有無」（復活設問）、「災害関連設問：被災経験、被災経験の最も長かった期間、被災経験の時期、避難場所、避難準備」、「政府の復興政策に対する評価」、「ソーシャルサポート：心配事を聞いてくれた人の有無と心配事を聞いてくれた人」（復活設問）、「体罰に対する意識：親による体罰の賛否と教師による体罰の賛否）」（復活設問）、「非正規で働いている主な理由」、「最高齢の同居家族の年齢」、「末子の年齢」、「配偶者の健康」である。それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 対象者の属性：性別、年齢、学歴、専門学校・専修学校への通学経験・通学時期、年収（主な仕事、全体）、世帯収入、世帯構成、居住地域の規模、居住形態、自分の位置する階層（10 段階）
- 現職：雇用関係、雇用形態、役職、業種、職種、事業所形態、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／週、副業就労時間／週、就労日数／週、通勤時間、現在の仕事への満足度、就労継続意向、失業・再雇用の可能性、労働組合加入の有無、現在仕事を探しているかどうか、転職数など
- 現在就労していない対象者：不就労の理由、過去の就労経験、現在仕事を探しているかどうか、転職数、離職理由
- 前職（最終職）：雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、離職年齢、離職理由
- 家族：家族人数（本人除く、本人含む）、同居世帯員（続柄）、最も高齢の同居家族の年齢

- 配偶者：年齢、現在の雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、就労時間／週、学歴、専門学校・専修学校への通学経験、年収（主な仕事、全体）
- 父親・母親：学歴
- 子ども：人数、末子（生死・年齢）
- 生活習慣：飲酒、喫煙、テレビの視聴時間、新聞の購読、ニュース記事をインターネットで読む頻度、読書量、同居家族一緒の夕食頻度、非同居家族や親族との会食や集まりの頻度、友人との会食頻度、定期的に行なうスポーツの頻度、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出し・家の簡単な修理などの家事に従事する頻度、など
- 団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、宗教団体、スポーツ・クラブ、趣味の会、消費者組合などへの所属の有無、など
- 情報機器の利用：パソコン(職場・自宅)、携帯電話・スマートフォン、タブレット、インターネットの利用（情報検索、ショッピング、バンキング、SNS などでの情報発信、インターネットゲーム、動画音楽視聴、電子書籍）
- 宗教：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属、信仰の度合い、宗教団体への信頼
- 健康状態：健康状態、健康状態に対する満足度、希望のなさ（将来の希望、目標達成）、精神的健康（おちついた気分、活力にあふれる、おちこんだ気分）
- 人間観・信頼観：人間の本性、人への信頼感、学者・地方議員・国会議員などの職業集団に対する信頼観、新聞・テレビなどのマスメディアに対する信頼観、学校・病院・中央官庁・裁判所・警察・自衛隊・大企業・金融機関・労働組合・宗教団体などの機関や団体に対する信頼観、社会への貢献、など
- 幸福感・満足感：幸福度、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感、将来の経済的不安、時間的なゆとり感、心のゆとり感、孤独感、
- ソーシャルサポート：心配事を聞いてくれた人の有無と続き柄（同居家族､その他の家族､職場の同僚､近所の人､友人､専門職の人､その他）
- 家族・ジェンダー：三世代同居観、家庭生活に対する満足感、理想の子ども数、希望する子どもの性別、家族一緒の夕食の頻度、家事頻度、性役割分担・妻の仕事・男性の家事・男女性の幸福・子どもへの影響への賛否、など
- 社会階層：階層帰属意識（5 段階）、世帯収入についての主観的水準、家計状態の変化、将来の経済的不安、生活水準向上機会の有無
- 政治や政府に対する意識と評価：支持政党、高齢者問題（生活保障､医療・介護）や子どもの教育や保育・育児における政府の役割、貧富解消政策への賛否、政治への関心、政治意識（保革 5 段階）、所得格差への意見、政府の復興政策の賛否など
- 体罰に対する意識：親による体罰の賛否、教師による体罰の賛否、
- 居住環境・地域環境：住居形態、地域での居住年数、現在の居住地域に住み続けたいか、自宅周辺の危険な場所の有無、地域に外国人が増えることへの賛否、近隣状況（お互いに気にかけている、手助けしてくれる､安心して生活できる）､自然災害時の地域の人どうしの協力､地域問題（高齢化、買い物の不便さ、空き家の増加、犯罪の増加、人口の流出、公共交通機関の不便さ、耕作放棄地の増加、鳥や獣による被害、山林の維持管理）
- 原子力政策東日本大震災関連設問：環境保護に資するエネルギー利用（太陽光発電､深夜電力､エコウィル・エコキュート､低公害車）、節電行動（電気はこまめに消す、消費電力を減らす工夫）、原子力政策への意見、環境汚染（大気汚染、水質汚染、土壌汚染）、放射性物質による食品汚染への不安、大規模災害発生の可能性（地震、津波、水害、豪雪、噴火、土砂、原子力発電所の事故）、大規模災害発生に対する不安、自然災害時の地域の人どうしの協力、など
- 災害時：被災経験（地震、津波、台風・水害、豪雪、その他）、被災経験の最も長かった期間、被災

経験の時期（年）、自然災害から緊急に避難する場所、避難準備（家族との連絡方法の取り決め、家族と落ち合う場所の取り決め、避難所の位置の確認、避難所までの経路の確認、非常持ち出し品の準備、ハザードマップや防災マップを確認、その他）、など

- COVID-19：感染への不安、COVID-19 予防行動（20 秒以上手を洗う、目、鼻や口を手で触らないように気をつける、手をアルコール消毒する、咳エチケットを守る、マスクを着用する、換気に気をつける、人との距離を 1 メートル以上あける、人混みを避ける）、本人の責任（COVID-19 感染（一般）・COVID-19 感染（本人））、COVID-19 感染リスクの可能性、感染症対策への意見（感染拡大防止か経済活動か、行動追跡かプライバシーか、国境封鎖の重要性、移動制限の重要性）、COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価
- COVID-19 感染拡大の影響：テレワーク、時差出勤、オンライン会議・授業、オンライン飲み会、オンラインイベント、食べ物などの出前・デリバリー、オンライン診療、同居家族との言い争い、離れて住む家族と会うこと、離れて住む家族とのやりとり
- COVID-19 感染拡大により控えたこと：公共交通機関の利用、買い物、病院での診療、飲食店の利用、宿泊を伴う旅行、映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦、スポーツジムやフィットネスクラブの利用、美容院や理髪店などの利用
- COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：仕事量、労働時間、出張、収入
- 感染拡大により経験したこと：契約が更新されなかった、希望退職をした、解雇された、新しい仕事を見つけた、勤務先が倒産した、事業を縮小した（自営業）、事業が廃業した（自営業）、その他、など
- COVID-19 の情報を知るメディア：新聞（オンライン版含む）、ラジオ、テレビ、インターネット（ウェブ記事）、ソーシャルメディア（ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、ﾂｲｯﾀｰなど）、知人、その他、など

3.2 留置調査票 B 票

留置調査票 B 票は、主に EASS 2021 Health モジュールの設問と JGSS の継続設問が含まれている（22 頁 219 問 283 変数）。EASS 2021 Health モジュールの設問は、韓国・中国・台湾チームと共同で 2006 年から実施している EASS の 8 回目の国際比較調査である EASS 2010 Health モジュールをたたき台にして、もう一度組み込む設問、今回は落とす設問、新たに加える設問など、4 チームの交渉を経て決まった。EASS モジュールの一部には、2009 年に認定 NPO 法人健康医療評価研究機構が開発した「SF 健康調査票 SF-12v2™」をライセンス契約のうえ使用している。使用したのは「主観的健康状態」、「身体的健康の問題」、「精神的健康の問題」、「痛みによる仕事の困難」、「健康問題による人つきあいの困難」設問であり、健康関連 QOL（Health-related Quality of Life）指標として利用している。EASS 2021 健康モジュールの作成の詳細については、吉野・岩井（2021）を参照されたい。

留置調査票 B 票に新たに組み込んだ健康に関する設問は、「視力問題：近視、メガネやコンタクトレンズの着用」（中国チーム提案）、「身体活動：平日に歩いている時間、少し息がはずむような身体活動を行う時間、平日に座っている時間」（公募設問）、「睡眠：平日の実際の睡眠時間、睡眠の質」（公募設問）、「健康状態（本人）」（訳の修正版）、「健康への意識：身体の痛みが無いこと、心のやすらぎがあること、家庭内の役割を果たせること、職場や社会での役割を果たせること」、「配偶者の健康」（改訂版）である。

また、留置調査票 B 票には、留置調査票 A 票に含まれている COVID-19 に関する設問および公募設問の一部を新たに組み込んでいる。具体的には、「新型コロナウイルス：感染への不安」、「感染リスクの可能性」、「感染拡大防止か経済活動か」、「行動追跡かプライバシーか」、「国境封鎖の重要性」、「移動制限」、「政府の新型コロナウイルス対応に対する評価」、「新型コロナウイルス感染（一般）：本人の責任」、新型コロナウイルス感染（本人）：本人の責任」、「非正規の職員・従業員について主な理由」、

「最も高齢の同居家族」、「末子の年齢」である。

それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 対象者の属性：性別、年齢、学歴、専門学校・専修学校への通学経験・通学時期、年収（主な仕事、全体）、世帯収入、世帯構成、居住地域の規模、居住形態、自分の位置する階層（10 段階）
- 現職：雇用関係、雇用形態、役職、業種、職種、事業所形態、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／週、副業就労時間／週、就労日数／週、通勤時間、現在の仕事への満足度、就労継続意向、失業・再雇用の可能性、労働組合加入の有無、現在仕事を探しているかどうか、転職数など
- 現在就労していない対象者：不就労の理由、過去の就労経験、現在仕事を探しているかどうか、転職数、離職理由
- 前職（最終職）：雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、離職年齢、離職理由
- 家族：家族人数（本人除く、本人含む）、同居世帯員（続柄）、最も高齢の同居家族の年齢
- 配偶者：年齢、現在の雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、就労時間／週、学歴、専門学校・専修学校への通学経験、年収（主な仕事、全体）
- 父親・母親：学歴
- 子ども：人数、末子（生死・年齢）
- 生活習慣：テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、インターネットでニュース記事を読む頻度、同居家族一緒の夕食頻度、非同居家族や親族との会食や集まりの頻度、友人との会食頻度、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出し・家の簡単な修理などの家事に従事する頻度
- 団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、宗教団体、スポーツ・クラブ、趣味の会、消費者組合などへの所属の有無、など
- 余暇活動：テレビゲーム、ナンバーズ・ミニロト、宝くじ、サッカーくじ、公営ギャンブル、パチンコ・パチスロ、心身のリラクゼーション行動（温泉・銭湯・サウナに行く､マッサージ・リフレクソロジーなどを受ける､自然の中で過ごす､ペットと過ごす､体操をする､音楽を聴く・歌を歌う）、など
- 宗教：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属、信仰の度合い、宗教団体への信頼
- 幸福度・満足度：幸福度（EASS 尺度）、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感、将来の経済的不安、時間的なゆとり感、心のゆとり感、孤独感、生活を楽しんでいる、など
- 希望の有無：将来の希望が持てない、目標は達成できない
- 耽溺行動：飲酒、喫煙、ギャンブル、ゲーム
- インフルエンザ：インフルエンザ予防接種の経験、
- 環境被害：大気汚染、水質汚染、日照被害、騒音被害
- 家族・ジェンダー：家庭生活に対する満足感、家族一緒の夕食の頻度、家事頻度、（性役割分担・妻の仕事・男性の家事・男女性の幸福・子どもへの影響）への賛否、など
- 社会階層：：階層帰属意識、家計状態の変化、将来の経済的不安、生活水準向上機会の有無、15 歳の頃の世帯収入レベル、世帯収入のレベル
- 政治や政府に対する意識と評価：支持政党、高齢者問題（生活保障､医療・介護）や子どもの教育や保育・育児における政府の役割、貧富解消政策への賛否、政治への関心、政治意識（保革 5 段階）
- 居住環境・地域環境：住居形態、地域での居住年数、現在の居住地域に住み続けたいか、自宅周辺の危険な場所の有無、近隣状況（お互いに気にかけている、手助けしてくれる、安心して生活できる）
- 希望の有無：将来の希望が持てない、目標は達成できない
- COVID-19：感染への不安、本人の責任（COVID-19 感染（一般）・COVID-19 感染（本人））、COVID-19 感染リスクの可能性、感染症対策への意見（感染拡大防止か経済活動か、行動追跡かプライバシー

か、国境封鎖の重要性、移動制限の重要性)、COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価、

＜EASS 2021 健康モジュール＞

- 健康状態：主観的健康状態*、日常活動の困難*（適度の活動、階段をのぼる)、身体的健康の問題*（ふだんの活動ができない、内容によりふだんの活動ができない)、精神的健康の問題*（ふだんの活動ができない、ふだんの活動に集中できない)、痛みによる仕事の困難*、精神的健康*（おちついた気分、活力にあふれる、おちこんだ気分)、健康問題による人づきあいの困難*、絶望感、慢性的な病気の有無、慢性的な病気の種類（高血圧、糖尿病、心血管疾患、呼吸器疾患など)、身長、体重

*2009 年に認定 NPO 法人健康医療評価研究機構が開発した「SF 健康調査票 SF-12v2™」をライセンス契約のうえ使用している。

- 視力問題：近視、メガネやコンタクトレンズの着用
- 健康行動：喫煙頻度、飲酒頻度、運動頻度、健康診断の受診経験
- 身体活動：平日に歩いている時間、中等度以上の身体活動時間、平日に座っている時間
- 睡眠状況：平日の実際の睡眠時間、睡眠の質
- 医療の受診経験・医療保険：健康診断の受診経験、医師の診断を受けた頻度、医師の診断を控えた経験、医師の診断を控えた理由（待ち時間が長い、費用がかかる、病院が近くない、どの病院に行ったらよいかわからない、交通手段がない、病院に行くのは好きではない、忙しくて時間がない、病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した、保険が使えない、新型コロナウイルスに感染したくない)
- 医療不安（必要な時に受けられない、医療費を払えない)、東洋医療の経験（鍼・灸、漢方薬、指圧・マッサージ)、加入している医療保険の種類
- 健康への意識：身体の痛みが無いこと、心のやすらぎがあること、家庭内の役割を果たせること、職場や社会での役割を果たせること
- 介護：ケアが必要な家族の有無、回答者が家族の主な介護者
- 加齢への不安：自分で自分のことができなくなる、自分のことを他の人に決めてもらう、経済的に依存する
- 新型コロナウイルス感染への不安
- 感染リスクの可能性
- ソーシャルサポート・信頼：心配事を聞いてくれた人の有無、心配事を聞いてくれた人、他人への信頼感
- 近隣状況：運動に適している、新鮮な果物や野菜が手に入る、公共施設が整っている、安心して生活できる、互いに気にかけている、手助けしてくれる

このほか、対象者や配偶者、対象者の両親の基本属性に関する各国・地域共通の変数（Standard Background Variables）として、以下のものを尋ねている。

- 対象者について：性別、年齢、婚姻状態、宗教、階層帰属意識、市郡規模、居住地域、幸福感、教育年数・在学の有無、就労状況（従業上の地位、フルタイム／パートタイムの別、就労時間、非就労の場合の理由、職種、正規／非正規の別、公共／民間の別)、収入（主な仕事からの収入・主な仕事以外からの収入、世帯収入、主観的な世帯収入の水準)、世帯人数、同居家族、子どもの数
- 配偶者について：年齢、教育年数・在学の有無、就労状況（従業上の地位、フルタイム／パートタイムの別、就労時間、非就労の場合の理由、職種、正規／非正規の別、公共／民間の別)、収入（主な仕事からの収入・主な仕事以外からの収入)、健康状態
- 両親について：教育年数
-

岩井 紀子

[参考文献]

埴淵知哉, 2009,「EASS 2020 Health Module の作成」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.16: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[19]』pp.51-62.

吉野智美・岩井紀子, 2021,「EASS 2010 Health Module の作成－JGSS によるプリテストの結果を中心に－」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[9]』pp.211-242.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000,『日本版 General Social Surveys（JGSS）第１回予備調査基礎集計表・コードブック』.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001,『日本版 General Social Surveys（JGSS）第２回予備調査基礎集計表・コードブック』.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002,『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 19 集, 東京大学社会科学研究所.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003,『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 21 集, 東京大学社会科学研究所.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2006』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009,『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2008』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010,『East Asian Social Survey: EASS 2008 Culture Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2010』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2010』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012,『East Asian Social Survey: EASS 2010 Health Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2013,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2012』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2014,『East Asian Social Survey: EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2016,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2015』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院 教育学研究科 教育社会学講座編, 2017,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2016』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2019,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2017』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2019,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2017G』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2019,『East Asian Social Survey: EASS 2014/2015 Work Life Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2020,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2018』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2020,『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2018G』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2020,『East Asian Social Survey: EASS 2016 Family Module Codebook』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2022,『East Asian Social Survey: EASS 2018 Culture and Globalization Module Codebook』.

表 2　JGSS の中心的な設問と時事的な設問

面接調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010	JGSS-2012	JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G （留置）	JGSS-2021 （留置）
現職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副業(時間)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	+仕事の内容
初職	○	＋時期/ 求職方法	＋時期/ 求職方法	－	＋時期	＋時期	＋時期	＋時期	+時期	＋時期	＋時期	－	－
最終職	○	○	○	－	－	－	－	－	+離職理由	＋離職理由	＋離職理由	－	＋離職理由
学歴	○	○	○	○	○	+専門学校 通学	+専門学校 通学	+専門学校 通学	+専門学校 通学、卒業・ 中退年齢	+専門学校 通学・時期	+専門学校 通学・時期	○	+専門学校 通学
収入	○	○	○	○	○	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	○	+仕事以外 の収入
婚姻上の地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+結婚（再婚） 意欲・年齢	+結婚（再婚） 意欲・年齢	○	○
配偶者の職業・学歴・収入	○	○	○	○	○	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	○	○
父母の学歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
世帯構成／世帯収入	○	○	○	○	○	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	○	○
きょうだいの数(本人/配偶者)	本人のみ	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	－
政党支持	○	○	○	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	－	○
婚姻歴	○	○	○	－	－	○（留置B）	－	－	○	－	○（留置）	－	－
子の年齢・同別居	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	人数のみ	人数と末子の 年齢のみ
親の年齢・同別居	－	－	－	－	○	+義父母	○	○	○	○	+義父母	－	－
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＋20歳時の 居住地域	＋20歳時の 居住地域	－	－
居住形態	+面積	+面積	+面積	○	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○（留置）	○	○	（調査員記入）	○
社会的地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
労働組合	○	○	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	○	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	－	○
居住地域の特徴 （調査員記入）	－	－	－	○	○	○	○	○	+集合住宅、 オートロック （欠票でも）	+集合住宅、 オートロック （欠票でも）	+集合住宅、 オートロック （欠票でも）	+集合住宅、 オートロック、 （欠票でも）	+集合住宅、 オートロック、 （欠票でも）
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	高校の学科・ 進学率大学 （大学院）の専 攻分野、教育 費、住宅関連 の支出	通勤手段・時 間、休日	通勤手段・時 間、休日、自動 車の保有、働 き方の意識	親や子どもとの 居住距離・接触 頻度・連絡頻 度、教育費	勤務先と海外 との取引、15歳 時の父親と母 親の接し方な ど		通勤手段・時 間、結婚・出産 時の離職経験	高校の学科・ 進学率、大学 （大学院）の専 攻分野、学校 教育の効用 EASS 2014/2015 Work Lifeモ ジュール：通勤 時間、正社員と して就業した会 社・組織数 ISSP 2015 Work Orientation：仕 事で身につけ た経験や技能 の効用	親・義父母・子 どもとの一時的 別居理由・居 住距離・接触 頻度・連絡頻 度、高校の学 科・進学率、大 学（大学院）の 専攻分野・国 公立、教育費		非正規雇用に ついた主な理 由、通勤時間、 最高齢の同居 家族の年齢

○：設問あり、◎：設問多い、+：○に加えて、－：設問なし

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G	JGSS-2021	
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票				A票	B票
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	○	EASS	○	EASS
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○
健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	○	○	○	○	EASS	○	○	○	EASS	○	EASS	+配偶者 健康状態	EASS	EASS	+配偶者 健康状態	EASS
トラウマの経験	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	−	−	−	○
家計の状態	+家計 管理	+家計 管理	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	+家計 管理	+家計 管理	−	○	EASS
社会階層	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	○	○	○	EASS
宗教	○	○	○	○	−	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	EASS	○	EASS
性別役割分業観	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	EASS	◎	EASS	◎	○	◎	○	◎	EASS	EASS	○	○
理想の子ども数・性別	○	○	○	○	−	○	○	EASS	○	−	○	−	○	○ （人数のみ）	○	○	−	○ （性別のみ）	−
家事頻度	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	○	−	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	+配偶者 家事頻度	EASS	−	○	○
夫婦別姓	○	○	○	○	−	−	−	○	−	−	＋子ども の名字	−	−	−	○	−	−	−	−
政治についての考え方	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	EASS	○	○	−	○	○
所属集団	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○	○	○
一般的信頼感／組織への信頼	○	○	○	○	−	○	○	−	○	○	○	EASS	○	EASS	○	○	○	○	○
余暇活動	○	○	◎	◎	−	○	○	○	○	EASS	○	◎	◎	○	○	○	EASS	−	○
犯罪被害	○	○	○	○	−	−	○	−	○	○	○	−	○	○	−	−	−	−	−
飲酒／喫煙	○	○	○	○	−	−	○	−	○	−	○	EASS	○	−	○	○	−	○	○
読書頻度（本、新聞）	○	○	＋新聞名	＋新聞名	−	＋新聞名	○	○	○	○	○	○	○	○	＋ネットでの ニュース 記事	＋ネットでの ニュース 記事	−	＋ネットでの ニュース 記事	＋ネットでの ニュース 記事
情報機器の利用	○	○	○	○	−	○	◎	−	◎	○	◎	○	○	○	−	−	○	○	−
安楽死	○	○	○	○	−	○	○	○	○	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−
外国人	○	○	○	◎	−	○	+国別 好感度	−	○	EASS	○	−	○	EASS	+外国人 労働者の 受け入れ	○	EASS	○	−
環境問題	○	○	◎	◎	○	−	○	−	◎	○	○	EASS	◎	◎	◎	◎	−	○	−
高齢化／社会保障	○	○	○	○	−	○	○	EASS	○	−	○	EASS	○	○	◎	◎	−	○	○
居住年数／永住意識	−	−	−	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+地域の 抱える 問題	○	−	+地域の 抱える 問題	+地域の 抱える 問題

○：設問あり、◎：設問多い、+：○に加えて、－：設問なし、EASS：EASSモジュール

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G	JGSS-2021	
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票			A票	B票
時事的な設問群	墓、ペット、援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、死後の世界、暴行被害、体罰、道徳／倫理観（ポルノ,婚外関係）	JGSS-2000に加えて、介護経験（本人/配偶者）、サッカーくじ［少年法の改正は除いた］	環境と消費行動、アレルギー性疾患、ボランティア活動、英語学習、学歴観、学校教育から得たもの、ギャンブル、カジノの合法化	アレルギー性疾患、消費行動、英語学習、いじめ、少年法、カジノの合法化、代理母、女性知事と相撲	社会的ネットワーク（悩み事・政治・仕事について相談する相手とその属性）、政治についての考え	アレルギー性疾患、ボランティア活動、寄付・募金、クレジットカード、消費者金融、カウンセリング、少年少女による凶悪犯罪、遺伝子組換え食品、自動車保有・利用、高齢期の過ごし方	A票	B票	エコ・エネルギー利用、国産食品の購入		経済的不安感、耽溺行動（飲酒、喫煙、ギャンブル、ネットゲーム）		メンタルヘルス、hopelessness、好きな色・時代の色、経済的不安感、自助志向、今後の政権、消費税率 東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、ボランティア参加意思、寄付・募金、生活水準と電力消費、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、震災の仕事・職場への影響、自然災害時の地域の対応力、震災関連寄付・支援活動、震災後の会話機会、震災復興のための増税		移動手段、hopelessness、地域の存続、経済的不安感、暴言被害、要介護の家族、年金給付と負担のバランス、ギャンブル、カジノの合法化、消費税率、墓、先祖の墓の継承 EASS 2014/2015 Work Life モジュール：勤務先の雇用慣行（人事の決定への従業員の影響、成果主義）、職場での男女の均等待遇（就職、給与、昇進、雇用の安定）、教育と職務の適合性、能力と職務の適合性、15歳時の世帯収入レベル所得格差の拡大、起業志向、金融資産、親族からの経済的援助・相続、メンタルヘルス ISSP 2015 Work Orientation：雇用環境についての認識（安定、高収入、昇進の可能性、社会に有益、仕事に誇り）、職場での暴言被害、強い労働組合の必要性、仕事と家庭の干渉、技能向上の教育・訓練・研修の受講 EASS 2014/2015関連「ワークライフバランスと女性の就業」：勤務先の雇用慣行（経営者の家族・親族の影響力、家族の事情への配慮、女性の管理職の働きやすさ、職場の人員不足、連続休暇のとりやすさ）、雇用環境についての認識（勤務時間の柔軟さ、仕事量のコントロール、やりがい、仕事と家庭の両立、能力の活用、分担量、退職希望年）、正社員に占める女性の割合、非正規社員の割合、夫婦間の家計管理 東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、自然災害発生時の地域の対応力 地域の抱える問題：高齢化、買い物の不便さ、空き家の増加、犯罪の増加、人口の流出、公共交通機関の不便さ、耕作放棄地の増加、鳥や獣による被害、山林の維持管理 外国人：外国人増加が地域にもたらす影響、外国人の同僚の有無、外国人の受け入れ（製造、建設、農林漁、介護・看護、高度専門）	EASS 2016 モジュール関連：結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養責任意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助、介護経験・対象者（本人・配偶者）、接触頻度の高い子ども、結婚決定への親の影響力 東日本大震災関連：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、原子力政策、災害発生可能性・不安、放射性物質による食品汚染不安、災害時の地域協力 ペット関連：ペットの保有、ペットの医療費、ペットの世話 同性婚の賛否、Gritスケール（J17のみ）、墓・祖先の墓の継承（J18のみ）、近隣状況、結婚歴	EASS 2018 Cultureモジュール：文化接触、儀礼、価値観、海外経験・知人、英語能力、社会的距離感、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバリゼーション、ナショナリズム、国際問題 墓・祖先の墓の継承、Gritスケール	Covid-19関連設問：感染への不安、感染の責任、感染症対策への意見、政府の対応への評価 近隣関係、悩み相談相手、政治への関心、社会への貢献、時間・心のゆとり、メンタルヘルス、孤独感、Hopelessness	
							中学3年時になりたかった職業、外国語学習、開発途上国への援助、憲法第9条改正、女性・女系天皇、防犯意識・行動、監視社会、自殺、地域での清掃・リサイクル・見守り活動	EASS 2006 Familyモジュール：結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助 アレルギー性疾患、離婚後の親子関係、介護経験・対象者、食の外部化、ペットの死	知事任期・支持率、経済的不安感、しつけ、父親・母親の存在感/道徳意識、暴行・暴言被害経験、体罰、少年法、死刑制度、受診頻度、通院阻害要因、健康診断、医療不安、救急医療体制、地球環境と経済成長・利便性、ボイコット・バイコット行動	EASS 2008 Cultureモジュール：文化接触、儀礼、友人に望む資質、価値観、好きな音楽、海外経験・知人、英語能力、社会的距離観、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバリゼーション、ナショナリズム、国際問題 日本製品の購入、カジノ合法化、性規範（婚外交渉、同性間）、ボルノの規制	英語教育・能力・学習、エコ・エネルギー利用、ボイコット・バイコット行動、マニフェスト（子ども手当、高校無償化、高速道路無料化、CO^2排出量削減、最低賃金引き上げ、同一労働同一賃金、配偶者控除廃止）、消費税率、臓器提供の意思、移植を受けたいか、裁判所の判決、死刑制度、裁判員制度、墓、町内会活動	EASS 2010 Healthモジュール：SF-12v2™ Health Survey、Hopelessness、慢性的な病気の有無と種類、身長・体重、体重・体型管理、耽溺行動、運動習慣、健康診断、受診頻度、通院阻害要因、医療保険、東洋医学、医療不安、相談相手、近隣環境、環境汚染、時間・心のゆとり、孤独感、リラクゼーション行動、生活の享受、インフルエンザ、要介護の家族、加齢への不安 アレルギー性疾患、旅行（国内・海外）の頻度と希望、旅行の目的、職場の連帯感	教養・実務講座の受講経験、学齢期の習い事・地域活動、異世代との会話機会、友人ネットワーク、TPPへの参加、女性・長子天皇、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、カジノの合法化、社会的承認、相談相手、町内会・自治会活動、ボランティア活動、死刑制度 東日本大震災関連設問―政府の対応への評価	EASS 2012 Network Social Capital モジュール：組織参加（頻度、上下関係、異質性）、接触ネットワーク（規模、垂直的・水平的異質性）、position generator、求職ネットワーク、会食ネットワーク、援助を求める相手（悩み、健康、家事・育児・介護、金銭、緊急・災害時）、近隣ネットワーク、意見交換（頻度、上下関係）、ボランティア活動、災害時の地域効力感、政治・政策活動、選挙運動、政治的効力感、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、職業集団への信頼感、人生に対する自己効力感、公開株の保有			Covid-19関連設問：感染予防行動、ワクチン接種意向、感染拡大による経験、控えたこと、仕事の変化、仕事・職場への影響、感染対策への意見、政府対応の評価、情報を知るメディア 東日本大震災関連設問：発生可能性のある災害、不安感、災害時の地域の対応力、被災経験の種類・期間・時期、避難場所、避難の準備状況、復興政策の定期的な見直し、エコ商品の利用、節電行動、原子力政策への意見、放射性物質による食品汚染不安 体罰の賛否	EASS 2020 Healthモジュール：SF-12v2TM Health Survey、慢性的な病気の有無と種類、近視、メガネ・コンタクトレンズの着用、身長・体重、身体活動（歩行時間、運動時間、座っている時間、睡眠時間、睡眠の質）、健康診断、受診頻度、通院阻害要因、医療保険、医療不安、リラクゼーション行動、東洋医学、健康への意識、要介護の家族、加齢への不安、近隣環境 耽溺行動

○：設問あり、◎：設問多い、+：○に加えて、－：設問なし

Ⅰ.3　調査の方法

JGSS-2021H　の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問ルール・訪問記録、実査の観点に分けて、以下にまとめる。

1. 調査設計

実査時期　：2021 年 1～2 月
母集団　　：2020 年 12 月 31 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人
　　（昭和 6 年 1 月 1 日～平成 12 年 12 月 31 日までに生まれた男女）
標本数　　：6,600
地点数　　：440 地点
抽出方法　：層化 2 段無作為抽出法
抽出台帳　：住民基本台帳
抽出間隔　：抽出台帳の並び順が地番順の場合
　　20 歳以上人口が 4 万人以上の区と市では、21
　　20 歳以上人口が 4 万人未満の市郡では、11
　　抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

2. 層化の方法

全国の市町村を 6 つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって 4 つに区分した。計 24 層となる。JGSS-2005 までの市郡規模は、「大都市（東京都区部と政令指定都市）」、「その他の市」、「郡部」の 3 区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006 以降は「その他の市」を「人口 20 万人以上の市」と「人口 20 万人未満の市」の 2 つに分けている。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

〈地域ブロック〉
1）北海道・東北　：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
2）関　東　　：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
3）中　部　　：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
4）近　畿　　：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
5）中国・四国　：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
6）九　州　　：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

〈市郡規模〉
1）大都市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市
2）人口 20 万人以上の市
3）人口 20 万人未満の市
4）郡　部

3. 標本数の配分

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 6,600 の標本を比例配分した。2019 年 1 月 1 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団として配分している。

4. 地点の抽出方法

1）平成 27 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。

2）調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。

3）各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。

4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別(24 層)の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

表 1　各層の母集団人口・標本数・地点数

	大都市	人口 20 万以上の市	人口 20 万未満の市	郡部	計
北海道・東北	2,468,575 161(11)	2,355,418 153(10)	4,665,617 303(20)	2,077,335 135(9)	11,566,945 752(50)
関東	14,108,940 917(62)	8,049,777 523(35)	11,014,175 716(48)	1,530,558 100(7)	34,703,450 2,256(152)
中部	3,645,500 237(16)	4,059,348 264(17)	9,011,123 586(39)	1,694,086 110(7)	18,410,057 1,197(79)
近畿	5,148,893 335(22)	5,058,930 329(22)	5,328,191 347(23)	921,240 60(4)	16,457,254 1,071(71)
中国・四国	1,496,269 97(7)	2,523,018 164(11)	3,981,533 259(17)	948,011 62(4)	8,948,831 582(39)
九州	2,553,152 166(11)	2,389,377 155(10)	4,900,867 319(21)	1,567,185 102(7)	11,410,581 742(49)
計　母集団 計　標本数（地点数）	29,421,329 1,913(129)	24,435,868 1,588(105)	38,901,506 2,530(168)	8,738,415 569(38)	101,497,118 6,600(440)

市町村の合併状況は 2021 年 2 月 1 日時点まで反映

表 2　各層の母集団人口の構成割合（全体%）

	大都市	人口 20 万以上の市	人口 20 万未満の市	郡部	計
北海道・東北	2.4	2.3	4.6	2.0	11.4
関東	13.9	7.9	10.9	1.5	34.2
中部	3.6	4.0	8.9	1.7	18.1
近畿	5.1	5.0	5.2	0.9	16.2
中国・四国	1.5	2.5	3.9	0.9	8.8
九州	2.5	2.4	4.8	1.5	11.2
計	29.0	24.1	38.3	8.6	100.0

5. 対象者の抽出方法

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（14～16 名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

1）地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

①指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに抽出して対象者名簿に記載されている「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和 6 年 1 月 1 日～平成 12 年 12 月 31 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21 または 11）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。

②第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

③指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

④抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

2）50 音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

①指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ)」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字)」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和 6 年 1 月 1 日～平成 12 年 12 月 31 日生まれで、指定地域に居住）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。

②第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

③指定の町・丁目・字（番地範囲）を含む台帳の名字「ワ」まで抽出しても、指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初の「ア」に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

④抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注 1）同一世帯内で 2 人目が抽出されそうになった場合には、2 人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

3）男女別の台帳の場合

①スタート番号が偶数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 7 名(対象番号 09～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

②スタート番号が奇数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)
対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)
対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

③抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または 50 音順の方法に従う。

④男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

6. 2種類の留置調査票の割り振り方

各対象者に対して、A 票（桃色）または B 票（青色）のどちらかを用いる。A 票と B 票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、以下のような手続きを用いた。地点番号順に数えて、

①奇数目の地点の場合は、対象者番号順に、A、B、A、B、…で振り分ける。

②偶数目の地点の場合は、対象者番号順に、B、A、B、A、…で振り分ける。

各地点における留置調査票の使用順序は、地点ごとの対象者名簿にあらかじめ印刷している。

7. 対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方

JGSS-2021H では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

1）謝礼の渡し方

謝礼はクオカード 2 枚を用意した。COVID-19 の状況を考慮して、ペンセットは渡していない。クオカードは 300 円のものと 700 円のものを 1 枚ずつ用意しており、300 円のものは依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡しした。700 円のものは調査に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらにクオカード（700 円分）をご用意しております」と記している。

2）依頼状

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトにした。謝礼の先渡しが反発を招かないように、文面を丁寧なものにしている。

3）パンフレット

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレット（A3 判用紙 2 枚折り両面）を同封した。JGSS-2021H では、新型コロナウイルスの感染拡大により調査員の訪問を断る対象者が増えると考えられ、依頼状には「調査員はマスクを着用するなど、ウイルス感染予防に取り組みながら稼働いたします。」の文章を追加した。

4）封筒

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられることがないように、A4 判用紙の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。今回の調査では、新型コロナウイルス感染症第 2 回緊急事態宣言が発出されたため、封筒の宛名の下に

「このような社会状況のなか、本封書の送付で心中をお騒がせし、誠に申し訳ございません。
調査へのご協力をご検討いただける場合は、同封の文書にお目通しいただきたく存じます。
［調査員滞在時間は数分程度、その場で調査票をお渡しし、後日回答済調査票を受取に伺います］
調査にご協力いただけない場合は、後日訪問予定の担当調査員にその旨をお伝えいただくか、
中央調査社（TEL：0120-48-5351）までご一報ください。」

と印刷したシールを貼った（JGSS-2022H では、あらかじめ封筒の表に印刷した）。COVID-19 の感染を恐れて、封筒を開けることを避けたいという対象がいると思われたためである。

8. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2005 では、調査員に対して、1）対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2）平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めていた。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったので、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 以降では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。JGSS-2021H では、COVID-19 の状況を考慮して、「3 日以上にわたって訪問する」にルールを変更した。

なお、今回の調査では、対象者が郵送での返送を希望する場合にクラフトの返送用封筒を渡すこととした。郵送での返送を希望されたケース数は 321 であり、標本数の 4.9%を占める。そのうち、有効回収数は 229 ケースであった。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めてきたが、JGSS-2017G と JGSS-2018G および JGSS-2021H では面接調査を行なわないため、調査員ごとに回収状況記入票を作成し、そこに回収状況のみ記入することとした。

さらに、調査票が回収できなかったケース（調査不能のケース）については、回収状況記入票に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006 以降では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

9. 実査

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、一般社団法人中央調査社に委託した。

宍戸 邦章・岩井 紀子

Ⅰ.4　回収率ならびに欠票の分析

1. 回収率

1)回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率（\%）} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

2)JGSS-2021H の回収率

JGSS-2021H の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）：　A 票 3,300 ケース
　　B 票 3,300 ケース

有効回収数：　A 票 1,722 ケース
　　B 票 1,800 ケース

回収率：　A 票 57.5%
　　1,722/(3,300-住所不明 37-転居 111-長期不在 50-病気 45-入院 38-死亡 9
　　-その他 13)=1,722/2,997=57.5%

　　B 票 59.2%
　　1,800/(3,300-住所不明 24-転居 103-長期不在 28-病気 53-入院 39-死亡 3
　　-その他 11)=1,800/2,997=59.2%

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

3)AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research（AAPOR）が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表 1 に整理しておく。

コードの定義は、2016 年改訂の *Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys. 9th edition*（AAPOR, 2016, http://www.aapor.org/）から「個別訪問調査（In-Person Household Surveys）」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に知ることができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。また、JGSS-2016 のコードブックでは 2011 年版の 7th edition を参照しており、今回参照した 9th edition とは版が異なるが、ここで行っている集計の範囲では改訂の影響はない。

表 1　AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード [1]	JGSS 欠票理由コードとの対応 [2]	A 票	B 票
1.0　Interview: 回収	88	1722	1800
1.1　Complete: 完全回収【I】	88	1722	1800
1.2　Partial: 部分回収【P】	部分回収の理由による	－	－
2.0　Eligible, non-interview: 適格だが非回収		1540	1475
2.1　Refusal and break-off: 拒否・途中で中止【R】	5	957	930
2.2　Non-contact: 接触不能【NC】	2, 3, 4	479	440
2.3　Other: その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9 (抽出間違い以外)	104	105
3.0　Unknown eligibility, non-interview: 適格か不明で非回収	1	37	24
3.1　Unknown if housing unit: 住宅かどうか不明【UH】	1	37	24
3.2　Housing unit/Unknown if eligible respondent: 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	－	－	－
3.9　Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	－	－	－
4.0　Not eligible: 不適格	9 のうち抽出間違い	1	1
4.1　Out of sample: 回答者が標本の範囲外	9 のうち抽出間違い	1	1
4.5　Not a housing unit: 住宅ではない	－	－	－
4.6　Vacant housing unit: 居住者のいない住宅	－	－	－
4.7　No eligible respondent: 適格者のいない住宅	－	－	－
4.8　Quota filled: 割り当て量を越える	－	－	－

注 1）AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2）JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1＝住所不明、2＝転居、3＝長期不在、4＝一時不在、5＝拒否、6＝病気・ケガ・聴力/言語障害、7＝入院中・入所中、8＝死亡、9＝その他、88＝非該当（回収票）。「－」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

AAPOR 標準定義では、回収率（response rate: RR）の算出方法を RR1～RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。

表 2　AAPOR 標準定義による各種の回収率

RR1 = I/((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))	52.2%	54.6%
RR2 = (I+P)/((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))	52.2%	54.6%
RR3 = I/((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))	52.2%	54.6%
RR4 = (I+P)/((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))	52.2%	54.6%
RR5 = I/((I+P) + (R+NC+O))	52.8%	55.0%
RR6 = (I+P)/((I+P) + (R+NC+O))	52.8%	55.0%

注 1）I、P、R、NC、O、UH、UO の記号は表 1 の分類コードに対応する。

注 2）e は、「適格（eligible）かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、（分類コードが 1.0、2.0 のケース数）／（分類コードが 1.0、2.0、4.0 のケース数）が推定値となる。JGSS では、99%以上が適格と推定されるので、ほぼ RR1＝RR3、RR2＝RR4 となる。

2. データの偏りと欠票の分析

1）データの偏り

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。JGSS-2008 以降は、年齢層に加えて性別の分布を確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計（2020 年 10 月 1 日現在）にもとづく。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表 3 のようになる。

表 3　期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢	推計人口（千人）	推計人口比率	抽出標本サイズ	期待標本サイズ	残差	回答者数	期待回答者数	残差
男性	20-29 歳	6054	0.06019	356	397.12	-2.06	150	211.98	-4.26
	30-39 歳	6921	0.06881	434	453.99	-0.94	215	242.34	-1.76
	40-49 歳	9119	0.09066	609	598.17	0.44	334	319.30	0.82
	50-59 歳	8241	0.08193	538	540.58	-0.11	282	288.56	-0.39
	60-69 歳	7608	0.07564	501	499.06	0.09	280	266.40	0.83
	70-79 歳	7446	0.07403	539	488.43	2.29	336	260.72	4.66
	80-89 歳	3545	0.03524	259	232.54	1.74	128	124.13	0.35
女性	20-29 歳	5814	0.05780	351	381.38	-1.56	165	203.58	-2.70
	30-39 歳	6672	0.06633	400	437.66	-1.80	236	233.62	0.16
	40-49 歳	8821	0.08770	564	578.62	-0.61	326	308.87	0.97
	50-59 歳	8136	0.08089	496	533.69	-1.63	298	284.88	0.78
	60-69 歳	7913	0.07867	530	519.06	0.48	292	277.07	0.90
	70-79 歳	8726	0.08675	664	572.39	3.83	335	305.54	1.69
	80-89 歳	5569	0.05537	357	365.31	-0.43	145	195.00	-3.58
合計		100585	1.00000	6598	6598.00		3522	3522.00	

注）標本サイズが 6,598 と 6,600 よりも 2 少ないのは、抽出の間違いにより欠票となった年齢対象外の 2 ケース（10 歳未満と 90 歳代）を除いたためである。

抽出標本の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルール（参考：日本規格協会, 1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、70 代の女性が多い。判定の結果は調査年度ごとにやや異なるが、その違いは標本サイズの違いにも依存する。

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

偏りの傾向は、20～30 代の若年層の回答者が少なく、60～70 代の回答者が多い傾向がみられる。これらの偏りの傾向は、調査年度ごとにやや異なるが、若年者の回収が少ない点ではこれまでの JGSS の傾向と同様である。とくに、3 シグマルールに従うならば、70 代男性の回答者が多く、20 代男性と 80 代女性の回答者が少ない。また、20 代女性の回答者はやや少ない。

2)欠票の性別・年齢層別の分布

JGSS-2021H では、留置調査票が回収できなかった場合を欠票とし、回収状況記入票に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、3,078 である（計画標本サイズ 6,600－回収票数 3,522）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表 4 のとおりである。全体的な傾向は、これまでの JGSS と同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造にも依存している。

表 4　欠票の性別・年齢層別分布　（括弧内は%）

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	206 (13.6)	219 (14.5)	275 (18.2)	256 (16.9)	221 (14.6)	203 (13.4)	131 (8.7)	1511
女性	186 (11.9)	164 (10.5)	238 (15.2)	198 (12.7)	238 (15.2)	329 (21.0)	212 (13.5)	1565
合計	392 (12.7)	383 (12.5)	513 (16.7)	454 (14.8)	459 (14.9)	532 (17.3)	343 (11.2)	3076

注）抽出の間違いにより欠票となった年齢対象外の 2 ケースを除いている。

3)欠票理由の分布

性別、年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである（JGSS-2006 までのコードブックとは項目の並び順が異なるので注意）。拒否を理由とする欠票が 5 割程度を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じである。

表 5　欠票理由の年齢層別分布（男性）　単位：ケース数（%）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・聴力／言語障害	入院中・入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	9 (4.4)	39 (18.9)	10 (4.9)	59 (28.6)	83 (40.3)	4 (1.9)			2 (1.0)	206
30-39 歳	6 (2.7)	22 (10.0)	8 (3.7)	82 (37.4)	95 (43.4)	3 (1.4)	1 (0.5)		2 (0.9)	219
40-49 歳	5 (1.8)	26 (9.5)	4 (1.5)	71 (25.8)	160 (58.2)	2 (0.7)	2 (0.7)	2 (0.7)	3 (1.1)	275
50-59 歳	5 (2.0)	7 (2.7)	9 (3.5)	59 (23.0)	171 (66.8)	1 (0.4)			4 (1.6)	256
60-69 歳	4 (1.8)	13 (5.9)	5 (2.3)	52 (23.5)	140 (63.3)	2 (0.9)	1 (0.5)	1 (0.5)	3 (1.4)	221
70-79 歳	5 (2.5)	6 (3.0)	4 (2.0)	13 (6.4)	149 (73.4)	12 (5.9)	10 (4.9)	3 (1.5)	1 (0.5)	203
80-89 歳	1 (0.8)	2 (1.5)	4 (3.1)	15 (11.5)	75 (57.3)	10 (7.6)	20 (15.3)	3 (2.3)	1 (0.8)	131
合計	35 (2.3)	115 (7.6)	44 (2.9)	351 (23.2)	873 (57.8)	34 (2.3)	34 (2.3)	9 (0.6)	16 (1.1)	1511

表 6　欠票理由の年齢層別分布（女性）　　単位：ケース数（%）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・聴力／言語障害	入院中・入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	5 (2.7)	31 (16.7)	6 (3.2)	68 (36.6)	74 (39.8)	2 (1.1)				186
30-39 歳	5 (3.0)	12 (7.3)	6 (3.7)	50 (30.5)	88 (53.7)	1 (0.6)	2 (1.2)			164
40-49 歳	5 (2.1)	18 (7.6)	5 (2.1)	65 (27.3)	142 (59.7)	2 (0.8)			1 (0.4)	238
50-59 歳	2 (1.0)	9 (4.5)	1 (0.5)	38 (19.2)	145 (73.2)	3 (1.5)				198
60-69 歳	3 (1.3)	11 (4.6)	5 (2.1)	16 (6.7)	194 (81.5)	5 (2.1)	4 (1.7)			238
70-79 歳	4 (1.2)	6 (1.8)	7 (2.1)	21 (6.4)	253 (76.9)	23 (7.0)	13 (4.0)	1 (0.3)	1 (0.3)	329
80-89 歳	2 (0.9)	12 (5.7)	4 (1.9)	18 (8.5)	118 (55.7)	28 (13.2)	24 (11.3)	2 (0.9)	4 (1.9)	212
合計	26 (1.7)	99 (6.3)	34 (2.2)	276 (17.6)	1014 (64.8)	64 (4.1)	43 (2.7)	3 (0.2)	6 (0.4)	1565

孟 哲男

Ⅰ.5　データセットの重み付けについて

この節では、JGSS-2021H データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

１．JGSS-2021H の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人前後の調査対象を無作為に抽出している（「Ⅰ.３調査の方法」参照）。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる[1)]。

一方、官公庁が標本調査により実施する基幹統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りがないことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている[2)]。

補助情報を用いる推定法では、乗率＝「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注１）ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

２）清水誠, 2001,「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

２　変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2021H データセットには、推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票１枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2020 年 10 月 1 日現在推計人口」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

ウエイト＝「基準人口」／「JGSS-2021H 回答者数」

表１　男女、年齢階級別ウエイト計算表

		人口（千人）	回答者数	ウエイト
男	20-29	6,054	150	40,360
	30-39	6,921	215	32,191
	40-49	9,119	334	27,302
	50-59	8,241	282	29,223
	60-69	7,608	280	27,171
	70-79	7,446	336	22,161
	80-89	3,545	128	27,695
女	20-29	5,814	165	35,236
	30-39	6,672	236	28,271
	40-49	8,821	326	27,058
	50-59	8,136	298	27,302
	60-69	7,913	292	27,099
	70-79	8,726	335	26,048
	80-89	5,569	145	38,407

算出されたウエイトの値を男女別で比較すると、20 代から 60 代までは男性が高く、70 代以上では女性が高い。年齢で比較すると、ウエイトの値は 20 代で高く、30 代から 70 代まで値が減少していき、80 代で再び高くなっている。ウエイトの最大値は 20 代男性の 40,360、最小値は 70 代男性の 22,161 である。最大値は最小値の約 1.8 倍となっており、このウエイトによる補正の効果がうかがわれる。

このようなウエイト値の差は，調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、とくに男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、80 代になると再び低下することを意味している。

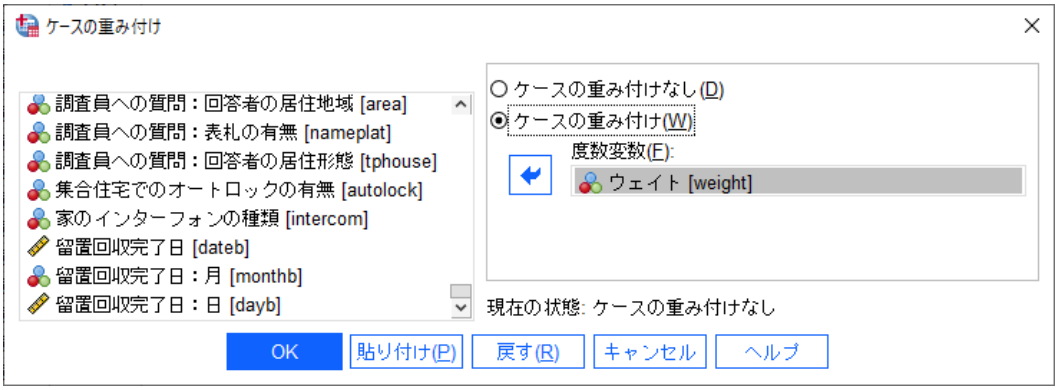
3　SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

（1）メニューバーから「データ（D)」→「ケースの重み付け（W)」を選択

（2）「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け（W)」を選択、「度数変数（F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」

（3）通常どおりに集計・解析



4　推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2021H の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表２のとおりである。表には参考として、JGSS-2021H と同じころに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

（1）男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する)。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。

（2）配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査を上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。

（3）就業状態の構成比は、ウエイトによる補正の効果が概して小さい。いずれの場合も、ウエイトを用いた集計結果とウエイトを用いない修正結果がほとんど変化しない。性別や年齢に偏りなく、様々な就業状態の対象者が回答していることを示唆する。

（4）ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる意識項目、例えば、生活の程度に対する意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値にはほとんど差が生じていない。

表２　推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較（%）

	単純集計 1)	ウエイト付集計 2)	参考値	
男女【SEXA】				
男	49.0	48.6	48.6	2020 年 10 月現在 推計人口 3)
女	51.0	51.4	51.4	（総務省）
年齢【AGEB】				
20 ～ 29 歳	8.9	11.8	11.8	2020 年 10 月現在 推計人口 3)
30 ～ 39	12.8	13.5	13.5	（総務省）
40 ～ 49	18.7	17.8	17.8	
50 ～ 59	16.5	16.3	16.3	
60 ～ 69	16.2	15.4	15.4	
70 ～ 79	19.1	16.1	16.1	
80 ～ 89	7.8	9.1	9.1	
配偶関係【DOMARRY】				
有配偶	67.3	65.0	62.0	2021 年 1 月 労働力調査 4)
離死別	14.1	14.2	14.7	（総務省）
未婚	18.6	20.9	23.3	
就業状態 5) 【XJOB1WK】, 【TP5UNEMP】				
従業	63.4	64.1	60.0	2021 年 1 月 労働力調査 6)
休業	2.9	2.9	2.3	（総務省）
失業	1.7	1.7	1.8	
家事	12.6	12.6	12.5	
学生	0.9	1.3	1.5	
その他	18.6	17.5	21.9	
生活の程度【OP5LEVK】				
上	0.8	0.8	1.2	2021 年 9 月 国民生活に関する
中の上	11.3	11.6	13.5	世論調査 7)（内閣府）
中の中	46.9	46.8	49.4	
中の下	32.6	32.5	27.5	
下	8.4	8.3	8.3	

1）単純集計は、ウエイトを用いないで集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。

2）ウエイト付集計は、ウエイトで重み付けを行って集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。

3）推計人口の集計は、20～89 歳の日本人についてである。

4）労働力調査の集計は、20 歳以上の者についてであり、日本人以外や 90 歳以上の者も含む（15 歳以上人口の集計値から 15～19 歳を除いて算出）。配偶関係が不詳の者は集計対象から除いている。

5）就業状態の単純集計、ウエイト付集計は、従業（XJOB1WK=1）、休業（XJOB1WK=2）、失業（TP5UNEMP=1）、家事（TP5UNEMP=4）、学生（TP5UNEMP=3）、その他（TP5UNEMP=2, 5, 6, 9）と集計している。

6）労働力調査の集計は 4）と同様である。集計の定義は、従業（就業者中の従業者）、休業（就業者中の休業者）、失業（完全失業者）、家事（非労働力人口中の家事）、学生（非労働力人口中の通学）、その他（非労働力人口中のその他）であり、就業状態不詳の者は集計対象から除いている。

7）国民生活に関する世論調査の集計は、20 歳以上の日本人についてであり、90 歳以上の者も含み、「わからない」「無回答」は集計対象から除いている。また、質問文（お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。（○は１つ））や調査方法（郵送）が、JGSS とは異なる。

付　ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000～2005 まで、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分)」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、東京大学社会学研究所助教授（当時）の松井博氏を中心に、その計算方法について全面的な見直しを行った。

現在用いられているウエイトの算出方法は、この見直しを行った後のものである。また、JGSS-2005 のウエイトについても、新しい方法で計算した値に改定し、改訂値は修正データとして JGSS のホームページから配布している。改訂の経緯についての詳細は、以下のとおりである。

（1）市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。

（2）また、これまでの区分の仕方だと、標本数が０又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。

（3）このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの２つの区分を除き、「男女×年齢階級※」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。

※年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の２つに区分することにした。その理由は、この２つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、２つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。

（4）JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それを用いて集計を行ってみたところ、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。

（5）以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女（２区分）×年齢階級（７区分)」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。

（6）同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

金 政芸

Ⅰ.6　データの公開状況と入手方法

1. データセットの公開方針

2023 年 3 月現在、公開している JGSS のデータセットは、2 回の予備調査（第 1 回予備調査，第 2 回予備調査）、12 回の本調査（JGSS-2000，2001，2002，2003，2005，2006，2008，2010，2012，2015，2017/2018）、5 回の特別調査（JGSS-2009LCS，JGSS-2013LCS wave2，JGSS-2016，JGSS-2017G/2018G，JGSS-2019LCS wave3）のデータと、JGSS 累積データ 2000-2003 である。なお、ほぼ同一の調査票を用いて実施した JGSS-2017 と JGSS-2018、JGSS-2017G と JGSS-2018G は、統合データとして公開している。

JGSS-2000 から JGSS-2017/2018 までの本調査のデータと JGSS-2017G/2018G のデータは、国内では、本センターが日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」の拠点機関の一つとして、日本学術振興会と国立情報学研究所と共同で構築して運用している JGSS データダウンロードシステム（JGSSDDS）で公開している。海外では、アメリカの ICPSR（Inter-university Consortium for Political and Social Research）とドイツの GESIS（German Social Science Infrastructure Services）に寄託している。ただし、GESIS のシステムは、2020 年に外部からアタックを受け、約 4 か月間システムを停止し、その後、データ利用者についての情報を提供しない方針に変更したため、JGSS-2015 以降のデータ寄託を見合わせている。ICPSR には、これまでと同様にデータを寄託しており、公開準備中の JGSS-2017/2018 統合データを除くデータを入手できる。

1999 年に実施した 2 回の予備調査、JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCS wave2、JGSS-2016、JGSS-2019LCS wave3 のデータと、JGSS-2012 以降の地域ブロックデータ、JGSS-2008 以降の都道府県データ、EASS 2006/2016 統合データ、EASS 2008/2018 統合データは、JGSSDDS だけで公開している。

最新の公開状況は、http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_top.html を参照すること。

2. データセットの内容

データセットには、SPSS 形式のデータ・ファイルおよび ASCII 形式（txt または csv ファイル）のデータ・ファイルが含まれている。分析に必要な関連資料（『基礎集計表・コードブック』の PDF ファイルなど）も含まれている。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じであるが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開している。例えば、ICPSR で公開されているものには、STATA や SAS などのデータ読み取りフォーマットが含まれている。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっている。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが 1 つのデータセットに含まれている。当初は日本語のみのデータセットを作成していたが、現在は同時に英語版のデータを作成している。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行ったので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれている（予備調査のデータを除く）。

3. データセット利用者の留意事項

JGSS では、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けている。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがあるので、原則として、各アーカイブの指示に従うこと。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができる。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能である。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はないので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができる（ただし、JGSSDDS でデータを入手した場合は、年度末に利用報告とともに継続意思を伝える必要がある）。教育目的でデータセットを入手した場合は、その使用期限は 1 年間である。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行う。これは、データに触れる学生自身が、利用申請の際の誓約事項に必ず目を通すことと、教育目的の利用の程度を把握するためである。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項（目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など）を厳守しなければならない。とくに、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、Acknowledgement（謝辞）を明記する必要があるので注意すること。

また、論文などを発表した場合は、その成果を本センターに報告する必要がある。ICPSR や GESIS でデータを入手した場合でも、その利用の成果が JGSS 研究センターまで届かないので、別途、発表された論文などをメールに添付ファイルで、下記宛に送付すること。著書など電子ファイルのアップロードが困難な場合は、郵送で送付すること。

大阪商業大学 JGSS 研究センター　〒577-8505　大阪府東大阪市御厨栄町 4 丁目 1－10
E-mail: jgssdds@daishodai.ac.jp

データの内容などに修正が発生した場合は、JGSS のホームページから随時情報を発信している（JGSS データの利用→データの修正 https://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_correction.html）。第 1 回予備調査から JGSS-2006 までのデータについては、2005 年 4 月以降に発生した修正は、JGSSDDS 以外のデータ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていない。分析の前に必ず修正の有無を各自で確認すること。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、アーカイブから入手したデータに適用すれば修正が反映される。

4. データセットの入手方法

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なる。利用の制限や義務についても、若干の違いがあるので、それぞれのアーカイブで確認すること。

JGSSDDS	https://jgssdds.repo.nii.ac.jp
ICPSR*	https://www.icpsr.umich.edu
GESIS	https://www.gesis.org

*ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従うこと。詳細については、所属機関の担当部署に問い合わせること。

以下に、参考のために JGSSDDS から JGSS のデータセットを入手する手順の概要を記す。詳細な手続きは、JGSS 研究センターのホームページの「JGSSDDS の利用方法」（https://jgss.daishodai.ac.jp/jgssdds/jgssdds_guide.html）のページおよび『JGSSDDS 利用ガイド』に記されているので、それに従うこと。

JGSSDDS を利用するには、まずアカウントの登録を行う。登録した ID でログインしてプロフィール（ユーザ情報）を記入する。JGSSDDS 上で申請したいデータをクリックし、ページ内にある「申請」ボタンを押す。画面に表示される利用規約に同意すると申請ページが表示される。研究題目と研究計画を記入して申請を行う。教育目的の利用の場合は、授業名と授業の実施機関名（大学名）を記入する。なお、学部生でも担当教員の利用申請を通して授業内の利用（卒業論文を含む）が認められてい

る。申請が承認されると、登録したメールアドレスに「データ利用申請の承認のお知らせ」が届き、メール本文にあるリンクをクリックしてデータをダウンロードできる。

申請したデータのタイプや利用目的によっては、別途に追加書類の提出が必要である。追加書類は、jgssdds@daishodai.ac.jp に提出すること。教育目的の利用申請の場合は、JGSSDDS で利用申請を行なった後、「教育目的利用の受講者一覧」をメールに添付して提出する必要がある。大学院生は、申請後に指導教員の署名入りの「利用申請承諾書（指導教員）」の提出しなければならない。地域ブロック・都道府県データの利用申請には、教員や研究員は保証人の署名入りの「利用申請承諾書（保証人）」の提出が、大学院生は指導教員と保証人の署名入りの「利用申請承諾書（指導教員・保証人）」の提出が求められる。追加書類の様式は「JGSSDDS の利用方法」（https://jgss.daishodai.ac.jp/jgssdds/jgssdds_guide.html）からダウンロードできる。

JGSSDDS は現在、機能の追加・改修を進めており、今後、利用申請の手順が若干変更される可能性がある。利用申請の前に、一度「JGSSDDS の利用方法」のページを確認してから JGSSDDS を利用すること。

5. 謝辞（Acknowledgment）に記載について

JGSS データを利用して論文などを発表する場合は、謝辞（Acknowledgment）を明記する必要がある。謝辞は、定められている内容をそのまま記載すること。以下は、JGSS-2015 から JGSS-2021H までの謝辞である。JGSS-2012 以前の謝辞や、複数の JGSS データを利用した場合の謝辞については、本センターホームページの「謝辞の記載について」（https://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_acknowledgement.html）を参照すること。

JGSSDDS からデータを入手した場合は、下記の JGSS の謝辞に加えて、「二次分析に当たり、JGSS データダウンロードシステムで個票データの提供を受けた。」（英語の場合： The data for this secondary analysis was provided by the JGSS Data Download System.）を付けること。

JGSS の Acknowledgement（日本語・英語のいずれかを明記）

利用したデータセットが JGSS-2021H の場合

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2021Hは、文部科学省特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 JPMXP0620335833、JSPS科研費JP20H00089の助成を受け、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施した。データの整備は、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業JPJS00218077184の支援を得た。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. JGSS-2021H was funded by MEXT Promotion of Distinctive Joint Research Center Program Grant Number JPMXP0620335833 and JSPS KAKENHI Grant Number JP20H00089. The project was conducted in cooperation with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The data curation was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

利用したデータセットが JGSS-2019LCSwave3 と JGSS-2013LCSwave2 と JGSS-2009LCS の場合

日本版General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2009LCSは共同研究拠点の推進事業の助成を受けて実施した。JGSS-2013LCSwave2とJGSS-2019LCSwave3はJSPS科研費JP24330236、JP18H00985の助成を受け、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施した。JGSS-2019LCSwave3データ整備は、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業JPJS00218077184の支援を得た。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. The Life Course Survey (LCS) received funding as follows; JGSS-2009LCS: MEXT Promotion of Joint Research Center Program; JGSS-2013LCSwave2 and JGSS-2019LCSwave3: JSPS KAKENHI Grant Numbers JP24330236 and JP18H00985. JGSS-2013LCS/2019LCS was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The data curation of JGSS-2019LCSwave3 was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

利用したデータセットが JGSS-2017/JGSS-2018 統合データの場合

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017/2018 は、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」と JSPS 科研費 JP17H01007 の助成を受け、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施した。データの整備は、JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の支援を得た。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. JGSS-2017/2018 were funded by MEXT Promotion of Distinctive Joint Research Center Program and JSPS KAKENHI Grant Number JP17H01007. The project was conducted in cooperation with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The data curation was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

利用したデータセットが JGSS-2017G/JGSS-2018G 統合データの場合

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017G/2018G は、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成を受け、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施した。データの整備は、JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の支援を得た。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. JGSS-2017G/2018G was funded by MEXT Promotion of Distinctive Joint Research Center Program. The project was conducted in

cooperation with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The data curation was supported by JSPS Program for Constructing

利用したデータセットが JGSS-2016 と JGSS-2015 の場合

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2015/2016 は JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、労働問題に関する調査研究助成金 2015 年度（岩井八郎ほか）、日本経済研究センター研究奨励金（岩井紀子）の助成を受けた。JGSS-2016 は京都大学大学院教育学研究科と共同で実施した。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. JGSS-2015/2016 was funded by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai), and Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai). JGSS-2016 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University.

利用したデータセットが JGSS-2015 の場合

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2015 は、JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金 2014 年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金 2015 年度（岩井八郎ほか）の助成を受けて実施した。

The Japanese General Social Survey (JGSS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by MEXT) with support from the Osaka University of Commerce. JGSS-2015 was funded by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

ICPSR から入手した場合には、上記の Acknowledgement に加えて、ICPSR が定めている下記の citation を参考文献のリストに加えること（データの version は改定されることがある）

JGSS-2017G/2018G

Iwai, Noriko, Shishido, Kuniaki, Sasaki, Takayuki, and Iwai, Hachiro. Japanese General Social Survey (JGSS) Globalization Integrated Data, 2017-2018. Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2022-03-02. https://doi.org/10.3886/ICPSR38162.v1

JGSS-2015

Iwai, Noriko, Shishido, Kuniaki, Sasaki, Takayuki, and Iwai, Hachiro. Japanese General Social Survey (JGSS), 2015. Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2021-03-11. https://doi.org/10.3886/ICPSR37874.v1

JGSS-2012

Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, and Maeda, Yukio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2012. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2016-10-21. https://doi.org/10.3886/ICPSR36577.v1

JGSS-2010 Tanioka, Ichiro, Maeda, Yukio, and Iwai, Noriko. Japanese General Social Survey (JGSS), 2010. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-22. https://doi.org/10.3886/ICPSR34623.v3
JGSS-2008 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2008. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-21. https://doi.org/10.3886/ICPSR30661.v3
JGSS-2006 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2006. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2010-05-06. https://doi.org/10.3886/ICPSR25181.v1
JGSS-2005 Tanioka, Ichiro, Nitta, Michio, Iwai, Noriko, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2005. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-08-13. https://doi.org/10.3886/ICPSR04703.v1
JGSS Cumulative Data 2000-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Surveys (JGSS) Cumulative Data, 2000-2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2008-12-08. https://doi.org/10.3886/ICPSR04472.v1
JGSS-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2005-09-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04242.v1
JGSS-2002 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2002. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04214.v2
JGSS-2001 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2001. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04213.v2
JGSS-2000 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey, 2000. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-04-05. https://doi.org/10.3886/ICPSR03593.v2

岩井 紀子

Ⅱ．JGSS-2021H 集計と索引

Ⅱ.1　基礎集計・コード表：留置調査票 A 票

BLOCK 地域ブロック

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	北海道・東北	213	12.4
2	関東	526	30.5
3	中部	324	18.8
4	近畿	285	16.6
5	中国・四国	169	9.8
6	九州	205	11.9
	計	1722	100.0

PREF 都道府県名

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	北海道	70	4.1
2	青森	25	1.5
3	岩手	23	1.3
4	宮城	37	2.1
5	秋田	18	1.0
6	山形	15	0.9
7	福島	25	1.5
8	茨城	42	2.4
9	栃木	38	2.2
10	群馬	31	1.8
11	埼玉	91	5.3
12	千葉	90	5.2
13	東京	133	7.7
14	神奈川	101	5.9
15	新潟	41	2.4
16	富山	13	0.8
17	石川	24	1.4
18	福井	11	0.6
19	山梨	16	0.9
20	長野	28	1.6
21	岐阜	27	1.6
22	静岡	51	3.0
23	愛知	91	5.3
24	三重	22	1.3
25	滋賀	17	1.0
26	京都	37	2.1
27	大阪	123	7.1
28	兵庫	75	4.4
29	奈良	18	1.0
30	和歌山	15	0.9
31	鳥取	13	0.8
32	島根	10	0.6
33	岡山	29	1.7
34	広島	57	3.3
35	山口	21	1.2

36	徳島		12	0.7
37	香川		7	0.4
38	愛媛		9	0.5
39	高知		11	0.6
40	福岡		73	4.2
41	佐賀		16	0.9
42	長崎		21	1.2
43	熊本		19	1.1
44	大分		21	1.2
45	宮崎		16	0.9
46	鹿児島		20	1.2
47	沖縄		19	1.1
		計	1722	100.0

SIZE 市郡規模

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大都市	422	24.5
2	人口 20 万人以上の市	425	24.7
3	人口 20 万人未満の市	713	41.4
4	町村	162	9.4
	計	1722	100.0

Q1 あなたの性別を教えてください。

SEXA 性別

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	男	834	48.4
2	女	888	51.6
	計	1722	100.0

Q2 あなたの現在の年齢を教えてください。

AGEB 年齢

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	20～29 歳	146	8.5
	30～39 歳	224	13.0
	40～49 歳	311	18.1
	50～59 歳	298	17.3
	60～69 歳	308	17.9
	70～79 歳	304	17.7
	80～89 歳	131	7.6
	計	1722	100.0

＊2020 年 12 月 31 日現在の年齢に統一した。

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q3 あなたは、平均して１日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は０(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間くらい	86	5.0
	1 時間くらい	261	15.2
	2 時間くらい	327	19.0
	3 時間くらい	325	18.9
	4 時間くらい	193	11.2
	5 時間くらい	205	11.9
	6 時間くらい	121	7.0
	7 時間くらい	46	2.7
	8 時間くらい	53	3.1
	9 時間くらい	7	0.4
	10 時間くらい	59	3.4
	11 時間以上	29	1.7
999	無回答	10	0.6
	計	1722	100.0

Q4 あなたは、１カ月に何冊くらい本（マンガ、雑誌を除く）を読みますか。電子書籍も含めてお答えください。

FQ5READ １ヶ月の読書冊数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	ほとんど読まない	934	54.2
1	1 冊程度	389	22.6
2	2 冊程度	161	9.3
3	3 冊程度	85	4.9
4	4 冊以上	142	8.2
9	無回答	11	0.6
	計	1722	100.0

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	738	42.9
2	週数回	141	8.2
3	週１回程度	75	4.4
4	それ以下	157	9.1
5	まったく読まない	601	34.9
9	無回答	10	0.6
	計	1722	100.0

Q6 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

FQ6NWSI インターネットでニュース記事を読む頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	1027	59.6
2	週数回	190	11.0
3	週 1 回程度	51	3.0
4	それ以下	51	3.0
5	まったく読まない	56	3.3
6	インターネットは利用していない	333	19.3
9	無回答	14	0.8
	計	1722	100.0

Q7-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

DOCOMPJ～DONONEX 利用通信媒体

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
DOCOMPJ	1	パソコン（職場・学校で）	645	37.5
DOCOMPP	2	パソコン（自宅で）	668	38.8
DOPHS	3	携帯電話・スマートフォン	1499	87.0
DOTBL	4	タブレット	350	20.3
DONONEX	5	いずれも利用していない	155	9.0
		該当者数	1722	100.0

（Q7-1 で「1 パソコン（職場・学校で）」「2 パソコン（自宅で）」「3 携帯電話・スマートフォン」「4 タブレット」と回答した人に）

Q7-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

DOINBRS～DOINNONE インターネットの利用

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答			選択者数	%
DOINBRS	1	情報検索	1273	81.6
DOINSHOP	2	インターネットショッピング	856	54.9
DOINBANK	3	インターネットバンキング	293	18.8
DOSNS	4	SNS などでの情報発信	408	26.2
DOINGAME	5	インターネットゲーム	451	28.9
DOINNONE	6	いずれも行なっていない	201	12.9
		該当者数	1560	100.0

（全員に）
Q8 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。
FQSPORT 定期的に行なうスポーツ:頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	週に数回以上	448	26.0
2	週に１回程度	250	14.5
3	月に１回程度	101	5.9
4	年に数回程度	115	6.7
5	ほとんどしない	776	45.1
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

Q9 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒の夕食
FQ7FFDNR 家族と一緒の夕食:頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	1176	68.3
2	週に数回	199	11.6
3	週に１回程度	78	4.5
4	月に１回程度	39	2.3
5	年に数回	56	3.3
6	年に１回程度	8	0.5
7	まったくしていない	144	8.4
9	無回答	22	1.3
	計	1722	100.0

B 友人との会食や集まり
FQ7FRSEE 友人との会食:頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	5	0.3
2	週に数回	53	3.1
3	週に１回程度	122	7.1
4	月に１回程度	336	19.5
5	年に数回	501	29.1
6	年に１回程度	167	9.7
7	まったくしていない	507	29.4
9	無回答	31	1.8
	計	1722	100.0

C 夕食の用意
FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	785	45.6
2	週に数回	217	12.6
3	週に１回程度	111	6.4
4	月に１回程度	62	3.6
5	年に数回	114	6.6
6	年に１回程度	29	1.7
7	まったくしていない	384	22.3
9	無回答	20	1.2
	計	1722	100.0

D　洗濯

FQ7WASH　洗濯:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	660	38.3
2	週に数回	370	21.5
3	週に1回程度	136	7.9
4	月に1回程度	58	3.4
5	年に数回	82	4.8
6	年に1回程度	24	1.4
7	まったくしていない	378	22.0
9	無回答	14	0.8
	計	1722	100.0

E　買い物（日用品や食料品）

FQ7SHOP　買い物:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	271	15.7
2	週に数回	736	42.7
3	週に1回程度	410	23.8
4	月に1回程度	122	7.1
5	年に数回	43	2.5
6	年に1回程度	7	0.4
7	まったくしていない	117	6.8
9	無回答	16	0.9
	計	1722	100.0

F　家の掃除

FQ7CLEAN　家の掃除:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	336	19.5
2	週に数回	491	28.5
3	週に1回程度	408	23.7
4	月に1回程度	171	9.9
5	年に数回	120	7.0
6	年に1回程度	30	1.7
7	まったくしていない	150	8.7
9	無回答	16	0.9
	計	1722	100.0

G　ゴミ出し

FQ7GARB　ゴミ出し:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	188	10.9
2	週に数回	823	47.8
3	週に1回程度	239	13.9
4	月に1回程度	91	5.3
5	年に数回	103	6.0
6	年に1回程度	15	0.9
7	まったくしていない	239	13.9
9	無回答	24	1.4
	計	1722	100.0

H　家の簡単な修理（電球の交換、壁や庭の補修など）

FQ7RPH 家の簡単な修理:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	28	1.6
2	週に数回	63	3.7
3	週に１回程度	119	6.9
4	月に１回程度	323	18.8
5	年に数回	606	35.2
6	年に１回程度	225	13.1
7	まったくしていない	339	19.7
9	無回答	19	1.1
	計	1722	100.0

Q10 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

DOSMOKEX 喫煙経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	現在吸っている	314	18.2
2	以前は吸っていたがやめた	458	26.6
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	942	54.7
9	無回答	8	0.5
	計	1722	100.0

Q11 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK 飲酒頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほとんど毎日	373	21.7
2	週に数回	241	14.0
3	週に１回程度	154	8.9
4	月に１回程度	127	7.4
5	年に数回	214	12.4
6	年に１回程度	75	4.4
7	まったく飲まない	530	30.8
9	無回答	8	0.5
	計	1722	100.0

Q12 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

A　住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	580	33.7
2	・	518	30.1
3	・	478	27.8
4	・	99	5.7
5	不満	26	1.5
9	無回答	21	1.2
	計	1722	100.0

B　余暇の過ごし方

ST5LEISY　生活満足度:余暇利用

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	339	19.7
2	・	521	30.3
3	・	609	35.4
4	・	189	11.0
5	不満	42	2.4
9	無回答	22	1.3
	計	1722	100.0

C　家庭生活

ST5LIFEY　生活満足度:家庭生活

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	518	30.1
2	・	523	30.4
3	・	531	30.8
4	・	105	6.1
5	不満	24	1.4
9	無回答	21	1.2
	計	1722	100.0

D　現在の家計の状態

ST5ECNY　生活満足度:家計状態

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	303	17.6
2	・	411	23.9
3	・	649	37.7
4	・	235	13.6
5	不満	103	6.0
9	無回答	21	1.2
	計	1722	100.0

E　友人関係

ST5FRIY　生活満足度:友人関係

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	390	22.6
2	・	504	29.3
3	・	675	39.2
4	・	115	6.7
5	不満	23	1.3
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

F　健康状態

ST5HLTHY　生活満足度:健康状態

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	284	16.5
2	・	463	26.9
3	・	623	36.2
4	・	260	15.1
5	不満	79	4.6
9	無回答	13	0.8
	計	1722	100.0

G　配偶者（夫や妻）との関係

ST5SSREL　生活満足度:配偶者との関係

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	457	26.5
2	・	308	17.9
3	・	291	16.9
4	・	73	4.2
5	不満	23	1.3
6	配偶者はいない	558	32.4
9	無回答	12	0.7
	計	1722	100.0

Q13 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ　幸福度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	幸せ	582	33.8
2	・	586	34.0
3	・	450	26.1
4	・	70	4.1
5	不幸せ	18	1.0
9	無回答	16	0.9
	計	1722	100.0

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q14 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE　居住形態:持ち家

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	持ち家	1358	78.9
2	民間の賃貸住宅	276	16.0
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	26	1.5
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	49	2.8
5	その他	8	0.5
9	無回答	5	0.3
	計	1722	100.0

Q16 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR 現在の居住地域への居住年数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	生まれてからずっと	267	15.5
2	1 年未満	43	2.5
3	1 年～3 年未満	106	6.2
4	3 年～5 年未満	82	4.8
5	5 年～10 年未満	159	9.2
6	10 年～20 年未満	268	15.6
7	20 年～30 年未満	283	16.4
8	30 年以上	508	29.5
99	無回答	6	0.3
	計	1722	100.0

Q17 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ずっと住みたい	857	49.8
2	当分の間は住みたい	703	40.8
3	できれば他の地域に引越したい	144	8.4
4	すぐにも他の地域に引越したい	13	0.8
9	無回答	5	0.3
	計	1722	100.0

Q18 あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを１つ選んでください。

SIZEHMT 居住地域の規模

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大都市の中心部	84	4.9
2	大都市の郊外	275	16.0
3	中小都市	690	40.1
4	町村部	631	36.6
5	人家がまばらな農山漁村	35	2.0
9	無回答	7	0.4
	計	1722	100.0

Q19 この２～３年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A 家計状態の変化

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	良くなった	170	9.9
2	悪くなった	454	26.4
3	変わらない	1096	63.6
9	無回答	2	0.1
	計	1722	100.0

Q20 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	平均よりかなり少ない	145	8.4
2	平均より少ない	545	31.6
3	ほぼ平均	746	43.3
4	平均より多い	252	14.6
5	平均よりかなり多い	25	1.5
9	無回答	9	0.5
	計	1722	100.0

Q21 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15 歳の頃の世帯収入レベル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	平均よりかなり少ない	124	7.2
2	平均より少ない	433	25.1
3	ほぼ平均	779	45.2
4	平均より多い	313	18.2
5	平均よりかなり多い	39	2.3
9	無回答	34	2.0
	計	1722	100.0

Q22 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA 生活水準向上機会の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	充分にある	47	2.7
2	少しはある	258	15.0
3	どちらともいえない	667	38.7
4	あまりない	593	34.4
5	まったくない	144	8.4
9	無回答	13	0.8
	計	1722	100.0

Q23 かりに現在の日本の社会全体を、以下の５つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。

OP5LEVK 階層帰属意識

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	上	15	0.9
2	中の上	202	11.7
3	中の中	794	46.1
4	中の下	556	32.3
5	下	144	8.4
9	無回答	11	0.6
	計	1722	100.0

Q24 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF　将来の経済的不安

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	358	20.8
2	ある程度感じている	738	42.9
3	どちらともいえない	312	18.1
4	あまり感じていない	276	16.0
5	まったく感じていない	31	1.8
9	無回答	7	0.4
	計	1722	100.0

Q25 日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

OPINCDIF　所得格差への意見

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強くそう思う	343	19.9
2	そう思う	621	36.1
3	どちらかといえばそう思う	505	29.3
4	どちらともいえない	206	12.0
5	どちらかといえばそう思わない	30	1.7
6	そう思わない	11	0.6
7	強くそう思わない	2	0.1
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q26 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。

A　高齢者の生活保障（生活費）

OP5SRWFY　国か個人か:高齢者の生活保障

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	79	4.6
2	・	200	11.6
3	・	549	31.9
4	・	506	29.4
5	国や自治体の責任	366	21.3
9	無回答	22	1.3
	計	1722	100.0

B　高齢者の医療・介護

OP5SRMDY　国か個人か:高齢者の医療・介護

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	53	3.1
2	・	127	7.4
3	・	469	27.2
4	・	608	35.3
5	国や自治体の責任	448	26.0
9	無回答	17	1.0
	計	1722	100.0

C　子どもの教育

OP5CCED　国か個人か：子どもの教育

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	160	9.3
2	・	294	17.1
3	・	557	32.3
4	・	378	22.0
5	国や自治体の責任	301	17.5
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

D　保育・育児

OP5CCARE　国か個人か：保育・育児

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	133	7.7
2	・	295	17.1
3	・	553	32.1
4	・	419	24.3
5	国や自治体の責任	290	16.8
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

Q27 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA　貧富解消政策への賛否

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	417	24.2
2	どちらかといえば賛成	609	35.4
3	どちらともいえない	573	33.3
4	どちらかといえば反対	96	5.6
5	反対	20	1.2
9	無回答	7	0.4
	計	1722	100.0

Q28 政治的な考え方を、保守的から革新的までの５段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA　政治意識（保革 5 段階）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	保守的	128	7.4
2	・	378	22.0
3	・	871	50.6
4	・	250	14.5
5	革新的	54	3.1
9	無回答	41	2.4
	計	1722	100.0

Q29 現在、あなたはどの政党を支持していますか。

XX8PLPTY　支持政党

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	自民党	416	24.2
2	立憲民主党	78	4.5
3	公明党	56	3.3
4	日本維新の会	57	3.3
5	共産党	52	3.0
6	国民民主党	5	0.3
7	社民党	11	0.6
8	その他の政党	3	0.2
9	特に支持する政党はない	842	48.9
10	わからない	182	10.6
11	幸福実現党	0	0.0
14	大阪維新の会	1	0.1
29	日本第一党	3	0.2
30	れいわ新選組	1	0.1
31	参政党	1	0.1
32	つばさの党	1	0.1
99	無回答	13	0.8
	計	1722	100.0

コード「11」「14」「29」～「32」は「8 その他の政党」の具体的記述から追加した

Q30 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

A　私は、政治に対して関心がある

Q5POLINT　政治に関心がある

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	133	7.7
2	あてはまる	518	30.1
3	どちらともいえない	683	39.7
4	あてはまらない	263	15.3
5	まったくあてはまらない	114	6.6
9	無回答	11	0.6
	計	1722	100.0

B　私は、社会のために役立ちたい

Q5CNTSOC　社会のために役立ちたい

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	129	7.5
2	あてはまる	573	33.3
3	どちらともいえない	764	44.4
4	あてはまらない	176	10.2
5	まったくあてはまらない	65	3.8
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

C　自分の問題は、できるだけ他人に頼らずに解決したい
Q5SLVPRB　自分の問題は他人に頼らず解決したい

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	274	15.9
2	あてはまる	823	47.8
3	どちらともいえない	514	29.8
4	あてはまらない	77	4.5
5	まったくあてはまらない	20	1.2
9	無回答	14	0.8
	計	1722	100.0

Q31 次の A～F の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A　夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
Q4WWHHX　意見についての賛否:性役割分担

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	81	4.7
2	どちらかといえば賛成	508	29.5
3	どちらかといえば反対	679	39.4
4	反対	430	25.0
9	無回答	24	1.4
	計	1722	100.0

B　夫に充分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい
Q4WWJBIA　意見についての賛否:妻の仕事

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	127	7.4
2	どちらかといえば賛成	390	22.6
3	どちらかといえば反対	745	43.3
4	反対	434	25.2
9	無回答	26	1.5
	計	1722	100.0

C　男性も身の回りのことや炊事をすべきだ
Q4MNCOOK　意見についての賛否:男性の家事

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	716	41.6
2	どちらかといえば賛成	856	49.7
3	どちらかといえば反対	104	6.0
4	反対	23	1.3
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

D　なんといっても女性の幸福は結婚にある
Q4WNMGA　意見についての賛否:女性の幸福

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	111	6.4
2	どちらかといえば賛成	509	29.6
3	どちらかといえば反対	636	36.9
4	反対	430	25.0
9	無回答	36	2.1
	計	1722	100.0

E　なんといっても男性の幸福は結婚にある
Q4MNMGA　意見についての賛否:男性の幸福

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	99	5.7
2	どちらかといえば賛成	539	31.3
3	どちらかといえば反対	612	35.5
4	反対	427	24.8
9	無回答	45	2.6
	計	1722	100.0

F　母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える
Q4JBMMCC　意見についての賛否:子どもへの影響

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	92	5.3
2	どちらかといえば賛成	402	23.3
3	どちらかといえば反対	673	39.1
4	反対	520	30.2
9	無回答	35	2.0
	計	1722	100.0

Q32 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

A　政治関係の団体や会
MEMPLTGP　組織への所属:政治団体

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	45	2.6
2	いいえ	1665	96.7
9	無回答	12	0.7
	計	1722	100.0

B　業界団体・同業者団体
MEMIND　組織への所属:業界団体

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	82	4.8
2	いいえ	1625	94.4
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

C　ボランティアのグループ
MEMVLNTR　組織への所属:ボランティアのグループ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	154	8.9
2	いいえ	1553	90.2
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

D　市民運動・消費者運動のグループ

MEMCIVIL　組織への所属:市民運動のグループ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	29	1.7
2	いいえ	1677	97.4
9	無回答	16	0.9
	計	1722	100.0

E　宗教の団体や会

MEMRL　組織への所属:宗教の団体や会

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	91	5.3
2	いいえ	1618	94.0
9	無回答	13	0.8
	計	1722	100.0

F　スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT　組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	247	14.3
2	いいえ	1455	84.5
9	無回答	20	1.2
	計	1722	100.0

G　趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）

MEMHOBBY　組織への所属:趣味の会

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	218	12.7
2	いいえ	1489	86.5
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

H　消費生活協同組合（生協）

MEMCOOP　組織への所属:生協

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	319	18.5
2	いいえ	1386	80.5
9	無回答	17	1.0
	計	1722	100.0

Q33-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL　信仰する宗教の有無(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ある	137	8.0
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	357	20.7
3	ない	1205	70.0
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

（Q33-1 で「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」と回答した人に）
Q33-2　それは何ですか。
XXRL 信仰する宗教（本人）

この変数の単純集計は、下記のウェブページに記載しています。
https://jgss.daishodai.ac.jp/surveys/table/XXRL.html

Q33-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。
DO3PIOUS 信仰の度合い（本人）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	熱心である		32	6.3
2	まあまあ熱心である		109	21.4
3	そんなに熱心ではない		358	70.3
9	無回答		10	2.0
		計	509	100.0
8	非該当		1213	
		計	1722	

（全員に）
Q34 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

A　大企業
TR3CORPZ　組織への信頼:大企業

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	107	6.2
2	少しは信頼している	989	57.4
3	ほとんど信頼していない	266	15.4
4	わからない	326	18.9
9	無回答	34	2.0
	計	1722	100.0

B　宗教団体
TR3RLGPZ　組織への信頼:宗教団体

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	30	1.7
2	少しは信頼している	164	9.5
3	ほとんど信頼していない	1130	65.6
4	わからない	370	21.5
9	無回答	28	1.6
	計	1722	100.0

C　学校
TR3SCHLZ　組織への信頼:学校

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	211	12.3
2	少しは信頼している	1093	63.5
3	ほとんど信頼していない	200	11.6
4	わからない	187	10.9
9	無回答	31	1.8
	計	1722	100.0

D　中央官庁
TR3BCRAZ　組織への信頼:中央官庁

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	76	4.4
2	少しは信頼している	755	43.8
3	ほとんど信頼していない	406	23.6
4	わからない	449	26.1
9	無回答	36	2.1
	計	1722	100.0

E　労働組合
TR3UNNZ　組織への信頼:労働組合

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	57	3.3
2	少しは信頼している	739	42.9
3	ほとんど信頼していない	383	22.2
4	わからない	503	29.2
9	無回答	40	2.3
	計	1722	100.0

F 新聞

TR3NWSPZ 組織への信頼:新聞

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	267	15.5
2	少しは信頼している	1084	63.0
3	ほとんど信頼していない	205	11.9
4	わからない	138	8.0
9	無回答	28	1.6
	計	1722	100.0

G 病院

TR3HSPLZ 組織への信頼:病院

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	516	30.0
2	少しは信頼している	1032	59.9
3	ほとんど信頼していない	61	3.5
4	わからない	85	4.9
9	無回答	28	1.6
	計	1722	100.0

H テレビ

TR3TVZ 組織への信頼:テレビ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	128	7.4
2	少しは信頼している	1010	58.7
3	ほとんど信頼していない	400	23.2
4	わからない	155	9.0
9	無回答	29	1.7
	計	1722	100.0

I 裁判所

TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	337	19.6
2	少しは信頼している	888	51.6
3	ほとんど信頼していない	123	7.1
4	わからない	338	19.6
9	無回答	36	2.1
	計	1722	100.0

J 学者・研究者

TR3ACDAZ 組織への信頼:学者・研究者

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	230	13.4
2	少しは信頼している	965	56.0
3	ほとんど信頼していない	147	8.5
4	わからない	343	19.9
9	無回答	37	2.1
	計	1722	100.0

K　国会議員

TR3CGMNZ　組織への信頼:国会議員

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	18	1.0
2	少しは信頼している	400	23.2
3	ほとんど信頼していない	952	55.3
4	わからない	324	18.8
9	無回答	28	1.6
	計	1722	100.0

L　市区町村議会議員

TR3CITYZ　組織への信頼:市区町村議会議員

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	22	1.3
2	少しは信頼している	557	32.3
3	ほとんど信頼していない	751	43.6
4	わからない	355	20.6
9	無回答	37	2.1
	計	1722	100.0

M　自衛隊

TR3DEFZ　組織への信頼:自衛隊

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	509	29.6
2	少しは信頼している	837	48.6
3	ほとんど信頼していない	119	6.9
4	わからない	224	13.0
9	無回答	33	1.9
	計	1722	100.0

N　警察

TR3COPZ　組織への信頼:警察

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	367	21.3
2	少しは信頼している	992	57.6
3	ほとんど信頼していない	186	10.8
4	わからない	151	8.8
9	無回答	26	1.5
	計	1722	100.0

O　金融機関

TR3FINZ　組織への信頼:金融機関

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても信頼している	250	14.5
2	少しは信頼している	976	56.7
3	ほとんど信頼していない	232	13.5
4	わからない	237	13.8
9	無回答	27	1.6
	計	1722	100.0

Q35 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ 健康状態（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	良い	377	21.9
2	・	498	28.9
3	・	521	30.3
4	・	248	14.4
5	悪い	68	3.9
9	無回答	10	0.6
	計	1722	100.0

Q36 日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。

A 時間的なゆとり

TMAFFL 時間的なゆとり感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	302	17.5
2	ある程度感じている	827	48.0
3	あまり感じていない	458	26.6
4	まったく感じていない	131	7.6
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

B 心のゆとり

PCMIND 心のゆとり感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	179	10.4
2	ある程度感じている	894	51.9
3	あまり感じていない	541	31.4
4	まったく感じていない	105	6.1
9	無回答	3	0.2
	計	1722	100.0

C 孤独感

LONELY 孤独感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	79	4.6
2	ある程度感じている	421	24.4
3	あまり感じていない	816	47.4
4	まったく感じていない	401	23.3
9	無回答	5	0.3
	計	1722	100.0

Q37 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない
NOFUTR 希望のなさ:将来の希望が持てない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	62	3.6
2	どちらかといえば賛成	224	13.0
3	どちらともいえない	839	48.7
4	どちらかといえば反対	387	22.5
5	強く反対	191	11.1
9	無回答	19	1.1
	計	1722	100.0

B 私が目指している目標は達成できないだろう
NOGOAL 希望のなさ:目標は達成できない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	58	3.4
2	どちらかといえば賛成	193	11.2
3	どちらともいえない	918	53.3
4	どちらかといえば反対	361	21.0
5	強く反対	169	9.8
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

Q38 次にあげるのは、過去１カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

A おちついていて、おだやかな気分でしたか
SFMHPEAC SF12:精神的健康:おちついた気分

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	119	6.9
2	ほとんどいつも	620	36.0
3	ときどき	665	38.6
4	まれに	198	11.5
5	ぜんぜんない	110	6.4
9	無回答	10	0.6
	計	1722	100.0

B 活力（エネルギー）にあふれていましたか
SFMHENGY SF12:精神的健康:活力にあふれる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	83	4.8
2	ほとんどいつも	371	21.5
3	ときどき	707	41.1
4	まれに	364	21.1
5	ぜんぜんない	187	10.9
9	無回答	10	0.6
	計	1722	100.0

C　おちこんで､ゆううつな気分でしたか
SFMHDPRS　SF12:精神的健康:おちこんだ気分

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	32	1.9
2	ほとんどいつも	103	6.0
3	ときどき	516	30.0
4	まれに	614	35.7
5	ぜんぜんない	449	26.1
9	無回答	8	0.5
	計	1722	100.0

Q39 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。
APPCCNUM　理想的な子どもの人数(一般論)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	0 人	9	0.5
1	1 人	33	1.9
2	2 人	890	51.7
3	3 人	705	40.9
4	4 人	39	2.3
5	5 人以上	3	0.2
9	無回答	43	2.5
	計	1722	100.0

APPCCNMX　理想的な子どもの人数:5 人以上の場合(具体的記述)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	5 人	1	33.3
	6 人	1	33.3
999	無回答	1	33.3
	計	3	100.0
888	非該当	1719	
	計	1722	

Q40 もし、子どもを１人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。
APPCCSXB　希望する子どもの性別

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	男の子	646	37.5
2	女の子	957	55.6
9	無回答	119	6.9
	計	1722	100.0

Q41 あなたは一般に、三世代同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。
OP2GNR　三世代同居観

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	望ましい	913	53.0
2	望ましくない	750	43.6
9	無回答	59	3.4
	計	1722	100.0

Q42 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。
QFNRINCR 外国人増加の賛否

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	716	41.6
2	反対	927	53.8
9	無回答	79	4.6
	計	1722	100.0

Q43 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。
OP4TRUST 人への信頼感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほとんどの場合、信用できる	54	3.1
2	たいていは、信用できる	884	51.3
3	たいていは、用心したほうがよい	661	38.4
4	ほとんどの場合、用心したほうがよい	106	6.2
9	無回答	17	1.0
	計	1722	100.0

Q44 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。
OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	50	2.9
2	・	64	3.7
3	・	181	10.5
4	・	612	35.5
5	・	416	24.2
6	・	270	15.7
7	人間の本性は本来「善」である	106	6.2
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

ここからは、新型コロナウイルスに関するあなたの考えや行動についておうかがいします。
Q45 今日の日付をご記入ください。
XXTODAYM 留置票の記入日:月
XXTODAYD 留置票の記入日:日
これらの変数の単純集計は記載していません。

Q46 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染することについてどの程度不安を感じますか。
COVWRY COVID-19:感染への不安

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても不安	604	35.1
2	ある程度不安	678	39.4
3	少し不安	382	22.2
4	まったく不安ではない	55	3.2
9	無回答	3	0.2
	計	1722	100.0

Q47 あなたは、新型コロナウイルスに対する予防として、次にあげる行動をどのくらいしていますか。

A 20 秒以上手を洗う

CVPWASH COVID-19 予防行動:20 秒以上手を洗う

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	836	48.5
2	時々する	590	34.3
3	あまりしない	236	13.7
4	まったくしない	56	3.3
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

B 目、鼻や口を手で触らないように気をつける

CVPNOTCH COVID-19 予防行動:目、鼻や口を手で触らないように気をつける

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	592	34.4
2	時々する	642	37.3
3	あまりしない	404	23.5
4	まったくしない	81	4.7
9	無回答	3	0.2
	計	1722	100.0

C 手をアルコール消毒する

CVPDINF COVID-19 予防行動:手をアルコール消毒する

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	1145	66.5
2	時々する	462	26.8
3	あまりしない	82	4.8
4	まったくしない	28	1.6
9	無回答	5	0.3
	計	1722	100.0

D 咳エチケットを守る

CVPCGH COVID-19 予防行動:咳エチケットを守る

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	1435	83.3
2	時々する	228	13.2
3	あまりしない	44	2.6
4	まったくしない	11	0.6
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

E マスクを着用する

CVPMASK COVID-19 予防行動:マスクを着用する

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	1621	94.1
2	時々する	86	5.0
3	あまりしない	8	0.5
4	まったくしない	5	0.3
9	無回答	2	0.1
	計	1722	100.0

F　換気に気をつける

CVPVENT　COVID-19 予防行動:換気に気をつける

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	893	51.9
2	時々する	653	37.9
3	あまりしない	144	8.4
4	まったくしない	28	1.6
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

G　人との距離を１メートル以上あける

CVPDIST　COVID-19 予防行動:人との距離を 1 メートル以上あける

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	861	50.0
2	時々する	645	37.5
3	あまりしない	184	10.7
4	まったくしない	28	1.6
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

H　人混みを避ける

CVPCRWD　COVID-19 予防行動:人混みを避ける

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	1162	67.5
2	時々する	458	26.6
3	あまりしない	75	4.4
4	まったくしない	23	1.3
9	無回答	4	0.2
	計	1722	100.0

Q48 あなたは、新型コロナウイルスに感染した人は、本人の責任だと思いますか。

CVRSPG　COVID-19 感染(一般):本人の責任

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	そう思う	99	5.7
2	どちらかといえばそう思う	539	31.3
3	どちらかといえばそう思わない	694	40.3
4	そう思わない	377	21.9
9	無回答	13	0.8
	計	1722	100.0

Q49 あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまったら、ご自身の責任だと思いますか。

CVRSPR　COVID-19 感染(本人):本人の責任

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	そう思う	197	11.4
2	どちらかといえばそう思う	715	41.5
3	どちらかといえばそう思わない	517	30.0
4	そう思わない	281	16.3
9	無回答	12	0.7
	計	1722	100.0

Q50 あなたは、新型コロナウイルスの予防接種（ワクチン）が始まったら受けますか。
COVVAC　COVID-19 ワクチン接種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	すぐに受ける	573	33.3
2	しばらく様子を見る	1045	60.7
3	受けない	99	5.7
4	すでに受けた	2	0.1
9	無回答	3	0.2
	計	1722	100.0

Q51 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染する可能性はどのくらいあると考えますか。
COVPROB　COVID-19 感染の可能性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	194	11.3
2	・	229	13.3
3	・	364	21.1
4	・	459	26.7
5	・	231	13.4
6	・	175	10.2
7	ほとんど有りえない	63	3.7
9	無回答	7	0.4
	計	1722	100.0

Q52 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、あなたの生活において以下の事柄に変化はありましたか。

A　テレワーク（自宅などからインターネットで接続）
CVSTLWK　COVID-19 感染拡大の影響:テレワーク

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	151	8.8
2	感染拡大前より増えた	92	5.3
3	同じくらい	78	4.5
4	感染拡大前より減った	14	0.8
5	感染拡大前も今もしていない	742	43.1
6	働いていない	618	35.9
9	無回答	27	1.6
	計	1722	100.0

B　時差出勤
CVSCMT　COVID-19 感染拡大の影響:時差出勤

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	71	4.1
2	感染拡大前より増えた	71	4.1
3	同じくらい	115	6.7
4	感染拡大前より減った	10	0.6
5	感染拡大前も今もしていない	805	46.7
6	働いていない	618	35.9
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

C　オンライン会議・授業

CVSOLMTG　COVID-19 感染拡大の影響:オンライン会議・授業

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	243	14.1
2	感染拡大前より増えた	181	10.5
3	同じくらい	52	3.0
4	感染拡大前より減った	16	0.9
5	感染拡大前も今もしていない	1122	65.2
9	無回答	108	6.3
	計	1722	100.0

D　オンライン飲み会

CVSOLDRK　COVID-19 感染拡大の影響:オンライン飲み会

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	147	8.5
2	感染拡大前より増えた	38	2.2
3	同じくらい	36	2.1
4	感染拡大前より減った	22	1.3
5	感染拡大前も今もしていない	1378	80.0
9	無回答	101	5.9
	計	1722	100.0

E　オンラインイベント（芸術鑑賞やコンサートなど）

CVSOLEVT　COVID-19 感染拡大の影響:オンラインイベント

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	136	7.9
2	感染拡大前より増えた	59	3.4
3	同じくらい	40	2.3
4	感染拡大前より減った	42	2.4
5	感染拡大前も今もしていない	1344	78.0
9	無回答	101	5.9
	計	1722	100.0

F　食べ物などの出前・デリバリー

CVSDLV　COVID-19 感染拡大の影響:食べ物などの出前・デリバリー

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	44	2.6
2	感染拡大前より増えた	222	12.9
3	同じくらい	239	13.9
4	感染拡大前より減った	48	2.8
5	感染拡大前も今もしていない	1079	62.7
9	無回答	90	5.2
	計	1722	100.0

G　オンライン診療

CVSOLDGN　COVID-19 感染拡大の影響:オンライン診療

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	24	1.4
2	感染拡大前より増えた	9	0.5
3	同じくらい	43	2.5
4	感染拡大前より減った	9	0.5
5	感染拡大前も今もしていない	1537	89.3
9	無回答	100	5.8
	計	1722	100.0

H　同居家族との言い争い

CVSARGFM　COVID-19 感染拡大の影響:同居家族との言い争い

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	4	0.2
2	感染拡大前より増えた	72	4.2
3	同じくらい	442	25.7
4	感染拡大前より減った	44	2.6
5	感染拡大前も今もしていない	918	53.3
6	一人暮らし	174	10.1
9	無回答	68	3.9
	計	1722	100.0

I　離れて住む家族と会うこと

CVSVSTFM　COVID-19 感染拡大の影響:離れて住む家族と会うこと

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	23	1.3
2	感染拡大前より増えた	30	1.7
3	同じくらい	318	18.5
4	感染拡大前より減った	768	44.6
5	感染拡大前も今もしていない	290	16.8
6	離れて住む家族はいない	257	14.9
9	無回答	36	2.1
	計	1722	100.0

J　離れて住む家族との電話やメールなどでのやりとり

CVSCOMFM　COVID-19 感染拡大の影響:離れて住む家族とのやりとり

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はじめて経験した	5	0.3
2	感染拡大前より増えた	280	16.3
3	同じくらい	840	48.8
4	感染拡大前より減った	107	6.2
5	感染拡大前も今もしていない	210	12.2
6	離れて住む家族はいない	245	14.2
9	無回答	35	2.0
	計	1722	100.0

Q53 新型コロナウイルスの感染拡大により、あなたは以下のことを控えましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

CVRFTRNS～CVRFHAIR COVID-19 感染拡大により控えたこと

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
CVRFTRNS	1	公共交通機関（電車やバスなど）の利用	965	56.0
CVRFSHOP	2	買い物（食料品や日用品）に出かける回数	829	48.1
CVRFMED	3	病院での診療	523	30.4
CVRFRST	4	飲食店（レストラン､居酒屋やバーなど）の利用	1365	79.3
CVRFTRP	5	宿泊を伴う旅行	1352	78.5
CVRFMOV	6	映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦	1179	68.5
CVRFGYM	7	スポーツジムやフィットネスクラブの利用	744	43.2
CVRFHAIR	8	美容院や理髪店などの利用	495	28.7
		該当者数	1722	100.0

Q54 新型コロナウイルスの感染拡大以前と現在を比べると、あなたの仕事や収入に変化はありましたか。

A 仕事量

CVCHWKVL COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：仕事量

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	増えた	162	9.4
2	変わらない	702	40.8
3	減った	239	13.9
4	働いていない	613	35.6
9	無回答	6	0.3
	計	1722	100.0

B 労働時間

CVCHWKHR COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：労働時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	増えた	106	6.2
2	変わらない	752	43.7
3	減った	244	14.2
4	働いていない	615	35.7
9	無回答	5	0.3
	計	1722	100.0

C 出張

CVCHBTRP COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：出張

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	増えた	10	0.6
2	変わらない	699	40.6
3	減った	321	18.6
4	働いていない	615	35.7
9	無回答	77	4.5
	計	1722	100.0

D　収入

CVCHINC　COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：収入

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	増えた	44	2.6
2	変わらない	745	43.3
3	減った	310	18.0
4	働いていない	615	35.7
9	無回答	8	0.5
	計	1722	100.0

Q55 2020 年２月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、あなたは次のようなことを経験しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2020 年２月以前から仕事についていなかった方は、「10」に○をつけてください。

CVXNORNW～CVXNEMP 感染拡大により経験したこと

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
CVXNORNW	1	契約が更新されなかった	12	0.7
CVXRETIR	2	希望退職をした	31	1.8
CVXFIRED	3	解雇された	11	0.6
CVXNEWJB	4	新しい仕事を見つけた	52	3.0
CVXBNKR	5	勤務先が倒産した	6	0.3
CVXDSZ	6	事業を縮小した（自営業）	42	2.4
CVXCLS	7	事業が廃業した（自営業）	6	0.3
CVXETC	8	その他	13	0.8
CVXNONE	9	いずれも経験していない	961	55.8
CVXNEMP	10	仕事についていなかった	561	32.6
		該当者数	1722	100.0

Q56 感染症拡大への対策について、政府は何を優先するべきだとお考えですか。以下の事柄について、あてはまる数字に○をつけてください。

A　感染拡大防止と経済活動

CVGECON　感染症対策への意見：感染拡大防止か経済活動か

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	感染拡大防止を優先することが重要	322	18.7
1	・	207	12.0
2	・	254	14.8
3	・	295	17.1
4	・	124	7.2
5	・	317	18.4
6	・	30	1.7
7	・	53	3.1
8	・	35	2.0
9	・	11	0.6
10	経済活動を優先することが重要	48	2.8
99	無回答	26	1.5
	計	1722	100.0

B　個人の行動の追跡（モニタリング）とプライバシーの尊重

CVGPRV　感染症対策への意見:行動追跡かプライバシーか

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	個人の行動を追跡することが重要	99	5.7
1	・	73	4.2
2	・	116	6.7
3	・	213	12.4
4	・	105	6.1
5	・	571	33.2
6	・	58	3.4
7	・	118	6.9
8	・	127	7.4
9	・	44	2.6
10	プライバシーを尊重することが重要	160	9.3
99	無回答	38	2.2
	計	1722	100.0

C　政府が国境を封鎖することは重要である

CVGBORD　感染症対策への意見:国境封鎖の重要性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	とても重要	436	25.3
1	・	226	13.1
2	・	255	14.8
3	・	241	14.0
4	・	90	5.2
5	・	320	18.6
6	・	21	1.2
7	・	26	1.5
8	・	22	1.3
9	・	9	0.5
10	まったく重要ではない	41	2.4
99	無回答	35	2.0
	計	1722	100.0

D　政府が移動を制限することは重要である

CVGMOVE　感染症対策への意見:移動制限の重要性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	とても重要	358	20.8
1	・	227	13.2
2	・	285	16.6
3	・	334	19.4
4	・	101	5.9
5	・	284	16.5
6	・	13	0.8
7	・	27	1.6
8	・	19	1.1
9	・	7	0.4
10	まったく重要ではない	38	2.2
99	無回答	29	1.7
	計	1722	100.0

Q57 新型コロナウイルスをめぐる、現在の政府の対応について、あなたはどの程度評価しますか。

COVGOV　COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに評価する	38	2.2
2	ある程度評価する	675	39.2
3	あまり評価しない	742	43.1
4	まったく評価しない	248	14.4
9	無回答	19	1.1
	計	1722	100.0

Q58 あなたは、新型コロナウイルスについての情報を何を通して知りますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

CVINNP～CVINOT COVID-19 の情報を知るメディア

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
CVINNP	1　新聞（オンライン版含む）	956	55.5
CVINRD	2　ラジオ	290	16.8
CVINTV	3　テレビ	1535	89.1
CVININT	4　インターネット（ウェブ記事）	1130	65.6
CVINSM	5　ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど）	237	13.8
CVINPN	6　知人	406	23.6
CVINOT	7　その他	20	1.2
	該当者数	1722	100.0

ここからは、人付き合いやお住まいの地域の環境についておうかがいします。

Q59 あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。

A　安心して生活できる

OPNBSAFE　近隣状況:安心して生活できる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	489	28.4
2	あてはまる	935	54.3
3	どちらともいえない	261	15.2
4	あてはまらない	25	1.5
5	まったくあてはまらない	4	0.2
9	無回答.	8	0.5
	計	1722	100.0

B　近所の人は、お互いに気にかけている

OPNBMTCN　近隣状況:互いに気にかけている

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	239	13.9
2	あてはまる	684	39.7
3	どちらともいえない	574	33.3
4	あてはまらない	149	8.7
5	まったくあてはまらない	70	4.1
9	無回答.	6	0.3
	計	1722	100.0

C　近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる

OPNBASS　近隣状況:手助けしてくれる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	201	11.7
2	あてはまる	532	30.9
3	どちらともいえない	677	39.3
4	あてはまらない	177	10.3
5	まったくあてはまらない	123	7.1
9	無回答.	12	0.7
	計	1722	100.0

Q60 あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所はありますか。

FEARWALK　自宅周辺の危険な場所の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	697	40.5
2	いいえ	1004	58.3
9	無回答	21	1.2
	計	1722	100.0

Q61 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

A　地震

DISQUAKE　災害発生の可能性:地震

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	482	28.0
2	かなり有りうる	380	22.1
3	ある程度有りうる	730	42.4
4	ほとんど有りえない	116	6.7
9	無回答	14	0.8
	計	1722	100.0

B　津波

DISTSNM　災害発生の可能性:津波

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	102	5.9
2	かなり有りうる	94	5.5
3	ある程度有りうる	276	16.0
4	ほとんど有りえない	1222	71.0
9	無回答	28	1.6
	計	1722	100.0

C　高潮や河川の氾濫による水害

DISFLOOD　災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	212	12.3
2	かなり有りうる	218	12.7
3	ある程度有りうる	545	31.6
4	ほとんど有りえない	723	42.0
9	無回答	24	1.4
	計	1722	100.0

D 豪雪

DISTSNOW 災害発生の可能性:豪雪

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	99	5.7
2	かなり有りうる	111	6.4
3	ある程度有りうる	335	19.5
4	ほとんど有りえない	1150	66.8
9	無回答	27	1.6
	計	1722	100.0

E 噴火による災害

DISVOLC 災害発生の可能性:噴火

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	27	1.6
2	かなり有りうる	35	2.0
3	ある程度有りうる	200	11.6
4	ほとんど有りえない	1425	82.8
9	無回答	35	2.0
	計	1722	100.0

F 土砂災害（地滑り、土石流など）

DISLAND 災害発生の可能性:土砂災害

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	76	4.4
2	かなり有りうる	101	5.9
3	ある程度有りうる	366	21.3
4	ほとんど有りえない	1147	66.6
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

G 原子力発電所の事故

DISNUC 災害発生の可能性:原子力発電所の事故

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	55	3.2
2	かなり有りうる	51	3.0
3	ある程度有りうる	224	13.0
4	ほとんど有りえない	1367	79.4
9	無回答	25	1.5
	計	1722	100.0

Q62 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

AXDIS 災害発生に対する不安

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても不安	203	11.8
2	ある程度不安	649	37.7
3	少し不安	698	40.5
4	まったく不安ではない	163	9.5
9	無回答	9	0.5
	計	1722	100.0

Q63 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS　自然災害時の地域の人どうしの協力

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強くそう思う	46	2.7
2	そう思う	290	16.8
3	どちらかといえばそう思う	729	42.3
4	どちらともいえない	501	29.1
5	どちらかといえばそう思わない	88	5.1
6	そう思わない	52	3.0
7	強くそう思わない	9	0.5
9	無回答	7	0.4
	計	1722	100.0

Q64-1 あなたは、自然災害によって建物や家財、人的被害を受けたことがありますか。どのような自然災害ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

XDSSTREQ～XDSSTRNE 被災経験

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
XDSSTREQ	1	地震	299	17.4
XDSSTRTF	2	台風・水害	316	18.4
XDSSTRHS	3	豪雪	50	2.9
XDSSTROT	4	その他	11	0.6
XDSSTRNE	5	被害を受けたことはない	1139	66.1
XDSSTRTS		津波	8	0.5
		該当者数	1722	100.0

「津波」は「4 その他」の具体的記述から追加した。

（Q64-1 で「1 地震」「2 台風・水害」「3 豪雪」「4 その他」「津波」と回答した人に）

Q64-2 被災後に、ふつうの生活に戻るまで何日かかりましたか。２回以上経験した場合は、最も長かった期間についてお答えください。

XDSRCOV　被災経験の最も長かった期間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	1 日以内	104	18.2
2	数日	96	16.8
3	1 週間程度	129	22.6
4	2 週間程度	24	4.2
5	1 カ月程度	93	16.3
6	3 カ月程度	33	5.8
7	半年程度	44	7.7
8	1 年以上	21	3.7
99	無回答	26	4.6
	計	570	100.0
88	非該当	1152	
	計	1722	

Q64-3 その被災経験はいつのことですか。

XDSYR　被災経験の時期（年）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1945～1959 年		18	3.2
	1960～1969 年		8	1.4
	1970～1979 年		14	2.5
	1980～1989 年		5	0.9
	1990～1994 年		26	4.6
	1995～1999 年		56	9.8
	2000～2004 年		18	3.2
	2005～2009 年		16	2.8
	2010～2014 年		142	24.9
	2015～2019 年		148	26.0
	2020～2021 年		23	4.0
9999	無回答		96	16.8
		計	570	100.0
8888	非該当		1152	
		計	1722	

（全員に）

Q65 あなたは自然災害から緊急に避難しなければならない場合、どこに避難しますか。

EVCPL　自然災害から緊急に避難する場所

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	避難所	862	50.1
2	家族や親せきの家	146	8.5
3	知人の家	12	0.7
4	ホテルや旅館など	16	0.9
5	車中泊	114	6.6
6	自宅に留まるほうが安全だ	301	17.5
7	安全ではないが自宅に留まる	203	11.8
8	その他	19	1.1
99	無回答	49	2.8
	計	1722	100.0

Q66 あなたやご家族は、自宅以外の場所への避難に備えて次のことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EVCFCT～EVCOTHR 避難準備

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
EVCFCT	1	家族との連絡方法の取り決め	409	23.8
EVCFMT	2	家族と落ち合う場所の取り決め	334	19.4
EVCSHLT	3	避難所の位置の確認	642	37.3
EVCROUT	4	避難所までの経路の確認	265	15.4
EVCGDS	5	非常持ち出し品の準備（懐中電灯､携帯ラジオ､非常食など）	683	39.7
EVCMAP	6	ハザードマップや防災マップを確認	353	20.5
EVCNONE	7	特に何もしていない	568	33.0
EVCOTHR	8	その他	4	0.2
		該当者数	1722	100.0

Q67 「政府や地方自治体は、被災者や被災地域の実情の変化に合わせて、復興政策を定期的に見直すべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

OP5GVRP　意見への賛否:政府の復興政策

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	580	33.7
2	どちらかといえば賛成	812	47.2
3	どちらともいえない	303	17.6
4	どちらかといえば反対	3	0.2
5	反対	0	0.0
9	無回答	24	1.4
	計	1722	100.0

Q68 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

A　大気汚染

ENHMAP　環境被害:大気汚染

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	24	1.4
2	ある程度深刻	212	12.3
3	あまり深刻ではない	949	55.1
4	まったく深刻ではない	516	30.0
9	無回答	21	1.2
	計	1722	100.0

B　水質汚染

ENHMWP　環境被害:水質汚染

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	21	1.2
2	ある程度深刻	165	9.6
3	あまり深刻ではない	971	56.4
4	まったく深刻ではない	542	31.5
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

C　土壌汚染

ENHMSP　環境被害:土壌汚染

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	16	0.9
2	ある程度深刻	125	7.3
3	あまり深刻ではない	964	56.0
4	まったく深刻ではない	590	34.3
9	無回答	27	1.6
	計	1722	100.0

D　高齢化

ENHMAGNG　地域問題:高齢化

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	383	22.2
2	ある程度深刻	937	54.4
3	あまり深刻ではない	338	19.6
4	まったく深刻ではない	49	2.8
9	無回答	15	0.9
	計	1722	100.0

E　買い物の不便さ（店が遠いなど）

ENHMSHOP　地域問題:買い物の不便さ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	121	7.0
2	ある程度深刻	363	21.1
3	あまり深刻ではない	737	42.8
4	まったく深刻ではない	479	27.8
9	無回答	22	1.3
	計	1722	100.0

F　空き家の増加

ENHMEMP　地域問題:空き家の増加

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	126	7.3
2	ある程度深刻	526	30.5
3	あまり深刻ではない	764	44.4
4	まったく深刻ではない	283	16.4
9	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

G　犯罪の増加

ENHMDCRM　地域問題:犯罪の増加

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	37	2.1
2	ある程度深刻	333	19.3
3	あまり深刻ではない	1002	58.2
4	まったく深刻ではない	325	18.9
9	無回答	25	1.5
	計	1722	100.0

H　人口の流出

ENHMDEPP　地域問題:人口の流出

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	100	5.8
2	ある程度深刻	397	23.1
3	あまり深刻ではない	871	50.6
4	まったく深刻ではない	323	18.8
9	無回答	31	1.8
	計	1722	100.0

I　公共交通機関の不便さ

ENHMTRNS　地域問題:公共交通機関の不便さ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	188	10.9
2	ある程度深刻	455	26.4
3	あまり深刻ではない	671	39.0
4	まったく深刻ではない	386	22.4
9	無回答	22	1.3
	計	1722	100.0

J　耕作放棄地の増加

ENHMDSLD　地域問題:耕作放棄地の増加

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	103	6.0
2	ある程度深刻	303	17.6
3	あまり深刻ではない	732	42.5
4	まったく深刻ではない	538	31.2
9	無回答	46	2.7
	計	1722	100.0

K　鳥や獣（イノシシ､シカなど）による被害

ENHMANML　地域問題:鳥や獣による被害

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	80	4.6
2	ある程度深刻	262	15.2
3	あまり深刻ではない	613	35.6
4	まったく深刻ではない	735	42.7
9	無回答	32	1.9
	計	1722	100.0

L　山林の維持管理

ENHMD　地域問題:山林の維持管理

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	80	4.6
2	ある程度深刻	259	15.0
3	あまり深刻ではない	548	31.8
4	まったく深刻ではない	794	46.1
9	無回答	41	2.4
	計	1722	100.0

Q69 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

DOECSLP～DOECNONE エコ商品の利用

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
DOECSLP	1　ソーラーパネル（太陽光発電）	170	9.9
DOECMNP	2　深夜電力（深夜電力の割引契約）	334	19.4
DOECWC	3　エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など	324	18.8
DOECLMC	4　低公害車（LPG 車やハイブリッド車､電気自動車など）	294	17.1
DOECNONE	5　いずれも利用していない	1011	58.7
	該当者数	1722	100.0

Q70 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

A　電気は、こまめに消す

FQ4DENKI　電気はこまめに消す

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	873	50.7
2	時々する	653	37.9
3	あまりしない	170	9.9
4	全くしない	23	1.3
9	無回答	3	0.2
	計	1722	100.0

B　消費電力を減らす工夫をする

FQ4ELC　消費電力を減らす工夫

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	488	28.3
2	時々する	781	45.4
3	あまりしない	393	22.8
4	全くしない	48	2.8
9	無回答	12	0.7
	計	1722	100.0

Q71 日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

OPNUCPOL　原子力政策への意見

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	原子炉をさらに増やす	50	2.9
2	今ある原子炉は稼働し、数は増やさない	543	31.5
3	原子炉の数は減らすが、全廃はしない	342	19.9
4	原子炉を長期的にはすべて廃止する	588	34.1
5	原子炉を即時全廃する	131	7.6
9	無回答	68	3.9
	計	1722	100.0

Q72 あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

AXFDRAD　放射性物質による食品汚染の不安感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても不安	247	14.3
2	ある程度不安	577	33.5
3	少し不安	671	39.0
4	まったく不安ではない	216	12.5
9	無回答	11	0.6
	計	1722	100.0

Q73-1 過去１年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

LSCON　心配事を聞いてくれた人の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	1284	74.6
2	いいえ	145	8.4
3	心配事はなかった	287	16.7
9	無回答	6	0.3
	計	1722	100.0

（Q73-1 で「1 はい」と回答した人に）
Q73-2 それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
LSCONFF～LSCONOTH 心配事を聞いてくれた人

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答			選択者数	%
LSCONFF	1	同居家族	927	72.2
LSCONRL	2	その他の親族	480	37.4
LSCONCL	3	職場の人	313	24.4
LSCONNB	4	近所の人	99	7.7
LSCONFR	5	友人	702	54.7
LSCONPR	6	専門職の人（カウンセラー､ヘルパーなど）	66	5.1
LSCONOTH	7	その他	3	0.2
		該当者数	1284	100.0

（全員に）
Q74 かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか。
OP10LVL　自分の位置する階層

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	一番上	3	0.2
2	・	11	0.6
3	・	81	4.7
4	・	164	9.5
5	・	577	33.5
6	・	270	15.7
7	・	282	16.4
8	・	196	11.4
9	・	49	2.8
10	一番下	51	3.0
99	無回答	38	2.2
	計	1722	100.0

Q75 「親による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。
Q5PMSPNK　親による体罰の賛否

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	64	3.7
2	どちらかといえば賛成	336	19.5
3	どちらともいえない	539	31.3
4	どちらかといえば反対	410	23.8
5	反対	364	21.1
9	無回答	9	0.5
	計	1722	100.0

Q76 「教師による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。
Q5TTSPNK　教師による体罰の賛否

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	賛成		53	3.1
2	どちらかといえば賛成		280	16.3
3	どちらともいえない		476	27.6
4	どちらかといえば反対		433	25.1
5	反対		473	27.5
9	無回答		7	0.4
		計	1722	100.0

あなたのお仕事について、おうかがいします。
Q77 先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。
XJOB1WK　先週の就労経験

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	仕事をした		1068	62.0
2	仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ		44	2.6
3	仕事をしていない		598	34.7
9	無回答		12	0.7
		計	1722	100.0

お仕事について少し詳しくおうかがいします。２つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事１つについてお答えください。
（Q77 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）
Q78-1 あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。
TPJB　雇用関係

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		950	84.7
2	会社などの役員		46	4.1
3	内職		1	0.1
4	自家営業の手伝い		24	2.1
5	自営業主・自由業者		94	8.4
9	無回答		6	0.5
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

（Q78-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）
Q78-2 雇用形態は、この中のどれにあたりますか。
TPJBS　雇用形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		562	59.2
2	パート・アルバイト		272	28.6
3	派遣社員		20	2.1
4	契約社員		72	7.6
5	嘱託		19	2.0
9	無回答		5	0.5
		計	950	100.0
8	非該当		772	
		計	1722	

（Q78-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）

Q78-3 役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP　役職

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		340	60.5
2	職長・班長・組長など		69	12.3
3	係長（係長相当）		51	9.1
4	課長（課長相当）		63	11.2
5	部長（部長相当）		28	5.0
6	その他の役職		1	0.2
9	無回答		10	1.8
		計	562	100.0
8	非該当		1160	
		計	1722	

（Q78-1 で「5 自営業主・自由業者」と回答した人に）

Q78-4 家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。

TPJBSE　従業員を持つ自営業者

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		26	27.7
2	いいえ		66	70.2
9	無回答		2	2.1
		計	94	100.0
8	非該当		1628	
		計	1722	

（Q78-2 で「2 パート・アルバイト」「3 派遣社員」「4 契約社員」「5 嘱託」と回答した人に）

Q78-5 現在の働き方をしている主な理由１つに○をつけてください。

TPJBNR　非正規雇用についた主な理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	自分の都合の良い時間に働きたいから		89	23.1
2	家計の補助・学費等を得たいから		68	17.6
3	家事・育児・介護等と両立しやすいから		45	11.7
4	通勤時間が短いから		14	3.6
5	専門的な技能等を活かせるから		31	8.0
6	正規の職員・従業員の仕事がないから		40	10.4
7	定年後の再雇用として		50	13.0
8	その他		30	7.8
9	無回答		19	4.9
		計	386	100.0
8	非該当		1336	
		計	1722	

（Q77 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）

Q79 あなたは、先週、残業も含めて主な仕事を合計何時間しましたか。副業を含めないでください。 先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。

XJOBHWK　就労時間数／週

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		0	0
	1～9 時間		49	4.4
	10～19 時間		87	7.8
	20～29 時間		137	12.2
	30～39 時間		173	15.4
	40～49 時間		386	34.4
	50～59 時間		137	12.2
	60～69 時間		52	4.6
	70～79 時間		26	2.3
	80 時間以上		12	1.1
999	無回答		62	5.5
		計	1121	100.0
888	非該当		601	
		計	1722	

Q80 あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

SZ7CMT　通勤時間

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	15 分未満		317	28.3
2	15～30 分未満		322	28.7
3	30 分～1 時間未満		220	19.6
4	1 時間～1 時間半未満		122	10.9
5	1 時間半以上		31	2.8
6	住まいと職場は同じ		64	5.7
7	日によって行先が違う		30	2.7
9	無回答		15	1.3
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q81 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR　就労年数

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 年未満		91	8.1
	1～4 年		236	21.1
	5～9 年		182	16.2
	10～19 年		290	25.9
	20～29 年		127	11.3
	30 年以上		172	15.3
999	無回答		23	2.1
		計	1121	100.0
888	非該当		601	
		計	1722	

Q82 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。

XWPLC　業種(選択式)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	農業	30	2.7
2	林業	3	0.3
3	漁業	3	0.3
4	鉱業	1	0.1
5	建設業	75	6.7
6	製造業	207	18.5
7	電気・ガス・熱供給・水道業	16	1.4
8	運輸業（旅行業を含む）	84	7.5
9	卸売業	37	3.3
10	小売業	107	9.5
11	飲食店	41	3.7
12	金融・保険業	44	3.9
13	不動産業	14	1.2
14	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	14	1.2
15	情報・通信サービス業	49	4.4
16	医療・福祉サービス業	198	17.7
17	教育・研究サービス業	38	3.4
18	法律・会計サービス業	7	0.6
19	その他のサービス業	84	7.5
20	公務	45	4.0
77	分類不能の産業	13	1.2
99	無回答	16	1.4
	計	1121	100.0
88	非該当	601	
	計	1722	

「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」「77 分類不能の産業」を追加した

Q83 あなたは、通常そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXJOB　職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
503	機械・電気・化学技術者	9	0.8
504	建築・土木技術者	4	0.4
505	農林技術者	3	0.3
506	情報処理技術者	21	1.9
507	その他の技師・技術者	7	0.6
508	医師	4	0.4
510	薬剤師	2	0.2
512	保健師（保健婦）	1	0.1
513	栄養士	2	0.2
514	看護師（看護婦・看護士）	25	2.2
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	6	0.5
516	その他の保健医療従事者	11	1.0
519	公認会計士、税理士	1	0.1
521	小学校教員	6	0.5
522	中学校教員	5	0.4
523	高等学校教員	5	0.4
524	大学教員	3	0.3

525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.2
526	その他の教員	1	0.1
527	宗教家	2	0.2
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	7	0.6
531	デザイナー	2	0.2
532	写真家、カメラマン	1	0.1
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	2	0.2
536	獣医師	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	21	1.9
538	社会福祉事業専門職員	8	0.7
539	個人教師	16	1.4
542	アナウンサー(ラジオ・テレビ)	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	3	0.3
548	会社役員	12	1.1
549	その他の法人・団体の役員	1	0.1
550	会社・団体等の管理職員	39	3.5
553	その他の管理的職業従事者	1	0.1
554	総務・企画事務員	115	10.3
555	受付・案内事務員	17	1.5
556	出荷・受荷事務員	12	1.1
557	営業・販売事務員	21	1.9
558	その他の一般事務員	8	0.7
559	会計事務員	41	3.7
561	集金人	2	0.2
562	その他の外勤事務従事者	2	0.2
563	運輸事務員	4	0.4
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	2	0.2
565	電子計算機等操作員	11	1.0
566	小売店主	9	0.8
568	飲食店主	6	0.5
569	販売店員	62	5.5
572	商品仲立人	10	0.9
573	外交員(保険、不動産を除く）	44	3.9
574	保険代理人・外交員	2	0.2
575	不動産仲買人・売買人	10	0.9
577	その他の販売類似職業従事者	4	0.4
579	理容師、美容師	9	0.8
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	27	2.4
583	給仕係	14	1.2
586	娯楽場等の接客員	2	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	8	0.7
592	その他のサービス職業従事者	2	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	1	0.1
595	消防員	3	0.3
596	看守、守衛、監視員	6	0.5
597	その他の保安職業従事者	4	0.4
599	農耕・養蚕作業者	23	2.1
600	植木職、造園師	2	0.2
601	畜産作業者	2	0.2

602	林業作業者		1	0.1
604	漁業作業者		2	0.2
607	自動車運転者		48	4.3
614	その他の運輸従事者		6	0.5
618	郵便・電報外務員		1	0.1
623	陶磁器工、絵付作業者		2	0.2
629	化学製品製造作業者		7	0.6
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者		3	0.3
631	鉄工、板金工		14	1.2
633	一般機械組立工・修理工		27	2.4
634	電気機械器具組立工・修理工		12	1.1
635	自動車組立工・整備工		12	1.1
636	鉄道車両組立工・修理工		1	0.1
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)		1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工		1	0.1
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工		9	0.8
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者		10	0.9
648	製糸作業者		1	0.1
650	漂白工、染色工		1	0.1
652	縫製工、裁断工		1	0.1
653	製材工、木工		3	0.3
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者		2	0.2
658	印刷・製本作業者		4	0.4
660	ゴム・プラスチック製品製造作業者		7	0.6
661	塗装工、画工、看板工		5	0.4
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工		1	0.1
670	製図工、現図工		1	0.1
672	その他の技能工・生産工程作業者		17	1.5
675	その他の定置機関運転作業者		3	0.3
676	発電員、変電員		1	0.1
677	電気工事・電話工事作業者		3	0.3
679	左官、とび職		3	0.3
680	れんが積工、配管工		7	0.6
682	土工、道路工夫		9	0.8
683	鉄道線路工夫		1	0.1
684	現場監督、その他の建設作業者		17	1.5
685	倉庫夫、仲仕		12	1.1
686	運搬労務者		19	1.7
687	清掃員		18	1.6
688	その他の労務作業者		11	1.0
702	大工		4	0.4
703	教員		1	0.1
801	介護員、ヘルパー		36	3.2
999	不明、無回答		53	4.7
		計	1121	100.0
998	非該当		601	
		計	1722	

XXJE08 職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		49	4.4
	Professionals		108	9.6
	Technicians and associate professionals		165	14.7
	Clerical support workers		202	18.0
	Service and sales workers		223	19.9
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		26	2.3
	Craft and related trades workers		104	9.3
	Plant and machine operators, and assemblers		109	9.7
	Elementary occupations		82	7.3
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		53	4.7
		計	1121	100.0
88888	非該当		601	
		計	1722	

Q84 あなたの主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。

JOBNPO 主な勤め先の種類:公益的団体

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	公益的な団体		226	20.2
2	それ以外		875	78.1
9	無回答		20	1.8
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q85 あなたと同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SZTTLSTA 企業規模

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		39	3.5
2	2～4 人		89	7.9
3	5～9 人		84	7.5
4	10～29 人		115	10.3
5	30～99 人		167	14.9
6	100～299 人		129	11.5
7	300～499 人		53	4.7
8	500～999 人		83	7.4
9	1,000～1,999 人		70	6.2
10	2,000～9,999 人		103	9.2
11	1 万人以上		69	6.2
12	官公庁		68	6.1
99	無回答		52	4.6
		計	1121	100.0
88	非該当		601	
		計	1722	

Q86 昨年１年間のあなたの主なお仕事からの収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。

SZICOMX　本人年収:主な仕事(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	なし		11	1.0
2	70 万円未満		88	7.9
3	70～100 万円未満		81	7.2
4	100～130 万円未満		84	7.5
5	130～150 万円未満		36	3.2
6	150～250 万円未満		134	12.0
7	250～350 万円未満		194	17.3
8	350～450 万円未満		144	12.8
9	450～550 万円未満		85	7.6
10	550～650 万円未満		82	7.3
11	650～750 万円未満		47	4.2
12	750～850 万円未満		34	3.0
13	850～1,000 万円未満		20	1.8
14	1,000～1,200 万円未満		17	1.5
15	1,200～1,400 万円未満		6	0.5
16	1,400～1,600 万円未満		8	0.7
17	1,600 万円以上		7	0.6
99	無回答		43	3.8
		計	1121	100.0
88	非該当		601	
		計	1722	

Q87 あなたは労働組合に入っていますか。

JOINUNI　労働組合加入の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	職場の労働組合に入っている		250	22.3
2	職場以外の労働組合に入っている		9	0.8
3	入っていない		842	75.1
9	無回答		20	1.8
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q88 現在の仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB　現在の仕事の満足度

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	満足している		144	12.8
2	どちらかといえば満足している		458	40.9
3	どちらともいえない		331	29.5
4	どちらかといえば不満である		127	11.3
5	不満である		51	4.5
9	無回答		10	0.9
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q89 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA　現在の会社・組織での就労継続意向

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	近いうちにやめるつもり		128	11.4
2	当分やめるつもりはない		745	66.5
3	まったくやめるつもりはない		235	21.0
9	無回答		13	1.2
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q90 今後１年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。自営業主が倒産などで失職する場合も含めてお答えください。

OP4UNEMP　失業の可能性

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	かなりある		37	3.3
2	ある程度ある		234	20.9
3	あまりない		551	49.2
4	まったくない		285	25.4
9	無回答		14	1.2
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q91 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB　再就労の容易さ

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	非常に容易である		38	3.4
2	ある程度容易である		263	23.5
3	容易ではない		803	71.6
9	無回答		17	1.5
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

Q92-1 主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。

XSJB1WK　副業の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		72	6.4
2	いいえ		1034	92.2
9	無回答		15	1.3
		計	1121	100.0
8	非該当		601	
		計	1722	

（Q92-1 で「1 はい」と回答した人に）
Q92-2 いくつ副業をしていますか。

XSJBNUM　副業の数

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 個		60	83.3
	2 個		5	6.9
	3 個		5	6.9
99	無回答		2	2.8
		計	72	100.0
88	非該当		1650	
		計	1722	

Q92-3 あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。

SZSJBHWK　副業就労時間数／週

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		11	15.3
	1～9 時間		25	34.7
	10～19 時間		22	30.6
	20～29 時間		6	8.3
	30～39 時間		2	2.8
	40～49 時間		1	1.4
	50 時間以上		3	4.2
999	無回答		2	2.8
		計	72	100.0
888	非該当		1650	
		計	1722	

Q92-4 あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。副業が複数ある場合には、主なもの１つについてお答えください。

XXSJOB　副業の職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
503	機械・電気・化学技術者	1	1.4
506	情報処理技術者	1	1.4
527	宗教家	1	1.4
528	文芸家、著述家	2	2.8
529	記者、編集者	1	1.4
531	デザイナー	1	1.4
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	2	2.8
539	個人教師	4	5.6
554	総務・企画事務員	8	11.1
555	受付・案内事務員	1	1.4
559	会計事務員	1	1.4
566	小売店主	4	5.6
569	販売店員	4	5.6
575	不動産仲買人・売買人	4	5.6
577	その他の販売類似職業従事者	2	2.8
579	理容師、美容師	1	1.4
581	料理人	3	4.2
583	給仕係	5	6.9
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	2	2.8
596	看守、守衛、監視員	2	2.8

599	農耕・養蚕作業者		6	8.3
607	自動車運転者		1	1.4
631	鉄工、板金工		1	1.4
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者		1	1.4
682	土工、道路工夫		1	1.4
685	倉庫夫、仲仕		2	2.8
686	運搬労務者		3	4.2
687	清掃員		1	1.4
688	その他の労務作業者		1	1.4
801	介護員、ヘルパー		1	1.4
999	不明、無回答		4	5.6
		計	72	100.0
998	非該当		1650	1.4
		計	1722	

XXSJE08　副業の職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		0	0.0
	Professionals		9	12.5
	Technicians and associate professionals		11	15.3
	Clerical support workers		9	12.5
	Service and sales workers		22	30.6
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		6	8.3
	Craft and related trades workers		2	2.8
	Plant and machine operators, and assemblers		1	1.4
	Elementary occupations		8	11.1
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		4	5.6
		計	72	100.0
88888	非該当		1650	
		計	1722	

（Q77 で「3 仕事をしていない」と回答した人に）
Q93 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP　不就労の理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	失業中		31	5.2
2	定年で退職している・高齢のため仕事をやめている		262	43.8
3	学生		23	3.8
4	主に家事をしている		223	37.3
5	心身上の事情で働けない		30	5.0
6	その他		10	1.7
9	無回答		19	3.2
		計	598	100.0
8	非該当		1124	
		計	1722	

Q94 あなたは、これまでに収入をともなう仕事をしたことがありますか。

XWORK　就労経験

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		539	90.1
2	いいえ		50	8.4
9	無回答		9	1.5
		計	598	100.0
8	非該当		1124	
		計	1722	

最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きします。

（Q94 で「1 はい」と回答した人に）

Q95 最後に収入をともなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK　離職年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	15～19 歳		4	0.7
	20～29 歳		58	10.8
	30～39 歳		40	7.4
	40～49 歳		32	5.9
	50～59 歳		84	15.6
	60～69 歳		175	32.5
	70～79 歳		62	11.5
	80～89 歳		8	1.5
999	無回答		76	14.1
		計	539	100.0
888	非該当		1183	
		計	1722	

Q96 当時、あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB　離職理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	定年など退職（引退）する年齢になった		173	32.1
2	早期退職（引退）を選んだ		26	4.8
3	早期退職（引退）をさせられた		2	0.4
4	健康上の理由で働けなくなった		72	13.4
5	会社が倒産したり、職場が閉鎖された		15	2.8
6	解雇された		7	1.3
7	雇用期間や契約期間が終了した		32	5.9
8	仕事や労働条件等が不満だったので		24	4.5
9	開業や転職のため		4	0.7
10	家族の介護のため		41	7.6
11	結婚したため		39	7.2
12	出産・育児のため		30	5.6
13	その他		20	3.7
15	孫の世話		6	1.1
99	無回答		48	8.9
		計	539	100.0
88	非該当		1183	
		計	1722	

コード「15」は「13 その他」の具体的記述から追加した

Q97-1 その仕事は、大きく分けて、この中のどれでしたか。

TPLSTJB　前職の雇用関係

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		429	79.6
2	会社などの役員		11	2.0
3	内職		5	0.9
4	自家営業の手伝い		14	2.6
5	自営業主・自由業者		39	7.2
9	無回答		41	7.6
		計	539	100.0
8	非該当		1183	
		計	1722	

（Q97-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）

Q97-2 当時の雇用形態は、この中のどれでしたか。

TPLSTJBS　前職の雇用形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		213	49.7
2	パート・アルバイト		162	37.8
3	派遣社員		14	3.3
4	契約社員		24	5.6
5	嘱託		9	2.1
9	無回答		7	1.6
		計	429	100.0
8	非該当		1293	
		計	1722	

（Q97-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）

Q97-3 当時の役職は、この中のどれでしたか。

TPLSTJBP　前職の役職

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		133	62.4
2	職長・班長・組長など		14	6.6
3	係長（係長相当）		20	9.4
4	課長（課長相当）		24	11.3
5	部長（部長相当）		13	6.1
6	その他の役職		0	0.0
9	無回答		9	4.2
		計	213	100.0
8	非該当		1509	
		計	1722	

（Q94 で「1 はい」と回答した人に）

Q98 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にご記入ください。（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXLSTJB　前職の職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
503	機械・電気・化学技術者	2	0.4
506	情報処理技術者	2	0.4
510	薬剤師	2	0.4
513	栄養士	3	0.6
514	看護婦・看護士	7	1.3
516	その他の保健医療従事者	3	0.6
520	幼稚園教員	1	0.2
521	小学校教員	8	1.5
522	中学校教員	2	0.4
523	高等学校教員	4	0.7
524	大学教員	1	0.2
527	宗教家	1	0.2
531	デザイナー	1	0.2
537	保母、保父	4	0.7
538	社会福祉事業専門職員	1	0.2
539	個人教師	3	0.6
545	管理的公務員	3	0.6
547	地方議員	1	0.2
548	会社役員	5	0.9
550	会社・団体等の管理職員	4	0.7
554	総務・企画事務員	69	12.8
555	受付・案内事務員	9	1.7
556	出荷・受荷事務員	1	0.2
557	営業・販売事務員	16	3.0
558	その他の一般事務員	4	0.7
559	会計事務員	16	3.0
560	郵便・通信事務員	3	0.6
561	集金人	3	0.6
562	その他の外勤事務従事者	1	0.2
565	電子計算機等操作員	4	0.7
566	小売店主	1	0.2
567	飲食店主	4	0.7
569	販売店員	30	5.6
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.2
572	商品仲立人	1	0.2
573	外交員(保険、不動産を除く)	20	3.7
574	保険代理人・外交員	5	0.9
577	その他の販売類似職業従事者	5	0.9
578	女中、家政婦、家事サービス職業従事者	1	0.2
579	理容師、美容師	5	0.9
581	料理人	8	1.5
583	給仕係	18	3.3
585	接客社交係	1	0.2
586	娯楽場等の接客員	2	0.4
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	5	0.9
592	その他のサービス職業従事者	1	0.2

593	自衛官		1	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員		1	0.2
596	看守、守衛、監視員		2	0.4
597	その他の保安職業従事者		6	1.1
599	農耕・養蚕作業者		11	2.0
601	畜産作業者		2	0.4
604	漁業作業者		1	0.2
607	自動車運転者		11	2.0
612	鉄道員		1	0.2
613	船員		1	0.2
624	石工		1	0.2
631	鉄工、板金工		2	0.4
633	一般機械組立工・修理工		14	2.6
634	電気機械器具組立工・修理工		8	1.5
635	自動車組立工・整備工		2	0.4
641	時計組立工・修理工		1	0.2
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工		1	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工		2	0.4
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者		11	2.0
648	製糸作業者		1	0.2
649	織布工、紡織作業者		1	0.2
651	洋服・和服仕立職		1	0.2
652	縫製工、裁断工		8	1.5
653	製材工、木工		1	0.2
654	指物職、家具職，建具職		1	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者		1	0.2
658	印刷・製本作業者		1	0.2
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者		2	0.4
661	塗装工、画工、看板工		2	0.4
670	製図工,現図工		4	0.7
672	その他の技能工・生産工程作業者		13	2.4
677	電気工事・電話工事作業者		5	0.9
679	左官、とび職		1	0.2
682	土工、道路工夫		3	0.6
684	現場監督、その他の建設作業者		2	0.4
685	倉庫夫、仲仕		4	0.7
686	運搬労務者		6	1.1
687	清掃員		13	2.4
688	その他の労務作業者		10	1.9
702	大工		1	0.2
703	教員		1	0.2
801	介護員、ヘルパー		10	1.9
999	不明、無回答		76	14.1
		計	539	100.0
998	非該当		1183	
		計	1722	

XXLJE08　前職の職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		11	2.0
	Professionals		29	5.4
	Technicians and associate professionals		53	9.8
	Clerical support workers		122	22.6
	Service and sales workers		108	20.0
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		13	2.4
	Craft and related trades workers		37	6.9
	Plant and machine operators, and assemblers		45	8.3
	Elementary occupations		45	8.3
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		76	14.1
		計	539	100.0
88888	非該当		1183	
		計	1722	

Q99 あなたと同じ会社・組織で働いていた方は何人でしたか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ていた場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SZSTFLS　前職の企業規模(6 分類)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		24	4.5
2	小企業（2～29 人）		143	26.5
3	中企業（30～299 人）		135	25.0
4	大企業（300～999 人）		51	9.5
5	大手大企業（1,000 人以上）		74	13.7
6	官公庁		48	8.9
9	無回答		64	11.9
		計	539	100.0
8	非該当		1183	
		計	1722	

（全員に）

Q100 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB　求職の有無(全員)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		249	14.5
2	いいえ		1466	85.1
9	無回答		7	0.4
		計	1722	100.0

Q101 あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

XNUMCOWK　転職数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	0 社	176	10.2
2	1 社	640	37.2
3	2 社	378	22.0
4	3 社	239	13.9
5	4 社	113	6.6
6	5 社	72	4.2
7	6 社以上	58	3.4
9	無回答	46	2.7
	計	1722	100.0

Q102 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。

XSPSCH　専修学校・専門学校への通学経験（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	通ったことがある	330	19.2
2	通ったことがない	1362	79.1
9	無回答	30	1.7
	計	1722	100.0

Q103 あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

XLSTSCH　最終学校（本人）（簡易版）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	161	9.3
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	827	48.0
3	高専（高等専門学校）	1	0.1
4	短大	199	11.6
5	大学（旧制高校・大学）	452	26.2
6	大学院	47	2.7
9	無回答	35	2.0
	計	1722	100.0

Q104 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH　最終学校の卒業・中退（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	卒業	1570	91.2
2	中退	101	5.9
3	在学中	32	1.9
9	無回答	19	1.1
	計	1722	100.0

XGRADE　在学中の場合の学年（本人）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1年生		3	9.4
	2 年生		13	40.6
	3 年生		7	21.9
	4 年生		7	21.9
99	無回答		2	6.3
		計	32	100.0
88	非該当		1690	
		計	1722	

Q105 あなたが一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY　家族人数（本人除く）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 人		196	11.4
	1 人		535	31.1
	2 人		414	24.0
	3 人		346	20.1
	4 人		128	7.4
	5 人以上		84	4.9
999	無回答		19	1.1
		計	1722	100.0

SZFFTTL　家族人数（本人含む）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 人		197	11.4
	2 人		534	31.0
	3 人		414	24.0
	4 人		346	20.1
	5 人以上		212	12.3
999	無回答		19	1.1
		計	1722	100.0

Q106 現在、あなたと一緒に住んでいる方は、どなたですか。すべてに○をつけてください。

COFMSS～COFMNONE 同居家族

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
COFMSS	1	配偶者	1128	65.5
COFMCC	2	あなたの子ども	782	45.4
COFMCSS	3	子どもの配偶者	67	3.9
COFMGCC	4	孫	90	5.2
COFMPP	5	あなたの父親	192	11.1
COFMMM	6	あなたの母親	294	17.1
COFMPPL	7	配偶者の父親	30	1.7
COFMMML	8	配偶者の母親	51	3.0

COFMGP	9 あなたの祖父	8	0.5
COFMGM	10 あなたの祖母	24	1.4
COFMGPL	11 配偶者の祖父	1	0.1
COFMGML	12 配偶者の祖母	4	0.2
COFMSB	13 あなたの兄弟姉妹	102	5.9
COFMSBL	14 配偶者の兄弟姉妹	5	0.3
COFMOT	15 その他	15	0.9
COFMNONE	16 一人暮らし	197	11.4
COFMGCSP	孫の配偶者	1	0.1
COFMBYSP	弟の妻	0	0.0
COFMBYCC	弟の子	0	0.0
COFMSYCC	妹の子	1	0.1
COFMSBCM	甥	1	0.1
COFMSBCF	姪	1	0.1
COFMUNAT	父母の兄弟姉妹	0	0.0
COFMUN	おじ	1	0.1
COFMAT	おば	2	0.1
COFMUNAC	おじ・おばの子	0	0.0
	該当者数	1722	100.0

「孫の配偶者」～「おじ・おばの子」は「15 その他」の具体的記述から追加した

Q107 現在、あなたと一緒に住んでいる方の中で、最も高齢の方の年齢を教えてください。

COFMELD 最も高齢の同居家族の年齢

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	一人暮らし	197	11.4
2	20 歳代	19	1.1
3	30 歳代	131	7.6
4	40 歳代	193	11.2
5	50 歳代	243	14.1
6	60 歳代	260	15.1
7	70 歳代	351	20.4
8	80 歳以上	305	17.7
99	無回答	23	1.3
	計	1722	100.0

Q108 昨年１年間のあなたの家の世帯収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入で、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

SZHSICM　世帯年収(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	なし	13	0.8
2	70 万円未満	19	1.1
3	70～100 万円未満	29	1.7
4	100～130 万円未満	29	1.7
5	130～150 万円未満	26	1.5
6	150～250 万円未満	151	8.8
7	250～350 万円未満	213	12.4
8	350～450 万円未満	185	10.7
9	450～550 万円未満	158	9.2
10	550～650 万円未満	155	9.0
11	650～750 万円未満	117	6.8
12	750～850 万円未満	115	6.7
13	850～1,000 万円未満	119	6.9
14	1,000～1,200 万円未満	90	5.2
15	1,200～1,400 万円未満	47	2.7
16	1,400～1,600 万円未満	19	1.1
17	1,600 万円以上	34	2.0
99	無回答	203	11.8
	計	1722	100.0

Q109 そのうち、あなたご自身の収入は、どのくらいになりますか。仕事以外からの収入も含めてください。

SZICOMA　本人年収:全体(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	なし	124	7.2
2	70 万円未満	150	8.7
3	70～100 万円未満	155	9.0
4	100～130 万円未満	118	6.9
5	130～150 万円未満	71	4.1
6	150～250 万円未満	235	13.6
7	250～350 万円未満	246	14.3
8	350～450 万円未満	169	9.8
9	450～550 万円未満	94	5.5
10	550～650 万円未満	88	5.1
11	650～750 万円未満	50	2.9
12	750～850 万円未満	39	2.3
13	850～1,000 万円未満	21	1.2
14	1,000～1,200 万円未満	17	1.0
15	1,200～1,400 万円未満	6	0.3
16	1,400～1,600 万円未満	7	0.4
17	1,600 万円以上	11	0.6
99	無回答	121	7.0
	計	1722	100.0

Q110 あなたのご両親が最後に通った学校は、次のどれにあたりますか。わかる範囲でお答えください。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

父親

PLSTSCH　最終学校(父親)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	505	29.3
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	589	34.2
3	高専（高等専門学校）	2	0.1
4	短大	14	0.8
5	大学（旧制高校・大学）	289	16.8
6	大学院	19	1.1
7	わからない	261	15.2
9	無回答	43	2.5
	計	1722	100.0

母親

MLSTSCH　最終学校(母親)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	508	29.5
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	692	40.2
3	高専（高等専門学校）	0	0.0
4	短大	127	7.4
5	大学（旧制高校・大学）	93	5.4
6	大学院	2	0.1
7	わからない	259	15.0
9	無回答	41	2.4
	計	1722	100.0

Q111-1 これまでにおもちになったお子さんは何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。養子・連れ子についても含めてお答えください。

CCNUMC　子どもの人数(選択式)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	持ったことがない	434	25.2
1	1 人	228	13.2
2	2 人	695	40.4
3	3 人	282	16.4
4	4 人	45	2.6
5	5 人以上	11	0.6
9	無回答	27	1.6
	計	1722	100.0

CCNUMCX　子どもの人数(選択式):5 人以上の場合(具体的記述)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	5 人	8	72.7
	6 人	0	0.0
	7 人	1	9.1
	8 人	1	9.1
99	無回答	1	9.1
	計	11	100.0
88	非該当	1711	
	計	1722	

（Q111-1で「１１人」「２２人」「３３人」「４４人」「５５人以上」と回答した人に）
Q111-2 末子の現在の年齢を教えてください。

CCYLIVE　末子:生死

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	存命		1166	92.5
2	亡くなっている		10	0.8
9	無回答		85	6.7
		計	1261	100.0
8	非該当		461	
		計	1722	

CCYNG　末子の年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0～9 歳		234	20.1
	10～19 歳		181	15.5
	20～29 歳		216	18.5
	30～39 歳		199	17.1
	40～49 歳		225	19.3
	50～59 歳		102	8.7
	60～69 歳		8	0.7
999	無回答		1	0.1
		計	1166	100.0
888	非該当		556	
		計	1722	

（全員に）
Q112 あなたは結婚していますか。

DOMARRY　結婚状況

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	現在、配偶者がいる		1144	66.4
2	離婚した		113	6.6
3	死に別れた		128	7.4
4	結婚したことはない		300	17.4
5	離婚を前提に別居中		9	0.5
6	同棲中		11	0.6
9	無回答		17	1.0
		計	1722	100.0

ここからは、あなたの配偶者について、おうかがいします。
（Q112 で「1 現在、配偶者がいる」「6 同棲中」と回答した人に）
Q113 配偶者の方の現在の年齢を教えてください。

SPAGEX　配偶者の年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	～29 歳		31	2.7
	30～39 歳		155	13.4
	40～49 歳		217	18.8
	50～59 歳		219	19.0
	60～69 歳		211	18.3
	70～79 歳		212	18.4
	80 歳～		78	6.8
999	無回答		32	2.8
		計	1155	100.0
888	非該当		567	
		計	1722	

Q114 あなたの配偶者の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ　健康状態(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	良い		353	30.6
2	・		337	29.2
3	・		313	27.1
4	・		98	8.5
5	悪い		40	3.5
9	無回答		14	1.2
		計	1155	100.0
8	非該当		567	
		計	1722	

Q115 あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。

PSPSCH　専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	通ったことがある		232	20.1
2	通ったことがない		898	77.7
9	無回答		25	2.2
		計	1155	100.0
8	非該当		567	
		計	1722	

Q116 あなたの配偶者が最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

SLSTSCH　最終学校(配偶者)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）		97	8.4
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）		564	48.8
3	高専（高等専門学校）		1	0.1
4	短大		133	11.5
5	大学（旧制高校・大学）		308	26.7
6	大学院		27	2.3
9	無回答		25	2.2
		計	1155	100.0
8	非該当		567	
		計	1722	

Q117 あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

SSDOLSTS　最終学校の卒業・中退(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	卒業		1083	93.8
2	中退		52	4.5
3	在学中		2	0.2
9	無回答		18	1.6
		計	1155	100.0
8	非該当		567	
		計	1722	

SSXGRADE　在学中の場合の学年(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 年生		0	0.0
	2 年生		1	50.0
	3 年生		0	0.0
	4 年生		1	50.0
99	無回答		0	0.0
		計	2	100.0
88	非該当		1720	
		計	1722	

Q118-1 先週、あなたの配偶者は収入をともなう仕事をしましたか。

SSJB1WK　先週の就労経験(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	仕事をした		689	59.7
2	仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ		30	2.6
3	仕事をしていない		427	37.0
9	無回答		9	0.8
		計	1155	100.0
8	非該当		567	
		計	1722	

（Q118-1 で「3 仕事をしていない」と回答した人に）
Q118-2 先週の配偶者の方はこの中のどれにあたりますか。
SSTPUNEM　不就労の理由（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	失業中		7	1.6
2	定年で退職している・高齢のため仕事をやめている		158	37.0
3	学生		0	0.0
4	主に家事をしている		203	47.5
5	心身上の事情で働けない		24	5.6
6	その他		5	1.2
9	無回答		30	7.0
		計	427	100.0
8	非該当		1295	
		計	1722	

（Q118-1 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）
Q119 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。２つ以上仕事をおもちの場合は合計の時間を教えてください。先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。
SPWRKHRS　就労時間数／週（配偶者）（副業含む）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		0	0.0
	1～9 時間		29	4.0
	10～19 時間		54	7.5
	20～29 時間		71	9.8
	30～39 時間		76	10.5
	40～49 時間		276	38.3
	50～59 時間		82	11.4
	60～69 時間		44	6.1
	70～79 時間		11	1.5
	80 時間以上		16	2.2
999	無回答		62	8.6
		計	721	100.0
888	非該当		1001	
		計	1722	

Q120-1 あなたの配偶者の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。
SSTPJB　雇用関係（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		580	80.4
2	会社などの役員		32	4.4
3	内職		2	0.3
4	自家営業の手伝い		15	2.1
5	自営業主・自由業者		85	11.8
9	無回答		7	1.0
		計	721	100.0
8	非該当		1001	
		計	1722	

（Q120-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）
Q120-2 雇用形態は、この中のどれにあたりますか。
SSTPJBS　雇用形態（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		351	60.5
2	パート・アルバイト		171	29.5
3	派遣社員		10	1.7
4	契約社員		29	5.0
5	嘱託		14	2.4
9	無回答		5	0.9
		計	580	100.0
8	非該当		1142	
		計	1722	

（Q120-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）
Q120-3 役職は、この中のどれにあたりますか。
SSTPJOBP　役職（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		180	51.3
2	職長・班長・組長など		32	9.1
3	係長（係長相当）		50	14.2
4	課長（課長相当）		41	11.7
5	部長（部長相当）		18	5.1
6	その他の役職		1	0.3
9	無回答		29	8.3
		計	351	100.0
8	非該当		1371	
		計	1722	

（Q120-1 で「5 自営業主・自営業者」と回答した人に）
Q120-4 家族以外に従業員を雇っていますか。（アルバイトを含みます）。
SSTPJBSE　従業員を持つ自営業者（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		29	34.1
2	いいえ		54	63.5
9	無回答		2	2.4
		計	85	100.0
8	非該当		1637	
		計	1722	

（Q118-1 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）

Q121 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。

SSWPLC　業種（配偶者）（選択式）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	農業		15	2.1
2	林業		0	0.0
3	漁業		2	0.3
4	鉱業		2	0.3
5	建設業		57	7.9
6	製造業		107	14.8
7	電気・ガス・熱供給・水道業		16	2.2
8	運輸業（旅行業を含む）		52	7.2
9	卸売業		22	3.1
10	小売業		88	12.2
11	飲食店		35	4.9
12	金融・保険業		24	3.3
13	不動産業		13	1.8
14	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業		8	1.1
15	情報・通信サービス業		21	2.9
16	医療・福祉サービス業		118	16.4
17	教育・研究サービス業		29	4.0
18	法律・会計サービス業		4	0.6
19	その他のサービス業		47	6.5
20	公務		37	5.1
77	分類不能の産業		8	1.1
99	無回答		16	2.2
		計	721	100.0
88	非該当		1001	
		計	1722	

「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」「77 分類不能の産業」を追加した

Q122 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

SSXXJOB　職種（配偶者）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
503	機械・電気・化学技術者	10	1.4
504	建築・土木技術者	2	0.3
505	農林技術者	2	0.3
506	情報処理技術者	11	1.5
507	その他の技師・技術者	2	0.3
508	医師	2	0.3
510	薬剤師	2	0.3
511	助産師（助産婦）	2	0.3
512	保健師（保健婦）	1	0.1
514	看護師（看護婦・看護士）	16	2.2
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	4	0.6
516	その他の保健医療従事者	14	1.9
521	小学校教員	6	0.8
522	中学校教員	4	0.6
523	高等学校教員	2	0.3
524	大学教員	3	0.4

525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.1
527	宗教家	1	0.1
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	3	0.4
531	デザイナー	2	0.3
532	写真家、カメラマン	1	0.1
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	13	1.8
538	社会福祉事業専門職員	1	0.1
539	個人教師	5	0.7
541	経営コンサルタント	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	5	0.7
548	会社役員	4	0.6
550	会社・団体等の管理職員	28	3.9
554	総務・企画事務員	78	10.8
555	受付・案内事務員	6	0.8
556	出荷・受荷事務員	5	0.7
557	営業・販売事務員	16	2.2
558	その他の一般事務員	4	0.6
559	会計事務員	22	3.1
560	郵便・通信事務員	3	0.4
562	その他の外勤事務従事者	1	0.1
563	運輸事務員	1	0.1
565	電子計算機等操作員	4	0.6
566	小売店主	10	1.4
568	飲食店主	3	0.4
569	販売店員	45	6.2
572	商品仲立人	4	0.6
573	外交員(保険、不動産を除く）	12	1.7
574	保険代理人・外交員	9	1.2
575	不動産仲買人・売買人	5	0.7
577	その他の販売類似職業従事者	2	0.3
579	理容師、美容師	7	1.0
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	19	2.6
583	給仕係	8	1.1
586	娯楽場等の接客員	1	0.1
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	7	1.0
592	その他のサービス職業従事者	1	0.1
593	自衛官	2	0.3
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	1	0.1
595	消防員	5	0.7
596	看守、守衛、監視員	5	0.7
597	その他の保安職業従事者	3	0.4
599	農耕・養蚕作業者	12	1.7
600	植木職、造園師	2	0.3
604	漁業作業者	1	0.1
606	電車・機関車運転士	1	0.1
607	自動車運転者	36	5.0
625	ガラス・セメント製品製造作業者	1	0.1
629	化学製品製造作業者	2	0.3

630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	2	0.3
631	鉄工、板金工	2	0.3
633	一般機械組立工・修理工	19	2.6
634	電気機械器具組立工・修理工	3	0.4
635	自動車組立工・整備工	2	0.3
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	1	0.1
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	4	0.6
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	6	0.8
652	縫製工、裁断工	5	0.7
653	製材工、木工	3	0.4
654	指物職、家具職、建具職	1	0.1
658	印刷・製本作業者	1	0.1
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	1	0.1
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	1	0.1
670	製図工、現図工	7	1.0
672	その他の技能工・生産工程作業者	9	1.2
674	起重機・建設機械運転作業者	2	0.3
675	その他の定置機関運転作業者	1	0.1
677	電気工事・電話工事作業者	3	0.4
679	左官、とび職	4	0.6
680	れんが積工、配管工	7	1.0
682	土工、道路工夫	4	0.6
684	現場監督、その他の建設作業者	15	2.1
685	倉庫夫、仲仕	6	0.8
686	運搬労務者	5	0.7
687	清掃員	8	1.1
688	その他の労務作業者	6	0.8
702	大工	5	0.7
703	教員	3	0.4
801	介護員、ヘルパー	21	2.9
999	不明、無回答	67	9.3
	計	721	100.0
998	非該当	1001	
	計	1722	

SSXXJE08　職種(配偶者)(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
	Managers	36	5.0
	Professionals	68	9.4
	Technicians and associate professionals	99	13.7
	Clerical support workers	120	16.6
	Service and sales workers	156	21.6
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	12	1.7
	Craft and related trades workers	54	7.5
	Plant and machine operators, and assemblers	70	9.7
	Elementary occupations	39	5.4
	Armed forces occupations	0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答	67	9.3
	計	721	100.0
88888	非該当	1001	
	計	1722	

Q123 あなたの配偶者の勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。

SSJBNPO　配偶者の主な勤め先の種類:公益的団体

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	公益的な団体		146	20.2
2	それ以外		562	77.9
9	無回答		13	1.8
		計	721	100.0
8	非該当		1001	
		計	1722	

Q124 配偶者の方と同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SSSZSTFA　企業規模(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		40	5.5
2	2～4 人		65	9.0
3	5～9 人		50	6.9
4	10～29 人		85	11.8
5	30～99 人		94	13.0
6	100～299 人		82	11.4
7	300～499 人		24	3.3
8	500～999 人		32	4.4
9	1,000～1,999 人		38	5.3
10	2,000～9,999 人		54	7.5
11	1 万人以上		39	5.4
12	官公庁		63	8.7
99	無回答		55	7.6
		計	721	100.0
88	非該当		1001	
		計	1722	

Q125 昨年１年間の配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

SSSZICA 配偶者年収:全体(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	なし		8	1.1
2	70 万円未満		50	6.9
3	70～100 万円未満		45	6.2
4	100～130 万円未満		47	6.5
5	130～150 万円未満		19	2.6
6	150～250 万円未満		76	10.5
7	250～350 万円未満		94	13.0
8	350～450 万円未満		84	11.7
9	450～550 万円未満		71	9.8
10	550～650 万円未満		55	7.6
11	650～750 万円未満		33	4.6
12	750～850 万円未満		31	4.3
13	850～1,000 万円未満		26	3.6
14	1,000～1,200 万円未満		15	2.1
15	1,200～1,400 万円未満		4	0.6
16	1,400～1,600 万円未満		1	0.1
17	1,600 万円以上		7	1.0
99	無回答		55	7.6
		計	721	100.0
88	非該当		1001	
		計	1722	

回収状況記入票

AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	工場の多い地域		25	1.5
2	商店・事業所の多い地域		211	12.3
3	主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）		495	28.7
4	主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）		738	42.9
5	農山漁村		160	9.3
6	その他		93	5.4
9	無回答		0	0.0
		計	1722	100.0

NAMEPLAT 調査員への質問:表札の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	あり		1270	73.8
2	なし		449	26.1
9	無回答		3	0.2
		計	1722	100.0

TPHOUSE 調査員への質問:回答者の居住形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	一戸建て		1295	75.2
2	集合住宅		424	24.6
3	不明		3	0.2
9	無回答		0	0.0
		計	1722	100.0

（TPHOUSE「2 集合住宅」の場合）

AUTOLOCK 集合住宅でのオートロックの有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		122	28.8
2	いいえ		299	70.5
9	無回答		3	0.7
		計	424	100.0
8	非該当		1298	
		計	1722	

INTERCOM 家のインターフォンの種類

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	カメラ付きインターフォン		793	46.1
2	カメラなしインターフォン		447	26.0
3	チャイムのみ（インターフォンなし）		387	22.5
4	チャイムもなし		90	5.2
9	無回答		5	0.3
		計	1722	100.0

MONTHB 留置回収完了日:月

DAYB 留置回収完了日:日

これらの変数の単純集計は記載していません。

WEIGHT ウエイト

この変数の単純集計は記載していません。

貫田 優子・孟 哲男

Ⅱ.2　基礎集計・コード表：留置調査票 B 票

BLOCK 地域ブロック

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	北海道・東北	233	12.9
2	関東	561	31.2
3	中部	337	18.7
4	近畿	280	15.6
5	中国・四国	183	10.2
6	九州	206	11.4
	計	1800	100.0

PREF 都道府県名

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	北海道	85	4.7
2	青森	26	1.4
3	岩手	25	1.4
4	宮城	36	2.0
5	秋田	23	1.3
6	山形	15	0.8
7	福島	23	1.3
8	茨城	42	2.3
9	栃木	36	2.0
10	群馬	23	1.3
11	埼玉	88	4.9
12	千葉	98	5.4
13	東京	164	9.1
14	神奈川	110	6.1
15	新潟	45	2.5
16	富山	13	0.7
17	石川	26	1.4
18	福井	9	0.5
19	山梨	11	0.6
20	長野	26	1.4
21	岐阜	26	1.4
22	静岡	62	3.4
23	愛知	96	5.3
24	三重	23	1.3
25	滋賀	14	0.8
26	京都	41	2.3
27	大阪	120	6.7
28	兵庫	69	3.8
29	奈良	20	1.1
30	和歌山	16	0.9
31	鳥取	14	0.8
32	島根	11	0.6
33	岡山	27	1.5
34	広島	48	2.7
35	山口	24	1.3

36	徳島		12	0.7
37	香川		16	0.9
38	愛媛		21	1.2
39	高知		10	0.6
40	福岡		76	4.2
41	佐賀		13	0.7
42	長崎		20	1.1
43	熊本		17	0.9
44	大分		21	1.2
45	宮崎		24	1.3
46	鹿児島		17	0.9
47	沖縄		18	1.0
		計	1800	100.0

SIZE 市郡規模

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	大都市		484	26.9
2	人口 20 万人以上の市		408	22.7
3	人口 20 万人未満の市		728	40.4
4	町村		180	10.0
		計	1800	100.0

Q1 あなたの性別を教えてください。

SEXA 性別

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	男		891	49.5
2	女		909	50.5
		計	1800	100.0

Q2 あなたの現在の年齢を教えてください。

AGEB 年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	20～29 歳		169	9.4
	30～39 歳		227	12.6
	40～49 歳		349	19.4
	50～59 歳		282	15.7
	60～69 歳		264	14.7
	70～79 歳		367	20.4
	80～89 歳		142	7.9
		計	1800	100.0

＊2020 年 12 月 31 日現在の年齢に統一した。

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q3 あなたは、平均して１日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は０(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間くらい	99	5.5
	1 時間くらい	270	15.0
	2 時間くらい	333	18.5
	3 時間くらい	297	16.5
	4 時間くらい	236	13.1
	5 時間くらい	225	12.5
	6 時間くらい	131	7.3
	7 時間くらい	45	2.5
	8 時間くらい	60	3.3
	9 時間くらい	9	0.5
	10 時間くらい	52	2.9
	11 時間以上	33	1.8
999	無回答	10	0.6
	計	1800	100.0

Q4 あなたは、１カ月に何冊くらい本（マンガ、雑誌を除く）を読みますか。電子書籍も含めてお答えください。

FQ5READ １ヶ月の読書冊数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	ほとんど読まない	965	53.6
1	1 冊程度	409	22.7
2	2 冊程度	205	11.4
3	3 冊程度	74	4.1
4	4 冊以上	137	7.6
9	無回答	10	0.6
	計	1800	100.0

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	788	43.8
2	週数回	150	8.3
3	週１回程度	88	4.9
4	それ以下	159	8.8
5	まったく読まない	600	33.3
9	無回答	15	0.8
	計	1800	100.0

Q6 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

FQ6NWSI インターネットでニュース記事を読む頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	1070	59.4
2	週数回	222	12.3
3	週１回程度	52	2.9
4	それ以下	43	2.4
5	まったく読まない	54	3.0
6	インターネットは利用していない	341	18.9
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

Q7 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒の夕食

FQ7FFDNR 家族と一緒の夕食:頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	1207	67.1
2	週に数回	240	13.3
3	週に１回程度	78	4.3
4	月に１回程度	33	1.8
5	年に数回	75	4.2
6	年に１回程度	11	0.6
7	まったくしていない	138	7.7
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

B 友人との会食や集まり

FQ7FRSEE 友人との会食:頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	10	0.6
2	週に数回	65	3.6
3	週に１回程度	127	7.1
4	月に１回程度	337	18.7
5	年に数回	530	29.4
6	年に１回程度	164	9.1
7	まったくしていない	525	29.2
9	無回答	42	2.3
	計	1800	100.0

C 夕食の用意

FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	810	45.0
2	週に数回	237	13.2
3	週に１回程度	111	6.2
4	月に１回程度	70	3.9
5	年に数回	130	7.2
6	年に１回程度	34	1.9
7	まったくしていない	383	21.3
9	無回答	25	1.4
	計	1800	100.0

D　洗濯

FQ7WASH　洗濯:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	652	36.2
2	週に数回	420	23.3
3	週に1回程度	149	8.3
4	月に1回程度	61	3.4
5	年に数回	100	5.6
6	年に1回程度	37	2.1
7	まったくしていない	363	20.2
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

E　買い物（日用品や食料品）

FQ7SHOP　買い物:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	277	15.4
2	週に数回	767	42.6
3	週に1回程度	458	25.4
4	月に1回程度	126	7.0
5	年に数回	50	2.8
6	年に1回程度	6	0.3
7	まったくしていない	97	5.4
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

F　家の掃除

FQ7CLEAN　家の掃除:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	357	19.8
2	週に数回	470	26.1
3	週に1回程度	444	24.7
4	月に1回程度	187	10.4
5	年に数回	152	8.4
6	年に1回程度	33	1.8
7	まったくしていない	130	7.2
9	無回答	27	1.5
	計	1800	100.0

G　ゴミ出し

FQ7GARB　ゴミ出し:頻度(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	176	9.8
2	週に数回	872	48.4
3	週に1回程度	269	14.9
4	月に1回程度	119	6.6
5	年に数回	96	5.3
6	年に1回程度	27	1.5
7	まったくしていない	221	12.3
9	無回答	20	1.1
	計	1800	100.0

H　家の簡単な修理（電球の交換、壁や庭の補修など）

FQ7RPH　家の簡単な修理：頻度（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	25	1.4
2	週に数回	70	3.9
3	週に１回程度	116	6.4
4	月に１回程度	360	20.0
5	年に数回	635	35.3
6	年に１回程度	235	13.1
7	まったくしていない	333	18.5
9	無回答	26	1.4
	計	1800	100.0

Q8 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

A　テレビゲーム（PC ゲーム・携帯用を含む）

FQ4GAME　娯楽の頻度：テレビゲーム

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	402	22.3
2	時々する	255	14.2
3	あまりしない	213	11.8
4	まったくしない/知らない	912	50.7
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

B　ナンバーズ・ミニロト・ロト６など

FQ4NBS　娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	39	2.2
2	時々する	119	6.6
3	あまりしない	236	13.1
4	まったくしない/知らない	1387	77.1
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

C　宝くじ

FQ4LOTTO　娯楽の頻度：宝くじ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	28	1.6
2	時々する	295	16.4
3	あまりしない	449	24.9
4	まったくしない/知らない	1010	56.1
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

D　サッカーくじ（BIG・toto など）

FQ4TOTO　娯楽の頻度：サッカーくじ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	13	0.7
2	時々する	38	2.1
3	あまりしない	96	5.3
4	まったくしない/知らない	1633	90.7
9	無回答	20	1.1
	計	1800	100.0

E　公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇など）

FQ4PGAM　娯楽の頻度：公営ギャンブル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	20	1.1
2	時々する	65	3.6
3	あまりしない	82	4.6
4	まったくしない/知らない	1612	89.6
9	無回答	21	1.2
	計	1800	100.0

F　パチンコ・パチスロ

FQ4PACHI　娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくする	23	1.3
2	時々する	104	5.8
3	あまりしない	116	6.4
4	まったくしない/知らない	1539	85.5
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

Q9 過去５年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y　トラウマの回数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	なし	662	36.8
1	1 回	523	29.1
2	2 回	351	19.5
3	3 回	147	8.2
4	4 回以上	99	5.5
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

Q10 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	570	31.7
2	・	561	31.2
3	・	479	26.6
4	・	116	6.4
5	不満	42	2.3
9	無回答	32	1.8
	計	1800	100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY 生活満足度:余暇利用

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	360	20.0
2	・	556	30.9
3	・	634	35.2
4	・	169	9.4
5	不満	47	2.6
9	無回答	34	1.9
	計	1800	100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	537	29.8
2	・	560	31.1
3	・	531	29.5
4	・	122	6.8
5	不満	26	1.4
9	無回答	24	1.3
	計	1800	100.0

D 現在の家計の状態

ST5ECNY 生活満足度:家計状態

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	351	19.5
2	・	400	22.2
3	・	645	35.8
4	・	266	14.8
5	不満	112	6.2
9	無回答	26	1.4
	計	1800	100.0

E　友人関係

ST5FRIY　生活満足度:友人関係

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	435	24.2
2	・	500	27.8
3	・	689	38.3
4	・	117	6.5
5	不満	36	2.0
9	無回答	23	1.3
	計	1800	100.0

F　健康状態

ST5HLTHY　生活満足度:健康状態

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	302	16.8
2	・	523	29.1
3	・	637	35.4
4	・	238	13.2
5	不満	75	4.2
9	無回答	25	1.4
	計	1800	100.0

G　配偶者（夫や妻）との関係

ST5SSREL　生活満足度:配偶者との関係

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	満足	473	26.3
2	・	327	18.2
3	・	284	15.8
4	・	65	3.6
5	不満	17	0.9
6	配偶者はいない	609	33.8
9	無回答	25	1.4
	計	1800	100.0

Q11 全体として、あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPE　幸福度(EASS 尺度)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に幸せ	374	20.8
2	・	740	41.1
3	・	542	30.1
4	・	110	6.1
5	非常に不幸せ	17	0.9
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。
Q12 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。
OWNHOUSE 居住形態:持ち家

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	持ち家	1422	79.0
2	民間の賃貸住宅	285	15.8
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	21	1.2
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	49	2.7
5	その他	10	0.6
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

Q14 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。
XLIVEYR 現在の居住地域への居住年数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	生まれてからずっと	286	15.9
2	1 年未満	38	2.1
3	1 年～3 年未満	119	6.6
4	3 年～5 年未満	69	3.8
5	5 年～10 年未満	178	9.9
6	10 年～20 年未満	293	16.3
7	20 年～30 年未満	263	14.6
8	30 年以上	552	30.7
99	無回答	2	0.1
	計	1800	100.0

Q15 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。
WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ずっと住みたい	891	49.5
2	当分の間は住みたい	711	39.5
3	できれば他の地域に引越したい	168	9.3
4	すぐにも他の地域に引越したい	27	1.5
9	無回答	3	0.2
	計	1800	100.0

Q16 あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを１つ選んでください。
SIZEHMT 居住地域の規模

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大都市の中心部	89	4.9
2	大都市の郊外	308	17.1
3	中小都市	698	38.8
4	町村部	656	36.4
5	人家がまばらな農山漁村	43	2.4
9	無回答	6	0.3
	計	1800	100.0

Q17 この２～３年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A 家計状態の変化

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	良くなった	188	10.4
2	悪くなった	488	27.1
3	変わらない	1123	62.4
9	無回答	1	0.1
	計	1800	100.0

Q18 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	平均よりかなり少ない	172	9.6
2	平均より少ない	578	32.1
3	ほぼ平均	770	42.8
4	平均より多い	237	13.2
5	平均よりかなり多い	22	1.2
9	無回答	21	1.2
	計	1800	100.0

Q19 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15 歳の頃の世帯収入レベル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	平均よりかなり少ない	146	8.1
2	平均より少ない	471	26.2
3	ほぼ平均	786	43.7
4	平均より多い	315	17.5
5	平均よりかなり多い	45	2.5
9	無回答	37	2.1
	計	1800	100.0

Q20 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA 生活水準向上機会の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	充分にある	44	2.4
2	少しはある	216	12.0
3	どちらともいえない	684	38.0
4	あまりない	658	36.6
5	まったくない	177	9.8
9	無回答	21	1.2
	計	1800	100.0

Q21 かりに現在の日本の社会全体を、以下の５つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。

OP5LEVK　階層帰属意識

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	上	13	0.7
2	中の上	193	10.7
3	中の中	844	46.9
4	中の下	584	32.4
5	下	150	8.3
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

Q22 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF　将来の経済的不安

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	373	20.7
2	ある程度感じている	783	43.5
3	どちらともいえない	344	19.1
4	あまり感じていない	257	14.3
5	まったく感じていない	41	2.3
9	無回答	2	0.1
	計	1800	100.0

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q23 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。

A　高齢者の生活保障（生活費）

OP5SRWFY　国か個人か:高齢者の生活保障

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	83	4.6
2	・	217	12.1
3	・	552	30.7
4	・	525	29.2
5	国や自治体の責任	400	22.2
9	無回答	23	1.3
	計	1800	100.0

B　高齢者の医療・介護

OP5SRMDY　国か個人か:高齢者の医療・介護

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	44	2.4
2	・	131	7.3
3	・	465	25.8
4	・	637	35.4
5	国や自治体の責任	498	27.7
9	無回答	25	1.4
	計	1800	100.0

C　子どもの教育

OP5CCED　国か個人か：子どもの教育

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	174	9.7
2	・	305	16.9
3	・	571	31.7
4	・	405	22.5
5	国や自治体の責任	303	16.8
9	無回答	42	2.3
	計	1800	100.0

D　保育・育児

OP5CCARE　国か個人か：保育・育児

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	個人や家族の責任	143	7.9
2	・	283	15.7
3	・	573	31.8
4	・	449	24.9
5	国や自治体の責任	310	17.2
9	無回答	42	2.3
	計	1800	100.0

Q24 政治的な考え方を、保守的から革新的までの５段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA　政治意識（保革 5 段階）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	保守的	367	20.4
2	・	665	36.9
3	・	621	34.5
4	・	106	5.9
5	革新的	29	1.6
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

Q25 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA　貧富解消政策への賛否

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	150	8.3
2	どちらかといえば賛成	397	22.1
3	どちらともいえない	920	51.1
4	どちらかといえば反対	234	13.0
5	反対	51	2.8
9	無回答	48	2.7
	計	1800	100.0

Q26 現在、あなたはどの政党を支持していますか。

XX8PLPTY　支持政党

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	自民党	431	23.9
2	立憲民主党	85	4.7
3	公明党	56	3.1
4	日本維新の会	53	2.9
5	共産党	32	1.8
6	国民民主党	10	0.6
7	社民党	8	0.4
8	その他の政党	2	0.1
9	特に支持する政党はない	871	48.4
10	わからない	236	13.1
11	幸福実現党	1	0.1
14	大阪維新の会	0	0.0
29	日本第一党	0	0.0
30	れいわ新選組	3	0.2
31	参政党	0	0.0
32	つばさの党	0	0.0
99	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

コード「11」「14」「29」～「32」は「8 その他の政党」の具体的記述から追加した

Q27 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

A　私は、政治に対して関心がある

Q5POLINT　政治に関心がある

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	140	7.8
2	あてはまる	545	30.3
3	どちらともいえない	718	39.9
4	あてはまらない	272	15.1
5	まったくあてはまらない	113	6.3
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

B　私は、社会のために役立ちたい

Q5CNTSOC　社会のために役立ちたい

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	127	7.1
2	あてはまる	586	32.6
3	どちらともいえない	811	45.1
4	あてはまらない	177	9.8
5	まったくあてはまらない	79	4.4
9	無回答	20	1.1
	計	1800	100.0

C　自分の問題は、できるだけ他人に頼らずに解決したい
Q5SLVPRB　自分の問題は他人に頼らず解決したい

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	287	15.9
2	あてはまる	880	48.9
3	どちらともいえない	517	28.7
4	あてはまらない	84	4.7
5	まったくあてはまらない	19	1.1
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

Q28 次の A～F の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A　夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
Q4WWHHX　意見についての賛否:性役割分担

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	84	4.7
2	どちらかといえば賛成	563	31.3
3	どちらかといえば反対	729	40.5
4	反対	400	22.2
9	無回答	24	1.3
	計	1800	100.0

B　夫に充分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい
Q4WWJBIA　意見についての賛否:妻の仕事

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	134	7.4
2	どちらかといえば賛成	429	23.8
3	どちらかといえば反対	801	44.5
4	反対	406	22.6
9	無回答	30	1.7
	計	1800	100.0

C　男性も身の回りのことや炊事をすべきだ
Q4MNCOOK　意見についての賛否:男性の家事

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	745	41.4
2	どちらかといえば賛成	886	49.2
3	どちらかといえば反対	126	7.0
4	反対	18	1.0
9	無回答	25	1.4
	計	1800	100.0

D　なんといっても女性の幸福は結婚にある
Q4WNMGA　意見についての賛否:女性の幸福

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	95	5.3
2	どちらかといえば賛成	536	29.8
3	どちらかといえば反対	682	37.9
4	反対	445	24.7
9	無回答	42	2.3
	計	1800	100.0

E　なんといっても男性の幸福は結婚にある
Q4MNMGA　意見についての賛否：男性の幸福

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	97	5.4
2	どちらかといえば賛成	553	30.7
3	どちらかといえば反対	653	36.3
4	反対	439	24.4
9	無回答	58	3.2
	計	1800	100.0

F　母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える
Q4JBMMCC　意見についての賛否：子どもへの影響

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	賛成	88	4.9
2	どちらかといえば賛成	421	23.4
3	どちらかといえば反対	719	39.9
4	反対	524	29.1
9	無回答	48	2.7
	計	1800	100.0

Q29 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

A　政治関係の団体や会
MEMPLTGP　組織への所属：政治団体

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	23	1.3
2	いいえ	1760	97.8
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

B　業界団体・同業者団体
MEMIND　組織への所属：業界団体

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	97	5.4
2	いいえ	1686	93.7
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

C　ボランティアのグループ
MEMVLNTR　組織への所属：ボランティアのグループ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	155	8.6
2	いいえ	1628	90.4
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

D　市民運動・消費者運動のグループ

MEMCIVIL　組織への所属:市民運動のグループ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	23	1.3
2	いいえ	1760	97.8
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

E　宗教の団体や会

MEMRL　組織への所属:宗教の団体や会

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	104	5.8
2	いいえ	1677	93.2
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

F　スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT　組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	269	14.9
2	いいえ	1513	84.1
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

G　趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）

MEMHOBBY　組織への所属:趣味の会

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	221	12.3
2	いいえ	1560	86.7
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

H　消費生活協同組合（生協）

MEMCOOP　組織への所属:生協

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	313	17.4
2	いいえ	1472	81.8
9	無回答	15	0.8
	計	1800	100.0

Q30-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL　信仰する宗教の有無(本人)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ある	127	7.1
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	349	19.4
3	ない	1285	71.4
9	無回答	39	2.2
	計	1800	100.0

（Q30-1 で「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」と回答した人に）
Q30-2　それは何ですか。
XXRL 信仰する宗教（本人）

この変数の単純集計は、下記のウェブページに記載しています。
https://jgss.daishodai.ac.jp/surveys/table/XXRL.html

Q30-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。
DO3PIOUS 信仰の度合い（本人）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	熱心である		40	8.0
2	まあまあ熱心である		107	21.4
3	そんなに熱心ではない		329	65.9
9	無回答		23	4.6
		計	499	100.0
8	非該当		1301	
		計	1800	

（全員に）
ここからは、心身の健康についておうかがいします。
Q31 あなたの健康状態は、いかがですか。
SFHLCND SF12:主観的健康状態

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	最高に良い	55	3.1
2	とても良い	261	14.5
3	良い	962	53.4
4	あまり良くない	444	24.7
5	良くない	68	3.8
9	無回答	10	0.6
	計	1800	100.0

Q32 以下の質問は、日常よく行なわれている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をすることがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

A 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、１～２時間散歩するなど
SFLMTMA SF12:日常活動の困難:適度の活動

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とてもむずかしい	63	3.5
2	少しむずかしい	406	22.6
3	ぜんぜんむずかしくない	1320	73.3
9	無回答	11	0.6
	計	1800	100.0

B 階段を数階上までのぼる
SFLMTSTR SF12:日常活動の困難:階段をのぼる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とてもむずかしい	70	3.9
2	少しむずかしい	320	17.8
3	ぜんぜんむずかしくない	1392	77.3
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

Q33 過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった
SFPHUSL SF12:身体的健康の問題:ふだんの活動ができない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	36	2.0
2	ほとんどいつも	75	4.2
3	ときどき	333	18.5
4	まれに	375	20.8
5	ぜんぜんない	968	53.8
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

B　仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった
SFPHCNT SF12:身体的健康の問題:内容によりふだんの活動ができない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	34	1.9
2	ほとんどいつも	71	3.9
3	ときどき	318	17.7
4	まれに	433	24.1
5	ぜんぜんない	928	51.6
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

Q34 過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために)、次のような問題がありましたか。

A　仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった
SFMNTUSL SF12:精神的健康の問題:ふだんの活動ができない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	33	1.8
2	ほとんどいつも	66	3.7
3	ときどき	344	19.1
4	まれに	436	24.2
5	ぜんぜんない	907	50.4
9	無回答	14	0.8
	計	1800	100.0

B　仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった
SFMNTCNT SF12:精神的健康の問題:ふだんの活動に集中できない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	35	1.9
2	ほとんどいつも	59	3.3
3	ときどき	353	19.6
4	まれに	484	26.9
5	ぜんぜんない	853	47.4
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

Q35 過去１カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨(さまた)げられましたか。
SFINTFPN SF12:痛みによる仕事の困難

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ぜんぜん妨げられなかった	893	49.6
2	わずかに妨げられた	404	22.4
3	少し妨げられた	353	19.6
4	かなり妨げられた	83	4.6
5	非常に妨げられた	46	2.6
9	無回答	21	1.2
	計	1800	100.0

Q36 次にあげるのは、過去１カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

A　おちついていて、おだやかな気分でしたか

SFMHPEAC　SF12：精神的健康：おちついた気分

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	149	8.3
2	ほとんどいつも	883	49.1
3	ときどき	521	28.9
4	まれに	160	8.9
5	ぜんぜんない	74	4.1
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

B　活力（エネルギー）にあふれていましたか

SFMHENGY　SF12：精神的健康：活力にあふれる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	94	5.2
2	ほとんどいつも	536	29.8
3	ときどき	655	36.4
4	まれに	337	18.7
5	ぜんぜんない	161	8.9
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

C　おちこんで､ゆううつな気分でしたか

SFMHDPRS　SF12：精神的健康：おちこんだ気分

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	33	1.8
2	ほとんどいつも	114	6.3
3	ときどき	436	24.2
4	まれに	586	32.6
5	ぜんぜんない	617	34.3
9	無回答	14	0.8
	計	1800	100.0

Q37 過去１カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨(さまた)げられましたか。

SFINTFSC　SF12：健康問題による人づきあいの困難

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いつも	80	4.4
2	ほとんどいつも	108	6.0
3	ときどき	240	13.3
4	まれに	284	15.8
5	ぜんぜんない	1074	59.7
9	無回答	14	0.8
	計	1800	100.0

Q38 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

A　私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない
NOFUTR 希望のなさ:将来の希望が持てない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	66	3.7
2	どちらかといえば賛成	211	11.7
3	どちらともいえない	837	46.5
4	どちらかといえば反対	401	22.3
5	強く反対	261	14.5
9	無回答	24	1.3
	計	1800	100.0

B　私が目指している目標は達成できないだろう
NOGOAL 希望のなさ:目標は達成できない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	58	3.2
2	どちらかといえば賛成	209	11.6
3	どちらともいえない	894	49.7
4	どちらかといえば反対	381	21.2
5	強く反対	228	12.7
9	無回答	30	1.7
	計	1800	100.0

Q39-1 あなたは、慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。
XCHRDIS 慢性的な病気の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	852	47.3
2	いいえ	935	51.9
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

（Q39-1 で「1 はい」と回答した人に）
Q39-2 それはどのような病気または問題ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
CRHYTNS～CROTHER 慢性的な病気の種類

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
CRHYTNS	1 高血圧	384	45.1
CRDIABT	2 糖尿病	151	17.7
CRHYLPM	3 脂質異常症（コレステロールが高い、中性脂肪が高いなど）	234	27.5
CRCRBVAS	4 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）	46	5.4
CRCANCR	5 癌	57	6.7
CRLIVER	6 肝疾患	18	2.1
CRKIDDIS	7 腎臓疾患	40	4.7
CRMENIL	8 精神疾患	45	5.3
CRHRTDIS	9 心血管疾患（心筋梗塞、狭心症など）	64	7.5
CRMSBN	10 筋骨格系疾患（関節炎、腰痛、膝痛、関節痛、リウマチなど）	228	26.8
CRRSPROB	11 呼吸器疾患（ぜんそく、肺気腫など）	72	8.5
CRDGST	12 消化器疾患（潰瘍など）	54	6.3
CROTHER	13 その他	72	8.5
CRARGDIS	アレルギー性疾患	25	2.9
CRSENDIS	感覚器系疾患	24	2.8
	該当者数	852	100.0

「アレルギー性疾患」「感覚器系疾患」は「13 その他」の具体的記述から追加した

（全員に）
Q40-1 あなたの視力についておうかがいします。あなたは近視ですか。
NRSGHT 近視

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	955	53.1
2	いいえ	832	46.2
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

（Q40-1 で「1 はい」と回答した人に）
Q40-2 普段、メガネやコンタクトレンズを着用していますか。
DOGLS メガネやコンタクトレンズの着用

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	796	83.4
2	いいえ	153	16.0
9	無回答	6	0.6
	計	955	100.0
8	非該当	845	
	計	1800	

（全員に）
Q41 あなたの身長を教えてください。
HEIGHT 身長：cm

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	120～124 センチメートル	0	0.0
	125～129 センチメートル	0	0.0
	130～134 センチメートル	2	0.1
	135～139 センチメートル	4	0.2
	140～144 センチメートル	31	1.7
	145～149 センチメートル	101	5.6
	150～154 センチメートル	259	14.4
	155～159 センチメートル	301	16.7
	160～164 センチメートル	325	18.1
	165～169 センチメートル	292	16.2
	170～174 センチメートル	266	14.8
	175～179 センチメートル	118	6.6
	180 センチメートル以上	58	3.2
999	無回答	43	2.4
	計	1800	100.0

Q42 あなたの体重を教えてください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください）。
BDWEIGHT 体重：kg

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	25～29 キログラム	1	0.1
	30～34 キログラム	3	0.2
	35～39 キログラム	14	0.8
	40～44 キログラム	88	4.9
	45～49 キログラム	198	11.0
	50～54 キログラム	296	16.4
	55～59 キログラム	269	14.9
	60～64 キログラム	273	15.2
	65～69 キログラム	209	11.6
	70～74 キログラム	138	7.7
	75～79 キログラム	93	5.2
	80～84 キログラム	64	3.6
	85～89 キログラム	36	2.0
	90～94 キログラム	23	1.3
	95～99 キログラム	10	0.6
	100 キログラム以上	16	0.9
999	無回答	69	3.8
	計	1800	100.0

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。
Q43 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。
DOSMOKEX 喫煙経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	現在吸っている	341	18.9
2	以前は吸っていたがやめた	440	24.4
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	1014	56.3
9	無回答	5	0.3
	計	1800	100.0

Q44 あなたは、どのくらいの頻度でお酒（アルコール含有飲料）を飲みますか。
DO5DRINK 飲酒頻度(EASS 尺度)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	毎日	350	19.4
2	週に数回	279	15.5
3	月に数回	270	15.0
4	年に数回以下	326	18.1
5	まったく飲まない	570	31.7
9	無回答	5	0.3
	計	1800	100.0

Q45 あなたは以下のことを、まわりの人から「やりすぎだ」と注意されたことがありますか。

A 飲酒
ADALC 耽溺行動:飲酒

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	212	11.8
2	いいえ	1577	87.6
9	無回答	11	0.6
	計	1800	100.0

B 喫煙
ADSMOKE 耽溺行動:喫煙

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	184	10.2
2	いいえ	1600	88.9
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

C ギャンブル（パチンコを含む）
ADGMBL 耽溺行動:ギャンブル

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	64	3.6
2	いいえ	1718	95.4
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

D テレビゲーム/ネットゲーム（携帯などもすべて含む）
ADGAME 耽溺行動:ゲーム

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	173	9.6
2	いいえ	1608	89.3
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

Q46 平日に歩いている時間は合計でどのくらいですか。「歩く」とは、職場や自宅での日常生活、別の場所への移動、気晴らし、運動、レジャー、散歩やウォーキングなどをすべて含みます。

WLKMIN 平日の歩行時間:分

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	15 分未満	210	11.7
2	15～29 分	320	17.8
3	30～59 分	523	29.1
4	60～89 分	309	17.2
5	90 分以上	428	23.8
9	無回答	10	0.6
	計	1800	100.0

Q47 平均的な１週間では、少し息がはずむような身体活動をどのくらい行いますか。家事、子どもと遊ぶ、荷物の運搬、仕事、ジョギング、水泳、自転車、その他の運動などを含みます。歩行やウォーキングは含めないでください。

PHYACTHR 中等度以上の身体活動時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	していない	625	34.7
1	15 分未満	169	9.4
2	15～29 分	128	7.1
3	30～59 分	136	7.6
4	約 1 時間	231	12.8
5	約 2 時間	157	8.7
6	約 3 時間	97	5.4
7	約 4 時間	59	3.3
8	約 5 時間	51	2.8
9	約 6 時間以上	138	7.7
99	無回答	9	0.5
	計	1800	100.0

Q48 平日に座っている時間はどのくらいですか。机に向かって何かをしたり、横になってテレビを見ている時間をすべて含みます。

SITHR 平日に座っている時間:時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	2 時間未満	68	3.8
	2～4 時間未満	298	16.6
	4～6 時間未満	427	23.7
	6～8 時間未満	278	15.4
	8～10 時間未満	253	14.1
	10～12 時間未満	244	13.6
	12 時間以上	204	11.3
99	無回答	28	1.6
	計	1800	100.0

SITMIN 平日に座っている時間:分

この変数の単純集計は記載していません。

ｺｰﾄﾞ	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

Q49 平日の実際の睡眠時間はどのくらいですか。(寝床の中にいる時間ではなく、睡眠時間のみ)

SLPHR 平日の実際の睡眠時間:時間

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	4 時間未満	15	0.8
	4～5 時間未満	64	3.6
	5～6 時間未満	292	16.2
	6～7 時間未満	636	35.3
	7～8 時間未満	433	24.1
	8～9 時間未満	271	15.1
	9～10 時間未満	48	2.7
	10 時間以上	24	1.3
99	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

SLPMIN 平日の実際の睡眠時間:分

この変数の単純集計は記載していません。

ｺｰﾄﾞ	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

Q50 過去１カ月間において、ご自分の睡眠の質を全体として、どのように評価しますか。

SLPQUAL 睡眠の質

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に良い	85	4.7
2	良い	1009	56.1
3	悪い	628	34.9
4	非常に悪い	70	3.9
9	無回答	8	0.4
	計	1800	100.0

Q51 過去３年の間に、あなたは健康診断を受けましたか。

XHLTCHK 健康診断の受診経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	定期的に受けた	1257	69.8
2	不定期に受けた	308	17.1
3	受けていない	229	12.7
9	無回答	6	0.3
	計	1800	100.0

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

Q52 過去１年間に、あなたはどのくらいの頻度で、医師の診断を受けましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください(現在､妊娠中の方は､妊娠前の状況をお書きください)。

FQ6DCTR 医師の診断を受けた頻度

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	週に数回以上	23	1.3
2	週に１回程度	51	2.8
3	月に１回程度	612	34.0
4	年に数回	599	33.3
5	年に１回程度	272	15.1
6	まったくない	233	12.9
9	無回答	10	0.6
	計	1800	100.0

Q53-1 過去１年間に、病気やケガにもかかわらず、医師の診断を受けることを控(ひか)えたことがありますか。風邪や虫歯の場合も含めてお答えください。

XRFDCTR 医師の診断を控えた経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	控えたことがある	449	24.9
2	控えたことはない	1010	56.1
3	過去１年間に病気・ケガはしていない	329	18.3
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

（Q53-1 で「1 控えたことがある」と回答した人に）

Q53-2 それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

RFDRWL～RFDROTH 医師の診断を控えた理由

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
RFDRWL	1	待ち時間が長い	112	24.9
RFDRCST	2	費用がかかる	103	22.9
RFDRDIS	3	病院が近くにない	16	3.6
RFDRDK	4	どの病院に行ったらよいかわからない	31	6.9
RFDRTRNS	5	交通手段がない	8	1.8
RFDRAVSN	6	病院に行くのは好きではない	80	17.8
RFDRBSY	7	忙しくて時間がない	136	30.3
RFDRSLGT	8	病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	171	38.1
RFDRINS	9	保険が使えない	6	1.3
RFDRCV	10	新型コロナウイルスに感染したくない	232	51.7
RFDROTH	11	その他	13	2.9
		該当者数	449	100.0

（全員に）
Q54 あなたは、どのような医療保険に入っていますか。
TPHLINS 医療保険の種類

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	公的医療保険のみ	580	32.2
2	公的医療保険と民間の医療保険	810	45.0
3	民間の医療保険のみ	226	12.6
4	医療保険には入っていない	54	3.0
5	わからない	98	5.4
9	無回答	32	1.8
	計	1800	100.0

Q55 ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

A 必要なときに医療を受けられない
FRMDREC 医療不安:必要な時に受けられない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に不安	277	15.4
2	やや不安	552	30.7
3	あまり不安はない	703	39.1
4	まったく不安はない	248	13.8
9	無回答	20	1.1
	計	1800	100.0

B 深刻な病気にかかったときに医療費を払えない
FRMDPAY 医療不安:医療費を払えない

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に不安	353	19.6
2	やや不安	661	36.7
3	あまり不安はない	545	30.3
4	まったく不安はない	218	12.1
9	無回答	23	1.3
	計	1800	100.0

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。
Q56 あらためておたずねしますが、あなたの健康状態は、いかがですか。
SLFHLTH 主観的健康状態(改訂版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	最高に良い	52	2.9
2	とても良い	232	12.9
3	良い	611	33.9
4	普通	650	36.1
5	良くない	246	13.7
9	無回答	9	0.5
	計	1800	100.0

Q57 日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。

A 時間的なゆとり

TMAFFL 時間的なゆとり感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	243	13.5
2	ある程度感じている	837	46.5
3	あまり感じていない	569	31.6
4	まったく感じていない	138	7.7
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

B 心のゆとり

PCMIND 心のゆとり感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	140	7.8
2	ある程度感じている	930	51.7
3	あまり感じていない	618	34.3
4	まったく感じていない	100	5.6
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

C 孤独感

LONELY 孤独感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても感じている	87	4.8
2	ある程度感じている	430	23.9
3	あまり感じていない	815	45.3
4	まったく感じていない	455	25.3
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

Q58 あなたは、次のことをどのくらい行なっていますか。

A 温泉・銭湯・サウナに行く

FRLXBATH 心身の癒し:温泉・銭湯・サウナに行く

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	19	1.1
2	週に数回	26	1.4
3	週に１回程度	60	3.3
4	月に１回程度	100	5.6
5	年に数回	577	32.1
6	まったくしない	1006	55.9
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

B　マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける
FRLXMSSG　心身の癒し:マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	1	0.1
2	週に数回	16	0.9
3	週に１回程度	46	2.6
4	月に１回程度	85	4.7
5	年に数回	246	13.7
6	まったくしない	1391	77.3
9	無回答	15	0.8
	計	1800	100.0

C　自然の中で過ごす（森林浴､海・川などへ行く）
FRLXNATR　心身の癒し:自然の中で過ごす

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	25	1.4
2	週に数回	22	1.2
3	週に１回程度	67	3.7
4	月に１回程度	149	8.3
5	年に数回	666	37.0
6	まったくしない	849	47.2
9	無回答	22	1.2
	計	1800	100.0

D　ペットと過ごす
FRLXPET　心身の癒し:ペットと過ごす

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	398	22.1
2	週に数回	30	1.7
3	週に１回程度	16	0.9
4	月に１回程度	25	1.4
5	年に数回	41	2.3
6	まったくしない	1267	70.4
9	無回答	23	1.3
	計	1800	100.0

E　体操（ヨガ､ストレッチ､ピラティスなど）をする
FRLXEXE　心身の癒し:体操をする

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	144	8.0
2	週に数回	184	10.2
3	週に１回程度	145	8.1
4	月に１回程度	67	3.7
5	年に数回	172	9.6
6	まったくしない	1066	59.2
9	無回答	22	1.2
	計	1800	100.0

F　音楽を聴く・歌をうたう

FRLXMSC　心身の癒し:音楽を聴く・歌を歌う

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほぼ毎日	474	26.3
2	週に数回	352	19.6
3	週に１回程度	185	10.3
4	月に１回程度	138	7.7
5	年に数回	291	16.2
6	まったくしない	347	19.3
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

Q59 過去１年間に、あなたは以下の療法を受けたことがありますか。

A　鍼

XOMDACP　東洋医療の経験:鍼

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	95	5.3
2	いいえ	1683	93.5
9	無回答	22	1.2
	計	1800	100.0

B　灸

XOMDMXB　東洋医療の経験:灸

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	42	2.3
2	いいえ	1734	96.3
9	無回答	24	1.3
	計	1800	100.0

C　漢方薬

XOMDHRB　東洋医療の経験:漢方薬

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	215	11.9
2	いいえ	1568	87.1
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

D　指圧・マッサージ

XOMDMAS　東洋医療の経験:指圧・マッサージ

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	417	23.2
2	いいえ	1371	76.2
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

Q60 あなたは過去１年間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。
XFLUVCC インフルエンザの予防接種の経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	985	54.7
2	いいえ	806	44.8
9	無回答	9	0.5
	計	1800	100.0

Q61 あなたは、ご自分の生活を楽しんでいると思いますか。
ENJYLF 生活を楽しんでいる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	911	50.6
2	いいえ	163	9.1
3	どちらともいえない	714	39.7
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

Q62 「健康」について考えるとき、次のそれぞれのことはどのくらい重要だと思いますか。

A 身体の痛みがないこと
HLTNPN 健康への意識:身体の痛みが無いこと

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に重要	1044	58.0
2	重要	599	33.3
3	ある程度重要	132	7.3
4	重要ではない	13	0.7
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

B 心のやすらぎがあること
HLTPEAC 健康への意識:心のやすらぎがあること

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に重要	982	54.6
2	重要	647	35.9
3	ある程度重要	145	8.1
4	重要ではない	9	0.5
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

C 家庭内の役割を果たせること
HLTDMST 健康への意識:家庭内の役割を果たせること

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に重要	531	29.5
2	重要	766	42.6
3	ある程度重要	445	24.7
4	重要ではない	45	2.5
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

D　職場や社会での役割を果たせること

HLTWKPL　健康への意識:職場や社会での役割を果たせること

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	非常に重要	433	24.1
2	重要	715	39.7
3	ある程度重要	527	29.3
4	重要ではない	91	5.1
9	無回答	34	1.9
	計	1800	100.0

Q63-1 あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。(あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください)

CRNDFF　介護が必要な家族の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	いる	486	27.0
2	いない	1302	72.3
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

(Q63-1 で「1 いる」と回答した人に)

Q63-2 あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。

CRGIVFF　回答者が家族の主な介護者

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	195	40.1
2	いいえ	287	59.1
9	無回答	4	0.8
	計	486	100.0
8	非該当	1314	
	計	1800	

(全員に)

Q64 あなたは次の意見について、どう思いますか。

A　年をとるにつれて、自分で自分のことができなくなるのが心配だ

WAGTARND　年をとることへの不安:自分で自分のことができなくなる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	574	31.9
2	賛成	855	47.5
3	どちらともいえない	305	16.9
4	反対	24	1.3
5	強く反対	11	0.6
9	無回答	31	1.7
	計	1800	100.0

B　年をとるにつれて、自分のことを他の人に決めてもらわなくてはならなくなるのが心配だ
WAOTHMD　年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	385	21.4
2	賛成	715	39.7
3	どちらともいえない	561	31.2
4	反対	81	4.5
5	強く反対	22	1.2
9	無回答	36	2.0
	計	1800	100.0

C　年をとるにつれて、他の人に経済的に依存しなくてはならなくなることは、大きな不安だ
WAFINDPN　年をとることへの不安：経済的に依存する

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	強く賛成	427	23.7
2	賛成	627	34.8
3	どちらともいえない	557	30.9
4	反対	119	6.6
5	強く反対	29	1.6
9	無回答	41	2.3
	計	1800	100.0

ここからは、新型コロナウイルスに関するあなたの考えや行動についておうかがいします。
Q65 今日の日付をご記入ください。
XXTODAYM　留置票の記入日：月
XXTODAYD　留置票の記入日：日
これらの変数の単純集計は記載していません。

Q66 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染することについてどの程度不安を感じますか。
COVWRY　COVID-19：感染への不安

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても不安	712	39.6
2	ある程度不安	687	38.2
3	少し不安	331	18.4
4	まったく不安ではない	64	3.6
9	無回答	6	0.3
	計	1800	100.0

Q67 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染する可能性はどのくらいあると考えますか。
COVPROB　COVID-19 感染の可能性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに有りうる	286	15.9
2	・	212	11.8
3	・	331	18.4
4	・	449	24.9
5	・	252	14.0
6	・	193	10.7
7	ほとんど有りえない	69	3.8
9	無回答	8	0.4
	計	1800	100.0

Q68 感染症拡大への対策について、政府は何を優先するべきだとお考えですか。

A 感染拡大防止と経済活動

CVGECON 感染症対策への意見:感染拡大防止か経済活動か

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	感染拡大防止を優先することが重要	301	16.7
1	・	199	11.1
2	・	242	13.4
3	・	323	17.9
4	・	125	6.9
5	・	390	21.7
6	・	43	2.4
7	・	61	3.4
8	・	41	2.3
9	・	15	0.8
10	経済活動を優先することが重要	41	2.3
99	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

B 個人の行動の追跡（モニタリング）とプライバシーの尊重

CVGPRV 感染症対策への意見:行動追跡かプライバシーか

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	個人の行動を追跡することが重要	127	7.1
1	・	92	5.1
2	・	138	7.7
3	・	235	13.1
4	・	128	7.1
5	・	604	33.6
6	・	65	3.6
7	・	116	6.4
8	・	118	6.6
9	・	30	1.7
10	プライバシーを尊重することが重要	117	6.5
99	無回答	30	1.7
	計	1800	100.0

C 政府が国境を封鎖することは重要である

CVGBORD 感染症対策への意見:国境封鎖の重要性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	とても重要	422	23.4
1	・	228	12.7
2	・	261	14.5
3	・	283	15.7
4	・	99	5.5
5	・	334	18.6
6	・	33	1.8
7	・	28	1.6
8	・	40	2.2
9	・	12	0.7
10	まったく重要ではない	30	1.7
99	無回答	30	1.7
	計	1800	100.0

D　政府が移動を制限することは重要である

CVGMOVE　感染症対策への意見:移動制限の重要性

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	とても重要	352	19.6
1	・	226	12.6
2	・	272	15.1
3	・	360	20.0
4	・	115	6.4
5	・	321	17.8
6	・	27	1.5
7	・	37	2.1
8	・	37	2.1
9	・	7	0.4
10	まったく重要ではない	20	1.1
99	無回答	26	1.4
	計	1800	100.0

Q69 新型コロナウイルスをめぐる、現在の政府の対応について、あなたはどの程度評価しますか。

COVGOV　COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	大いに評価する	50	2.8
2	ある程度評価する	702	39.0
3	あまり評価しない	771	42.8
4	まったく評価しない	265	14.7
9	無回答	12	0.7
	計	1800	100.0

Q70 あなたは、新型コロナウイルスに感染した人は、本人の責任だと思いますか。

CVRSPG　COVID-19 感染(一般):本人の責任

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	そう思う	75	4.2
2	どちらかといえばそう思う	593	32.9
3	どちらかといえばそう思わない	758	42.1
4	そう思わない	356	19.8
9	無回答	18	1.0
	計	1800	100.0

Q71 あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまったら、ご自身の責任だと思いますか。

CVRSPR　COVID-19 感染(本人):本人の責任

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	そう思う	203	11.3
2	どちらかといえばそう思う	756	42.0
3	どちらかといえばそう思わない	574	31.9
4	そう思わない	254	14.1
9	無回答	13	0.7
	計	1800	100.0

ここからは、人付き合いやお住まいの地域の環境についておうかがいします。
Q72-1 過去１年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。
LSCON　心配事を聞いてくれた人の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	1277	70.9
2	いいえ	196	10.9
3	心配事はなかった	322	17.9
9	無回答	5	0.3
	計	1800	100.0

(Q72-1 で「1 はい」と回答した人に)
Q72-2 それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
LSCONFF～LSCONOTH 心配事を聞いてくれた人

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答			選択者数	%
LSCONFF	1	同居家族	892	69.9
LSCONRL	2	その他の親族	431	33.8
LSCONCL	3	職場の人	320	25.1
LSCONNB	4	近所の人	107	8.4
LSCONFR	5	友人	691	54.1
LSCONPR	6	専門職の人（カウンセラー､ヘルパーなど）	64	5.0
LSCONOTH	7	その他	2	0.2
		該当者数	1277	100.0

（全員に）
Q73 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。
OP4TRUST　人への信頼感

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	ほとんどの場合、信用できる	98	5.4
2	たいていは、信用できる	1006	55.9
3	たいていは、用心したほうがよい	578	32.1
4	ほとんどの場合、用心したほうがよい	97	5.4
9	無回答	21	1.2
	計	1800	100.0

Q74 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

A　大気汚染
ENHMAP　環境被害:大気汚染

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	44	2.4
2	ある程度深刻	215	11.9
3	あまり深刻ではない	971	53.9
4	まったく深刻ではない	553	30.7
9	無回答	17	0.9
	計	1800	100.0

B　水質汚染

ENHMWP　環境被害:水質汚染

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	42	2.3
2	ある程度深刻	146	8.1
3	あまり深刻ではない	994	55.2
4	まったく深刻ではない	596	33.1
9	無回答	22	1.2
	計	1800	100.0

C　騒音被害

ENHMNP　環境被害:騒音被害

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	45	2.5
2	ある程度深刻	163	9.1
3	あまり深刻ではない	987	54.8
4	まったく深刻ではない	585	32.5
9	無回答	20	1.1
	計	1800	100.0

D　日照被害

ENHMSUN　環境被害:日照被害

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	とても深刻	32	1.8
2	ある程度深刻	128	7.1
3	あまり深刻ではない	915	50.8
4	まったく深刻ではない	709	39.4
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

Q75 あなたの家から 1 キロ（徒歩 15 分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。

A　ジョギングや散歩などの運動をするのに適している

OPNBEXE　近隣状況:運動に適している

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	535	29.7
2	あてはまる	839	46.6
3	どちらともいえない	289	16.1
4	あてはまらない	99	5.5
5	まったくあてはまらない	28	1.6
9	無回答.	10	0.6
	計	1800	100.0

B　新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る

OPNBFD　近隣状況:新鮮な果物や野菜が手に入る

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	416	23.1
2	あてはまる	838	46.6
3	どちらともいえない	343	19.1
4	あてはまらない	139	7.7
5	まったくあてはまらない	48	2.7
9	無回答.	16	0.9
	計	1800	100.0

C　公共施設（公民館・図書館・公園など）が整っている

OPNBPF　近隣状況:公共施設が整っている

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	339	18.8
2	あてはまる	708	39.3
3	どちらともいえない	417	23.2
4	あてはまらない	244	13.6
5	まったくあてはまらない	79	4.4
9	無回答.	13	0.7
	計	1800	100.0

D　安心して生活できる

OPNBSAFE　近隣状況:安心して生活できる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	370	20.6
2	あてはまる	1033	57.4
3	どちらともいえない	332	18.4
4	あてはまらない	41	2.3
5	まったくあてはまらない	13	0.7
9	無回答.	11	0.6
	計	1800	100.0

E　近所の人は、お互いに気にかけている

OPNBMTCN　近隣状況:互いに気にかけている

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	189	10.5
2	あてはまる	670	37.2
3	どちらともいえない	654	36.3
4	あてはまらない	190	10.6
5	まったくあてはまらない	83	4.6
9	無回答.	14	0.8
	計	1800	100.0

F　近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる

OPNBASS　近隣状況:手助けしてくれる

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	よくあてはまる	140	7.8
2	あてはまる	522	29.0
3	どちらともいえない	752	41.8
4	あてはまらない	239	13.3
5	まったくあてはまらない	137	7.6
9	無回答.	10	0.6
	計	1800	100.0

Q76 あなたの家から 1 キロ（徒歩 15 分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所はありますか。

FEARWALK　自宅周辺の危険な場所の有無

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	はい	851	47.3
2	いいえ	933	51.8
9	無回答	16	0.9
	計	1800	100.0

Q77 かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか。

OP10LVL　自分の位置する階層

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	一番上	8	0.4
2	・	9	0.5
3	・	103	5.7
4	・	208	11.6
5	・	578	32.1
6	・	314	17.4
7	・	279	15.5
8	・	194	10.8
9	・	49	2.7
10	一番下	29	1.6
99	無回答	29	1.6
	計	1800	100.0

あなたのお仕事について、おうかがいします。

Q78 先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。

XJOB1WK　先週の就労経験

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	仕事をした	1149	63.8
2	仕事をもっているが、休暇､病気､育児･介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ	56	3.1
3	仕事をしていない	584	32.4
9	無回答	11	0.6
	計	1800	100.0

お仕事について少し詳しくおうかがいします。２つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事１つについてお答えください。

（Q78 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇､病気､育児･介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）

Q79-1 あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPJB　雇用関係

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		984	81.0
2	会社などの役員		53	4.4
3	内職		6	0.5
4	自家営業の手伝い		40	3.3
5	自営業主・自由業者		127	10.5
9	無回答		5	0.4
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

（Q79-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）

Q79-2 雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPJBS　雇用形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		575	58.4
2	パート・アルバイト		294	29.9
3	派遣社員		27	2.7
4	契約社員		68	6.9
5	嘱託		16	1.6
9	無回答		4	0.4
		計	984	100.0
8	非該当		816	
		計	1800	

（Q79-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）

Q79-3 役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP　役職

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		333	57.9
2	職長・班長・組長など		80	13.9
3	係長（係長相当）		71	12.3
4	課長（課長相当）		48	8.3
5	部長（部長相当）		21	3.7
6	その他の役職		4	0.7
9	無回答		18	3.1
		計	575	100.0
8	非該当		1225	
		計	1800	

（Q79-1 で「5 自営業主・自由業者」と回答した人に）
Q79-4 家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。

TPJBSE　従業員を持つ自営業者

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		34	26.8
2	いいえ		92	72.4
9	無回答		1	0.8
		計	127	100.0
8	非該当		1673	
		計	1800	

（Q79-2 で「2 パート・アルバイト」「3 派遣社員」「4 契約社員」「5 嘱託」と回答した人に）
Q79-5 現在の働き方をしている主な理由１つに○をつけてください。

TPJBNR　非正規雇用についた主な理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	自分の都合の良い時間に働きたいから		109	26.8
2	家計の補助・学費等を得たいから		91	22.4
3	家事・育児・介護等と両立しやすいから		23	5.7
4	通勤時間が短いから		29	7.1
5	専門的な技能等を活かせるから		32	7.9
6	正規の職員・従業員の仕事がないから		28	6.9
7	定年後の再雇用として		46	11.3
8	その他		36	8.8
9	無回答		13	3.2
		計	407	100.0
8	非該当		1393	
		計	1800	

（Q78 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇､病気､育児･介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）
Q80 あなたは､先週､残業も含めて主な仕事を合計何時間しましたか｡副業を含めないでください。 先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。

XJOBHWK　就労時間数／週

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		0	0
	1～9 時間		67	5.5
	10～19 時間		104	8.6
	20～29 時間		133	10.9
	30～39 時間		168	13.8
	40～49 時間		431	35.5
	50～59 時間		166	13.7
	60～69 時間		56	4.6
	70～79 時間		14	1.2
	80 時間以上		24	2.0
999	無回答		52	4.3
		計	1215	100.0
888	非該当		585	
		計	1800	

Q81 あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

SZ7CMT　通勤時間

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	15 分未満		353	29.1
2	15～30 分未満		320	26.3
3	30 分～1 時間未満		251	20.7
4	1 時間～1 時間半未満		121	10.0
5	1 時間半以上		27	2.2
6	住まいと職場は同じ		89	7.3
7	日によって行先が違う		36	3.0
9	無回答		18	1.5
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q82 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR　就労年数

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 年未満		84	6.9
	1～4 年		291	24.0
	5～9 年		190	15.6
	10～19 年		283	23.3
	20～29 年		160	13.2
	30 年以上		184	15.1
999	無回答		23	1.9
		計	1215	100.0
888	非該当		585	
		計	1800	

Q83 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。

XWPLC　業種(選択式)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	農業	31	2.6
2	林業	1	0.1
3	漁業	3	0.2
4	鉱業	4	0.3
5	建設業	96	7.9
6	製造業	208	17.1
7	電気・ガス・熱供給・水道業	16	1.3
8	運輸業（旅行業を含む）	80	6.6
9	卸売業	35	2.9
10	小売業	122	10.0
11	飲食店	61	5.0
12	金融・保険業	34	2.8
13	不動産業	29	2.4
14	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	9	0.7
15	情報・通信サービス業	50	4.1
16	医療・福祉サービス業	178	14.7
17	教育・研究サービス業	47	3.9
18	法律・会計サービス業	9	0.7
19	その他のサービス業	126	10.4

20	公務		47	3.9
77	分類不能の産業		12	1.0
99	無回答		17	1.4
		計	1215	100.0
88	非該当		585	
		計	1800	

「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」「77 分類不能の産業」を追加した

Q84 あなたは、通常そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXJOB　職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	8	0.7
504	建築・土木技術者	5	0.4
505	農林技術者	2	0.2
506	情報処理技術者	18	1.5
507	その他の技師・技術者	4	0.3
508	医師	4	0.3
510	薬剤師	3	0.2
513	栄養士	3	0.2
514	看護師（看護婦・看護士）	27	2.2
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	10	0.8
516	その他の保健医療従事者	21	1.7
519	公認会計士、税理士	1	0.1
520	幼稚園教員	2	0.2
521	小学校教員	8	0.7
522	中学校教員	5	0.4
523	高等学校教員	7	0.6
524	大学教員	7	0.6
526	その他の教員	3	0.2
527	宗教家	7	0.6
529	記者、編集者	1	0.1
531	デザイナー	7	0.6
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
536	獣医師	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	18	1.5
538	社会福祉事業専門職員	9	0.7
539	個人教師	17	1.4
541	経営コンサルタント	2	0.2
543	図書館司書	5	0.4
544	その他の専門的・技術的職業従事者	6	0.5
548	会社役員	9	0.7
550	会社・団体等の管理職員	24	2.0
553	その他の管理的職業従事者	1	0.1
554	総務・企画事務員	138	11.4
555	受付・案内事務員	20	1.6
556	出荷・受荷事務員	13	1.1
557	営業・販売事務員	32	2.6
558	その他の一般事務員	5	0.4
559	会計事務員	52	4.3

560	郵便・通信事務員	1	0.1
561	集金人	1	0.1
562	その他の外勤事務従事者	5	0.4
563	運輸事務員	1	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	0.1
565	電子計算機等操作員	8	0.7
566	小売店主	10	0.8
568	飲食店主	11	0.9
569	販売店員	57	4.7
572	商品仲立人	1	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	47	3.9
574	保険代理人・外交員	4	0.3
575	不動産仲買人・売買人	9	0.7
577	その他の販売類似職業従事者	3	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	2	0.2
579	理容師、美容師	23	1.9
581	料理人	28	2.3
583	給仕係	29	2.4
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.1
585	接客社交係	1	0.1
586	娯楽場等の接客員	2	0.2
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	5	0.4
592	その他のサービス職業従事者	1	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	4	0.3
595	消防員	3	0.2
596	看守、守衛、監視員	6	0.5
597	その他の保安職業従事者	10	0.8
599	農耕・養蚕作業者	21	1.7
600	植木職、造園師	3	0.2
601	畜産作業者	3	0.2
602	林業作業者	1	0.1
604	漁業作業者	3	0.2
606	電車・機関車運転士	2	0.2
607	自動車運転者	52	4.3
609	船舶機関長・機関士（漁船を除く）	1	0.1
614	その他の運輸従事者	1	0.1
618	郵便・電報外務員	1	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業者	1	0.1
627	製銑工、製鋼工、精錬工	1	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	1	0.1
629	化学製品製造作業者	4	0.3
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	2	0.2
631	鉄工、板金工	8	0.7
632	金属溶接工	1	0.1
633	一般機械組立工・修理工	28	2.3
634	電気機械器具組立工・修理工	10	0.8
635	自動車組立工・整備工	9	0.7
636	鉄道車両組立工・修理工	1	0.1
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	5	0.4
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	22	1.8
650	漂白工、染色工	2	0.2

652	縫製工、裁断工		3	0.2
653	製材工、木工		6	0.5
654	指物職、家具職、建具職		2	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者		2	0.2
658	印刷・製本作業者		5	0.4
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者		1	0.1
661	塗装工、画工、看板工		5	0.4
663	表具師、内張工		1	0.1
668	かばん・袋物製造工		1	0.1
670	製図工、現図工		2	0.2
672	その他の技能工・生産工程作業者		11	0.9
674	起重機・建設機械運転作業者		2	0.2
675	その他の定置機関運転作業者		3	0.2
676	発電員、変電員		1	0.1
677	電気工事・電話工事作業者		9	0.7
680	れんが積工、配管工		4	0.3
682	土工、道路工夫		10	0.8
684	現場監督、その他の建設作業者		25	2.1
685	倉庫夫、仲仕		9	0.7
686	運搬労務者		23	1.9
687	清掃員		25	2.1
688	その他の労務作業者		22	1.8
702	大工		7	0.6
703	教員		1	0.1
801	介護員、ヘルパー		27	2.2
802	その他の医療・福祉サービス職従事者		1	0.1
999	不明、無回答		42	3.5
		計	1215	100.0
998	非該当		585	
		計	1800	

XXJE08 職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		37	3.0
	Professionals		123	10.1
	Technicians and associate professionals		166	13.7
	Clerical support workers		254	20.9
	Service and sales workers		253	20.8
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		26	2.1
	Craft and related trades workers		99	8.1
	Plant and machine operators, and assemblers		113	9.3
	Elementary occupations		102	8.4
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		42	3.5
		計	1215	100.0
88888	非該当		585	
		計	1800	

Q85 あなたの主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。

JOBNPO　主な勤め先の種類:公益的団体

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	公益的な団体		236	19.4
2	それ以外		952	78.4
9	無回答		27	2.2
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q86 あなたと同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SZTTLSTA　企業規模

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		58	4.8
2	2～4 人		117	9.6
3	5～9 人		105	8.6
4	10～29 人		142	11.7
5	30～99 人		179	14.7
6	100～299 人		136	11.2
7	300～499 人		69	5.7
8	500～999 人		56	4.6
9	1,000～1,999 人		65	5.3
10	2,000～9,999 人		102	8.4
11	1 万人以上		66	5.4
12	官公庁		76	6.3
99	無回答		44	3.6
		計	1215	100.0
88	非該当		585	
		計	1800	

Q87 昨年１年間のあなたの主なお仕事からの収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。

SZICOMX　本人年収:主な仕事(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	なし		14	1.2
2	70 万円未満		116	9.5
3	70～100 万円未満		103	8.5
4	100～130 万円未満		87	7.2
5	130～150 万円未満		31	2.6
6	150～250 万円未満		152	12.5
7	250～350 万円未満		176	14.5
8	350～450 万円未満		150	12.3
9	450～550 万円未満		95	7.8
10	550～650 万円未満		77	6.3
11	650～750 万円未満		55	4.5
12	750～850 万円未満		48	4.0
13	850～1,000 万円未満		31	2.6
14	1,000～1,200 万円未満		15	1.2
15	1,200～1,400 万円未満		3	0.2
16	1,400～1,600 万円未満		3	0.2
17	1,600 万円以上		6	0.5
99	無回答		53	4.4
		計	1215	100.0
88	非該当		585	
		計	1800	

Q88 あなたは労働組合に入っていますか。

JOINUNI　労働組合加入の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	職場の労働組合に入っている		286	23.5
2	職場以外の労働組合に入っている		11	0.9
3	入っていない		900	74.1
9	無回答		18	1.5
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q89 現在の仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB　現在の仕事の満足度

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	満足している		156	12.8
2	どちらかといえば満足している		483	39.8
3	どちらともいえない		367	30.2
4	どちらかといえば不満である		146	12.0
5	不満である		54	4.4
9	無回答		9	0.7
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q90 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA　現在の会社・組織での就労継続意向

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	近いうちにやめるつもり		171	14.1
2	当分やめるつもりはない		774	63.7
3	まったくやめるつもりはない		255	21.0
9	無回答		15	1.2
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q91 今後１年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。自営業主が倒産などで失職する場合も含めてお答えください。

OP4UNEMP　失業の可能性

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	かなりある		61	5.0
2	ある程度ある		249	20.5
3	あまりない		574	47.2
4	まったくない		321	26.4
9	無回答		10	0.8
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q92 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB　再就労の容易さ

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	非常に容易である		63	5.2
2	ある程度容易である		265	21.8
3	容易ではない		863	71.0
9	無回答		24	2.0
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

Q93-1 主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。

XSJB1WK　副業の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		76	6.3
2	いいえ		1123	92.4
9	無回答		16	1.3
		計	1215	100.0
8	非該当		585	
		計	1800	

（Q93-1 で「1 はい」と回答した人に）
Q93-2 いくつ副業をしていますか。

XSJBNUM　副業の数

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 個		67	88.2
	2 個		7	9.2
	3 個		2	2.6
99	無回答		0	0.0
		計	76	100.0
88	非該当		1724	
		計	1800	

Q93-3 あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。

SZSJBHWK　副業就労時間数／週

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		9	11.8
	1～9 時間		35	46.1
	10～19 時間		19	25.0
	20～29 時間		6	7.9
	30～39 時間		1	1.3
	40～49 時間		1	1.3
	50 時間以上		5	6.6
999	無回答		0	0.0
		計	76	100.0
888	非該当		1724	
		計	1800	

Q93-4 あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。副業が複数ある場合には、主なもの１つについてお答えください。

XXSJOB　副業の職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
508	医師	1	1.3
514	看護師（看護婦・看護士）	1	1.3
516	その他の保健医療従事者	2	2.6
529	記者、編集者	1	1.3
531	デザイナー	2	2.6
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	1.3
539	個人教師	1	1.3
544	その他の専門的・技術的職業従事者	3	3.9
548	会社役員	1	1.3
554	総務・企画事務員	8	10.5
562	その他の外勤事務従事者	2	2.6
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	1.3
566	小売店主	1	1.3
569	販売店員	7	9.2
572	商品仲立人	1	1.3
577	その他の販売類似職業従事者	3	3.9
579	理容師、美容師	1	1.3
583	給仕係	9	11.8
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	6	7.9
592	その他のサービス職業従事者	1	1.3

599	農耕・養蚕作業者		2	2.6
607	自動車運転者		2	2.6
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者		1	1.3
652	縫製工、裁断工		1	1.3
654	指物職、家具職、建具職		1	1.3
672	その他の技能工・生産工程作業者		2	2.6
675	その他の定置機関運転作業者		1	1.3
677	電気工事・電話工事作業者		1	1.3
686	運搬労務者		4	5.3
687	清掃員		1	1.3
688	その他の労務作業者		1	1.3
702	大工		1	1.3
801	介護員、ヘルパー		1	1.3
999	不明、無回答		4	5.3
		計	76	100.0
998	非該当		1724	
		計	1800	

XXSJE08　副業の職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		1	1.3
	Professionals		6	7.9
	Technicians and associate professionals		7	9.2
	Clerical support workers		10	13.2
	Service and sales workers		29	38.2
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		2	2.6
	Craft and related trades workers		5	6.6
	Plant and machine operators, and assemblers		4	5.3
	Elementary occupations		8	10.5
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		4	5.3
		計	76	100.0
88888	非該当		1724	
		計	1800	

（Q78 で「3 仕事をしていない」と回答した人に）
Q94 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP　不就労の理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	失業中		28	4.8
2	定年で退職している・高齢のため仕事をやめている		275	47.1
3	学生		10	1.7
4	主に家事をしている		217	37.2
5	心身上の事情で働けない		26	4.5
6	その他		6	1.0
9	無回答		22	3.8
		計	584	100.0
8	非該当		1216	
		計	1800	

Q95 あなたは、これまでに収入をともなう仕事をしたことがありますか。

XWORK　就労経験

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		533	91.3
2	いいえ		41	7.0
9	無回答		10	1.7
		計	584	100.0
8	非該当		1216	
		計	1800	

最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きします。

（Q95 で「1 はい」と回答した人に）

Q96 最後に収入をともなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK　離職年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	15～19 歳		2	0.4
	20～29 歳		51	9.6
	30～39 歳		33	6.2
	40～49 歳		34	6.4
	50～59 歳		87	16.3
	60～69 歳		180	33.8
	70～79 歳		60	11.3
	80～89 歳		5	0.9
999	無回答		81	15.2
		計	533	100.0
888	非該当		1267	
		計	1800	

Q97 当時、あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB　離職理由

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	定年など退職（引退）する年齢になった		191	35.8
2	早期退職（引退）を選んだ		23	4.3
3	早期退職（引退）をさせられた		1	0.2
4	健康上の理由で働けなくなった		57	10.7
5	会社が倒産したり、職場が閉鎖された		16	3.0
6	解雇された		3	0.6
7	雇用期間や契約期間が終了した		38	7.1
8	仕事や労働条件等が不満だったので		25	4.7
9	開業や転職のため		7	1.3
10	家族の介護のため		33	6.2
11	結婚したため		30	5.6
12	出産・育児のため		26	4.9
13	その他		25	4.7
15	孫の世話		4	0.8
99	無回答		54	10.1
		計	533	100.0
88	非該当		1267	
		計	1800	

コード「15」は「13 その他」の具体的記述から追加した

Q98-1 その仕事は、大きく分けて、この中のどれでしたか。

TPLSTJB　前職の雇用関係

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		414	77.7
2	会社などの役員		16	3.0
3	内職		7	1.3
4	自家営業の手伝い		17	3.2
5	自営業主・自由業者		35	6.6
9	無回答		44	8.3
		計	533	100.0
8	非該当		1267	
		計	1800	

（Q98-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）

Q98-2 当時の雇用形態は、この中のどれでしたか。

TPLSTJBS　前職の雇用形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		201	48.6
2	パート・アルバイト		157	37.9
3	派遣社員		16	3.9
4	契約社員		21	5.1
5	嘱託		14	3.4
9	無回答		5	1.2
		計	414	100.0
8	非該当		1386	
		計	1800	

（Q98-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）

Q98-3 当時の役職は、この中のどれでしたか。

TPLSTJBP　前職の役職

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		119	59.2
2	職長・班長・組長など		16	8.0
3	係長（係長相当）		17	8.5
4	課長（課長相当）		19	9.5
5	部長（部長相当）		15	7.5
6	その他の役職		1	0.5
9	無回答		14	7.0
		計	201	100.0
8	非該当		1599	
		計	1800	

（Q95 で「1 はい」と回答した人に）

Q99 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にご記入ください。（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXLSTJB　前職の職種

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
501	自然科学系研究者	2	0.4
503	機械・電気・化学技術者	2	0.4
504	建築・土木技術者	1	0.2
505	農林技術者	1	0.2
507	その他の技師・技術者	1	0.2
509	薬剤師	2	0.4
511	助産婦	1	0.2
513	栄養士	1	0.2
514	看護婦・看護士	10	1.9
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.4
516	その他の保健医療従事者	10	1.9
520	幼稚園教員	2	0.4
521	小学校教員	2	0.4
522	中学校教員	1	0.2
523	高等学校教員	3	0.6
524	大学教員	2	0.4
525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.2
528	文芸家、著述家	2	0.4
529	記者、編集者	2	0.4
531	デザイナー	1	0.2
537	保母、保父	5	0.9
538	社会福祉事業専門職員	3	0.6
539	個人教師	6	1.1
545	管理的公務員	3	0.6
548	会社役員	7	1.3
550	会社・団体等の管理職員	8	1.5
554	総務・企画事務員	61	11.4
555	受付・案内事務員	8	1.5
557	営業・販売事務員	12	2.3
558	その他の一般事務員	3	0.6
559	会計事務員	18	3.4
560	郵便・通信事務員	2	0.4
562	その他の外勤事務従事者	1	0.2
563	運輸事務員	1	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	0.2
565	電子計算機等操作員	4	0.8
566	小売店主	2	0.4
569	販売店員	35	6.6
572	商品仲立人	2	0.4
573	外交員(保険、不動産を除く)	18	3.4
574	保険代理人・外交員	4	0.8
575	不動産仲買人・売買人	2	0.4
577	その他の販売類似職業従事者	2	0.4
579	理容師、美容師	4	0.8
581	料理人	9	1.7
583	給仕係	12	2.3

585	接客社交係	1	0.2
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	7	1.3
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	1	0.2
595	消防員	2	0.4
596	看守、守衛、監視員	2	0.4
597	その他の保安職業従事者	3	0.6
599	農耕・養蚕作業者	10	1.9
602	林業作業者	2	0.4
607	自動車運転者	16	3.0
614	その他の運輸従事者	2	0.4
618	郵便・電報外務員	2	0.4
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	1	0.2
629	化学製品製造作業者	1	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	1	0.2
631	鉄工、板金工	8	1.5
632	金属溶接工	2	0.4
633	一般機械組立工・修理工	7	1.3
634	電気機械器具組立工・修理工	6	1.1
635	自動車組立工・整備工	2	0.4
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	1	0.2
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	9	1.7
649	織布工、紡織作業者	2	0.4
652	縫製工、裁断工	11	2.1
653	製材工、木工	1	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	1	0.2
658	印刷・製本作業者	4	0.8
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	1	0.2
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業者	1	0.2
661	塗装工、画工、看板工	2	0.4
670	製図工、現図工	2	0.4
672	その他の技能工・生産工程作業者	10	1.9
674	起重機・建設機械運転作業者	1	0.2
679	左官、とび職	4	0.8
680	れんが積工、配管工	1	0.2
682	土工、道路工夫	1	0.2
684	現場監督、その他の建設作業者	1	0.2
685	倉庫夫、仲仕	7	1.3
686	運搬労務者	7	1.3
687	清掃員	11	2.1
688	その他の労務作業者	9	1.7
702	大工	2	0.4
801	介護員、ヘルパー	9	1.7
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	1	0.2
999	不明、無回答	75	14.1
	計	533	100.0
998	非該当	1267	
	計	1800	

XXLJE08　前職の職種(ISCO08)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		16	3.0
	Professionals		34	6.4
	Technicians and associate professionals		54	10.1
	Clerical support workers		110	20.6
	Service and sales workers		102	19.1
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		10	1.9
	Craft and related trades workers		36	6.8
	Plant and machine operators, and assemblers		53	9.9
	Elementary occupations		43	8.1
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		75	14.1
		計	533	100.0
88888	非該当		1267	
		計	1800	

Q100 あなたと同じ会社・組織で働いていた方は何人でしたか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ていた場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SZSTFLS　前職の企業規模(6 分類)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		17	3.2
2	小企業（2～29 人）		158	29.6
3	中企業（30～299 人）		143	26.8
4	大企業（300～999 人）		43	8.1
5	大手大企業（1,000 人以上）		64	12.0
6	官公庁		47	8.8
9	無回答		61	11.4
		計	533	100.0
8	非該当		1267	
		計	1800	

（全員に）

Q101 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB　求職の有無(全員)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		254	14.1
2	いいえ		1537	85.4
9	無回答		9	0.5
		計	1800	100.0

Q102 あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

XNUMCOWK　転職数

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	0 社	178	9.9
2	1 社	638	35.4
3	2 社	422	23.4
4	3 社	280	15.6
5	4 社	116	6.4
6	5 社	54	3.0
7	6 社以上	67	3.7
9	無回答	45	2.5
	計	1800	100.0

Q103 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。

XSPSCH　専修学校・専門学校への通学経験（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	通ったことがある	368	20.4
2	通ったことがない	1395	77.5
9	無回答	37	2.1
	計	1800	100.0

Q104 あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

XLSTSCH　最終学校（本人）（簡易版）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	173	9.6
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	865	48.1
3	高専（高等専門学校）	2	0.1
4	短大	210	11.7
5	大学（旧制高校・大学）	473	26.3
6	大学院	39	2.2
9	無回答	38	2.1
	計	1800	100.0

Q105 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH　最終学校の卒業・中退（本人）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	卒業	1632	90.7
2	中退	112	6.2
3	在学中	37	2.1
9	無回答	19	1.1
	計	1800	100.0

XGRADE　在学中の場合の学年（本人）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 年生		2	5.4
	2 年生		6	16.2
	3 年生		13	35.1
	4 年生		16	43.2
99	無回答		0	0.0
		計	37	100.0
88	非該当		1763	
		計	1800	

Q106 あなたが一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY　家族人数（本人除く）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 人		193	10.7
	1 人		553	30.7
	2 人		454	25.2
	3 人		334	18.6
	4 人		153	8.5
	5 人以上		95	5.3
999	無回答		18	1.0
		計	1800	100.0

SZFFTTL　家族人数（本人含む）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	1 人		194	10.8
	2 人		552	30.7
	3 人		454	25.2
	4 人		334	18.6
	5 人以上		248	13.8
999	無回答		18	1.0
		計	1800	100.0

Q107 現在、あなたと一緒に住んでいる方は、どなたですか。すべてに○をつけてください。
COFMSS～COFMNONE 同居家族

ｺｰﾄﾞ	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答			選択者数	%
COFMSS	1	配偶者	1162	64.6
COFMCC	2	あなたの子ども	814	45.2
COFMCSS	3	子どもの配偶者	76	4.2
COFMGCC	4	孫	93	5.2
COFMPP	5	あなたの父親	214	11.9
COFMMM	6	あなたの母親	335	18.6
COFMPPL	7	配偶者の父親	29	1.6
COFMMML	8	配偶者の母親	58	3.2
COFMGP	9	あなたの祖父	15	0.8
COFMGM	10	あなたの祖母	31	1.7
COFMGPL	11	配偶者の祖父	3	0.2
COFMGML	12	配偶者の祖母	3	0.2
COFMSB	13	あなたの兄弟姉妹	129	7.2
COFMSBL	14	配偶者の兄弟姉妹	5	0.3
COFMOT	15	その他	18	1.0
COFMNONE	16	一人暮らし	194	10.8
COFMGCSP		孫の配偶者	1	0.1
COFMBYSP		弟の妻	1	0.1
COFMBYCC		弟の子	1	0.1
COFMSYCC		妹の子	0	0.0
COFMSBCM		甥	1	0.1
COFMSBCF		姪	1	0.1
COFMUNAT		父母の兄弟姉妹	3	0.2
COFMUN		おじ	3	0.2
COFMAT		おば	3	0.2
COFMUNAC		おじ・おばの子	1	0.1
		該当者数	1800	100.0

「孫の配偶者」～「おじ・おばの子」は「15 その他」の具体的記述から追加した

Q108 現在、あなたと一緒に住んでいる方の中で、最も高齢の方の年齢を教えてください。
COFMELD　最も高齢の同居家族の年齢

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	一人暮らし	194	10.8
2	20 歳代	25	1.4
3	30 歳代	112	6.2
4	40 歳代	200	11.1
5	50 歳代	243	13.5
6	60 歳代	260	14.4
7	70 歳代	435	24.2
8	80 歳以上	307	17.1
99	無回答	24	1.3
	計	1800	100.0

Q109 昨年１年間のあなたの家の世帯収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入で、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

SZHSICM　世帯年収(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	なし	8	0.4
2	70 万円未満	23	1.3
3	70～100 万円未満	40	2.2
4	100～130 万円未満	36	2.0
5	130～150 万円未満	35	1.9
6	150～250 万円未満	134	7.4
7	250～350 万円未満	226	12.6
8	350～450 万円未満	188	10.4
9	450～550 万円未満	153	8.5
10	550～650 万円未満	149	8.3
11	650～750 万円未満	121	6.7
12	750～850 万円未満	132	7.3
13	850～1,000 万円未満	141	7.8
14	1,000～1,200 万円未満	97	5.4
15	1,200～1,400 万円未満	44	2.4
16	1,400～1,600 万円未満	21	1.2
17	1,600 万円以上	41	2.3
99	無回答	211	11.7
	計	1800	100.0

Q110 そのうち、あなたご自身の収入は、どのくらいになりますか。仕事以外からの収入も含めてください。

SZICOMA　本人年収:全体(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	なし	122	6.8
2	70 万円未満	159	8.8
3	70～100 万円未満	159	8.8
4	100～130 万円未満	122	6.8
5	130～150 万円未満	53	2.9
6	150～250 万円未満	264	14.7
7	250～350 万円未満	250	13.9
8	350～450 万円未満	173	9.6
9	450～550 万円未満	109	6.1
10	550～650 万円未満	86	4.8
11	650～750 万円未満	61	3.4
12	750～850 万円未満	47	2.6
13	850～1,000 万円未満	33	1.8
14	1,000～1,200 万円未満	19	1.1
15	1,200～1,400 万円未満	6	0.3
16	1,400～1,600 万円未満	5	0.3
17	1,600 万円以上	10	0.6
99	無回答	122	6.8
	計	1800	100.0

Q111 あなたのご両親が最後に通った学校は、次のどれにあたりますか。わかる範囲でお答えください。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

父親

PLSTSCH　最終学校(父親)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	490	27.2
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	667	37.1
3	高専（高等専門学校）	0	0.0
4	短大	28	1.6
5	大学（旧制高校・大学）	289	16.1
6	大学院	20	1.1
7	わからない	267	14.8
9	無回答	39	2.2
	計	1800	100.0

母親

MLSTSCH　最終学校(母親)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）	514	28.6
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	744	41.3
3	高専（高等専門学校）	1	0.1
4	短大	144	8.0
5	大学（旧制高校・大学）	100	5.6
6	大学院	3	0.2
7	わからない	254	14.1
9	無回答	40	2.2
	計	1800	100.0

Q112-1 これまでにおもちになったお子さんは何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。養子・連れ子についても含めてお答えください。

CCNUMC　子どもの人数(選択式)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
0	持ったことがない	499	27.7
1	1 人	218	12.1
2	2 人	678	37.7
3	3 人	304	16.9
4	4 人	58	3.2
5	5 人以上	12	0.7
9	無回答	31	1.7
	計	1800	100.0

CCNUMCX　子どもの人数(選択式):5 人以上の場合(具体的記述)

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
実数記入	5 人	4	33.3
	6 人	5	41.7
	7 人	0	0.0
	8 人	1	8.3
99	無回答	2	16.7
	計	12	100.0
88	非該当	1788	
	計	1800	

（Q112-1で「１１人」「２２人」「３３人」「４４人」「５５人以上」と回答した人に）
Q112-2 末子の現在の年齢を教えてください。

CCYLIVE　末子:生死

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	存命		1167	91.8
2	亡くなっている		11	0.9
9	無回答		93	7.3
		計	1271	100.0
8	非該当		529	
		計	1800	

CCYNG　末子の年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0～9歳		203	17.4
	10～19歳		210	18.0
	20～29歳		163	14.0
	30～39歳		206	17.7
	40～49歳		261	22.4
	50～59歳		116	9.9
	60～69歳		8	0.7
999	無回答		0	0.0
		計	1167	100.0
888	非該当		633	
		計	1800	

（全員に）
Q113 あなたは結婚していますか。

DOMARRY　結婚状況

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	現在、配偶者がいる		1171	65.1
2	離婚した		116	6.4
3	死に別れた		134	7.4
4	結婚したことはない		351	19.5
5	離婚を前提に別居中		1	0.1
6	同棲中		15	0.8
9	無回答		12	0.7
		計	1800	100.0

ここからは、あなたの配偶者について、おうかがいします。
（Q113 で「1 現在、配偶者がいる」「6 同棲中」と回答した人に）
Q114 配偶者の方の現在の年齢を教えてください。

SPAGEX　配偶者の年齢

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	～29 歳		36	3.0
	30～39 歳		153	12.9
	40～49 歳		212	17.9
	50～59 歳		207	17.4
	60～69 歳		210	17.7
	70～79 歳		242	20.4
	80 歳～		92	7.8
999	無回答		35	2.9
		計	1187	100.0
888	非該当		613	
		計	1800	

Q115 あなたの配偶者の健康状態は、いかがですか。

SSHLTH　配偶者の健康（改訂版）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	最高に良い		44	3.7
2	とても良い		249	21.0
3	良い		393	33.1
4	普通		364	30.7
5	良くない		121	10.2
9	無回答		16	1.3
		計	1187	100.0
8	非該当		613	
		計	1800	

Q116 あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。

PSPSCH　専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	通ったことがある		231	19.5
2	通ったことがない		915	77.1
9	無回答		41	3.5
		計	1187	100.0
8	非該当		613	
		計	1800	

Q117 あなたの配偶者が最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。

SLSTSCH　最終学校(配偶者)(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	中学校（旧制小学校）		107	9.0
2	高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）		552	46.5
3	高専（高等専門学校）		2	0.2
4	短大		140	11.8
5	大学（旧制高校・大学）		324	27.3
6	大学院		30	2.5
9	無回答		32	2.7
		計	1187	100.0
8	非該当		613	
		計	1800	

Q118 あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

SSDOLSTS　最終学校の卒業・中退(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	卒業		1115	93.9
2	中退		48	4.0
3	在学中		0	0.0
9	無回答		24	2.0
		計	1187	100.0
8	非該当		613	
		計	1800	

SSXGRADE　在学中の場合の学年(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入				
99	無回答		0	0.0
		計	0	0.0
88	非該当		1800	
		計	1800	

Q119-1 先週、あなたの配偶者は収入をともなう仕事をしましたか。

SSJB1WK　先週の就労経験(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	仕事をした		693	58.4
2	仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ		21	1.8
3	仕事をしていない		458	38.6
9	無回答		15	1.3
		計	1187	100.0
8	非該当		613	
		計	1800	

（Q119-1 で「3 仕事をしていない」と回答した人に）
Q119-2 先週の配偶者の方はこの中のどれにあたりますか。
SSTPUNEM　不就労の理由（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	失業中		11	2.4
2	定年で退職している・高齢のため仕事をやめている		163	35.6
3	学生		0	0.0
4	主に家事をしている		210	45.9
5	心身上の事情で働けない		24	5.2
6	その他		3	0.7
9	無回答		47	10.3
		計	458	100.0
8	非該当		1342	
		計	1800	

（Q119-1 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）
Q120 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。２つ以上仕事をおもちの場合は合計の時間を教えてください。先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。
SPWRKHRS　就労時間数／週（配偶者）（副業含む）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
実数記入	0 時間		0	0.0
	1～9 時間		34	4.7
	10～19 時間		63	8.8
	20～29 時間		73	10.2
	30～39 時間		92	12.8
	40～49 時間		247	34.4
	50～59 時間		88	12.2
	60～69 時間		44	6.1
	70～79 時間		16	2.2
	80 時間以上		15	2.1
999	無回答		47	6.5
		計	719	100.0
888	非該当		1081	
		計	1800	

Q121-1 あなたの配偶者の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。
SSTPJB　雇用関係（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	雇われている人		549	76.4
2	会社などの役員		35	4.9
3	内職		3	0.4
4	自家営業の手伝い		23	3.2
5	自営業主・自由業者		100	13.9
9	無回答		9	1.3
		計	719	100.0
8	非該当		1081	
		計	1800	

（Q121-1 で「1 雇われている人」と回答した人に）
Q121-2 雇用形態は、この中のどれにあたりますか。
SSTPJBS　雇用形態（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	常時雇用の職員・従業員		326	59.4
2	パート・アルバイト		179	32.6
3	派遣社員		12	2.2
4	契約社員		17	3.1
5	嘱託		10	1.8
9	無回答		5	0.9
		計	549	100.0
8	非該当		1251	
		計	1800	

（Q121-2 で「1 常時雇用の職員・従業員」と回答した人に）
Q121-3 役職は、この中のどれにあたりますか。
SSTPJOBP　役職（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	役職なし		171	52.5
2	職長・班長・組長など		33	10.1
3	係長（係長相当）		46	14.1
4	課長（課長相当）		31	9.5
5	部長（部長相当）		20	6.1
6	その他の役職		3	0.9
9	無回答		22	6.7
		計	326	100.0
8	非該当		1474	
		計	1800	

（Q121-1 で「5 自営業主・自営業者」と回答した人に）
Q121-4 家族以外に従業員を雇っていますか。（アルバイトを含みます）。
SSTPJBSE　従業員を持つ自営業者（配偶者）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		22	22.0
2	いいえ		74	74.0
9	無回答		4	4.0
		計	100	100.0
8	非該当		1700	
		計	1800	

（Q119-1 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ」と回答した人に）

Q122 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。

SSWPLC　業種（配偶者）（選択式）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	農業		25	3.5
2	林業		0	0.0
3	漁業		3	0.4
4	鉱業		1	0.1
5	建設業		57	7.9
6	製造業		113	15.7
7	電気・ガス・熱供給・水道業		11	1.5
8	運輸業（旅行業を含む）		45	6.3
9	卸売業		22	3.1
10	小売業		73	10.2
11	飲食店		28	3.9
12	金融・保険業		24	3.3
13	不動産業		11	1.5
14	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業		6	0.8
15	情報・通信サービス業		36	5.0
16	医療・福祉サービス業		104	14.5
17	教育・研究サービス業		33	4.6
18	法律・会計サービス業		4	0.6
19	その他のサービス業		68	9.5
20	公務		34	4.7
77	分類不能の産業		7	1.0
99	無回答		14	1.9
		計	719	100.0
88	非該当		1081	
		計	1800	

「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」「77 分類不能の産業」を追加した

Q123 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

SSXXJOB　職種（配偶者）

ｺｰﾄﾞ		ｹｰｽ数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	5	0.7
504	建築・土木技術者	2	0.3
506	情報処理技術者	6	0.8
507	その他の技師・技術者	3	0.4
510	薬剤師	4	0.6
511	助産師（助産婦）	1	0.1
514	看護師（看護婦・看護士）	15	2.1
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	5	0.7
516	その他の保健医療従事者	11	1.5
519	公認会計士、税理士	1	0.1
520	幼稚園教員	1	0.1
521	小学校教員	5	0.7
522	中学校教員	3	0.4
523	高等学校教員	5	0.7
524	大学教員	2	0.3

526	その他の教員	2	0.3
527	宗教家	3	0.4
529	記者、編集者	1	0.1
531	デザイナー	1	0.1
532	写真家、カメラマン	3	0.4
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	2	0.3
537	保育士（保母、保父）	9	1.3
538	社会福祉事業専門職員	3	0.4
539	個人教師	10	1.4
541	経営コンサルタント	4	0.6
543	図書館司書	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	2	0.3
548	会社役員	7	1.0
550	会社・団体等の管理職員	20	2.8
554	総務・企画事務員	91	12.7
555	受付・案内事務員	4	0.6
556	出荷・受荷事務員	3	0.4
557	営業・販売事務員	7	1.0
558	その他の一般事務員	8	1.1
559	会計事務員	23	3.2
560	郵便・通信事務員	6	0.8
563	運輸事務員	1	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	0.1
565	電子計算機等操作員	5	0.7
566	小売店主	7	1.0
568	飲食店主	7	1.0
569	販売店員	40	5.6
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.1
572	商品仲立人	4	0.6
573	外交員(保険、不動産を除く）	22	3.1
574	保険代理人・外交員	9	1.3
575	不動産仲買人・売買人	4	0.6
577	その他の販売類似職業従事者	3	0.4
579	理容師、美容師	12	1.7
581	料理人	15	2.1
583	給仕係	11	1.5
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	3	0.4
593	自衛官	1	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	2	0.3
595	消防員	3	0.4
596	看守、守衛、監視員	3	0.4
597	その他の保安職業従事者	3	0.4
599	農耕・養蚕作業者	24	3.3
604	漁業作業者	1	0.1
606	電車・機関車運転士	1	0.1
607	自動車運転者	43	6.0
625	ガラス・セメント製品製造作業者	1	0.1
627	製銑工、製鋼工、精錬工	1	0.1
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	4	0.6
631	鉄工、板金工	3	0.4
633	一般機械組立工・修理工	21	2.9

634	電気機械器具組立工・修理工		2	0.3
639	自動車組立工・整備工		4	0.6
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工		5	0.7
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者		15	2.1
652	縫製工、裁断工		2	0.3
653	製材工、木工		2	0.3
654	指物職、家具職、建具職		1	0.1
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者		1	0.1
661	塗装工、画工、看板工		2	0.3
670	製図工、現図工		2	0.3
672	その他の技能工・生産工程作業者		8	1.1
674	起重機・建設機械運転作業者		1	0.1
677	電気工事・電話工事作業者		6	0.8
679	左官、とび職		4	0.6
680	れんが積工、配管工		2	0.3
682	土工、道路工夫		2	0.3
684	現場監督、その他の建設作業者		17	2.4
685	倉庫夫、仲仕		8	1.1
686	運搬労務者		5	0.7
687	清掃員		12	1.7
688	その他の労務作業者		6	0.8
702	大工		3	0.4
703	教員		1	0.1
801	介護員、ヘルパー		15	2.1
999	不明、無回答		56	7.8
		計	719	100.0
998	非該当		1081	
		計	1800	

SSXXJE08　職種（配偶者）（ISCO08）

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
	Managers		30	4.2
	Professionals		75	10.4
	Technicians and associate professionals		99	13.8
	Clerical support workers		128	17.8
	Service and sales workers		137	19.1
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers		20	2.8
	Craft and related trades workers		64	8.9
	Plant and machine operators, and assemblers		69	9.6
	Elementary occupations		41	5.7
	Armed forces occupations		0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答		56	7.8
		計	719	100.0
88888	非該当		1081	
		計	1800	

Q124 あなたの配偶者の勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。

SSJBNPO　配偶者の主な勤め先の種類:公益的団体

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	公益的な団体		148	20.6
2	それ以外		562	78.2
9	無回答		9	1.3
		計	719	100.0
8	非該当		1081	
		計	1800	

Q125 配偶者の方と同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。

SSSZSTFA　企業規模(配偶者)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	1 人		48	6.7
2	2～4 人		73	10.2
3	5～9 人		57	7.9
4	10～29 人		77	10.7
5	30～99 人		112	15.6
6	100～299 人		69	9.6
7	300～499 人		33	4.6
8	500～999 人		37	5.1
9	1,000～1,999 人		37	5.1
10	2,000～9,999 人		52	7.2
11	1 万人以上		32	4.5
12	官公庁		46	6.4
99	無回答		46	6.4
		計	719	100.0
88	非該当		1081	
		計	1800	

Q126 昨年１年間の配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

SSSZICA 配偶者年収:全体(簡易版)

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	なし		5	0.7
2	70 万円未満		55	7.6
3	70～100 万円未満		71	9.9
4	100～130 万円未満		48	6.7
5	130～150 万円未満		19	2.6
6	150～250 万円未満		57	7.9
7	250～350 万円未満		91	12.7
8	350～450 万円未満		88	12.2
9	450～550 万円未満		58	8.1
10	550～650 万円未満		57	7.9
11	650～750 万円未満		32	4.5
12	750～850 万円未満		30	4.2
13	850～1,000 万円未満		26	3.6
14	1,000～1,200 万円未満		16	2.2
15	1,200～1,400 万円未満		3	0.4
16	1,400～1,600 万円未満		4	0.6
17	1,600 万円以上		4	0.6
99	無回答		55	7.6
		計	719	100.0
88	非該当		1081	
		計	1800	

回収状況記入票

AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	工場の多い地域		27	1.5
2	商店・事業所の多い地域		204	11.3
3	主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）		518	28.8
4	主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）		802	44.6
5	農山漁村		168	9.3
6	その他		81	4.5
9	無回答		1800	100.0
		計	27	1.5

NAMEPLAT 調査員への質問:表札の有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	あり		1351	75.1
2	なし		444	24.7
9	無回答		5	0.3
		計	1800	100.0

TPHOUSE 調査員への質問:回答者の居住形態

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	一戸建て		1348	74.9
2	集合住宅		445	24.7
3	不明		7	0.4
9	無回答		0	0.0
		計	1800	100.0

（TPHOUSE「2 集合住宅」の場合）

AUTOLOCK 集合住宅でのオートロックの有無

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	はい		142	31.9
2	いいえ		300	67.4
9	無回答		3	0.7
		計	445	100.0
8	非該当		1355	
		計	1800	

INTERCOM 家のインターフォンの種類

ｺｰﾄﾞ			ｹｰｽ数	%
1	カメラ付きインターフォン		823	45.7
2	カメラなしインターフォン		446	24.8
3	チャイムのみ（インターフォンなし）		423	23.5
4	チャイムもなし		101	5.6
9	無回答		7	0.4
		計	1800	100.0

MONTHB 留置回収完了日:月

DAYB 留置回収完了日:日

これらの変数の単純集計は記載していません。

WEIGHT ウエイト

この変数の単純集計は記載していません。

貫田 優子・孟 哲男

Ⅱ.2　事項索引

事項索引には、JGSS-2021H の変数を見出しの 50 音順に掲載している。それ以外の変数については JGSS ホームページを参照のこと。

[略号・記号]
留：留置調査票，回：回収状況記入票，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

大見出し	小見出し	変数名	質問概要	調査票	質問番号
ウエイト	ウエイト	WEIGHT	ウエイト		◇
エコロジー	エコ行動	DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車	留 A	Q69 4
		DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力	留 A	Q69 2
		DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない	留 A	Q69 5
		DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル	留 A	Q69 1
		DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	留 A	Q69 3
		FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留 A	Q70 A
		FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留 A	Q70 B
	環境問題	AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留 A	Q72
		ENHMSP	環境被害：土壌汚染	留 A	Q68 C
ネットワーク	悩みの相談	Q5SLVPRB	自分の問題は他人に頼らず解決したい	留 A/B	Q30 C/Q27 C
メディア	インターネット	DOINBANK	インターネットの利用：バンキング	留 A	Q7-2
		DOINBRS	インターネットの利用：情報検索	留 A	Q7-2
		DOINGAME	インターネットの利用：インターネットゲーム	留 A	Q7-2
		DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行なっていない	留 A	Q7-2
		DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング	留 A	Q7-2
		DOSNS	インターネットの利用：SNS などでの情報発信	留 A	Q7-2
		FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留 A/B	Q6/Q6
	テレビ	HRTV	テレビ視聴時間	留 A/B	Q3/Q3
	新聞	FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留 A/B	Q5/Q5
	通信媒体	DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場・学校で）	留 A	Q7-1
		DOCOMPP	利用通信媒体：パソコン（自宅で）	留 A	Q7-1
		DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない	留 A	Q7-1
		DOPHS	利用通信媒体：携帯電話・スマートフォン	留 A	Q7-1
		DOTBL	利用通信媒体：タブレット	留 A	Q7-1

	読書	FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留 A/B	Q4/Q4
家族	婚姻	DOMARRY	結婚状況	留 A/B	Q112/Q113
	子ども	CCNUMC	子どもの人数（選択式）	留 A/B	Q111-1/Q112-1
		CCNUMCX	子どもの人数（選択式）：5人以上の場合（具体的記述）	留 A/B	Q111-1/Q112-1
		CCYLIVE	末子：生死	留 A/B	Q111-2/Q112-2
		CCYNG	末子の年齢	留 A/B	Q111-2/Q112-2
	世帯員	COFMAT	同居家族：おば	留 A/B	Q106 74/Q107 74
		COFMBYCC	同居家族：弟の子	留 A/B	Q106 65/Q107 65
		COFMBYSP	同居家族：弟の妻	留 A/B	Q106 45/Q107 45
		COFMCC	同居家族：あなたの子ども	留 A/B	Q106 2/Q107 2
		COFMCSS	同居家族：子どもの配偶者	留 A/B	Q106 3/Q107 3
		COFMELD	最も高齢の同居家族の年齢	留 A/B	Q107/Q108
		COFMGCC	同居家族：孫	留 A/B	Q106 4/Q107 4
		COFMGCSP	同居家族：孫の配偶者	留 A/B	Q106 32/Q107 32
		COFMGM	同居家族：あなたの祖母	留 A/B	Q106 10/Q107 10
		COFMGML	同居家族：配偶者の祖母	留 A/B	Q106 12/Q107 12
		COFMGP	同居家族：あなたの祖父	留 A/B	Q106 9/Q107 9
		COFMGPL	同居家族：配偶者の祖父	留 A/B	Q106 11/Q107 11
		COFMMM	同居家族：あなたの母親	留 A/B	Q106 6/Q107 6
		COFMMML	同居家族：配偶者の母親	留 A/B	Q106 8/Q107 8
		COFMNONE	同居家族：ひとり暮らし	留 A/B	Q106 16/Q107 16
		COFMOT	同居家族：その他	留 A/B	Q106 15/Q107 15
		COFMPP	同居家族：あなたの父親	留 A/B	Q106 5/Q107 5
		COFMPPL	同居家族：配偶者の父親	留 A/B	Q106 7/Q107 7
		COFMSB	同居家族：あなたの兄弟姉妹	留 A/B	Q106 13/Q107 13
		COFMSBCF	同居家族：姪	留 A/B	Q106 69/Q107 69
		COFMSBCM	同居家族：甥	留 A/B	Q106 68/Q107 68
		COFMSBL	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	留 A/B	Q106 14/Q107 14
		COFMSS	同居家族：配偶者	留 A/B	Q106 1/Q107 1
		COFMSYCC	同居家族：妹の子	留 A/B	Q106 67/Q107 67
		COFMUN	同居家族：おじ	留 A/B	Q106 73/Q127 73
		COFMUNAC	同居家族：おじ・おばの子	留 A/B	Q106 75/Q107 75
		COFMUNAT	同居家族：父母の兄弟姉妹	留 A/B	Q106 71/Q107 71
		SZFFONLY	家族人数（本人除く）	留 A/B	Q105/Q106

		SZFFTTL	家族人数（本人含む）	留 A/B	Q105/Q106
	世帯年収	SZHSICM	世帯年収（簡易版）	留 A/B	Q108/Q109
	配偶者	SPAGEX	配偶者の年齢	留 A/B	Q113/Q114
家族観・行動	ジェンダー	Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留 A/B	Q31 F/Q28 F
		Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留 A/B	Q31 C/Q28 C
		Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留 A/B	Q31 E/Q28 E
		Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留 A/B	Q31 D/Q28 D
		Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留 A/B	Q31 A/Q28 A
		Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留 A/B	Q31 B/Q28 B
	家事	FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留 A/B	Q9 C/Q7 C
		FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留 A/B	Q9 F/Q7 F
		FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留 A/B	Q9 G/Q7 G
		FQ7RPH	家の簡単な修理：頻度（本人）	留 A/B	Q9 H/Q7 H
		FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留 A/B	Q9 E/Q7 E
		FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留 A/B	Q9 D/Q7 D
	家族観	APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5 人以上の場合（具体的記述）	留 A	Q39
		APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留 A	Q39
		APPCCSXB	希望する子どもの性別	留 A	Q40
		OP2GNR	三世代同居観	留 A	Q41
	家族行動	FQ7FFDNR	家族と一緒の夕食：頻度	留 A/B	Q9 A/Q7 A
	友人	FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留 A/B	Q9 B/Q7 B
階層	家計状態	OP3ECN3A	家計状態の変化	留 A/B	Q19/Q17
	階層	OP10LVL	自分の位置する階層	留 A/B	Q74/Q77
		OP5LEVK	階層帰属意識	留 A/B	Q23/Q21
	経済的不安	AXECNSF	将来の経済的不安	留 A/B	Q24/Q22
	向上機会	OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留 A/B	Q22/Q20
	世帯収入	OP5FFINX	世帯収入のレベル	留 A/B	Q20/Q18
		OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留 A/B	Q21/Q19
外国	外国人増加	QFNRINCR	外国人増加の賛否	留 A	Q42
居住地域	愛着	WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留 A/B	Q17/Q15
	居住年数	XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留 A/B	Q16/Q14
	地域問題	ENHMAGNG	地域問題：高齢化	留 A	Q68 D
		ENHMANML	地域問題：鳥や獣による被害	留 A	Q68 K

		ENHMD	地域問題：山林の維持管理	留 A	Q68 L
		ENHMDCRM	地域問題：犯罪の増加	留 A	Q68 G
		ENHMDEPP	地域問題：人口の流出	留 A	Q68 H
		ENHMDSLD	地域問題：耕作放棄地の増加	留 A	Q68 J
		ENHMEMP	地域問題：空き家の増加	留 A	Q68 F
		ENHMSHOP	地域問題：買い物の不便さ	留 A	Q68 E
		ENHMTRNS	地域問題：公共交通機関の不便さ	留 A	Q68 I
教育歴	最終学歴	DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	留 A/B	Q104/Q105
		XLSTSCH	最終学校（本人）（簡易版）	留 A/B	Q103/Q104
	在学中	XGRADE	在学中の場合の学年（本人）	留 A/B	Q104/Q105
	通学経験	XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	留 A/B	Q102/Q103
	配偶者最終学歴	SLSTSCH	最終学校（配偶者）（簡易版）	留 A/B	Q116/Q117
		SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）	留 A/B	Q117/Q118
	配偶者在学中	SSXGRADE	在学中の場合の学年（配偶者）	留 A/B	Q117/Q118
	配偶者通学経験	PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	留A/B	Q115/Q116
	父最終学歴	PLSTSCH	最終学校（父親）（簡易版）	留 A/B	Q110/Q111
	母最終学歴	MLSTSCH	最終学校（母親）（簡易版）	留 A/B	Q110/Q111
健康	COVID-19	COVGOV	COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価	留 A/B	Q57/Q69
		COVPROB	COVID-19 感染の可能性	留 A/B	Q51/Q67
		COVVAC	COVID-19 ワクチン接種	留 A	Q50
		COVWRY	COVID-19：感染への不安	留 A/B	Q46/Q66
		CVCHBTRP	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：出張	留 A	Q54 C
		CVCHINC	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：収入	留 A	Q54 D
		CVCHWKHR	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：労働時間	留 A	Q54 B
		CVCHWKVL	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：仕事量	留 A	Q54 A
		CVGBORD	感染症対策への意見：国境封鎖の重要性	留 A/B	Q56 C/Q68 C
		CVGECON	感染症対策への意見：感染拡大防止か経済活動か	留 A/B	Q56 A/Q68 A
		CVGMOVE	感染症対策への意見：移動制限の重要性	留 A/B	Q56 D/Q68 D
		CVGPRV	感染症対策への意見：行動追跡かプライバシーか	留 A/B	Q56 B/Q68 B
		CVININT	COVID-19 の情報を知るメディア：インターネット（ウェブ記事）	留 A	Q58 4
		CVINNP	COVID-19 の情報を知るメディア：新聞（オンライン版含む）	留 A	Q58 1
		CVINOT	COVID-19 の情報を知るメディア：その他	留 A	Q58 7
		CVINPN	COVID-19 の情報を知るメディア：知人	留 A	Q58 6
		CVINRD	COVID-19 の情報を知るメディア：ラジオ	留 A	Q58 2

		CVINSM	COVID-19 の情報を知るメディア：ソーシャルメディア（ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、ﾂｲｯﾀｰなど）	留 A	Q58 5	
		CVINTV	COVID-19 の情報を知るメディア：テレビ	留 A	Q58 3	
		CVPCGH	COVID-19 予防行動：咳エチケットを守る	留 A	Q47 D	
		CVPCRWD	COVID-19 予防行動：人混みを避ける	留 A	Q47 H	
		CVPDINF	COVID-19 予防行動：手をアルコール消毒する	留 A	Q47 C	
		CVPDIST	COVID-19 予防行動：人との距離を 1 メートル以上あける	留 A	Q47 G	
		CVPMASK	COVID-19 予防行動：マスクを着用する	留 A	Q47 E	
		CVPNOTCH	COVID-19 予防行動：目、鼻や口を手で触らないように気をつける	留 A	Q47 B	
		CVPVENT	COVID-19 予防行動：換気に気をつける	留 A	Q47 F	
		CVPWASH	COVID-19 予防行動：20 秒以上手を洗う	留 A	Q47 A	
		CVRFGYM	COVID-19 感染拡大により控えたこと：スポーツジムやフィットネスクラブの利用	留 A	Q53 7	
		CVRFHAIR	COVID-19 感染拡大により控えたこと：美容院や理髪店などの利用	留 A	Q53 8	
		CVRFMED	COVID-19 感染拡大により控えたこと：病院での診療	留 A	Q53 3	
		CVRFMOV	COVID-19 感染拡大により控えたこと：映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦	留 A	Q53 6	
		CVRFRST	COVID-19 感染拡大により控えたこと：飲食店の利用	留 A	Q53 4	
		CVRFSHOP	COVID-19 感染拡大により控えたこと：買い物	留 A	Q53 2	
		CVRFTRNS	COVID-19 感染拡大により控えたこと：公共交通機関の利用	留 A	Q53 1	
		CVRFTRP	COVID-19 感染拡大により控えたこと：宿泊を伴う旅行	留 A	Q53 5	
		CVRSPG	COVID-19 感染（一般）：本人の責任	留 A/B	Q48/Q70	
		CVRSPR	COVID-19 感染（本人）：本人の責任	留 A/B	Q49/Q71	
		CVSARGFM	COVID-19 感染拡大の影響：同居家族との言い争い	留 A	Q52 H	
		CVSCMT	COVID-19 感染拡大の影響：時差出勤	留 A	Q52 B	
		CVSCOMFM	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族とのやりとり	留 A	Q52 J	
		CVSDLV	COVID-19 感染拡大の影響：食べ物などの出前・デリバリー	留 A	Q52 F	
		CVSOLDGN	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン診療	留 A	Q52 G	
		CVSOLDRK	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン飲み会	留 A	Q52 D	
		CVSOLEVT	COVID-19 感染拡大の影響：オンラインイベント	留 A	Q52 E	
		CVSOLMTG	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン会議・授業	留 A	Q52 C	
		CVSTLWK	COVID-19 感染拡大の影響：テレワーク	留 A	Q52 A	
		CVSVSTFM	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族と会うこと	留 A	Q52 I	
		CVXBNKR	感染拡大により経験したこと：勤務先が倒産した	留 A	Q55 5	
		CVXCLS	感染拡大により経験したこと：事業が廃業した（自営業）	留 A	Q55 7	
		CVXDSZ	感染拡大により経験したこと：事業を縮小した（自営業）	留 A	Q55 6	
		CVXETC	感染拡大により経験したこと：その他	留 A	Q55 8	

		CVXFIRED	感染拡大により経験したこと：解雇された	留 A	Q55 3
		CVXNEMP	感染拡大により経験したこと：仕事についていなかった	留 A	Q55 10
		CVXNEWJB	感染拡大により経験したこと：新しい仕事を見つけた	留 A	Q55 4
		CVXNONE	感染拡大により経験したこと：いずれも経験していない	留 A	Q55 9
		CVXNORNW	感染拡大により経験したこと：契約が更新されなかった	留 A	Q55 1
		CVXRETIR	感染拡大により経験したこと：希望退職をした	留 A	Q55 2
	トラウマ	XTRAUM5Y	トラウマの回数	留 B	Q9
	飲酒	DO7DRINK	飲酒頻度	留 A	Q11
	喫煙	DOSMOKEX	喫煙経験	留 A/B	Q10/Q43
	健康状態	OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留 A	Q35
	耽溺行動	ADALC	耽溺行動：飲酒	留 B	Q45 A
		ADGAME	耽溺行動：ゲーム	留 B	Q45 D
		ADGMBL	耽溺行動：ギャンブル	留 B	Q45 C
		ADSMOKE	耽溺行動：喫煙	留 B	Q45 B
	配偶者健康状態	SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留 A	Q114
健康モジュール	SF12	SFHLCND	SF12：主観的健康状態	留 B	Q31
		SFINTFPN	SF12：痛みによる仕事の困難	留 B	Q35
		SFINTFSC	SF12：健康問題による人づきあいの困難	留 B	Q37
		SFLMTMA	SF12：日常活動の困難：適度の活動	留 B	Q32 A
		SFLMTSTR	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる	留 B	Q32 B
		SFMHDPRS	SF12：精神的健康：おちこんだ気分	留 A/B	Q38 C/Q36 C
		SFMHENGY	SF12：精神的健康：活力にあふれる	留 A/B	Q38 B/Q36 B
		SFMHPEAC	SF12：精神的健康：おちついた気分	留 A/B	Q38 A/Q36 A
		SFMNTCNT	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない	留 B	Q34 B
		SFMNTUSL	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない	留 B	Q34 A
		SFPHCNT	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない	留 B	Q33 B
		SFPHUSL	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない	留 B	Q33 A
	インフルエンザ	XFLUVCC	インフルエンザの予防接種の経験	留 B	Q60
	ゆとり	PCMIND	心のゆとり感	留 A/B	Q36 B/Q57 B
		TMAFFL	時間的なゆとり感	留 A/B	Q36 A/Q57 A
	医療不安	FRMDPAY	医療不安：医療費を払えない	留 B	Q55 B
		FRMDREC	医療不安：必要な時に受けられない	留 B	Q55 A
	医療保険	TPHLINS	医療保険の種類	留 B	Q54

飲酒	DO5DRINK	お酒を飲む頻度	留 B	Q44
介護	CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者	留 B	Q63-2
	CRNDFF	介護を必要とする家族の有無	留 B	Q63-1
楽しむ	ENJYLF	生活を楽しんでいる	留 B	Q61
希望	NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない	留 A/B	Q37 A/Q38 A
	NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない	留 A/B	Q37 B/Q38 B
健康への意識	HLTDMST	健康への意識：家庭内の役割を果たせること	留 B	Q62 C
	HLTNPN	健康への意識：身体の痛みが無いこと	留 B	Q62 A
	HLTPEAC	健康への意識：心のやすらぎがあること	留 B	Q62 B
	HLTWKPL	健康への意識：職場や社会での役割を果たせること	留 B	Q62 D
健康状態	SLFHLTH	主観的健康状態（改訂版）	留 B	Q56
健康診断	XHLTCHK	健康診断の受診経験	留 B	Q51
孤独	LONELY	孤独感	留 A/B	Q36 C/Q57 C
高齢化	WAFINDPN	年をとることへの不安：経済的に依存する	留 B	Q64 C
	WAGTARND	年をとることへの不安：自分で自分のことができなくなる	留 B	Q64 A
	WAOTHMD	年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう	留 B	Q64 B
視力	DOGLS	メガネやコンタクトレンズの着用	留 B	Q40-2
	NRSGHT	近視	留 B	Q40-1
受診行動	FQ6DCTR	医師の診断を受けた頻度	留 B	Q52
	RFDRAVSN	医師の診断を控えた理由：病院に行くのが好きではない	留 B	Q53-2 6
	RFDRBSY	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない	留 B	Q53-2 7
	RFDRCST	医師の診断を控えた理由：費用がかかる	留 B	Q53-2 2
	RFDRCV	医師の診断を控えた理由：COVID-19 に感染したくない	留 B	Q53-2 10
	RFDRDIS	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない	留 B	Q53-2 3
	RFDRDK	医師の診断を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない	留 B	Q53-2 4
	RFDRINS	医師の診断を控えた理由：保険が使えない	留 B	Q53-2 9
	RFDROTH	医師の診断を控えた理由：その他	留 B	Q53-2 11
	RFDRSLGT	医師の診断を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	留 B	Q53-2 8
	RFDRTRNS	医師の診断を控えた理由：交通手段がない	留 B	Q53-2 5
	RFDRWL	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い	留 B	Q53-2 1
	XRFDCTR	医師の診断を控えた経験	留 B	Q53-1
信頼	OP4TRUST	人への信頼感	留 A/B	Q43/Q73
心身の癒し	FRLXBATH	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く	留 B	Q58 A

	FRLXEXE	心身の癒し：体操をする	留 B	Q58 E
	FRLXMSC	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う	留 B	Q58 F
	FRLXMSSG	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	留 B	Q58 B
	FRLXNATR	心身の癒し：自然の中で過ごす	留 B	Q58 C
	FRLXPET	心身の癒し：ペットと過ごす	留 B	Q58 D
身体活動	PHYACTHR	中等度以上の身体活動時間	留 B	Q47
	SITHR	平日に座っている時間：時間	留 B	Q48
	SITMIN	平日に座っている時間：分	留 B	Q48
	WLKMIN	平日の歩行時間：分	留 B	Q46
身長	HEIGHT	身長：cm	留 B	Q41
睡眠	SLPHR	平日の実際の睡眠時間：時間	留 B	Q49
	SLPMIN	平日の実際の睡眠時間：分	留 B	Q49
	SLPQUAL	睡眠の質	留 B	Q50
相談相手	LSCON	心配事を聞いてくれた人の有無	留 A/B	Q73-1/Q72-1
	LSCONCL	心配事を聞いてくれた人：職場の人	留 A/B	Q73-2 3/Q72-2 3
	LSCONFF	心配事を聞いてくれた人：同居家族	留 A/B	Q73-2 1/Q72-2 1
	LSCONFR	心配事を聞いてくれた人：友人	留 A/B	Q73-2 5/Q72-2 5
	LSCONNB	心配事を聞いてくれた人：近所の人	留 A/B	Q73-2 4/Q72-2 4
	LSCONOTH	心配事を聞いてくれた人：その他	留 A/B	Q73-2 7/Q72-2 7
	LSCONPR	心配事を聞いてくれた人：専門職の人	留 A/B	Q73-2 6/Q72-2 6
	LSCONRL	心配事を聞いてくれた人：その他の家族	留 A/B	Q73-2 2/Q72-2 2
体重	BDWEIGHT	体重：kg	留 B	Q42
地域環境	ENHMAP	環境被害：大気汚染	留 A/B	Q68 A/Q74 A
	ENHMNP	環境被害：騒音被害	留 B	Q74 C
	ENHMSUN	環境被害：日照被害	留 B	Q74 D
	ENHMWP	環境被害：水質汚染	留 A/B	Q68 B/Q74 B
	OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる	留 A/B	Q59 C/Q75 F
	OPNBEXE	近隣状況：運動に適している	留 B	Q75 A
	OPNBFD	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る	留 B	Q75 B
	OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている	留 A/B	Q59 B/Q75 E
	OPNBPF	近隣状況：公共施設が整っている	留 B	Q75 C
	OPNBSAFE	近隣状況：安心して生活できる	留 A/B	Q59 A/Q75 D
東洋医学	XOMDACP	東洋医療の経験：鍼	留 B	Q59 A
	XOMDHRB	東洋医療の経験：漢方薬	留 B	Q59 C

		XOMDMAS	東洋医療の経験：指圧・マッサージ	留 B	Q59 D
		XOMDMXB	東洋医療の経験：灸	留 B	Q59 B
	配偶者健康状態	SSHLTH	配偶者の健康（改訂版）	留 B	Q115
	慢性疾患	CRARGDIS	慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患	留 B	Q39-2 14
		CRCANCR	慢性的な病気の種類：悪性新生物（がん）	留 B	Q39-2 5
		CRCRBVAS	慢性的な病気の種類：脳血管疾患	留 B	Q39-2 4
		CRDGST	慢性的な病気の種類：消化器疾患	留 B	Q39-2 12
		CRDIABT	慢性的な病気の種類：糖尿病	留 B	Q39-2 2
		CRHRTDIS	慢性的な病気の種類：心血管疾患	留 B	Q39-2 9
		CRHYLPM	慢性的な病気の種類：脂質異常症	留 B	Q39-2 3
		CRHYTNS	慢性的な病気の種類：高血圧	留 B	Q39-2 1
		CRKIDDIS	慢性的な病気の種類：腎臓	留 B	Q39-2 7
		CRLIVER	慢性的な病気の種類：肝疾患	留 B	Q39-2 6
		CRMENIL	慢性的な病気の種類：精神疾患	留 B	Q39-2 8
		CRMSBN	慢性的な病気の種類：筋骨格系疾患	留 B	Q39-2 10
		CROTHER	慢性的な病気の種類：その他	留 B	Q39-2 13
		CRRSPROB	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患	留 B	Q39-2 11
		CRSENDIS	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）	留 B	Q39-2 15
		XCHRDIS	慢性的な病気の有無	留 B	Q39-1
幸福度	幸福度	OP5HAPPE	幸福度（EASS 尺度）	留 B	Q11
		OP5HAPPZ	幸福度	留 A	Q13
	生活満足度	ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留 A/B	Q12 A/Q10 A
		ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留 A/B	Q12 D/Q10 D
		ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留 A/B	Q12 E/Q10 E
		ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留 A/B	Q12 F/Q10 F
		ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留 A/B	Q12 B/Q10 B
		ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留 A/B	Q12 C/Q10 C
		ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留 A/B	Q12 G/Q10 G
災害	災害可能性	AXDIS	災害発生に対する不安	留 A	Q62
		DISFLOOD	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	留 A	Q61 C
		DISLAND	災害発生の可能性：土砂災害	留 A	Q61 F
		DISNUC	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	留 A	Q61 G
		DISQUAKE	災害発生の可能性：地震	留 A	Q61 A
		DISTSNM	災害発生の可能性：津波	留 A	Q61 B

		DISTSNOW	災害発生の可能性：豪雪	留 A	Q61 D
		DISVOLC	災害発生の可能性：噴火	留 A	Q61 E
	政策	OP5GVRP	意見への賛否：政府の復興政策	留 A	Q67
	被災経験	XDSRCOV	被災経験の最も長かった期間	留 A	Q64-2
		XDSSTREQ	被災経験：地震	留 A	Q64-1
		XDSSTRHS	被災経験：豪雪	留 A	Q64-1
		XDSSTRNE	被災経験：被害を受けたことはない	留 A	Q64-1
		XDSSTROT	被災経験：その他	留 A	Q64-1
		XDSSTRTF	被災経験：台風・水害	留 A	Q64-1
		XDSSTRTS	被災経験：津波	留 A	Q64-1
		XDSYR	被災経験の時期（年）	留 A	Q64-3
	避難	EVCFCT	避難準備：家族との連絡方法の取り決め	留 A	Q66 1
		EVCFMT	避難準備：家族と落ち合う場所の取り決め	留 A	Q66 2
		EVCGDS	避難準備：非常持ち出し品の準備	留 A	Q66 5
		EVCMAP	避難準備：ハザードマップや防災マップを確認	留 A	Q66 6
		EVCNONE	避難準備：特に何もしていない	留 A	Q66 7
		EVCOTHR	避難準備：その他	留 A	Q66 8
		EVCPL	自然災害から緊急に避難する場所	留 A	Q65
		EVCROUT	避難準備：避難所までの経路の確認	留 A	Q66 4
		EVCSHLT	避難準備：避難所の位置の確認	留 A	Q66 3
趣味	娯楽	FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム	留 B	Q8 A
		FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ	留 B	Q8 C
		FQ4NBS	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト	留 B	Q8 B
		FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	留 B	Q8 F
		FQ4PGAM	娯楽の頻度：公営ギャンブル	留 B	Q8 E
		FQ4TOTO	娯楽の頻度：サッカーくじ（toto）	留 B	Q8 D
		FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 A	Q8
集団参加	組織への所属	MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留 A/B	Q32 D/Q29 D
		MEMCOOP	組織への所属：生協	留 A/B	Q32 H/Q29 H
		MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留 A/B	Q32 G/Q29 G
		MEMIND	組織への所属：業界団体	留 A/B	Q32 B/Q29 B
		MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留 A/B	Q32 A/Q29 A
		MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留 A/B	Q32 E/Q29 E
		MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留 A/B	Q32 F/Q29 F

		MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留 A/B	Q32 C/Q29 C
住居	住居	AUTOLOCK	集合住宅でのオートロックの有無	回	
		OWNHOUSE	居住形態：持ち家	留 A/B	Q14/Q12
		TPHOUSE	居住形態：一戸建て	回	
信仰	宗教	DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留 A/B	Q33-3/Q30-3
		DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留 A/B	Q33-1/Q30-1
		XXRL	信仰する宗教（本人）	留 A/B	Q33-2/Q30-2
信頼	人間観	OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留 A	Q44
	組織への信頼	TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留 A	Q34 J
		TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留 A	Q34 D
		TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留 A	Q34 K
		TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留 A	Q34 L
		TR3COPZ	組織への信頼：警察	留 A	Q34 N
		TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留 A	Q34 A
		TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留 A	Q34 M
		TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留 A	Q34 O
		TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留 A	Q34 G
		TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞	留 A	Q34 F
		TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留 A	Q34 B
		TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留 A	Q34 C
		TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留 A	Q34 I
		TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留 A	Q34 H
		TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留 A	Q34 E
政治	政策	OP5CCARE	国か個人か：保育・育児	留 A/B	Q26 D/Q23 D
		OP5CCED	国か個人か：子どもの教育	留 A/B	Q26 C/Q23 C
		OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留 A/B	Q26 B/Q23 B
		OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障	留 A/B	Q26 A/Q23 A
		OPINCDIF	所得格差への意見	留 A	Q25
		OPNUCPOL	原子力政策への意見	留 A	Q71
		Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留 A/B	Q27/Q25
	政治意識	OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）	留 A/B	Q28/Q24
		Q5CNTSOC	社会のために役立ちたい	留 A/B	Q30 B/Q27 B
		Q5POLINT	政治に関心がある	留 A/B	Q30 A/Q27 A
	政党	XX8PLPTY	支持政党	留 A/B	Q29/Q26

調査基本情報	回答者	AGEB	年齢	留 A/B	Q2/Q2
		DOBYEAR	生年		◇
		SEXA	性別	留 A/B	Q1/Q1
	居住地	BLOCK	地域ブロック		◇
		PREF	都道府県名		◇
		SIZE	市郡規模		◇
		SIZEHMT	居住地域の規模	留 A/B	Q18/Q16
	調査員設問	AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	回	
		INTERCOM	家のインターフォンの種類	回	
		NAMEPLAT	調査員への質問：表札の有無	回	
	調査情報	DATEB	留置回収完了日	回	
		DAYB	留置回収完了日：日	回	
		FORM	留置票の種別		◇
		IDUSE	識別番号		◇
		MONTHB	留置回収完了日：月	回	
		XXTODAY	留置票の記入日：月日	留 A/B	Q45/Q65
		XXTODAYD	留置票の記入日：日	留 A/B	Q45/Q65
		XXTODAYM	留置票の記入日：月	留 A/B	Q45/Q65
文化モジュール	NGO/NPO	JOBNPO	主な勤め先の種類：公益的団体	留 A/B	Q84/Q85
	配偶者 NGO/NPO	SSJBNPO	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体	留 A/B	Q123/Q124
暴行・犯罪	治安	FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無	留 A/B	Q60/Q76
	体罰	Q5PMSPNK	親による体罰の賛否	留 A	Q75
		Q5TTSPNK	教師による体罰の賛否	留 A	Q76
労働	現職	JOINUNI	労働組合加入の有無	留 A/B	Q87/Q88
		SZICOMA	本人年収：全体（簡易版）	留 A/B	Q109/Q110
		SZICOMX	本人年収：主な仕事（簡易版）	留 A/B	Q86/Q87
		SZSJBHWK	副業就労時間数／週	留 A/B	Q92-3/Q93-3
		SZTTLSTA	企業規模	留 A/B	Q85/Q86
		TPJB	雇用関係	留 A/B	Q78-1/Q79-1
		TPJBNR	非正規雇用についた主な理由	留 A/B	Q78-5/Q79-5
		TPJBS	雇用形態	留 A/B	Q78-2/Q79-2
		TPJBSE	従業員を持つ自営業者	留 A/B	Q78-4/Q79-4
		TPJOBP	役職	留 A/B	Q78-3/Q79-3
		XJOB1WK	先週の就労経験	留 A/B	Q77/Q78

	XJOBHWK	就労時間数／週	留 A/B	Q79/Q80
	XJOBYR	就労年数	留 A/B	Q81/Q82
	XSJB1WK	副業の有無	留 A/B	Q92-1/Q93-1
	XSJBNUM	副業の数	留 A/B	Q92-2/Q93-2
	XWPLC	業種（選択式）	留 A/B	Q82/Q83
	XXJE08	職種（ISCO08）	留 A/B	Q83/Q84
	XXJOB	職種	留 A/B	Q83/Q84
	XXSJE08	副業の職種（ISCO08）	留 A/B	Q92-4/Q93-4
	XXSJOB	副業の職種	留 A/B	Q92-4/Q93-4
就業	AGESTPWK	離職年齢	留 A/B	Q95/Q96
	DOLOOKJB	求職の有無（全員）	留 A/B	Q100/Q101
	TP5UNEMP	不就労の理由	留 A/B	Q93/Q94
	XNUMCOWK	転職数	留 A/B	Q101/Q102
	XWORK	就労経験	留 A/B	Q94/Q95
	XXSTPJB	離職理由	留 A/B	Q96/Q97
就業観	OP3NEWJB	再就労の容易さ	留 A/B	Q91/Q92
	OP4UNEMP	失業の可能性	留 A/B	Q90/Q91
	ST5JOB	現在の仕事の満足度	留 A/B	Q88/Q89
	WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	留 A/B	Q89/Q90
前職	SZSTFLS	前職の企業規模（6 分類）	留 A/B	Q99/Q100
	TPLSTJB	前職の雇用関係	留 A/B	Q97-1/Q98-1
	TPLSTJBP	前職の役職	留 A/B	Q97-3/Q98-3
	TPLSTJBS	前職の雇用形態	留 A/B	Q97-2/Q98-2
	XXLJE08	前職の職種（ISCO08）	留 A/B	Q98/Q99
	XXLSTJB	前職の職種	留 A/B	Q98/Q99
通勤	SZ7CMT	通勤時間	留 A/B	Q80/Q81
配偶者現職	SPWRKHRS	就労時間数／週（配偶者）（副業含む）	留 A/B	Q119/Q120
	SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	留 A/B	Q118-1/Q119-1
	SSSZICA	配偶者年収：全体（簡易版）	留 A/B	Q125/Q126
	SSSZSTFA	企業規模（配偶者）	留 A/B	Q124/Q125
	SSTPJB	雇用関係（配偶者）	留 A/B	Q120-1/Q121-1
	SSTPJBS	雇用形態（配偶者）	留 A/B	Q120-2/Q121-2
	SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者（配偶者）	留 A/B	Q120-4/Q121-4
	SSTPJOBP	役職（配偶者）	留 A/B	Q120-3/Q121-3

		SSTPUNEM	不就労の理由（配偶者）	留 A/B	Q118-2/Q119-2
		SSWPLC	業種（配偶者）（選択式）	留 A/B	Q121/Q122
		SSXXJE08	職種（配偶者）（ISCO08）	留 A/B	Q122/Q123
		SSXXJOB	職種（配偶者）	留 A/B	Q122/Q123
NSC モジュール	地域環境	COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留 A	Q63

金 政芸

Ⅱ.3　変数名索引
（アルファベット順）

[略号・記号]
留：留置調査票，回：回収状況記入票，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

変数名	質問概要	調査	質問番号
ADALC	耽溺行動：飲酒	留 B	Q45 A
ADGAME	耽溺行動：ゲーム	留 B	Q45 D
ADGMBL	耽溺行動：ギャンブル	留 B	Q45 C
ADSMOKE	耽溺行動：喫煙	留 B	Q45 B
AGEB	年齢	留 A/B	Q2/Q2
AGESTPWK	離職年齢	留 A/B	Q95/Q96
APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5 人以上の場合（具体的記述）	留 A	Q39
APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留 A	Q39
APPCCSXB	希望する子どもの性別	留 A	Q40
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	回	
AUTOLOCK	集合住宅でのオートロックの有無	回	
AXDIS	災害発生に対する不安	留 A	Q62
AXECNSF	将来の経済的不安	留 A/B	Q24/Q22
AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留 A	Q72
BDWEIGHT	体重：kg	留 B	Q42
BLOCK	地域ブロック		◇
CCNUMC	子どもの人数（選択式）	留 A/B	Q111-1/Q112-1
CCNUMCX	子どもの人数（選択式）：5 人以上の場合（具体的記述）	留 A/B	Q111-1/Q112-1
CCYLIVE	末子：生死	留 A/B	Q111-2/Q112-2
CCYNG	末子の年齢	留 A/B	Q111-2/Q112-2
COFMAT	同居家族：おば	留 A/B	Q106 74/Q107 74
COFMBYCC	同居家族：弟の子	留 A/B	Q106 65/Q107 65
COFMBYSP	同居家族：弟の妻	留 A/B	Q106 45/Q107 45
COFMCC	同居家族：あなたの子ども	留 A/B	Q106 2/Q107 2
COFMCSS	同居家族：子どもの配偶者	留 A/B	Q106 3/Q107 3
COFMELD	最も高齢の同居家族の年齢	留 A/B	Q107/Q108
COFMGCC	同居家族：孫	留 A/B	Q106 4/Q107 4
COFMGCSP	同居家族：孫の配偶者	留 A/B	Q106　32/Q107 32
COFMGM	同居家族：あなたの祖母	留 A/B	Q106　10/Q107 10
COFMGML	同居家族：配偶者の祖母	留 A/B	Q106　12/Q107 12
COFMGP	同居家族：あなたの祖父	留 A/B	Q106 9/Q107 9
COFMGPL	同居家族：配偶者の祖父	留 A/B	Q106　11/Q107 11
COFMMM	同居家族：あなたの母親	留 A/B	Q106 6/Q107 6
COFMMML	同居家族：配偶者の母親	留 A/B	Q106 8/Q107 8
COFMNONE	同居家族：一人暮らし	留 A/B	Q106　16/Q107 16

COFMOT	同居家族：その他	留 A/B	Q106　15/Q107 15
COFMPP	同居家族：あなたの父親	留 A/B	Q106 5/Q107 5
COFMPPL	同居家族：配偶者の父親	留 A/B	Q106 7/Q107 7
COFMSB	同居家族：あなたの兄弟姉妹	留 A/B	Q106　13/Q107 13
COFMSBCF	同居家族：姪	留 A/B	Q106 69/Q107 69
COFMSBCM	同居家族：甥	留 A/B	Q106 68/Q107 68
COFMSBL	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	留 A/B	Q106 14/Q107 14
COFMSS	同居家族：配偶者	留 A/B	Q106 1/Q107 1
COFMSYCC	同居家族：妹の子	留 A/B	Q106　67/Q107 67
COFMUN	同居家族：おじ	留 A/B	Q106　73/Q127 73
COFMUNAC	同居家族：おじ・おばの子	留 A/B	Q106　75/Q107 75
COFMUNAT	同居家族：父母の兄弟姉妹	留 A/B	Q106　71/Q107 71
COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留 A	Q63
COVGOV	COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価	留 A/B	Q57/Q69
COVPROB	COVID-19 感染の可能性	留 A/B	Q51/Q67
COVVAC	COVID-19 ワクチン接種	留 A	Q50
COVWRY	COVID-19：感染への不安	留 A/B	Q46/Q66
CRARGDIS	慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患	留 B	Q39-2 14
CRCANCR	慢性的な病気の種類：癌	留 B	Q39-2 5
CRCRBVAS	慢性的な病気の種類：脳血管疾患	留 B	Q39-2 4
CRDGST	慢性的な病気の種類：消化器疾患	留 B	Q39-2 12
CRDIABT	慢性的な病気の種類：糖尿病	留 B	Q39-2 2
CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者	留 B	Q63-2
CRHRTDIS	慢性的な病気の種類：心血管疾患	留 B	Q39-2 9
CRHYLPM	慢性的な病気の種類：脂質異常症	留 B	Q39-2 3
CRHYTNS	慢性的な病気の種類：高血圧	留 B	Q39-2 1
CRKIDDIS	慢性的な病気の種類：腎臓疾患	留 B	Q39-2 7
CRLIVER	慢性的な病気の種類：肝疾患	留 B	Q39-2 6
CRMENIL	慢性的な病気の種類：精神疾患	留 B	Q39-2 8
CRMSBN	慢性的な病気の種類：筋骨格系疾患	留 B	Q39-2 10
CRNDFF	介護が必要な家族の有無	留 B	Q63-1
CROTHER	慢性的な病気の種類：その他	留 B	Q39-2 13
CRRSPROB	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患	留 B	Q39-2 11
CRSENDIS	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）	留 B	Q39-2 15
CVCHBTRP	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：出張	留 A	Q54 C
CVCHINC	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：収入	留 A	Q54 D
CVCHWKHR	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：労働時間	留 A	Q54 B
CVCHWKVL	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：仕事量	留 A	Q54 A
CVGBORD	感染症対策への意見：国境封鎖の重要性	留 A/B	Q56 C/Q68 C
CVGECON	感染症対策への意見：感染拡大防止か経済活動か	留 A/B	Q56 A/Q68 A
CVGMOVE	感染症対策への意見：移動制限の重要性	留 A/B	Q56 D/Q68 D

CVGPRV	感染症対策への意見：行動追跡かプライバシーか	留 A/B	Q56 B/Q68 B
CVININT	COVID-19 の情報を知るメディア：インターネット（ウェブ記事）	留 A	Q58 4
CVINNP	COVID-19 の情報を知るメディア：新聞（オンライン版含む）	留 A	Q58 1
CVINOT	COVID-19 の情報を知るメディア：その他	留 A	Q58 7
CVINPN	COVID-19 の情報を知るメディア：知人	留 A	Q58 6
CVINRD	COVID-19 の情報を知るメディア：ラジオ	留 A	Q58 2
CVINSM	COVID-19 の情報を知るメディア：ソーシャルメディア（ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、ﾂｲｯﾀｰなど）	留 A	Q58 5
CVINTV	COVID-19 の情報を知るメディア：テレビ	留 A	Q58 3
CVPCGH	COVID-19 予防行動：咳エチケットを守る	留 A	Q47 D
CVPCRWD	COVID-19 予防行動：人混みを避ける	留 A	Q47 H
CVPDINF	COVID-19 予防行動：手をアルコール消毒する	留 A	Q47 C
CVPDIST	COVID-19 予防行動：人との距離を 1 メートル以上あける	留 A	Q47 G
CVPMASK	COVID-19 予防行動：マスクを着用する	留 A	Q47 E
CVPNOTCH	COVID-19 予防行動：目、鼻や口を手で触らないように気をつける	留 A	Q47 B
CVPVENT	COVID-19 予防行動：換気に気をつける	留 A	Q47 F
CVPWASH	COVID-19 予防行動：20 秒以上手を洗う	留 A	Q47 A
CVRFGYM	COVID-19 感染拡大により控えたこと：スポーツジムやフィットネスクラブの利用	留 A	Q53 7
CVRFHAIR	COVID-19 感染拡大により控えたこと：美容院や理髪店などの利用	留 A	Q53 8
CVRFMED	COVID-19 感染拡大により控えたこと：病院での診療	留 A	Q53 3
CVRFMOV	COVID-19 感染拡大により控えたこと：映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦	留 A	Q53 6
CVRFRST	COVID-19 感染拡大により控えたこと：飲食店の利用	留 A	Q53 4
CVRFSHOP	COVID-19 感染拡大により控えたこと：買い物	留 A	Q53 2
CVRFTRNS	COVID-19 感染拡大により控えたこと：公共交通機関の利用	留 A	Q53 1
CVRFTRP	COVID-19 感染拡大により控えたこと：宿泊を伴う旅行	留 A	Q53 5
CVRSPG	COVID-19 感染（一般）：本人の責任	留 A/B	Q48/Q70
CVRSPR	COVID-19 感染（本人）：本人の責任	留 A/B	Q49/Q71
CVSARGFM	COVID-19 感染拡大の影響：同居家族との言い争い	留 A	Q52 H
CVSCMT	COVID-19 感染拡大の影響：時差出勤	留 A	Q52 B
CVSCOMFM	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族とのやりとり	留 A	Q52 J
CVSDLV	COVID-19 感染拡大の影響：食べ物などの出前・デリバリー	留 A	Q52 F
CVSOLDGN	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン診療	留 A	Q52 G
CVSOLDRK	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン飲み会	留 A	Q52 D
CVSOLEVT	COVID-19 感染拡大の影響：オンラインイベント	留 A	Q52 E
CVSOLMTG	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン会議・授業	留 A	Q52 C
CVSTLWK	COVID-19 感染拡大の影響：テレワーク	留 A	Q52 A
CVSVSTFM	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族と会うこと	留 A	Q52 I
CVXBNKR	感染拡大により経験したこと：勤務先が倒産した	留 A	Q55 5
CVXCLS	感染拡大により経験したこと：事業が廃業した（自営業）	留 A	Q55 7
CVXDSZ	感染拡大により経験したこと：事業を縮小した（自営業）	留 A	Q55 6
CVXETC	感染拡大により経験したこと：その他	留 A	Q55 8

CVXFIRED	感染拡大により経験したこと：解雇された	留 A	Q55 3
CVXNEMP	感染拡大により経験したこと:仕事についていなかった	留 A	Q55 10
CVXNEWJB	感染拡大により経験したこと：新しい仕事を見つけた	留 A	Q55 4
CVXNONE	感染拡大により経験したこと:いずれも経験していない	留 A	Q55 9
CVXNORNW	感染拡大により経験したこと:契約が更新されなかった	留 A	Q55 1
CVXRETIR	感染拡大により経験したこと：希望退職をした	留 A	Q55 2
DATEB	留置回収完了日	回	
DAYB	留置回収完了日：日	回	
DISFLOOD	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	留 A	Q61 C
DISLAND	災害発生の可能性：土砂災害	留 A	Q61 F
DISNUC	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	留 A	Q61 G
DISQUAKE	災害発生の可能性：地震	留 A	Q61 A
DISTSNM	災害発生の可能性：津波	留 A	Q61 B
DISTSNOW	災害発生の可能性：豪雪	留 A	Q61 D
DISVOLC	災害発生の可能性：噴火	留 A	Q61 E
DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留 A/B	Q33-3/Q30-3
DO5DRINK	飲酒頻度（EASS 尺度）	留 B	Q44
DO7DRINK	飲酒頻度	留 A	Q11
DOBYEAR	生年		◇
DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場・学校で）	留 A	Q7-1
DOCOMPP	利用通信媒体：パソコン（自宅で）	留 A	Q7-1
DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車	留 A	Q69 4
DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力	留 A	Q69 2
DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない	留 A	Q69 5
DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル	留 A	Q69 1
DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	留 A	Q69 3
DOGLS	メガネやコンタクトレンズの着用	留 B	Q40-2
DOINBANK	インターネットの利用：バンキング	留 A	Q7-2
DOINBRS	インターネットの利用：情報検索	留 A	Q7-2
DOINGAME	インターネットの利用：インターネットゲーム	留 A	Q7-2
DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行なっていない	留 A	Q7-2
DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング	留 A	Q7-2
DOLOOKJB	求職の有無（全員）	留 A/B	Q100/Q101
DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	留 A/B	Q104/Q105
DOMARRY	結婚状況	留 A/B	Q112/Q113
DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない	留 A	Q7-1
DOPHS	利用通信媒体：携帯電話・スマートフォン	留 A	Q7-1
DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留 A/B	Q33-1/Q30-1
DOSMOKEX	喫煙経験	留 A/B	Q10/Q43
DOSNS	インターネットの利用：SNS などでの情報発信	留 A	Q7-2
DOTBL	利用通信媒体：タブレット	留 A	Q7-1
ENHMAGNG	地域問題：高齢化	留 A	Q68 D
ENHMANML	地域問題：鳥や獣による被害	留 A	Q68 K
ENHMAP	環境被害：大気汚染	留 A/B	Q68 A/Q74 A
ENHMD	地域問題：山林の維持管理	留 A	Q68 L
ENHMDCRM	地域問題：犯罪の増加	留 A	Q68 G
ENHMDEPP	地域問題：人口の流出	留 A	Q68 H
ENHMDSLD	地域問題：耕作放棄地の増加	留 A	Q68 J
ENHMEMP	地域問題：空き家の増加	留 A	Q68 F
ENHMNP	環境被害：騒音汚染	留 B	Q74 C

ENHMSHOP	地域問題：買い物の不便さ	留 A	Q68 E
ENHMSP	環境被害：土壌汚染	留 A	Q68 C
ENHMSUN	環境被害：日照被害	留 B	Q74 D
ENHMTRNS	地域問題：公共交通機関の不便さ	留 A	Q68 I
ENHMWP	環境被害：水質汚染	留 A/B	Q68 B/Q74 B
ENJYLF	生活を楽しんでいる	留 B	Q61
EVCFCT	避難準備：家族との連絡方法の取り決め	留 A	Q66 1
EVCFMT	避難準備：家族と落ち合う場所の取り決め	留 A	Q66 2
EVCGDS	避難準備：非常持ち出し品の準備	留 A	Q66 5
EVCMAP	避難準備：ハザードマップや防災マップを確認	留 A	Q66 6
EVCNONE	避難準備：特に何もしていない	留 A	Q66 7
EVCOTHR	避難準備：その他	留 A	Q66 8
EVCPL	自然災害から緊急に避難する場所	留 A	Q65
EVCROUT	避難準備：避難所までの経路の確認	留 A	Q66 4
EVCSHLT	避難準備：避難所の位置の確認	留 A	Q66 3
FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無	留 A/B	Q60/Q76
FORM	留置票の種別	回	
FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留 A	Q70 A
FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留 A	Q70 B
FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム	留 B	Q8 A
FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ	留 B	Q8 C
FQ4NBS	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト	留 B	Q8 B
FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	留 B	Q8 F
FQ4PGAM	娯楽の頻度：公営ギャンブル	留 B	Q8 E
FQ4TOTO	娯楽の頻度：サッカーくじ	留 B	Q8 D
FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留 A/B	Q5/Q5
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留 A/B	Q4/Q4
FQ6DCTR	医師の診断を受けた頻度	留 B	Q52
FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留 A/B	Q6/Q6
FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留 A/B	Q9 C/Q7 C
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留 A/B	Q9 F/Q7 F
FQ7FFDNR	家族と一緒の夕食：頻度	留 A/B	Q9 A/Q7 A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留 A/B	Q9 B/Q7 B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留 A/B	Q9 G/Q7 G
FQ7RPH	家の簡単な修理：頻度（本人）	留 A/B	Q9 H/Q7 H
FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留 A/B	Q9 E/Q7 E
FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留 A/B	Q9 D/Q7 D
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 A	Q8
FRLXBATH	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く	留 B	Q58 A
FRLXEXE	心身の癒し：体操をする	留 B	Q58 E
FRLXMSC	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う	留 B	Q58 F
FRLXMSSG	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	留 B	Q58 B
FRLXNATR	心身の癒し：自然の中で過ごす	留 B	Q58 C
FRLXPET	心身の癒し：ペットと過ごす	留 B	Q58 D
FRMDPAY	医療不安：医療費を払えない	留 B	Q55 B
FRMDREC	医療不安：必要な時に受けられない	留 B	Q55 A
HEIGHT	身長：cm	留 B	Q41
HLTDMST	健康への意識：家庭内の役割を果たせること	留 B	Q62 C
HLTNPN	健康への意識：身体の痛みが無いこと	留 B	Q62 A

HLTPEAC	健康への意識：心のやすらぎがあること	留 B	Q62 B
HLTWKPL	健康への意識：職場や社会での役割を果たせること	留 B	Q62 D
HRTV	テレビ視聴時間	留 A/B	Q3/Q3
IDUSE	識別番号		◇
INTERCOM	家のインターフォンの種類	回	
JOBNPO	主な勤め先の種類：公益的団体	留 A/B	Q84/Q85
JOINUNI	労働組合加入の有無	留 A/B	Q87/Q88
LONELY	孤独感	留 A/B	Q36 C/Q57 C
LSCON	心配事を聞いてくれた人の有無	留 A/B	Q73-1/Q72-1
LSCONCL	心配事を聞いてくれた人：職場の人	留 A/B	Q73-2 3/Q72-2 3
LSCONFF	心配事を聞いてくれた人：同居家族	留 A/B	Q73-2 1/Q72-2 1
LSCONFR	心配事を聞いてくれた人：友人	留 A/B	Q73-2 5/Q72-2 5
LSCONNB	心配事を聞いてくれた人：近所の人	留 A/B	Q73-2 4/Q72-2 4
LSCONOTH	心配事を聞いてくれた人：その他	留 A/B	Q73-2 7/Q72-2 7
LSCONPR	心配事を聞いてくれた人：専門職の人	留 A/B	Q73-2 6/Q72-2 6
LSCONRL	心配事を聞いてくれた人：その他の家族	留 A/B	Q73-2 2/Q72-2 2
MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留 A/B	Q32 D/Q29 D
MEMCOOP	組織への所属：生協	留 A/B	Q32 H/Q29 H
MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留 A/B	Q32 G/Q29 G
MEMIND	組織への所属：業界団体	留 A/B	Q32 B/Q29 B
MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留 A/B	Q32 A/Q29 A
MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留 A/B	Q32 E/Q29 E
MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留 A/B	Q32 F/Q29 F
MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留 A/B	Q32 C/Q29 C
MLSTSCH	最終学校（母親）（簡易版）	留 A/B	Q110/Q111
MONTHB	留置回収完了日：月	回	
NAMEPLAT	調査員への質問：表札の有無	回	
NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない	留 A/B	Q37 A/Q38 A
NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない	留 A/B	Q37 B/Q38 B
NRSGHT	近視	留 B	Q40-1
OP10LVL	自分の位置する階層	留 A/B	Q74/Q77
OP2GNR	三世代同居観	留 A	Q41
OP3ECN3A	家計状態の変化	留 A/B	Q19/Q17
OP3NEWJB	再就労の容易さ	留 A/B	Q91/Q92
OP4TRUST	人への信頼感	留 A/B	Q43/Q73
OP4UNEMP	失業の可能性	留 A/B	Q90/Q91
OP5CCARE	国か個人か：保育・育児	留 A/B	Q26 D/Q23 D
OP5CCED	国か個人か：子どもの教育	留 A/B	Q26 C/Q23 C
OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留 A/B	Q22/Q20
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留 A/B	Q20/Q18
OP5GVRP	意見への賛否：政府の復興政策	留 A	Q67
OP5HAPPE	幸福度（EASS 尺度）	留 B	Q11
OP5HAPPZ	幸福度	留 A	Q13
OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留 A	Q35

OP5LEVK	階層帰属意識	留 A/B	Q23/Q21
OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）	留 A/B	Q28/Q24
OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留 A/B	Q26 B/Q23 B
OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障	留 A/B	Q26 A/Q23 A
OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留 A	Q44
OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留 A/B	Q21/Q19
OPINCDIF	所得格差への意見	留 A	Q25
OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる	留 A/B	Q59 C/Q75 F
OPNBEXE	近隣状況：運動に適している	留 B	Q75 A
OPNBFD	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る	留 B	Q75 B
OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている	留 A/B	Q59 B/Q75 E
OPNBPF	近隣状況：公共施設が整っている	留 B	Q75 C
OPNBSAFE	近隣状況：安心して生活できる	留 A/B	Q59 A/Q75 D
OPNUCPOL	原子力政策への意見	留 A	Q71
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	留 A/B	Q14/Q12
PCMIND	心のゆとり感	留 A/B	Q36 B/Q57 B
PHYACTHR	中等度以上の身体活動時間	留 B	Q47
PLSTSCH	最終学校（父親）（簡易版）	留 A/B	Q110/Q111
PREF	都道府県名		◇
PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	留 A/B	Q115/Q116
Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留 A/B	Q31 F/Q28 F
Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留 A/B	Q31 C/Q28 C
Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留 A/B	Q31 E/Q28 E
Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留 A/B	Q31 D/Q28 D
Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留 A/B	Q31 A/Q28 A
Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留 A/B	Q31 B/Q28 B
Q5CNTSOC	社会のために役立ちたい	留 A/B	Q30 B/Q27 B
Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留 A/B	Q27/Q25
Q5PMSPNK	親による体罰の賛否	留 A	Q75
Q5POLINT	政治に関心がある	留 A/B	Q30 A/Q27 A
Q5SLVPRB	自分の問題は他人に頼らず解決したい	留 A/B	Q30 C/Q27 C
Q5TTSPNK	教師による体罰の賛否	留 A	Q76
QFNRINCR	外国人増加の賛否	留 A	Q42
RFDRAVSN	医師の診断を控えた理由:病院に行くのが好きではない	留 B	Q53-2 6
RFDRBSY	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない	留 B	Q53-2 7
RFDRCST	医師の診断を控えた理由：費用がかかる	留 B	Q53-2 2
RFDRCV	医師の診断を控えた理由:COVID-19 に感染したくない	留 B	Q53-2 10
RFDRDIS	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない	留 B	Q53-2 3
RFDRDK	医師の診断を控えた理由:どの病院に行ったらよいかわからない	留 B	Q53-2 4
RFDRINS	医師の診断を控えた理由：保険が使えない	留 B	Q53-2 9
RFDROTH	医師の診断を控えた理由：その他	留 B	Q53-2 11
RFDRSLGT	医師の診断を控えた理由:病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	留 B	Q53-2 8
RFDRTRNS	医師の診断を控えた理由：交通手段がない	留 B	Q53-2 5
RFDRWL	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い	留 B	Q53-2 1
SEXA	性別	留 A/B	Q1/Q1
SFHLCND	SF12：主観的健康状態	留 B	Q31
SFINTFPN	SF12：痛みによる仕事の困難	留 B	Q35
SFINTFSC	SF12：健康問題による人づきあいの困難	留 B	Q37
SFLMTMA	SF12：日常活動の困難：適度の活動	留 B	Q32 A

SFLMTSTR	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる	留 B	Q32 B
SFMHDPRS	SF12：精神的健康：おちこんだ気分	留 A/B	Q38 C/Q36 C
SFMHENGY	SF12：精神的健康：活力にあふれる	留 A/B	Q38 B/Q36 B
SFMHPEAC	SF12：精神的健康：おちついた気分	留 A/B	Q38 A/Q36 A
SFMNTCNT	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない	留 B	Q34 B
SFMNTUSL	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない	留 B	Q34 A
SFPHCNT	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない	留 B	Q33 B
SFPHUSL	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない	留 B	Q33 A
SITHR	平日に座っている時間：時間	留 B	Q48
SITMIN	平日に座っている時間：分	留 B	Q48
SIZE	市郡規模		◇
SIZEHMT	居住地域の規模	留 A/B	Q18/Q16
SLFHLTH	主観的健康状態（改訂版）	留 B	Q56
SLPHR	平日の実際の睡眠時間：時間	留 B	Q49
SLPMIN	平日の実際の睡眠時間：分	留 B	Q49
SLPQUAL	睡眠の質	留 B	Q50
SLSTSCH	最終学校（配偶者）（簡易版）	留 A/B	Q116/Q117
SPAGEX	配偶者の年齢	留 A/B	Q113/Q114
SPWRKHRS	就労時間数／週（配偶者）（副業含む）	留 A/B	Q119/Q120
SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留 A	Q114
SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）	留 A/B	Q117/Q118
SSHLTH	配偶者の健康（改訂版）	留 B	Q115
SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	留 A/B	Q118-1/Q119-1
SSJBNPO	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体	留 A/B	Q123/Q124
SSSZICA	配偶者年収：全体（簡易版）	留 A/B	Q125/Q126
SSSZSTFA	企業規模（配偶者）	留 A/B	Q124/Q125
SSTPJB	雇用関係（配偶者）	留 A/B	Q120-1/Q121-1
SSTPJBS	雇用形態（配偶者）	留 A/B	Q120-2/Q121-2
SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者（配偶者）	留 A/B	Q120-4/Q121-4
SSTPJOBP	役職（配偶者）	留 A/B	Q120-3/Q121-3
SSTPUNEM	不就労の理由（配偶者）	留 A/B	Q118-2/Q119-2
SSWPLC	業種（配偶者）（選択式）	留 A/B	Q121/Q122
SSXGRADE	在学中の場合の学年（配偶者）	留 A/B	Q117/Q118
SSXXJE08	職種（配偶者）（ISCO08）	留 A/B	Q122/Q123
SSXXJOB	職種（配偶者）	留 A/B	Q122/Q123
ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留 A/B	Q12 A/Q10 A
ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留 A/B	Q12 D/Q10 D
ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留 A/B	Q12 E/Q10 E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留 A/B	Q12 F/Q10 F
ST5JOB	現在の仕事の満足度	留 A/B	Q88/Q89
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留 A/B	Q12 B/Q10 B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留 A/B	Q12 C/Q10 C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留 A/B	Q12 G/Q10 G
SZ7CMT	通勤時間	留 A/B	Q80/Q81
SZFFONLY	家族人数（本人除く）	留 A/B	Q105/Q106
SZFFTTL	家族人数（本人含む）	留 A/B	Q105/Q106
SZHSICM	世帯年収（簡易版）	留 A/B	Q108/Q109
SZICOMA	本人年収：全体（簡易版）	留 A/B	Q109/Q110
SZICOMX	本人年収：主な仕事（簡易版）	留 A/B	Q86/Q87

SZSJBHWK	副業就労時間数／週	留 A/B	Q92-3/Q93-3
SZSTFLS	前職の企業規模（6 分類）	留 A/B	Q99/Q100
SZTTLSTA	企業規模	留 A/B	Q85/Q86
TMAFFL	時間的なゆとり感	留 A/B	Q36 A/Q57 A
TP5UNEMP	不就労の理由	留 A/B	Q93/Q94
TPHLINS	医療保険の種類	留 B	Q54
TPHOUSE	調査員への質問：回答者の居住形態	回	
TPJB	雇用関係	留 A/B	Q78-1/Q79-1
TPJBNR	非正規雇用についた主な理由	留 A/B	Q78-5/Q79-5
TPJBS	雇用形態	留 A/B	Q78-2/Q79-2
TPJBSE	従業員を持つ自営業者	留 A/B	Q78-4/Q79-4
TPJOBP	役職	留 A/B	Q78-3/Q79-3
TPLSTJB	前職の雇用関係	留 A/B	Q97-1/Q98-1
TPLSTJBP	前職の役職	留 A/B	Q97-3/Q98-3
TPLSTJBS	前職の雇用形態	留 A/B	Q97-2/Q98-2
TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留 A	Q34 J
TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留 A	Q34 D
TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留 A	Q34 K
TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留 A	Q34 L
TR3COPZ	組織への信頼：警察	留 A	Q34 N
TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留 A	Q34 A
TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留 A	Q34 M
TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留 A	Q34 O
TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留 A	Q34 G
TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞	留 A	Q34 F
TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留 A	Q34 B
TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留 A	Q34 C
TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留 A	Q34 I
TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留 A	Q34 H
TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留 A	Q34 E
WAFINDPN	年をとることへの不安：経済的に依存する	留 B	Q64 C
WAGTARND	年をとることへの不安:自分で自分のことができなくなる	留 B	Q64 A
WAOTHMD	年をとることへの不安:自分のことを他の人に決めてもらう	留 B	Q64 B
WEIGHT	ウェイト		◇
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	留 A/B	Q89/Q90
WLKMIN	平日の歩行時間：分	留 B	Q46
WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留 A/B	Q17/Q15
XCHRDIS	慢性的な病気の有無	留 B	Q39-1
XDSRCOV	被災経験の最も長かった期間	留 A	Q64-2
XDSSTREQ	被災経験：地震	留 A	Q64-1
XDSSTRHS	被災経験：豪雪	留 A	Q64-1
XDSSTRNE	被災経験：被害を受けたことはない	留 A	Q64-1
XDSSTROT	被災経験：その他	留 A	Q64-1
XDSSTRTF	被災経験：台風・水害	留 A	Q64-1
XDSSTRTS	被災経験：津波	留 A	Q64-1
XDSYR	被災経験の時期（年）	留 A	Q64-3
XFLUVCC	インフルエンザの予防接種の経験	留 B	Q60
XGRADE	在学中の場合の学年（本人）	留 A/B	Q104/Q105
XHLTCHK	健康診断の受診経験	留 B	Q51

XJOB1WK	先週の就労経験	留 A/B	Q77/Q78
XJOBHWK	就労時間数／週	留 A/B	Q79/Q80
XJOBYR	就労年数	留 A/B	Q81/Q82
XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留 A/B	Q16/Q14
XLSTSCH	最終学校（本人）（簡易版）	留 A/B	Q103/Q104
XNUMCOWK	転職数	留 A/B	Q101/Q102
XOMDACP	東洋医療の経験：鍼	留 B	Q59 A
XOMDHRB	東洋医療の経験：漢方薬	留 B	Q59 C
XOMDMAS	東洋医療の経験：指圧・マッサージ	留 B	Q59 D
XOMDMXB	東洋医療の経験：灸	留 B	Q59 B
XRFDCTR	医師の診断を控えた経験	留 B	Q53-1
XSJB1WK	副業の有無	留 A/B	Q92-1/Q93-1
XSJBNUM	副業の数	留 A/B	Q92-2/Q93-2
XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	留 A/B	Q102/Q103
XTRAUM5Y	トラウマの回数	留 B	Q9
XWORK	就労経験	留 A/B	Q94/Q95
XWPLC	業種（選択式）	留 A/B	Q82/Q83
XX8PLPTY	支持政党	留 A/B	Q29/Q26
XXJE08	職種（ISCO08）	留 A/B	Q83/Q84
XXJOB	職種	留 A/B	Q83/Q84
XXLJE08	前職の職種（ISCO08）	留 A/B	Q98/Q99
XXLSTJB	前職の職種	留 A/B	Q98/Q99
XXRL	信仰する宗教（本人）	留 A/B	Q33-2/Q30-2
XXSJE08	副業の職種（ISCO08）	留 A/B	Q92-4/Q93-4
XXSJOB	副業の職種	留 A/B	Q92-4/Q93-4
XXSTPJB	離職理由	留 A/B	Q96/Q97
XXTODAY	留置票の記入日：月日	留 A/B	Q45/Q65
XXTODAYD	留置票の記入日：日	留 A/B	Q45/Q65
XXTODAYM	留置票の記入日：月	留 A/B	Q45/Q65

金　政芸

Ⅲ. JGSS-2021H 資料

Ⅲ.1　抽出地点リスト

（調査対象者の特定に繋がる可能性があるため、地点リストを削除している）

Ⅲ.２　職業コード

501（専門）　自然科学系研究者
502（専門）　人文科学系研究者
503（専門）　機械・電気・化学技術者
504（専門）　建築・土木技術者
505（専門）　農林技術者
506（専門）　情報処理技術者
507（専門）　その他の技師・技術者
508（専門）　医師
509（専門）　歯科医師
510（専門）　薬剤師
511（専門）　助産師（助産婦）
512（専門）　保健師（保健婦）
513（専門）　栄養士
514（専門）　看護師（看護婦、看護士）
515（専門）　あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516（専門）　その他の保健医療従事者
517（専門）　裁判官、検察官、弁護士
518（専門）　その他の法務従事者
519（専門）　公認会計士、税理士
520（専門）　幼稚園教員
521（専門）　小学校教員
522（専門）　中学校教員
523（専門）　高等学校教員
524（専門）　大学教員
525（専門）　盲・ろう・養護学校教員
526（専門）　その他の教員
527（専門）　宗教家
528（専門）　文芸家、著述家
529（専門）　記者、編集者
530（専門）　彫刻家、画家、工芸美術家
531（専門）　デザイナー
532（専門）　写真家、カメラマン
533（専門）　音楽家（個人に教授するものを除く）
534（専門）　俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）
535（専門）　職業スポーツ家（個人に教授するものを除く）
536（専門）　獣医師
537（専門）　保育士（保母、保父）
538（専門）　社会福祉事業専門職員
539（専門）　個人教師

540（専門）　不動産鑑定士
541（専門）　経営コンサルタント
542（専門）　アナウンサー（ラジオ・テレビ）
543（専門）　図書館司書
544（専門）　その他の専門的・技術的職業従事者
545（管理）　管理的公務員
546（管理）　国会議員
547（管理）　地方議員
548（管理）　会社役員
549（管理）　その他の法人・団体の役員
550（管理）　会社・団体等の管理職員
551（管理）　駅長、区長
552（管理）　郵便局長、電報・電話局長
553（管理）　その他の管理的職業従事者
554（事務）　総務・企画事務員
555（事務）　受付・案内事務員
556（事務）　出荷・受荷事務員
557（事務）　営業・販売事務員
558（事務）　その他の一般事務員
559（事務）　会計事務員
560（事務）　郵便・通信事務員
561（事務）　集金人
562（事務）　その他の外勤事務従事者
563（事務）　運輸事務員
564（事務）　速記者、タイピスト、キーパンチャー
565（事務）　電子計算機等操作員
566（販売）　小売店主
567（販売）　卸売店主
568（販売）　飲食店主
569（販売）　販売店員
570（販売）　行商人、呼売人、露天商
571（販売）　再生資源卸売人・回収人
572（販売）　商品仲立人
573（販売）　外交員（保険、不動産を除く）
574（販売）　保険代理人・外交員
575（販売）　不動産仲買人・売買人
576（販売）　質屋店主・店員
577（販売）　その他の販売類似職業従事者
578（非熟練）　家政婦、家事サービス職業従事者
579（熟練）　理容師、美容師
580（半熟練）　クリーニング職、洗張職
581（熟練）　料理人

582（販売）　バーテンダー
583（販売）　給仕係
584（販売）　スチュワーデス、スチュワード
585（販売）　接客社交係
586（事務）　娯楽場等の接客員
587（販売）　旅行・観光案内人
588（販売）　その他の個人サービス職業従事者
589（販売）　旅館主人・番頭、ホテル支配人
590（事務）　下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591（非熟練）　ファッションモデル
592（非熟練）　その他のサービス職業従事者
593（事務）　自衛官
594（事務）　警察官、海上保安官、鉄道公安員
595（事務）　消防員
596（事務）　看守、守衛、監視員
597（事務）　その他の保安職業従事者
598（事務）　旧職業軍人
599（農林）　農耕・養蚕作業者
600（農林）　植木職、造園師
601（農林）　畜産作業者
602（農林）　林業作業者
603（農林）　その他の農林業作業者
604（農林）　漁業作業者
605（農林）　漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606（半熟練）　電車・機関車運転士
607（半熟練）　自動車運転者
608（管理）　船長・航海士（漁船を除く）、水先人
609（専門）　船舶機関長・機関士（漁船を除く）
610（専門）　航空機操縦士、航空士、航空機関士
611（半熟練）　車掌
612（半熟練）　鉄道員
613（半熟練）　船員
614（半熟練）　その他の運輸従事者
615（専門）　無線通信士、無線技術士
616（事務）　有線通信士
617（事務）　電話交換手
618（事務）　郵便・電報外務員
619（事務）　その他の通信従事者
620（非熟練）　採鉱員、採炭員
621（非熟練）　石切出作業者
622（非熟練）　その他の採掘作業者
623（熟練）　陶磁器工、絵付作業者

624（熟練）　石工
625（半熟練）　ガラス・セメント製品製造作業者
626（熟練）　その他の窯業・土石製品製造作業者
627（半熟練）　製銑工、製鋼工、精錬工
628（熟練）　鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者
629（半熟練）　化学製品製造作業者
630（半熟練）　金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者
631（熟練）　鉄工、板金工
632（半熟練）　金属溶接工
633（熟練）　一般機械組立工・修理工
634（半熟練）　電気機械器具組立工・修理工
635（熟練）　自動車組立工・整備工
636（熟練）　鉄道車両組立工・修理工
637（熟練）　船舶ぎ装工（他に分類されない）
638（熟練）　航空機組立工・整備工
639（熟練）　自転車組立工・修理工
640（熟練）　その他の輸送機械組立・修理作業者
641（熟練）　時計組立工・修理工
642（熟練）　光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643（熟練）　精穀工、製粉工
644（熟練）　パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645（半熟練）　味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者
646（半熟練）　たばこ製造工
647（熟練）　酒類製造工
648（半熟練）　製糸作業者
649（半熟練）　織布工、紡織作業者
650（半熟練）　漂白工、染色工
651（熟練）　洋服・和服仕立職
652（半熟練）　縫製工、裁断工
653（半熟練）　製材工、木工
654（熟練）　指物職、家具職、建具職
655（熟練）　船大工
656（熟練）　おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者
657（半熟練）　製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者
658（熟練）　印刷・製本作業者
659（半熟練）　ゴム・プラスチック製品製造作業者
660（熟練）　くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業者
661（熟練）　塗装工、画工、看板工
662（熟練）　漆塗師、まき絵師
663（熟練）　表具師、内張工
664（熟練）　和がさ・ちょうちん・うちわ職
665（熟練）　貴金属・宝石・甲・角等細工工

666（熟練）　印判師
667（半熟練）　洋傘組立工
668（熟練）　かばん・袋物製造工
669（半熟練）　がん具製造工
670（熟練）　製図工、現図工
671（熟練）　映写技士
672（半熟練）　その他の技能工・生産工程作業者
673（熟練）　汽かん士、汽かん火夫
674（熟練）　起重機・建設機械運転作業者
675（熟練）　その他の定置機関運転作業者
676（半熟練）　発電員、変電員
677（熟練）　電気工事・電話工事作業者
678（熟練）　土木・建築請負師
679（熟練）　左官、とび職
680（熟練）　れんが積工、配管工
681（熟練）　畳職
682（非熟練）　土工、道路工夫
683（非熟練）　鉄道線路工夫
684（熟練）　現場監督、その他の建設作業者
685（非熟練）　倉庫夫、仲仕
686（非熟練）　運搬労務者
687（非熟練）　清掃員
688（非熟練）　その他の労務作業者
689（分類不能）　分類不能の職業
690（分類不能）　旧地主
691（分類不能）　名目上の役員
701（事務）　スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702（分類不能）　大工
703（専門）　教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704（分類不能）　製品製造作業者：（特に父職で）作っている製品が明記されていない場合
705（分類不能）　会社員：（特に父職で）記入が「会社員」とあった場合
707（分類不能）　自営業：（特に父職で）記入が「自営業」とあった場合
986（分類不能）　無職
998（非該当）　非該当
999（無回答）　不明、無回答

※括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類（95 年版）』（1995 年 SSM 調査研究会）における 1995 年 SSM 分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995 年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS 分類と SSM 分類との相違点は、以下のとおりである。

SSM 職業分類（95 年版）と内容が若干異なるコード

511　助産師（助産婦）
512　保健師（保健婦）
514　看護師（看護婦、看護士）
537　保育士（保母、保父）
578　家政婦、家事サービス職業従事者

SSM 職業分類（95 年版）にはないコード

701　スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702　大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703　教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704　製品製造作業者：（特に父職で）作っている製品が明記されていない場合に用いた
705　会社員：（特に父職で）記入が「会社員」とあった場合
707　自営業：（特に父職で）記入が「自営業」とあった場合

SSM 職業分類（95 年版）には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988　大学生、短大生
989　大学院生
990　その他の生徒・学生
991　分類不能の生徒・学生

「SSM 職業分類（95 年版 05 年改訂）」をもとに追加したコード

801　介護員、ヘルパー
802　その他の医療・福祉サービス職従事者

「SSM 職業分類（95 年版 05 年改訂）」は、田辺・相澤『職業・産業コーディングマニュアルと作業記録』（2008 年）に記載されているコードをもとにした。

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい（所属は 2005 年 3 月現在）。

高橋 和子（敬愛大学国際学部 助教授）
奥村　学　（東京工業大学精密工学研究所 助教授）
高村 大也（東京工業大学精密工学研究所 助手）
須山　敦　（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）
村山 紀文（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）

Ⅲ.３　国際標準職業分類（ISCO）

国際標準職業分類（International Standard Classification of Occupations: ISCO）は、国際労働機関（International Labour Organization: ILO）が定めている職業分類コード（詳細は http://www.ilo.org/）である。JGSS-2021H では、本人（副業と前職含む）と配偶者の職種について ISCO-08 を用いて従来の職業分類とは別に変数を作成した。コーディングはもっとも細かい 4 桁（Unit group）の水準で行ったが、基礎集計は Major group にまとめている。

MAJOR GROUP 1: MANAGERS

11 Chief executives, senior officials and legislators

111 Legislators and senior officials

1111 Legislators

1112 Senior government officials

1113 Traditional chiefs and heads of village

1114 Senior officials of special-interest organizations

112 Managing directors and chief executives

1120 Managing directors and chief executives

12 Administrative and commercial managers

121 Business services and administration managers

1211 Finance managers

1212 Human resource managers

1213 Policy and planning managers

1219 Business services and administration managers not elsewhere classified

122 Sales, marketing and development managers

1221 Sales and marketing managers

1222 Advertising and public relations managers

1223 Research and development managers

13 Production and specialised services managers

131 Production managers in agriculture, forestry and fisheries

1311 Agricultural and forestry production managers

1312 Aquaculture and fisheries production managers

132 Manufacturing, mining, construction, and distribution managers

1321 Manufacturing managers

1322 Mining managers

1323 Construction managers

1324 Supply, distribution and related managers

133 Information and communications technology service managers

1330 Information and communications technology service managers

134 Professional services managers

1341 Child care services managers

1342 Health services managers

1343 Aged care services managers

1344 Social welfare managers

1345 Education managers

1346 Financial and insurance services branch managers

1349 Professional services managers not elsewhere classified

14 Hospitality, retail and other services managers

141 Hotel and restaurant managers

1411 Hotel managers

1412 Restaurant managers

142 Retail and wholesale trade managers

1420 Retail and wholesale trade managers

143 Other services managers

1431 Sports, recreation and cultural centre managers

1439 Services managers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 2: PROFESSIONALS

21 Science and engineering professionals

211 Physical and earth science professionals

2111 Physicists and astronomers

2112 Meteorologists

2113 Chemists

2114 Geologists and geophysicists

212 Mathematicians, actuaries and statisticians

2120 Mathematicians, actuaries and statisticians

213 Life science professionals

2131 Biologists, botanists, zoologists and related professionals

2132 Farming, forestry and fisheries advisers

2133 Environmental protection professionals

214 Engineering professionals (excluding electrotechnology)

2141 Industrial and production engineers

2142 Civil engineers

2143 Environmental engineers

2144 Mechanical engineers

2145 Chemical engineers

2146 Mining engineers, metallurgists and related professionals

2149 Engineering professionals not elsewhere classified

215 Electrotechnology engineers

2151 Electrical engineers

2152 Electronics engineers

2153 Telecommunications engineers

216 Architects, planners, surveyors and designers

2161 Building architects

2162 Landscape architects

2163 Product and garment designers

2164 Town and traffic planners

2165 Cartographers and surveyors

2166 Graphic and multimedia designers

22 Health professionals

221 Medical doctors

2211 Generalist medical practitioners

2212 Specialist medical practitioners

222 Nursing and midwifery professionals

2221 Nursing professionals

2222 Midwifery professionals

223 Traditional and complementary medicine professionals

2230 Traditional and complementary medicine professionals

224 Paramedical practitioners

2240 Paramedical practitioners

225 Veterinarians

2250 Veterinarians

226 Other health professionals

2261 Dentists

2262 Pharmacists

2263 Environmental and occupational health and hygiene professionals

2264 Physiotherapists

2265 Dieticians and nutritionists

2266 Audiologists and speech therapists

2267 Optometrists and ophthalmic opticians

2269 Health professionals not elsewhere classified

23 Teaching professionals

231 University and higher education teachers

2310 University and higher education teachers

232 Vocational education teachers

2320 Vocational education teachers

233 Secondary education teachers

2330 Secondary education teachers

234 Primary school and early childhood teachers

2341 Primary school teachers

2342 Early childhood educators

235 Other teaching professionals

2351 Education methods specialists

2352 Special needs teachers

2353 Other language teachers

2354 Other music teachers

2355 Other arts teachers

2356 Information technology trainers

2359 Teaching professionals not elsewhere classified

24 Business and administration professionals

241 Finance professionals

2411 Accountants

2412 Financial and investment advisers

2413 Financial analysts

242 Administration professionals

2421 Management and organization analysts

2422 Policy administration professionals

2423 Personnel and careers professionals

2424 Training and staff development professionals

243 Sales, marketing and public relations professionals

2431 Advertising and marketing professionals

2432 Public relations professionals

2433 Technical and medical sales professionals (excluding ICT)

2434 Information and communications technology sales professionals

25 Information and communications technology professionals

251 Software and applications developers and analysts

2511 Systems analysts

2512 Software developers

2513 Web and multimedia developers

2514 Applications programmers

2519 Software and applications developers and analysts not elsewhere classified

252 Database and network professionals

2521 Database designers and administrators

2522 Systems administrators

2523 Computer network professionals

2529 Database and network professionals not elsewhere classified

26 Legal, social and cultural professionals

261 Legal professionals

2611 Lawyers

2612 Judges

2619 Legal professionals not elsewhere classified

262 Librarians, archivists and curators

2621 Archivists and curators

2622 Librarians and related information professionals

263 Social and religious professionals

2631 Economists

2632 Sociologists, anthropologists and related professionals

2633 Philosophers, historians and political scientists

2634 Psychologists

2635 Social work and counselling professionals

2636 Religious professionals

264 Authors, journalists and linguists

2641 Authors and related writers

2642 Journalists

2643 Translators, interpreters and other linguists

265 Creative and performing artists

2651 Visual artists

2652 Musicians, singers and composers

2653 Dancers and choreographers

2654 Film, stage and related directors and producers

2655 Actors

2656 Announcers on radio, television and other media

2659 Creative and performing artists not elsewhere classified

MAJOR GROUP 3: TECHNICIANS AND ASSOCIATE PROFESSIONALS

31 Science and engineering associate professionals

311 Physical and engineering science technicians

3111 Chemical and physical science technicians

3112 Civil engineering technicians

3113 Electrical engineering technicians

3114 Electronics engineering technicians

3115 Mechanical engineering technicians

3116 Chemical engineering technicians

3117 Mining and metallurgical technicians

3118 Draughtspersons

3119 Physical and engineering science technicians not elsewhere classified

312 Mining, manufacturing and construction supervisors

3121 Mining supervisors

3122 Manufacturing supervisors

3123 Construction supervisors

313 Process control technicians

3131 Power production plant operators

3132 Incinerator and water treatment plant operators

3133 Chemical processing plant controllers

3134 Petroleum and natural gas refining plant operators

3135 Metal production process controllers

3139 Process control technicians not elsewhere classified

314 Life science technicians and related associate professionals

3141 Life science technicians (excluding medical)

3142 Agricultural technicians

3143 Forestry technicians

315 Ship and aircraft controllers and technicians

3151 Ships' engineers

3152 Ships' deck officers and pilots

3153 Aircraft pilots and related associate professionals

3154 Air traffic controllers

3155 Air traffic safety electronics technicians

32 Health associate professionals

321 Medical and pharmaceutical technicians

3211 Medical imaging and therapeutic equipment technicians

3212 Medical and pathology laboratory technicians

3213 Pharmaceutical technicians and assistants

3214 Medical and dental prosthetic technicians

322 Nursing and midwifery associate professionals

3221 Nursing associate professionals

3222 Midwifery associate professionals

323 Traditional and complementary medicine associate professionals

3230 Traditional and complementary medicine associate professionals

324 Veterinary technicians and assistants

3240 Veterinary technicians and assistants

325 Other health associate professionals

3251 Dental assistants and therapists

3252 Medical records and health information technicians

3253 Community health workers

3254 Dispensing opticians

3255 Physiotherapy technicians and assistants

3256 Medical assistants

3257 Environmental and occupational health inspectors and associates

3258 Ambulance workers

3259 Health associate professionals not elsewhere classified

33 Business and administration associate professionals

331 Financial and mathematical associate professionals

3311 Securities and finance dealers and brokers

3312 Credit and loans officers

3313 Accounting associate professionals

3314 Statistical, mathematical and related associate professionals

3315 Valuers and loss assessors

332 Sales and purchasing agents and brokers

3321 Insurance representatives

3322 Commercial sales representatives

3323 Buyers

3324 Trade brokers

333 Business services agents

3331 Clearing and forwarding agents

3332 Conference and event planners

3333 Employment agents and contractors

3334 Real estate agents and property managers

3339 Business services agents not elsewhere classified

334 Administrative and specialised secretaries

3341 Office supervisors

3342 Legal secretaries

3343 Administrative and executive secretaries

3344 Medical secretaries

335 Regulatory government associate professionals

3351 Customs and border inspectors

3352 Government tax and excise officials

3353 Government social benefits officials

3354 Government licensing officials

3355 Police inspectors and detectives

3359 Regulatory government associate professionals not elsewhere classified

34 Legal, social, cultural and related associate professionals

341 Legal, social and religious associate professionals

3411 Police inspectors and detectives

3412 Social work associate professionals

3413 Religious associate professionals

342 Sports and fitness workers

3421 Athletes and sports players

3422 Sports coaches, instructors and officials

3423 Fitness and recreation instructors and program leaders

343 Artistic, cultural and culinary associate professionals

3431 Photographers

3432 Interior designers and decorators

3433 Gallery, museum and library technicians

3434 Chefs

3435 Other artistic and cultural associate professionals

35 Information and communications technicians

351 Information and communications technology operations and user support technicians

3511 Information and communications technology operations technicians

3512 Information and communications technology user support technicians

3513 Computer network and systems technicians

3514 Web technicians

352 Telecommunications and broadcasting technicians

3521 Broadcasting and audio-visual technicians

3522 Telecommunications engineering technicians

MAJOR GROUP 4: CLERICAL SUPPORT WORKERS

41 General and keyboard clerks

411 General office clerks

4110 General office clerks

412 Secretaries (general)

4120 Secretaries (general)

413 Keyboard operators

4131 Typists and word processing operators

4132 Data entry clerks

42 Customer services clerks

421 Tellers, money collectors and related clerks

4211 Bank tellers and related clerks

4212 Bookmakers, croupiers and related gaming workers

4213 Pawnbrokers and money-lenders

4214 Debt-collectors and related workers

422 Client information workers

4221 Travel consultants and clerks

4222 Contact centre information clerks

4223 Telephone switchboard operators

4224 Hotel receptionists

4225 Enquiry clerks

4226 Receptionists (general)

4227 Survey and market research interviewers

4229 Client information workers not elsewhere classified

43 Numerical and material recording clerks

431 Numerical clerks

4311 Accounting and bookkeeping clerks

4312 Statistical, finance and insurance clerks

4313 Payroll clerks

432 Material-recording and transport clerks

4321 Stock clerks

4322 Production clerks

4323 Transport clerks

44 Other clerical support workers

441 Other clerical support workers

4411 Library clerks

4412 Mail carriers and sorting clerks

4413 Coding, proof-reading and related clerks

4414 Scribes and related workers

4415 Filing and copying clerks

4416 Personnel clerks

4419 Clerical support workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS

51 Personal service workers

511 Travel attendants, conductors and guides

5111 Travel attendants and travel stewards

5112 Transport conductors

5113 Travel guides

512 Cooks

5120 Cooks

513 Waiters and bartenders

5131 Waiters

5132 Bartenders

514 Hairdressers, beauticians and related workers

5141 Hairdressers

5142 Beauticians and related workers

515 Building and housekeeping supervisors

5151 Cleaning and housekeeping supervisors in offices, hotels and other establishments

5152 Domestic housekeepers

5153 Building caretakers

516 Other personal services workers

5161 Astrologers, fortune-tellers and related workers

5162 Companions and valets

5163 Undertakers and embalmers

5164 Pet groomers and animal care workers

5165 Driving instructors

5169 Personal services workers not elsewhere classified

52 Sales workers

521 Street and market salespersons

5211 Stall and market salespersons

5212 Street food salespersons

522 Shop salespersons

5221 Shop keepers

5222 Shop supervisors

5223 Shop sales assistants

523 Cashiers and ticket clerks

5230 Cashiers and ticket clerks

524 Other sales workers

5241 Fashion and other models

5242 Sales demonstrators

5243 Door to door salespersons

5244 Contact centre salespersons

5245 Service station attendants

5246 Food service counter attendants

5249 Sales workers not elsewhere classified

53 Personal care workers

531 Child care workers and teachers' aides

5311 Child care workers

5312 Teachers' aides

532 Personal care workers in health services

5321 Health care assistants

5322 Home-based personal care workers

5329 Personal care workers in health services not elsewhere classified

54 Protective services workers

541 Protective services workers

5411 Fire-fighters

5412 Police officers

5413 Prison guards

5414 Security guards

5419 Protective services workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 6: SKILLED AGRICULTURAL, FORESTRY AND FISHERY WORKERS

61 Market-oriented skilled agricultural workers

611 Market gardeners and crop growers

6111 Field crop and vegetable growers

6112 Tree and shrub crop growers

6113 Gardeners, horticultural and nursery growers

6114 Mixed crop growers

612 Animal producers

6121 Livestock and dairy producers

6122 Poultry producers

6123 Apiarists and sericulturists

6129 Animal producers not elsewhere classified

613 Mixed crop and animal producers

6130 Mixed crop and animal producers

62 Market-oriented skilled forestry, fishery and hunting workers

621 Forestry and related workers

6210 Forestry and related workers

622 Fishery workers, hunters and trappers

6221 Aquaculture workers

6222 Inland and coastal waters fishery workers

6223 Deep-sea fishery workers

6224 Hunters and trappers

63 Subsistence farmers, fishers, hunters and gatherers

631 Subsistence crop farmers

6310 Subsistence crop farmers

632 Subsistence livestock farmers

6320 Subsistence livestock farmers

633 Subsistence mixed crop and livestock farmers

6330 Subsistence mixed crop and livestock farmers

634 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers

6340 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers

MAJOR GROUP 7: CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS

71 Building and related trades workers, excluding electricians

711 Building frame and related trades workers

7111 House builders

7112 Bricklayers and related workers

7113 Stonemasons, stone cutters, splitters and carvers

7114 Concrete placers, concrete finishers and related workers

7115 Carpenters and joiners

7119 Building frame and related trades workers not elsewhere classified

712 Building finishers and related trades workers

7121 Roofers

7122 Floor layers and tile setters

7123 Plasterers

7124 Insulation workers

7125 Glaziers

7126 Plumbers and pipe fitters

7127 Air conditioning and refrigeration mechanics

713 Painters, building structure cleaners and related trades workers

7131 Painters and related workers

7132 Spray painters and varnishers

7133 Building structure cleaners

72 Metal, machinery and related trades workers

721 Sheet and structural metal workers, moulders and welders, and related workers

7211 Metal moulders and coremakers

7212 Welders and flamecutters

7213 Sheet-metal workers

7214 Structural-metal preparers and erectors

7215 Riggers and cable splicers

722 Blacksmiths, toolmakers and related trades workers

7221 Blacksmiths, hammersmiths and forging press workers

7222 Toolmakers and related workers

7223 Metal working machine tool setters and operators

7224 Metal polishers, wheel grinders and tool sharpeners

723 Machinery mechanics and repairers

7231 Motor vehicle mechanics and repairers

7232 Aircraft engine mechanics and repairers

7233 Agricultural and industrial machinery mechanics and repairers

7234 Bicycle and related repairers

73 Handicraft and printing workers

731 Handicraft workers

7311 Precision-instrument makers and repairers

7312 Musical instrument makers and tuners

7313 Jewellery and precious-metal workers

7314 Potters and related workers

7315 Glass makers, cutters, grinders and finishers

7316 Sign writers, decorative painters, engravers and etchers

7317 Handicraft workers in wood, basketry and related materials

7318 Handicraft workers in textile, leather and related materials

7319 Handicraft workers not elsewhere classified

732 Printing trades workers

7321 Pre-press technicians

7322 Printers

7323 Print finishing and binding workers

74 Electrical and electronic trades workers

741 Electrical equipment installers and repairers

7411 Building and related electricians

7412 Electrical mechanics and fitters

7413 Electrical line installers and repairers

742 Electronics and telecommunications installers and repairers

7421 Electronics mechanics and servicers

7422 Information and communications technology installers and servicers

75 Food processing, wood working, garment and other craft and related trades workers

751 Food processing and related trades workers

7511 Butchers, fishmongers and related food preparers

7512 Bakers, pastry-cooks and confectionery makers

7513 Dairy-products makers

7514 Fruit, vegetable and related preservers

7515 Food and beverage tasters and graders

7516 Tobacco preparers and tobacco products makers

752 Wood treaters, cabinet-makers and related trades workers

7521 Wood treaters

7522 Cabinet-makers and related workers

7523 Woodworking-machine tool setters and operators

753 Garment and related trades workers

7531 Tailors, dressmakers, furriers and hatters

7532 Garment and related pattern-makers and cutters

7533 Sewing, embroidery and related workers

7534 Upholsterers and related workers

7535 Pelt dressers, tanners and fellmongers

7536 Shoemakers and related workers

754 Other craft and related workers

7541 Underwater divers

7542 Shotfirers and blasters

7543 Product graders and testers (excluding foods and beverages)

7544 Fumigators and other pest and weed controllers

7549 Craft and related workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 8: PLANT AND MACHINE OPERATORS, AND ASSEMBLERS

81 Stationary plant and machine operators

811 Mining and mineral processing plant operators

8111 Miners and quarriers

8112 Mineral and stone processing plant operators

8113 Well drillers and borers and related workers

8114 Cement, stone and other mineral products machine operators

812 Metal processing and finishing plant operators

8121 Metal processing plant operators

8122 Metal finishing, plating and coating machine operators

813 Chemical and photographic products plant and machine operators

8131 Chemical products plant and machine operators

8132 Photographic products machine operators

814 Rubber, plastic and paper products machine operators

8141 Rubber products machine operators

8142 Plastic products machine operators

8143 Paper products machine operators

815 Textile, fur and leather products machine operators

8151 Fibre preparing, spinning and winding machine operators

8152 Weaving and knitting machine operators

8153 Sewing machine operators

8154 Bleaching, dyeing and fabric cleaning machine operators

8155 Fur and leather preparing machine operators

8156 Shoemaking and related machine operators

8157 Laundry machine operators

8159 Textile, fur and leather products machine operators not elsewhere classified

816 Food and related products machine operators

8160 Food and related products machine operators

817 Wood processing and papermaking plant operators

8171 Pulp and papermaking plant operators

8172 Wood processing plant operators

818 Other stationary plant and machine operators

8181 Glass and ceramics plant operators

8182 Steam engine and boiler operators

8183 Packing, bottling and labelling machine operators

8189 Stationary plant and machine operators not elsewhere classified

82 Assemblers

821 Assemblers

8211 Mechanical machinery assemblers

8212 Electrical and electronic equipment assemblers

8219 Assemblers not elsewhere classified

83 Drivers and mobile plant operators

831 Locomotive engine drivers and related workers

8311 Locomotive engine drivers

8312 Railway brake, signal and switch operators

832 Car, van and motorcycle drivers

8321 Motorcycle drivers

8322 Car, taxi and van drivers

833 Heavy truck and bus drivers

8331 Bus and tram drivers

8332 Heavy truck and lorry drivers

834 Mobile plant operators

8341 Mobile farm and forestry plant operators

8342 Earthmoving and related plant operators

8343 Crane, hoist and related plant operators

8344 Lifting truck operators

835 Ships' deck crews and related workers

8350 Ships' deck crews and related workers

MAJOR GROUP 9: ELEMENTARY OCCUPATIONS

91 Cleaners and helpers

911 Domestic, hotel and office cleaners and helpers

9111 Domestic cleaners and helpers

9112 Cleaners and helpers in offices, hotels and other establishments

912 Vehicle, window, laundry and other hand cleaning workers

9121 Hand launderers and pressers

9122 Vehicle cleaners

9123 Window cleaners

9129 Other cleaning workers

92 Agricultural, forestry and fishery labourers

921 Agricultural, forestry and fishery labourers

9211 Crop farm labourers

9212 Livestock farm labourers

9213 Mixed crop and livestock farm labourers

9214 Garden and horticultural labourers

9215 Forestry labourers

9216 Fishery and aquaculture labourers

93 Labourers in mining, construction, manufacturing and transport

931 Mining and construction labourers

9311 Mining and quarrying labourers

9312 Civil engineering labourers

9313 Building construction labourers

932 Manufacturing labourers

9321 Hand packers

9329 Manufacturing labourers not elsewhere classified

933 Transport and storage labourers

9331 Hand and pedal vehicle drivers

9332 Drivers of animal-drawn vehicles and machinery

9333 Freight handlers

9334 Shelf fillers

94 Food preparation assistants

941 Food preparation assistants

9411 Fast food preparers

9412 Kitchen helpers

95 Street and related sales and service workers

951 Street and related service workers

9510 Street and related service workers

952 Street vendors (excluding food)

9520 Street vendors (excluding food)

96 Refuse workers and other elementary workers

961 Refuse workers

9611 Garbage and recycling collectors

9612 Refuse sorters

9613 Sweepers and related labourers

962 Other elementary workers

9621 Messengers, package deliverers and luggage porters

9622 Odd job persons

9623 Meter readers and vending-machine collectors

9624 Water and firewood collectors

9629 Elementary workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 0: ARMED FORCES OCCUPATIONS

01 Commissioned armed forces officers

011 Commissioned armed forces officers

0110 Commissioned armed forces officers

02 Non-commissioned armed forces officers

021 Non-commissioned armed forces officers

0210 Non-commissioned armed forces officers

03 Armed forces occupations, other ranks

031 Armed forces occupations, other ranks

0310 Armed forces occupations, other ranks

※ISCO-08 には、「自衛官」に対応するコードがない。「自衛官」については、「MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS」の「54 Protective services workers」に、JGSS の独自コードとして「5415 Self-Defense Forces」を割り当てた。

Ⅲ.4　GSS・世論調査と JGSS-2021H 調査項目の対応表

注：1）GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。
2）GSS は 1972 年から 2016 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。
3）※：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	関連する世論調査など
冒頭	識別番号	IDUSE		
冒頭	地域ブロック	BLOCK	REGION	※
冒頭	都道府県名	PREF		※
冒頭	市郡規模	SIZE	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	※
冒頭	生年	DOBYEAR	COHORT	※
冒頭	留置票の種別	FORM		
A:Q1 B:Q1	性別	SEXA	SEX	※
A:Q2 B:Q2	年齢	AGEB	AGE	※
A:Q3 B:Q3	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ 2002 調査」 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ 50 年調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
A:Q4 B:Q4	1ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2001.1 読売新聞社「読書」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2009.9 毎日新聞社「第 63 回読書世論調査」 2010,2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2011.6 毎日新聞社「第 65 回読書世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査 2014.3 文化庁「国語に関する世論調査」
A:Q5 B:Q5	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS NEWSPRNT	2001.9 読売新聞社「メディア」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2005,2011 日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年日本人の情報行動調査」 2010.10 公共財団法人日本生産性本部「仕事と生活の相互作用 に関するアンケート調査」 2010,2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2011.8 中央調査社「新聞に関する世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査
A:Q6 B:Q6	インターネットでニュース記事を読む頻度	FQ6NWSIN	COMPUSE COMPWORK WKCOMPTR (JOBMINW) (WORK12) COMPUSE USEHOME	2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞社「メディア」(『日本の世論』) 2002 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」(JIS2002) 2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5, Wave6) 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
A:Q7-1	利用通信媒体：パソコン（職場・学校で）	DOCOMPJ	COMPUSE COMPWORK WKCOMPTR	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査

			(JOBMINW) (WORK12)	2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2001, 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
A:Q7-1	利用通信媒体：パソコン（自宅で）	DOCOMPP	COMPUSE USEHOME	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2001, 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.1, 2009.3, 2009.12, 2012.2 中央調査社「パーソ ナル先端商品の利用状況」(『中央調査報』 07.2,09.6,10.3,12.4) 2009.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディアに関する世論調査」(『放送研究と調査』09.12) 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」 2012.1-2 総務省「平成 23 年通信利用動向調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
A:Q7-1	利用通信媒体：携帯電話・スマートフォン	DOPHS	INTACCSS INTMBILE (WEBMOB)	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」(『[続] 変わりゆく日本人』) 2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.10, 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 全国消費者協会連合会「携帯電話についての調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2004.12, 2011.12 時事通信社「携帯電話に関する世論調査」(『中央調査報』05.2,12.3) 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第 3 回日本人の情報行動調査」 2007.1, 2009.3, 2009.12, 2012.2 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2008.1 NHK 放送文化研究所「「日本人とメディア」 世論調査」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」 2012.1-2 総務省「平成 23 年通信利用動向調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
A:Q7-1	利用通信媒体：タブレット	DOTBL	INTMBILE	
A:Q7-1	利用通信媒体：いずれも利用していない	DONONEX		2005.10 NHK 放送文化研究所「2005 年国民生活時間調査」

A:Q7-2	インターネットの利用：情報検索	DOINBRS	ARTINFO ARTMUS1 CANINF1-14 COOK30 FIN30 GOVT30 HEALTH12 HLTHWWW INTRHOME JOBONWWW LITSITE LOCATE12 MUSICINF NEWJOB12 POL30 POLINF12 POLWWW SRCHENG WORK12	2005.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2005 調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第 3 回日本人の情報行動調査」 2005.6, 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2005.10, 2010.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査・2006」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.12 朝日新聞「定期国民意識調査 ロストジェネ レーション」(『朝日総研リポート』07.2) 2007.1, 2009.3, 2009.12, 2012.2 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2007.11 内閣府「インターネット上の安全確保に関する世論調査」 2008.3 NHK 放送文化研究所「検索エンジン利用実態調査」(『放送研究と調査』08.8) 2008 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2009.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」 2012.1-2 総務省「平成 23 年通信利用動向調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
A:Q7-2	インターネットの利用：ショッピング	DOINSHOP	BUYINF12 BUYIT12 ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW	2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第 3 回日本人の情報行動調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査・2006」 2007.1, 2009.3, 2009.12 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」
A:Q7-2	インターネットの利用：バンキング	DOINBANK	ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW HMEFIN12	2005.3 東京大学社会情報研究所「第 3 回日本人の情報行動調査」 2005.10, 2010.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査・2006」 2007.1, 2009.3, 2009.12 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」 2012.1-2 総務省「平成 23 年通信利用動向調査」
A:Q7-2	インターネットの利用：SNS などでの情報発信	DOSNS	(TWITTER) (FACEBOOK) (INSTAGRM) (LINKEDIN) (SNAPCHAT) (TUMBLR) (WHATSAPP) (GOOGLESN) (PINTERST) (FLICKR)	2018.6 NHK 放送文化研究所「情報とメディア利用」世論調査 2011～2021 総務省「通信利用動向調査」 2012～2021 内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」
A:Q7-2	インターネットの利用：インターネットゲーム	DOINGAME	GAME12 GAMES30	2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」 2010.10 NHK 放送文化研究所「2010 年国民生活時間調査」 2012.1-2 総務省「平成 23 年通信利用行動調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
A:Q7-2	インターネットの利用：いずれも行なっていない	DOINNONE	INTACCSS INTRHOME WWWHRH WWWHRO WWWHRW	2007.7 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2010.10 NHK 放送文化研究所「2010 年国民生活時間調査」

			WWWMINH WWWMINO WWWMINW	
A:Q8	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRPSPORT	2003.9 朝日新聞社「9 月面接調査『政治意識・スポーツ』」 2004,2006,2009,2014 文部科学省「体力・スポーツに関する世 論調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『余暇とスポ ーツ』」 2007,2008,2009,2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世 論調査」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」
A:Q9 A B:Q7 A	家族と一緒の夕食：頻度	FQ7FFDNR		2003.10 味の素（株）「AMC 調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族 調査」（NFRJ03） 2005～2017 内閣府「食育に関する意識調査」
A:Q9 B B:Q7 B	友人との会食：頻度	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFREND	2005～2017 内閣府「食育に関する意識調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）
A:Q9 C B:Q7 C	夕食の用意：頻度（本人）	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家 族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002,2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2002,2004,2007 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M） 2013.7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
A:Q9 D B:Q7 D	洗濯：頻度（本人）	FQ7WASH	HWDUTIES LAUNDRY1 RHHWORK	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002.6 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002,2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M） 2013.7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
A:Q9 E B:Q7 E	買い物：頻度（本人）	FQ7SHOP	SHOP1 HWDUTIES RHHWORK	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002,2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2013.7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
A:Q9 F B:Q7 F	家の掃除：頻度（本人）	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002,2004,2007 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M） 2013.7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
A:Q9 G B:Q7 G	ゴミ出し：頻度（本人）	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK	2013.7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
A:Q9 H B:Q7 H	家の簡単な修理：頻度（本人）	FQ7RPH	REPAIRS1 REPAIRS HWDUTIES RHHWORK	
A:Q10 B:Q43	喫煙経験	DOSMOKEX	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	厚生労働省「国民健康・栄養調査」 厚生労働省「国民生活基礎調査」（大規模調査－健康票） 2001～2008 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 2001～2016 国立精神・神経センター精神保健研究所「薬物使用に関する全国住民調査」 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
A:Q11	飲酒頻度	DO7DRINK	DRINK	厚生労働省「国民健康・栄養調査」

			DRINKYR EVDRINK	2001～2016 国立精神・神経センター精神保健研究所「薬物使用に関する全国住民調査」 2003.5 時事通信社「飲酒に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
A:Q12 A B:Q10 A	生活満足度：居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.6 内閣府「国土の将来像に関する世論調査」 2002,2006,2009～2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2006.10 朝日新聞社「10 月面接調査『地方自治』」 2008.10 時事通信社「地域社会に関する世論調査」 2009.8 博報堂生活総合研究所「スケール・ジャパン調査」
A:Q12 B B:Q10 B	生活満足度：余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	2001.6 読売新聞社「余暇・レジャー」(『日本人の世論』) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『余暇とスポ ーツ』」
A:Q12 C B:Q10 C	生活満足度：家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.1 読売新聞社「家族像」(『日本の世論』) 2002,2006,2007,2009,2010,2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2002,2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割に関する調査』」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
A:Q12 D B:Q10 D	生活満足度：家計状態	ST5ECNY	SATFIN	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002,2006,2009,2010 内閣府「国民生活選好度調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
A:Q12 E B:Q10 E	生活満足度：友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)) 2010 内閣府「国民生活選好度調査」
A:Q12 F B:Q10 F	生活満足度：健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	厚生労働省「国民生活基礎調査」(大規模調査－健康票) 2002,2006,2009,2010 内閣府「国民生活選好度調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M))
A:Q12 G B:Q10 G	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL		2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ03,NFRJ08) 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M))
A:Q13	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2003～2013 大阪大学社会経済研究所「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2008,2010～2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2012 朝日新聞社「郵送調査『日本人と絆』」 2013.9 電通こころラボ「日本人の幸福度調査」 2013.10 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
A:Q14 B:q12	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	1995.10 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家 族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2001～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.6 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」 2004.11 内閣府「住宅に関する世論調査」

				2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2011.3 内閣府「国民生活選好度調査」
A:Q16 B:Q14	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1997.4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2003,2007～2009,2011 内閣府「国民生活選好度調査」 2010,2011,2012 内閣府「社会意識に関する世論調査」
A:Q17 B:Q15	現在の居住地域に住み続けたいか	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1997.4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」
A:Q18 B:Q16	居住地域の規模	SIZEHMT	COMTYPE	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」 (SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 (JLPS)
A:Q19 B:Q17	家計状態の変化	OP3ECN3A	FINALTER	1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2001.4 読売新聞「暮らし」 (『日本の世論』) 2001～ 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002.9 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査 (第 15 回)」 (『中央調査報』03.2) 2002.12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 (乳井泰彦「日本人の価値観 四半世紀で大きく変化」『朝日総研リポート』03.2) 2003-2004 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2004.7 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」 (『放送研究と調査』04.10) 2008.10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査
A:Q20 B:Q18	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95,SSM2005-J) 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 (JLPS-Y, JLPS-M)
A:Q21 B:Q19	15 歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16	1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95, SSM2005-J) 2007 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 (JLPS-Y(Wave1), JLPS-M(Wave1))
A:Q22 B:Q20	生活水準向上機会の有無	OP5CHNCA	GOODLIFE	2001.4 読売新聞「景気・雇用」 (『日本の世論』) 2002, 2007 内閣府「国民生活選好度調査」 2007.5 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」
A:Q23 B:Q21	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRNK	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95, SSM2005-J) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2000～2017 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2001,2004,2007,2011,2015 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005.3 朝日新聞社「日・韓・中・国際調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」 (ABS2,ABS3) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『社会的不平 等』」

A:Q24 B:q22	将来の経済的不安	AXECNSF		1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003,2004 早稲田大学 21 世紀 COE“開かれた政治経済制度の構築”「開かれた社会に関する意識調査」(JSS-GLOPE2003-04)」 2007,2010,2013,2016 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2010.7 厚生労働省「社会保障を支える世代に関する意識等調査」 2011.12 内閣府「若者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査」 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」 2014.8 内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」
A:Q25	所得格差への意見	OPINCDIF		
A:Q26 A B:Q23 A	国か個人か：高齢者の生活保障	OP5SRWFY	AIDOLT ELDCOST EQUAL4 KIDPARS	1996,2016 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 読売新聞社「社会保障」(『日本の世論』) 2002,2004,2005,2006,2007 内閣府「社会意識に関する世論調査」
A:Q26 B B:Q23 B	国か個人か：高齢者の医療・介護	OP5SRMDY	ELDHELP EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996.7 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 毎日新聞社「2001 年高齢社会世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」(『朝日総研ﾘﾎﾟｰﾄ』 08.3) 2009.10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
A:Q26 C B:Q23 C	国か個人か：子どもの教育	OP5CCED	GOVEDOP	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
A:Q26 D B:Q23 D	国か個人か：保育・育児	OP5CCARE	AIDKIDS CAREPROV (CARECOST)	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2007.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
A:Q27 B:Q25	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPPOOR	2005 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009,2010 内閣府「社会意識に関する世論調査」
A:Q28 B:Q24	政治意識（保革 5 段階）	OP5RADCA	POLVIEWS POLVIEWY	1971～ 明推協「明るい選挙推進協会調査」 1983.6-1984.1 日本人の選挙行動研究会「日本人の選挙行動」(JES) 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2010.2 朝日新聞「政治意識調査」(『ジャーナ リズム』10.5)
A:Q29 B:Q26	支持政党	XX8PLPTY	PARTYID	NHK「政治意識月例調査」 1971～2017 明るい選挙推進協会「衆議院総選挙／参議院議員通常選挙全国意識調査（旧：衆議院総選挙／参議院議員通常選挙の実態)」 2000.1 選挙とデモクラシー研究会（JEDS）「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2003,2004 早稲田大学 21 世紀 COE“開かれた政治経済制度の構築”「開かれた社会に関する意識調査」(GLOPE2003-04)」 2003.9～2005.9 東京大学蒲島・谷口研究室＆朝日新聞社「2003 年衆院選-04 年参院選-05 年衆院選世論調査」

				2003,2008,2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2005～2007 早稲田大学 21 世紀 COE"開かれた政治経済制度の構築"「21 世紀日本人の社会・政治意識に関する調査」(GLOPE2005-07) 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2007.4 朝日新聞社「全国世論調査『あなたにとって政治とは』」 2007.5-6～2007.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞社「2007 年参院選世論調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009.8-10～2010.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞社「2009 年衆院選-10 年参院選世論調査」 2010.6 朝日新聞社「5 月緊急 RDD 調査(普天間飛行場移設問題)」
A:Q30 A B:Q27 A	政治に関心がある	Q5POLINT	CIVIC INTPOL POLEFF8 POLINT POLINT1 WATCHGOV	2000 National Election Survey (NES) 2000pre 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 National Election Survey (NES) 2002pre/post 2002.1 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・ バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2005.11-2007.2 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた政治経済制度の構築」「21 世紀日本人の社会・政治意識に関する調査 (GLOPE2005-07)」 2007.4-5 朝日新聞「全国世論調査『あなたにとって政治とは』」 2009.8-10～2010.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞「2009 年衆院選-10 年参院選世論調査」 2009.10 明るい選挙推進協会「第 45 回衆議院総選挙の実態」 2011.11-12 朝日新聞「全国世論調査『あなたにとって政治とは』」(『ジャーナリズム』12.3)
A:Q30 B B:Q27 B	社会のために役立ちたい	Q5CNTSOC		2012.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
A:Q30 C B:Q27 C	自分の問題は他人に頼らず解決したい	Q5SLVPRB		
A:Q31 A B:Q28 A	意見についての賛否：性役割分担	Q4WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女と役割に関する調査」 2003.6, 2008.6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第 3 回全国家庭動向調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2004.11, 2007.8, 2009.10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.11, 2007.8, 2009.10,2012.10,2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2006.1 内閣府男女共同参画局「男女の働き方と仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する調査」 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの 変化に関する全国調査」(JLPS) 2008.7 国立社会保障・人口問題研究所「第 4 回全国家庭動向調査」 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08)

				2010,2012 内閣府「国民生活選好度調査」
A:Q31 B B:Q28 B	意見についての賛否：妻の仕事	Q4WWJBIA	FEWORK FEWORKIF	1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2002, 2004, 2007, 2009 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」(『中央調査報』06.11) 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」 2007.4 日本大学人口研究所「全国調査『仕事と家族』」(『中央調査報』08.4) 2004.11, 2007.8, 2009.10,2012.10,2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
A:Q31 C B:Q28 C	意見についての賛否：男性の家事	Q4MNCOOK	MEHHWORK	2004.11, 2007.8, 2009.10,2012.10,2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2014.8 内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」
A:Q31 D B:Q28 D	意見についての賛否：女性の幸福	Q4WNMGA	FEMARRY	2003.6, 2008.6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2004.11, 2007.8, 2009.10,2012.10,2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」(『放送研究と調査』05.5) 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2014.2-3 博報堂「地域幸せ風土調査」
A:Q31 E B:Q28 E	意見についての賛否：男性の幸福	Q4MNMGA	MEMARRY	2003.6, 2008.6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2012.3-4 明治安田生活福祉研究所「男性の幸せに関する意識調査」
A:Q31 F B:Q28 F	意見についての賛否：子どもへの影響	Q4JBMMCC	FEPRESCH KIDSUFFR	2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」
A:Q32 A B:Q29 A	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT TYPPOLIT	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS3)
A:Q32 B B:Q29 B	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF TYPFARM TYPPROF	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
A:Q32 C B:Q29 C	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV TYPSERV	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000,2003,2007,2011,2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2000 JED「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2016 総務省統計局「社会生活基本調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」

				2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」
A:Q32 D B:Q29 D	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」 2014.6 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『市民意識』」
A:Q32 E B:Q29 E	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH TYPCHURCH	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
A:Q32 F B:Q29 F	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPRTS MEMSPORT TYPSPORT	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2006,2009 内閣府「体力とスポーツに関する世論調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2009.11 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」
A:Q32 G B:Q29 G	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	MEMHOBBY MEMLIT TYPHOBBY TYPLIT	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」
A:Q32 H B*Q29 H	組織への所属：生協	MEMCOOP		2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2＋CSES3 パネル調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
A:Q33-1 B:Q30-1	信仰する宗教の有無（本人）	DORL	RELIG	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1998,2008 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2001,2005,2008 読売新聞社「宗教観」(『日本の世論』) 2003～2013 統計数理研究所「日本人の国民性」調査 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」
A:Q33-2 B:Q30-2	信仰する宗教（本人）	XXRL	RELIG	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6)

				1998,2008 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査
A:Q33-3 B:Q30-3	信仰の度合い（本人）	D03PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1998,2008 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2003～2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
A:Q34 A	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2004～2017 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストバロメーター」
A:Q34 B	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」
A:Q34 C	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.2 読売新聞社「教育」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時 系列的調査研究」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会 「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave6) 2013.10 東京大学大学院教育学研究科 中村高康研究室「教育と仕事に関する全国調査」
A:Q34 D	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時 系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007～2011 JESⅣ研究会 「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2014,2015 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストバロメーター」
A:Q34 E	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007～2011 JESⅣ研究会 「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」
A:Q34 F	組織への信頼：新聞	TR3NWSPZ	CONPRESS CONPRESY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6)

				2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.9 読売新聞社「メディア」(『日本の世論』) 2001～2005 JES Ⅲ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
A:Q34 G	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1 NHK 放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞社「3 月の世論調査『雇用・医療・クジラ・環境調査』」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2014.10 NHK 放送文化研究所「生命倫理に関する意識調査」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
A:Q34 H	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.9 読売新聞社「メディア」2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」 2013,2014,2015 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストバロメーター」
A:Q34 I	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 (WVS Wave5,Wave6) 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」

				2008.12 朝日新聞社「定期国民意識調査『あなたと法律・裁判』」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
A:Q34 J	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	
A:Q34 K	組織への信頼：国会議員	TR3CGMNZ	CONCONG CONLEGIS CONLEGIY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2007～2011 JESⅣ研究会 「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
A:Q34 L	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞社「地域住民意識」(『日本の世論』) 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」
A:Q34 M	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMYY	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感 調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3)
A:Q34 N	組織への信頼：警察	TR3COPZ	(TRTCOPS)	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第 2 回 生活者一万人アンケート調査」 2000.11 読売新聞社「治安」(『日本の世論』) 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.12 朝日新聞社「揺らぐ『生活の安全』」 2001～2005 JESⅢ研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会 「変動期における投票行動の全国的・ 時系列的調査研究」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞社「定期国民意識調査『あなたと法律・裁判』」 2009,2010 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
A:Q34 O	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave6) 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」
A:Q35	健康状態（本人）	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」

				2004,2006,2009,2014 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2007,2008,2009,2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M） 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」 2012,2013,2014 内閣府経済社会総合研究所「生活の質に関する調査」
A:Q36 A B:Q57 A	時間的なゆとり感	TMAFFL	(HRSRELAX) (RLEISURE) (TIMELEIS)	2009.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
A:Q36 B B:Q57 B	心のゆとり感	PCMIND	HARMONY (TIMERELX)	2007.12 東京都生活文化スポーツ局「健康に関する世論調査」 2008.2 時事通信社「時事世論調査」
A:Q36 C B:Q57 C	孤独感	LONELY	LONELY	
A:Q37 A B:Q38 A	希望のなさ：将来の希望が持てない	NOFUTR	HOPELESS OPTIMIST PESSIMST	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）） 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
A:Q37 B B:Q38 B	希望のなさ：目標は達成できない	NOGOAL	PESSIMST (HOPELESS)	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）） 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
A:Q38 A B:Q36 A	SF12：精神的健康：おちついた気分	SFMHPEAC	PEACEFUL ATEASE CALM FIDGETY	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）） 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
A:Q38 B B:Q36 B	SF12：精神的健康：活力にあふれる	SFMHENGY	ENERGY EXCITED	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
A:Q38 C B:Q36 C	SF12：精神的健康：おちこんだ気分	SFMHDPRS	DOWNBLUE NOCHEER SHAKEBLU	2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）） 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
A:Q39	理想的な子どもの人数（一般論）	APPCCNUM	CHLDIDEL FOURKIDS NOKIDS NUMKIDS ONEKID THREKIDS TWOKIDS	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 2000～2017 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2002～2008 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2003,2008,2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2004.2 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009.2 内閣府「アジア地域（韓国、シンガポール、日本）における少子化社会対策の比較調査」
A:Q39	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	APPCCNMX	CHLDIDEL NUMKIDS	

A:Q40	希望する子どもの性別	APPCCSXB	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3) 2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2000～2006 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2009.2 内閣府「アジア地域（韓国、シンガポール、日本）における少子化社会対策の比較調査」
A:Q41	三世代同居観	OP2GNR	AGED	2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2000～2002,2004～2016 内閣府「国民生活に関する世論調査」
A:Q42	外国人増加の賛否	QFNRINCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP (EXCLDIMM)	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1995,2003,2013 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナルアイデンティティ』」 2000.11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2004.5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2005.8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター“多文化共生に関する都市実態調査”研究会「ともに生きる住みよい町づくりアンケート」 2015.3 朝日新聞社「戦後 70 年世論調査」
A:Q43 B:Q73	人への信頼感	OP4TRUST	CANTRUST TRUST TRUST5 TRUSTY (FEWTRSTY) (TRUSTPEO)	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
A:Q44	人間観（一般）：人間の本性	OP7GDEVO	WORLD4	2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave4～Wave6) 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
A:Q45 B:Q65	留置票の記入日：月日	XXTODAY		
A:Q45 B:Q65	留置票の記入日：月	XXTODAYM		
A:Q45 B:Q65	留置票の記入日：日	XXTODAYD		
A:Q46 B:Q66	COVID-19：感染への不安	COVWRY		2020.11,2021,11 NHK 放送文化研究所「新型コロナウイルス感染症に関する世論調査」 2020.5,10 「新型コロナウイルスが社会に与えた影響に関する JHPS 特別調査の記述」
A:Q47 A	COVID-19 予防行動：20 秒以上手を洗う	CVPWASH		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 B	COVID-19 予防行動：目、鼻や口を手で触らないように気をつける	CVPNOTCH		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 C	COVID-19 予防行動：手をアルコール消毒する	CVPDINF		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 D	COVID-19 予防行動：咳エチケットを守る	CVPCGH		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 E	COVID-19 予防行動：マスクを着用する	CVPMASK		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 F	COVID-19 予防行動：換気に気をつける	CVPVENT		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 G	COVID-19 予防行動：人との距離を 1 メートル以上あける	CVPDIST		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q47 H	COVID-19 予防行動：人混みを避ける	CVPCRWD		2020.2,5 町田征己ほか「新型コロナウイルス感染症アウトブレイク時における一般市民の予防に関する考えと行動」
A:Q48 B:Q70	COVID-19 感染（一般）：本人の責任	CVRSPG		

A:Q49 B:Q71	COVID-19 感染（本人）：本人の責任	CVRSPR		
A:Q50	COVID-19 ワクチン接種	COVVAC		
A:Q51 B:Q67	COVID-19 感染の可能性	COVPROB		
A:Q52 A	COVID-19 感染拡大の影響：テレワーク	CVSTLWK		2020.6,12 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」 2020.5,10 「新型コロナウイルスが社会に与えた影響に関する JHPS 特別調査の記述」
A:Q52 B	COVID-19 感染拡大の影響：時差出勤	CVSCMT		2020.6,12 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」
A:Q52 C	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン会議・授業	CVSOLMTG		2020.6,12 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」
A:Q52 D	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン飲み会	CVSOLDRK		
A:Q52 E	COVID-19 感染拡大の影響：オンラインイベント	CVSOLEVT		
A:Q52 F	COVID-19 感染拡大の影響：食べ物などの出前・デリバリー	CVSDLV		
A:Q52 G	COVID-19 感染拡大の影響：オンライン診療	CVSOLDGN		
A:Q52 H	COVID-19 感染拡大の影響：同居家族との言い争い	CVSARGFM		
A:Q52 I	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族と会うこと	CVSVSTFM		
A:Q52 J	COVID-19 感染拡大の影響：離れて住む家族とのやりとり	CVSCOMFM		
A:Q53 1	COVID-19 感染拡大により控えたこと：公共交通機関の利用	CVRFTRNS		
A:Q53 2	COVID-19 感染拡大により控えたこと：買い物	CVRFSHOP		
A:Q53 3	COVID-19 感染拡大により控えたこと：病院での診療	CVRFMED		
A:Q53 4	COVID-19 感染拡大により控えたこと：飲食店の利用	CVRFRST		
A:Q53 5	COVID-19 感染拡大により控えたこと：宿泊を伴う旅行	CVRFTRP		
A:Q53 6	COVID-19 感染拡大により控えたこと：映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦	CVRFMOV		
A:Q53 7	COVID-19 感染拡大により控えたこと：スポーツジムやフィットネスクラブの利用	CVRFGYM		
A:Q53 8	COVID-19 感染拡大により控えたこと：美容院や理髪店などの利用	CVRFHAIR		
A:Q54 A	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：仕事量	CVCHWKVL		
A:Q54 B	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：労働時間	CVCHWKHR		
A:Q54 C	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：出張	CVCHBTRP		
A:Q54 D	COVID-19 感染拡大以前と比べての変化：収入	CVCHINC		
A:Q55 1	感染拡大により経験したこと：契約が更新されなかった	CVXNORNW		
A:Q55 2	感染拡大により経験したこと：希望退職をした	CVXRETIR		
A:Q55 3	感染拡大により経験したこと：解雇された	CVXFIRED		
A:Q55 4	感染拡大により経験したこと：新しい仕事を見つけた	CVXNEWJB		
A:Q55 5	感染拡大により経験したこと：勤務先が倒産した	CVXBNKR		

A:Q55 6	感染拡大により経験したこと：事業を縮小した（自営業）	CVXDSZ		
A:Q55 7	感染拡大により経験したこと：事業が廃業した（自営業）	CVXCLS		
A:Q55 8	感染拡大により経験したこと：その他	CVXETC		
A:Q55 9	感染拡大により経験したこと：いずれも経験していない	CVXNONE		
A:Q55 10	感染拡大により経験したこと：仕事についていなかった	CVXNEMP		
A:Q56 A B:Q68 A	感染症対策への意見：感染拡大防止か経済活動か	CVGECON		
A:Q56 B B:Q68 B	感染症対策への意見：行動追跡かプライバシーか	CVGPRV		
A:Q56 C B:Q68 C	感染症対策への意見：国境封鎖の重要性	CVGBORD		
A:Q56 D B:Q68 D	感染症対策への意見：移動制限の重要性	CVGMOVE		
A:Q57 B:Q69	COVID-19 をめぐる現在の政府の対応への評価	COVGOV		
A:Q58 1	COVID-19 の情報を知るメディア：新聞（オンライン版含む）	CVINNP		2020.5 慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室・NIRA 総合研究開発機構「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」
A:Q58 2	COVID-19 の情報を知るメディア：ラジオ	CVINRD		2020.5 慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室・NIRA 総合研究開発機構「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」
A:Q58 3	COVID-19 の情報を知るメディア：テレビ	CVINTV		2020.5 慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室・NIRA 総合研究開発機構「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」
A:Q58 4	COVID-19 の情報を知るメディア：インターネット（ウェブ記事）	CVININT		2020.5 慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室・NIRA 総合研究開発機構「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」
A:Q58 5	COVID-19 の情報を知るメディア：ソーシャルメディア（ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、ﾂｲｯﾀｰなど）	CVINSM		2020.5 慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室・NIRA 総合研究開発機構「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」
A:Q58 6	COVID-19 の情報を知るメディア：知人	CVINPN		
A:Q58 7	COVID-19 の情報を知るメディア：その他	CVINOT		
A:Q59 A B:Q75 D	近隣状況：安心して生活できる	OPNBSAFE	FEAR	
A:Q59 B B:Q75 E	近隣状況：互いに気にかけている	OPNBMTCN		
A:Q59 C B:Q75 F	近隣状況：手助けしてくれる	OPNBASS		
A:Q60 B:Q76	自宅周辺の危険な場所の有無	FEARWALK	FEAR	2002.10 内閣府「国民生活選好度調査」 2004.1 朝日新聞「定期国民意識調査」（『朝日総研リ ポート』04.4） 2004.7, 2006.12 内閣府「治安に関する世論調査」 2012.7 内閣府「治安に関する特別世論調査」
A:Q61 A	災害発生の可能性：地震	DISQUAKE		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2011.12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」
A:Q61 B	災害発生の可能性：津波	DISTSNM		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q61 C	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	DISFLOOD		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q61 D	災害発生の可能性：豪雪	DISTSNOW		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q61 E	災害発生の可能性：噴火	DISVOLC		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q61 F	災害発生の可能性：土砂災害	DISLAND		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」

A:Q61 G	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	DISNUC		2013,2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q62	災害発生に対する不安	AXDIS		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q63	自然災害時の地域の人どうしの協力	COMMDIS		2002～2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q64-1	被災経験：地震	XDSSTREQ	(LIVE1)	
A:Q64-1	被災経験：台風・水害	XDSSTRTF	(LIVE1)	
A:Q64-1	被災経験：豪雪	XDSSTRHS	(LIVE1)	
A:Q64-1	被災経験：その他	XDSSTROT	(LIVE1)	
A:Q64-1	被災経験：被害を受けたことはない	XDSSTRNE	(LIVE1)	
A:Q64-1	被災経験：津波	XDSSTRTS	(LIVE1)	
A:Q64-2	被災経験の最も長かった期間	XDSRCOV		
A:Q64-3	被災経験の時期（年）	XDSYR		
A:Q65	自然災害から緊急に避難する場所	EVCPL		
A:Q66 1	避難準備：家族との連絡方法の取り決め	EVCFCT		
A:Q66 2	避難準備：家族と落ち合う場所の取り決め	EVCFMT		
A:Q66 3	避難準備：避難所の位置の確認	EVCSHLT		
A:Q66 4	避難準備：避難所までの経路の確認	EVCROUT		
A:Q66 5	避難準備：非常持ち出し品の準備	EVCGDS		
A:Q66 6	避難準備：ハザードマップや防災マップを確認	EVCMAP		
A:Q66 7	避難準備：特に何もしていない	EVCNONE		
A:Q66 8	避難準備：その他	EVCOTHR		
A:Q67	意見への賛否：政府の復興政策	OP5GVRP		
A:Q68 A B:Q74 A	環境被害：大気汚染	ENHMAP	(CARSFAM) (ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (INDUSFAM)	1993,1996 内閣府「生活環境、生活型公害に関する世論調査」 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5)
A:Q68 B B:Q74 B	環境被害：水質汚染	ENHMWP	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (WATERFAM)	1993,1996 内閣府「生活環境、生活型公害に関する世論調査」 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5) 2005,2009,2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
A:Q68 C	環境被害：土壌汚染	ENHMSP	(GRNCON) (GRNEFFME)	2005,2009,2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
A:Q68 D	地域問題：高齢化	ENHMAGNG		
A:Q68 E	地域問題：買い物の不便さ	ENHMSHOP		
A:Q68 F	地域問題：空き家の増加	ENHMEMP		
A:Q68 G	地域問題：犯罪の増加	ENHMDCRM		
A:Q68 H	地域問題：人口の流出	ENHMDEPP		2014.8 内閣府「人口・経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」
A:Q68 I	地域問題：公共交通機関の不便さ	ENHMTRNS		
A:Q68 J	地域問題：耕作放棄地の増加	ENHMDSLD		
A:Q68 K	地域問題：鳥や獣による被害	ENHMANML		
A:Q68 L	地域問題：山林の維持管理	ENHMD		
A:Q69 1	エコ商品の利用：ソーラーパネル	DOECSLP		2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」 2010.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
A:Q69 2	エコ商品の利用：深夜電力	DOECMNP		
A:Q69 3	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	DOECWC		
A:Q69 4	エコ商品の利用：低公害車	DOECLMC	(MOREMPG)	2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
A:Q69 5	エコ商品の利用：いずれも利用していない	DOECNONE		

A:Q70 A	電気はこまめに消す	FQ4DENKI	(REDCEHME)	2007.11 朝日新聞社「定期国民意識調査・暮らしと地球環境」 2010.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」 2012.9 環境省「家庭の節電・CO2 削減行動に関する調査」
A:Q70 B	消費電力を減らす工夫	FQ4ELC	(REDCEHME)	
A:Q71	原子力政策への意見	OPNUCPOL	ENERGY FUTENRGY NUKEELEC (NUKEGEN) (NUKEFAM)	1999,2005 内閣府「エネルギーに関する世論調査」 2009.10 内閣府「原子力に関する特別世論調査」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2011.12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」 2011.12 朝日新聞社「定例 RDD 調査」 2011～2012 中央調査社「東日本大震災と原子力発電に関する全国世論調査」 2012 NHK 放送文化研究所「原発とエネルギーに関する意識調査」 2013,2017 内閣府「防災に関する世論調査」
A:Q72	放射性物質による食品汚染の不安感	AXFDRAD	(GRNCON) (ENPRBUS) (ENPRBFAM) (NUKEFAM)	2012.7 朝日新聞社「郵送調査（原発・TPP・社会保障）」
A:Q73-1 B:Q72-1	心配事を聞いてくれた人の有無	LSCON	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	1987, 1990, 1993, 1996 東京都健康長寿医療センター研究所・ミシガン大学「老研ミシガン大学 全国高齢者パネル調査」(60 歳以上) 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98)
A:Q73-2 1 B:Q72-2 1	心配事を聞いてくれた人：同居家族	LSCONFF	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 2 B:Q72-2 2	心配事を聞いてくれた人：その他の家族	LSCONRL	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 3 B:Q72-2 3	心配事を聞いてくれた人：職場の人	LSCONCL	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 4 B:Q72-2 4	心配事を聞いてくれた人：近所の人	LSCONNB	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 5 B:Q72-2 5	心配事を聞いてくれた人：友人	LSCONFR	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 6 B:Q72-2 6	心配事を聞いてくれた人：専門職の人	LSCONPR	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q73-2 7 B:Q72-2 7	心配事を聞いてくれた人：その他	LSCONOTH	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	
A:Q74 B:Q77	自分の位置する階層	OP10LVL	FAMRNK RANK	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2000～2017 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2001,2004,2007,2011,2015 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」

				2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005.3 朝日新聞社「日・韓・中・国際調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『社会的不平等』」
A:Q75	親による体罰の賛否	Q5PMSPNK	SPANKING	1995.6 経企庁「国民生活選好度調査」
A:Q76	教師による体罰の賛否	Q5TTSPNK		
A:Q77 B:Q78	先週の就労経験	XJOB1WK	CURWKPAY WORKNOW WRKSTAT	※
A:Q78-1 B:Q79-1	雇用関係	TPJB	EMPLOYER WKFAMBIZ WRKSLF	※
A:Q78-2 B:Q79-2	雇用形態	TPJBS	PARTFULL WRKTYPE	※
A:Q78-3 B:q79-3	役職	TPJOBP		※
A:Q78-4 B:Q79-4	従業員を持つ自営業者	TPJBSE	EMPLOYER NUMEMPS NUMEMPLY PAIDEMPS	2002.8 国民生活金融公庫総合研究所「自己雇用者（≒自営業者）に関する実態調査」 2003.11 リクルートワークス研究所「個人事業主（サービス業）の独立開業に関する実態調査 2004」
A:Q78-5 B:Q79-5	非正規雇用についた主な理由	TPJBNR		
A:Q79 B:Q80	就労時間数／週	XJOBHWK	HRS1 HRS2 (WORKWEEK)	※
A:Q80 B:Q81	通勤時間	SZ7CMT		
A:Q81 B:Q82	就労年数	XJOBYR	CUREMPYR EMPYEARS JOBYEAES OTHYRS YEARSJOB	※
A:Q82 B:Q83	業種（選択式）	XWPLC	INDUS10 INDUS80 INDUSTRY WORKFOR	※
A:Q83 B:Q84	職種	XXJOB	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
A:Q83 B:Q84	職種（ISCO08）	XXJE08	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
A:Q84 B:Q85	主な勤め先の種類：公益的団体	JOBNPO	WORKFOR WRKGOVT	2001,2003,2005 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
A:Q85 B:Q86	企業規模	SZTTLSTA	NUMEMPS NUMORG ORGSIZE TOTALNUM	※
A:Q86 B:Q87	本人年収：主な仕事（簡易版）	SZICOMX	REALRINC　RINCOM77 RINCOM82　RINCOM86 RINCOM91　RINCOM98 RINCOM06　RINCOME	※
A:Q87 B:Q88	労働組合加入の有無	JOINUNI	MEMUNION UNION	※
A:Q88 B:Q89	現在の仕事の満足度	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB1 SATJOB7 (WKTOPSAT)	※

A:Q89 B:Q90	現在の会社・組織での就労継続意向	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB	※
A:Q90 B:Q91	失業の可能性	OP4UNEMP	JOBLOSE LOSEJB12 WORRYJOB	2000,2001,2004,2007,2011 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2010.8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」 2001～2017 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
A:Q91 B:Q92	再就労の容易さ	OP3NEWJB	FINDNWJB JOBEASY JOBFIND JOBFIND1	1999,2003,2004,2005,2006 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2002～2004 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」 2010.8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」
A:Q92-1 B:Q93-1	副業の有無	XSJB1WK	MOONLITE SECONDWK	※
A:Q92-2 B:Q93-2	副業の数	XSJBNUM		※
A:Q92-3 B:Q93-3	副業就労時間数／週	SZSJBHWK	OTHHRS	※
A:Q92-4 B:Q93-4	副業の職種	XXSJOB		※
A:Q92-4 B:Q93-4	副業の職種（ISCO08）	XXSJE08		※
A:Q93 B:Q94	不就労の理由	TP5UNEMP	WRKSTAT	※
A:Q94 B:Q95	就労経験	XWORK	EVJOB EVWORK NEVERWK	2007 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関る全国調査」（JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1)）
A:Q95 B:Q96	離職年齢	AGESTPWK	LASTWKYR YRJOBEND	※
A:Q96 B:Q97	離職理由	XXSTPJB	LEAVEJB WHYJBEND WHYLEAVE WHYJBCT1 WHYJBCT2 WHYNOJB1 WHYNOJB2	※
A:Q97-1 B:Q98-1	前職の雇用関係	TPLSTJB	(FIRSTSLF) (WRKSLFST)	総務省統計局「労働力調査」 総務省統計局「就業構造基本調査」 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J）
A:Q97-2 B:Q98-2	前職の雇用形態	TPLSTJBS	(PARTFULL)	総務省統計局「労働力調査」 総務省統計局「就業構造基本調査」 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J）
A:Q97-3 B:Q98-3	前職の役職	TPLSTJBP		総務省統計局「労働力調査」 総務省統計局「就業構造基本調査」 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J）
A:Q98 B:Q99	前職の職種	XXLSTJB	(LASTJOB)	※
A:Q98 B:Q99	前職の職種（ISCO08）	XXLJE08	(LASTJOB)	※
A:Q99 B:Q100	前職の企業規模（6 分類）	SZSTFLS		※
A:Q100 B:Q101	求職の有無（全員）	DOLOOKJB	LOOKJOB	※
A:Q101 B:Q102	転職数	XNUMCOWK		2006,2015 厚生労働省「転職者実態調査」
A:Q102 B:Q103	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	XSPSCH	OCCTRAIN	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J） 2008 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2)）

A:Q103 B:Q104	最終学校（本人）（簡易版）	XLSTSCH		※
A:Q104 B:Q105	最終学校の卒業・中退（本人）	DOLSTSCH	DEGREE EDUC	※
A:Q104 B:Q105	在学中の場合の学年（本人）	XGRADE		※
A:Q105 B:Q106	家族人数（本人除く）	SZFFONLY	HOMPOP	厚生労働省「国民生活基礎調査」 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J）
A:Q105 B:Q106	家族人数（本人含む）	SZFFTTL	HOMPOP	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家 族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
A:Q106 1 B:Q107 1	同居家族：配偶者	COFMSS	POSSLQ	※
A:Q106 2 B:Q107 2	同居家族：あなたの子ども	COFMCC	(DAUVISIT) (KIDVISIT) (SONVISIT)	※
A:Q106 3 B:Q107 3	同居家族：子どもの配偶者	COFMCSS		※
A:Q106 4 B:Q107 4	同居家族：孫	COFMGCC		※
A:Q106 5 B:q107 5	同居家族：あなたの父親	COFMPP		※
A:Q106 6 B:Q107 6	同居家族：あなたの母親	COFMMM		※
A:Q106 7 B:Q107 7	同居家族：配偶者の父親	COFMPPL		※
A:Q106 8 B:Q107 8	同居家族：配偶者の母親	COFMMML		※
A:Q106 9 B:Q107 9	同居家族：あなたの祖父	COFMGP		※
A:Q106 10 B:Q107 10	同居家族：あなたの祖母	COFMGM		※
A:Q106 11 B:Q107 11	同居家族：配偶者の祖父	COFMGPL		※
A:Q106 12 B:Q107 12	同居家族：配偶者の祖母	COFMGML		※
A:Q106 13 B:Q107 13	同居家族：あなたの兄弟姉妹	COFMSB	(BROVISIT) (SISVISIT)	※
A:Q106 14 B:Q107 14	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	COFMSBL		※
A:Q106 15 B:Q107 15	同居家族：その他	COFMOT		※
A:Q106 16 B:Q107 16	同居家族：一人暮らし	COFMNONE		※
A:Q106 32 B:Q107 32	同居家族：孫の配偶者	COFMGCSP		※
A:Q106 45 B:Q107 45	同居家族：弟の妻	COFMBYSP		※
A:Q106 65 B:Q107 65	同居家族：弟の子	COFMBYCC		※
A:Q106 67 B:Q107 67	同居家族：妹の子	COFMSYCC		※
A:Q106 68 B:Q107 68	同居家族：甥	COFMSBCM		※
A:Q106 69 B:Q107 69	同居家族：姪	COFMSBCF		※
A:Q106 71 B:Q107 71	同居家族：父母の兄弟姉妹	COFMUNAT		※
A:Q106 73 B:Q107 73	同居家族：おじ	COFMUN		※
A:Q106 74 B:Q107 74	同居家族：おば	COFMAT		※
A:Q106 75 B:Q107 75	同居家族：おじ・おばの子	COFMUNAC		※
A:Q107 B:Q108	最も高齢の同居家族の年齢	COFMELD		※
A:Q108 B:Q109	世帯年収（簡易版）	SZHSICM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86 INCOME91	※

			INCOME98 INCOME06 REALINC	
A:Q109 B:Q110	本人年収：全体（簡易版）	SZICOMA	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOM06 RINCOME	※
A:Q110 B:Q111	最終学校（父親）（簡易版）	PLSTSCH	PADEG PAEDUC	※
A:Q110 B:Q111	最終学校（母親）（簡易版）	MLSTSCH	MADEG MAEDUC	※
A:Q111-1 B:Q112-1	子どもの人数（選択式）	CCNUMC	CHILDS	2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出 生動向基本調査」 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJ-S01） 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」（SSM2005-J） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
A:Q111-1 B:Q112-1	子どもの人数（選択式）：5人以上の場合（具体的記述）	CCNUMCX	CHILDS	2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出 生動向基本調査」 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJ-S01） 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」（SSM2005-J） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
A:Q111-2 B:Q112-2	末子：生死	CCYLIVE		
A:Q111-2 B:Q112-2	末子の年齢	CCYNG		
A:Q112 B:Q113	結婚状況	DOMARRY	MARITAL MARUNION POSSLQ	※
A:Q113 B:Q114	配偶者の年齢	SPAGEX	SPYRBORN	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J） 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJ-S01） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
A:Q114	健康状態（配偶者）	SS5HLTHZ		1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2005～2017 厚生労働省「中高年者縦断調査」
A:Q115 B:Q116	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	PSPSCH		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」（SSM2005-J）
A:Q116 B:Q117	最終学校（配偶者）（簡易版）	SLSTSCH	SPDEG SPEDUC	※
A:Q117 B:Q118	最終学校の卒業・中退（配偶者）	SSDOLSTS		※
A:Q117 B:Q118	在学中の場合の学年（配偶者）	SSXGRADE		※
A:Q118-1 B:Q119-1	先週の就労経験（配偶者）	SSJB1WK	SPWRKSTA	※
A:Q118-2 B:Q119-2	不就労の理由（配偶者）	SSTPUNEM	SPWRKSTA	
A:Q119 B:Q120	就労時間数／週（配偶者）（副業含む）	SPWRKHRS	SPHRS1 SPHRS2	※
A:Q120-1 B:Q121-1	雇用関係（配偶者）	SSTPJB		※
A:Q120-2 B:Q121-2	雇用形態（配偶者）	SSTPJBS		※
A:Q120-3 B:Q121-3	役職（配偶者）	SSTPJOBP		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）

A:Q120-4 B:Q121-4	従業員を持つ自営業者（配偶者）	SSTPJBSE		
A:Q121 B:Q122	業種（配偶者）（選択式）	SSWPLC	SPIND　SPIND10 SPIND80	※
A:Q122 B:Q123	職種（配偶者）	SSXXJOB	SPISC681　SPISCO68 SPISCO88　SPOCC SPOCC80　SPPRES SPPRES80	※
A:Q122 B:q123	職種（配偶者）（ISCO08）	SSXXJE08	SPISC681　SPISCO68 SPISCO88　SPOCC SPOCC80　SPPRES SPPRES80	※
A:Q123 B:Q124	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体	SSJBNPO	SPWRKGVT	※
A:Q124 B:Q125	企業規模（配偶者）	SSSZSTFA	SPLOCNUM	※
A:Q125 B:Q126	配偶者年収：全体（簡易版）	SSSZICA		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」（SSM95,SSM2005-J） 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y,JLPS-M）
B:Q8 A	娯楽の頻度：テレビゲーム	FQ4GAME	GAME12 GAMEGN GAMES30	2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
B:Q8 B	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト	FQ4NBS		
B:Q8 C	娯楽の頻度：宝くじ	FQ4LOTTO		2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」(『中央調査報』06.9) 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
B:Q8 D	娯楽の頻度：サッカーくじ	FQ4TOTO		
B:Q8 E	娯楽の頻度：公営ギャンブル	FQ4PGAM		
B:Q8 F	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	FQ4PACHI		2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
B:Q9	トラウマの回数	XTRAUM5Y	TRAUMA5	1996.7 生命保険文化センター「日本人の生活価値観」第 4 回調査
B:Q11	幸福度（EASS 尺度）	OP5HAPPE	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2003～2013 大阪大学社会経済研究所「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2009～2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010,2011,2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2012 朝日新聞社ジャーナリスト学校「郵送調査『日本人と絆』」 2013.9 電通こころラボ「日本人の幸福度調査」 2013.10 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
B:Q31	SF12：主観的健康状態	SFHLCND	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 2004, 2006 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」 2009.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q32 A	SF12：日常活動の困難：適度の活動	SFLMTMA	MODACT	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」

B:Q32 B	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる	SFLMTSTR	STAIRS	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q33 A	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない	SFPHUSL	DIDLESSP HLTHDAYS	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q33 B	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない	SFPHCNT	LIMITEDP	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q34 A	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない	SFMNTUSL	DIDLESSE HLTHDAYS MNTLHLTH	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q34 B	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない	SFMNTCNT	CRELESSE	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q35	SF12：痛みによる仕事の困難	SFINTFPN	PAIN (PAINARMS)	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q37	SF12：健康問題による人づきあいの困難	SFINTFSC	SOCACTS	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
B:Q39-1	慢性的な病気の有無	XCHRDIS	(HLTH10) (HLTH11) (REGDOCYR)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 1	慢性的な病気の種類：高血圧	CRHYTNS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 2	慢性的な病気の種類：糖尿病	CRDIABT	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 3	慢性的な病気の種類：脂質異常症	CRHYLPM	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 4	慢性的な病気の種類：脳血管疾患	CRCRBVAS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 5	慢性的な病気の種類：癌	CRCANCR	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 6	慢性的な病気の種類：肝疾患	CRLIVER	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 7	慢性的な病気の種類：腎臓疾患	CRKIDDIS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 8	慢性的な病気の種類：精神疾患	CRMENIL	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 9	慢性的な病気の種類：心血管疾患	CRHRTDIS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 10	慢性的な病気の種類：筋骨格系疾患	CRMSBN	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 11	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患	CRRSPROB	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 12	慢性的な病気の種類：消化器疾患	CRDGST	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 13	慢性的な病気の種類：その他	CROTHER	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 14	慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患	CRARGDIS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q39-2 15	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）	CRSENDIS	(BRKDWHY1-3)	2007～2021 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q40-1	近視	NRSGHT		
B:Q40-2	メガネやコンタクトレンズの着用	DOGLS		
B:Q41	身長：cm	HEIGHT		
B:Q42	体重：kg	BDWEIGHT	(INTRWGHT)	
B:Q44	飲酒頻度（EASS 尺度）	DO5DRINK	DRINK DRINK12 DRINK8 DRINK5 DRINK3 DRINK1 DRINK6UP DRINKMIN DRINKYR EVDRINK	厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2001～2008 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2001～2016 国立精神・神経センター精神保健研究所「薬物使用に関する全国住民調査」 2003.5 時事通信社「飲酒に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M） 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
B:Q45 A	耽溺行動：飲酒	ADALC	(DRUNK) (HLTH4)	
B:Q45 B	耽溺行動：喫煙	ADSMOKE		2010.9 日本たばこ産業「喫煙率調査」(『毎日新聞』10.9/27)
B:Q45 C	耽溺行動：ギャンブル	ADGMBL		
B:Q45 D	耽溺行動：ゲーム	ADGAME		
B:Q46	平日の歩行時間：分	WLKMIN		国際標準化身体活動質問紙環境尺度

B:Q47	中等度以上の身体活動時間	PHYACTHR		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q48	平日に座っている時間：時間	SITHR		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q48	平日に座っている時間：分	SITMIN		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q49	平日の実際の睡眠時間：時間	SLPHR		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q49	平日の実際の睡眠時間：分	SLPMIN		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q50	睡眠の質	SLPQUAL		国際標準化身体活動質問紙環境尺度
B:Q51	健康診断の受診経験	XHLTCHK		2007.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」
B:Q52	医師の診断を受けた頻度	FQ6DCTR	(GODOC) (HLTH1) (HLTH10) (HOSDIS5) (REGDOCYR)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-1	医師の診断を控えた経験	XRFDCTR	HRDSHP5 MNTLDIF (MNTLCARE)	2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
B:Q53-2 1	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い	RFDRWL		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 2	医師の診断を控えた理由：費用がかかる	RFDRCST	HRDSHP5	2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 3	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない	RFDRDIS		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 4	医師の診断を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない	RFDRDK		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
B:Q53-2 5	医師の診断を控えた理由：交通手段がない	RFDRTRNS		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
B:Q53-2 6	医師の診断を控えた理由：病院に行くのが好きではない	RFDRAVSN		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 7	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない	RFDRBSY		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 8	医師の診断を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	RFDRSLGT		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
B:Q53-2 9	医師の診断を控えた理由：保険が使えない	RFDRINS	HRDSHP6 MNTLDENY	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q53-2 10	医師の診断を控えた理由：COVID-19 に感染したくない	RFDRCV		
B:Q53-2 11	医師の診断を控えた理由：その他	RFDROTH		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q54	医療保険の種類	TPHLINS	A28188 EMPHLTH EMPHLTH1-2 EMPHPLAN HLTHCOVR HLTHINSR HLTHPLAN HLTHTYPE OTHPLAN (FRINGE1-3)	2003.11 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査 Vol.6（サラリーマンの老後のライフスタイルと生活設計に関する調査)」 2007.4 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q55 A	医療不安：必要な時に受けられない	FRMDREC		
B:Q55 B	医療不安：医療費を払えない	FRMDPAY		
B:Q56	主観的健康状態（改訂版）	SLFHLTH	HEALTH HEALTH1	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞社「第 25 回定期国民意識調査」 2004,2006,2009,2014 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2007,2008,2009,2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M) 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」

				2012,2013,2014 内閣府経済社会総合研究所「生活の質に関する調査」
B:Q58 A	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く	FRLXBATH		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
B:Q58 B	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	FRLXMSSG		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
B:Q58 C	心身の癒し：自然の中で過ごす	FRLXNATR		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
B:Q58 D	心身の癒し：ペットと過ごす	FRLXPET		
B:Q58 E	心身の癒し：体操をする	FRLXEXE	(DOSPORTS)	2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
B:Q58 F	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う	FRLXMSC	(GOMUSIC) (POPMUSIC) (RELART)	2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
B:Q59 A	東洋医療の経験：鍼	XOMDACP		
B:Q59 B	東洋医療の経験：灸	XOMDMXB		
B:Q59 C	東洋医療の経験：漢方薬	XOMDHRB		2001.12 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査 Vol.2（健康と医療に関する意識調査)」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q59 D	東洋医療の経験：指圧・マッサージ	XOMDMAS		2001.12 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査 Vol.2（健康と医療に関する意識調査)」
B:Q60	インフルエンザの予防接種の経験	XFLUVCC		
B:Q62 A	生活を楽しんでいる	ENJYLF	HAPUNHAP SATFAM SATFAM7	
B:Q62 B	健康への意識：身体の痛みが無いこと	HLTNPN		
B:Q62 C	健康への意識：心のやすらぎがあること	HLTPEAC		
B:Q62 D	健康への意識：家庭内の役割を果たせること	HLTDMST		
B:Q62 E	健康への意識：職場や社会での役割を果たせること	HLTWKPL		
B:Q63-1	介護が必要な家族の有無	CRNDFF	EXTRA1-2 HLTH6 HLTH7 TERMINAL	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.11 内閣府「高齢者の生活と意識 第 6 回国際比較調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q63-2	回答者が家族の主な介護者	CRGIVFF	CARESICK CARESIK1	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.11 内閣府「高齢者の生活と意識 第 6 回国際比較調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
B:Q64 A	年をとることへの不安：自分で自分のことができなくなる	WAGTARND		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2002.3 高齢・障害者雇用支援機構「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
B:Q64 B	年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう	WAOTHMD		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2002.3 高齢・障害者雇用支援機構「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
B:Q64 C	年をとることへの不安：経済的に依存する	WAFINDPN	TERMECON	2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2002.3 高齢・障害者雇用支援機構「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
B:Q74 C	環境被害：騒音汚染	ENHMNP		
B:Q74 D	環境被害：日照被害	ENHMSUN		
B:Q75 A	近隣状況：運動に適している	OPNBEXE		
B:Q75 B	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る	OPNBFD		
B:Q75 C	近隣状況：公共施設が整っている	OPNBPF		
B:Q115	配偶者の健康（改訂版）	SSHLTH		

末尾	調査員への質問：回答者の居住地域	AREA	COMTYPE	1997.4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2004,2005,2007,2008,2009,2012 内閣府「国民生活選好度調査」
末尾	調査員への質問：表札の有無	NAMEPLAT		
末尾	調査員への質問：回答者の居住形態	TPHOUSE	DWELLING	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」（NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08） 2000～2017 内閣府「国民生活選好度調査」 2001～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.11 内閣府「住宅に関する世論調査」 2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2015.10 内閣府「住生活に関する世論調査」
末尾	集合住宅でのオートロックの有無	AUTOLOCK		
末尾	家のインターフォンの種類	INTERCOM		
末尾	留置回収完了日	DATEB		
末尾	留置回収完了日：月	MONTHB		
末尾	留置回収完了日：日	DAYB		
末尾	ウェイト	WEIGHT		

金 政芸・沈 育萱

（第 1225 号）2021 年 1 月
〔JGSS-2021H 留置調査票Ａ票〕

文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「第 13 回 生活と意識についての国際比較調査」
「健康と暮らしについての調査」

（調査企画）日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター
（調査協力）京都大学 大学院 教育学研究科 教授　岩井八郎
（調査実施）一般社団法人　中 央 調 査 社

Q1　あなたの性別を教えてください。(AB 共通 B 票 Q1)

SEXA

1　男　性　　2　女　性

Q2　あなたの現在の年齢を教えてください。(AB 共通 B 票 Q2)

AGEB *　満 [　　] 歳

＊ 公開データでは、2020 年 12 月 31 日時点の年齢に統一した。

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q3　あなたは、平均して１日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は０(ゼロ)とご記入ください。(AB 共通 B 票 Q3)

HRTV　[　　] 時間くらい

Q4　あなたは、１カ月に何冊くらい本（マンガ、雑誌を除く）を読みますか。電子書籍も含めてお答えください。(AB 共通 B 票 Q4)

FQ5READ	0	1	2	3	4
	ほとんど読まない	１冊程度	２冊程度	３冊程度	４冊以上

Q5　あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。(AB 共通 B 票 Q5)

FQ5NEWSP	1	2	3	4	5
	ほぼ毎日	週数回	週１回程度	それ以下	まったく読まない

Q6　あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。(AB 共通 B 票 Q6)

FQ6NWSIN	1	2	3	4	5	6
	ほぼ毎日	週数回	週１回程度	それ以下	まったく読まない	インターネットは利用していない

Q7-1　次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

DOCOMPJ	**DOCOMPP**	**DOPHS**	**DOTBL**	**DONONEX**
1	2	3	4	5
パソコン（職場・学校で）	パソコン（自宅で）	携帯電話スマートフォン	タブレット	いずれも利用していない

Q7-2　あなたは、パソコンまたは携帯電話のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

DOINBRS	**DOINSHOP**	**DOINBANK**	**DOSNS**	**DOINGAME**	**DOINNONE**
1	2	3	4	5	6
情報検索	インターネットショッピング	インターネットバンキング	SNS などでの情報発信	インターネットゲーム	いずれも行なっていない

Q8　あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT	1	2	3	4	5
	週に数回以上	週に１回程度	月に１回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q9　あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。A～H のそれぞれについて、お答えください。

（AB 共通 B 票 Q7）

		ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしていない
FQ7FFDNR	A 家族と一緒の夕食	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗　濯	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物（日用品や食料品）	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7
FQ7RPH	H 家の簡単な修理（電球の交換、壁や庭の補修など）	1	2	3	4	5	6	7

Q10　あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。（AB 共通 B 票 Q43）

DOSMOKEX

1	2	3
現 在 吸っている	以前は吸って いたがやめた	ほとんど／まったく 吸ったことはない

Q11　あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど 毎 日	週 に 数 回	週 に 1回程度	月 に 1回程度	年 に 数 回	年 に 1回程度	まったく 飲まない

Q12　生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。（AB 共通 B 票 Q10）

		満足				不満	
	（ 回答例 ）	1	2	3	4	5	
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C 家 庭 生 活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY	E 友 人 関 係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F 健 康 状 態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G 配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q13　あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ

幸 せ				不幸せ
1	2	3	4	5

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q14　あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 B 票 Q12）

OWNHOUSE

1　持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
2　民間の賃貸住宅
3　社宅・公務員住宅等の給与住宅
4　公社・公団等の公営の賃貸住宅
5　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q15　あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。（AB 共通 B 票 Q13）

1　一戸建て　　2　集合住宅（アパート・マンションなど）

※調査員が記入する回収状況記入票に同じ情報（変数名：TPHOUSE）が含まれているため、公開データには含めていない。

Q16　あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。（AB 共通 B 票 Q14）

XLIVEYR

1　生まれてからずっと
2　１年未満
3　１年～３年未満
4　３年～５年未満
5　５年～10 年未満
6　10 年～20 年未満
7　20 年～30 年未満
8　30 年以上

Q17　あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。（AB 共通 B 票 Q15）

WLLIVE

1	2	3	4
ずっと住みたい	当分の間は住みたい	できれば他の地域に引越したい	すぐにも他の地域に引越したい

Q18　あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを１つ選んでください。（AB 共通 B 票 Q16）

SIZEHMT

1	2	3	4	5
大都市の中心部	大都市の郊外	中小都市	町村部	人家がまばらな農山漁村

Q19　この２～３年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。（AB 共通 B 票 Q17）

OP3ECN3A

1	2	3
良くなった	悪くなった	変わらない

Q20　世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。（AB 共通 B 票 Q18）

OP5FFINX

1	2	3	4	5
平均よりかなり少ない	平均より少ない	ほぼ平均	平均より多 い	平均よりかなり多い

Q21　あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。(AB 共通 B 票 Q19)

OPFFIX15

1	2	3	4	5
平均より かなり少ない	平均より 少ない	ほぼ平均	平均より 多 い	平均より かなり多い

Q22　今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。(AB 共通 B 票 Q20)

OP5CHNCA

1	2	3	4	5
充分にある	少しはある	どちらとも いえない	あまりない	まったくない

Q23　かりに現在の日本の社会全体を、以下の５つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。(AB 共通 B 票 Q21)

OP5LEVK

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q24　今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。(AB 共通 B 票 Q22)

AXECNSF

1	2	3	4	5
とても 感じている	ある程度 感じている	どちらとも いえない	あまり 感じていない	まったく 感じていない

Q25　日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

OPINCDIF

1	2	3	4	5	6	7
強 く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	強 く そう思わない

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q26　以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（１～５）を１つ選んでください。(AB 共通 B 票 Q23)

		個人や家族の責任				国や自治体の責任
OP5SRWFY	A　高齢者の生活保障(生活費)	1	2	3	4	5
OP5SRMDY	B　高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
OP5CCED	C　子どもの教育	1	2	3	4	5
OP5CCARE	D　保 育・育 児	1	2	3	4	5

Q27　「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。(AB 共通 B 票 Q25)

Q5GVEQAA

1	2	3	4	5
賛 成	どちらかといえば 賛 成	どちらとも いえない	どちらかといえば 反 対	反 対

Q28　政治的な考え方を、保守的から革新的までの５段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。（AB 共通 B 票 Q24）

OP5RADCA

保守的				革新的
1	2	3	4	5

Q29　現在、あなたはどの政党を支持していますか。１つだけ選んでください。（AB 共通 B 票 Q26）

XX8PLPTY

1	自民党	5	共産党	9	特に支持する政党はない
2	立憲民主党	6	国民民主党	10	わからない
3	公明党	7	社民党		
4	日本維新の会	8	その他の政党（　　）		

Q30　あなたは以下の意見についてどう思いますか。（AB 共通 B 票 Q27）

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない
Q5POLINT	A	私は、政治に対して関心がある	1	2	3	4	5
Q5CNTSOC	B	私は、社会のために役立ちたい	1	2	3	4	5
Q5SLVPRB	C	自分の問題は、できるだけ他人に頼らずに解決したい	1	2	3	4	5

Q31　次の A～F の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。（AB 共通 B 票 Q28）

			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
Q4WWHHX	A	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B	夫に充分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい	1	2	3	4
Q4MNCOOK	C	男性も身の回りのことや炊事をすべきだ	1	2	3	4
Q4WNMGA	D	なんといっても女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4MNMGA	E	なんといっても男性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4JBMMCC	F	母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える	1	2	3	4

Q32　あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。（AB 共通 B 票 Q29）

MEMPLTGP	A	政治関係の団体や会	1	はい	2	いいえ
MEMIND	B	業界団体・同業者団体	1	はい	2	いいえ
MEMVLNTR	C	ボランティアのグループ	1	はい	2	いいえ
MEMCIVIL	D	市民運動・消費者運動のグループ	1	はい	2	いいえ
MEMRL	E	宗教の団体や会	1	はい	2	いいえ
MEMSPORT	F	スポーツ関係のグループやクラブ	1	はい	2	いいえ
MEMHOBBY	G	趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）	1	はい	2	いいえ
MEMCOOP	H	消費生活協同組合（生協）	1	はい	2	いいえ

Q33-1　あなたは、信仰している宗教がありますか。（AB 共通 B 票 Q30-1）

DORL　1　あ る　　2　特に信仰していないが、家の宗教はある　　3　な い

Q33-2　それは何ですか。（AB 共通 B 票 Q30-2）

XXRL　（具体的に ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

Q33-3　あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。（AB 共通 B 票 Q30-3）

DO3PIOUS　1　熱心である
2　まあまあ熱心である
3　そんなに熱心ではない

Q34　次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

			とても信頼している	少しは信頼している	ほとんど信頼していない	わからない
TR3CORPZ	A	大企業	1	2	3	4
TR3RLGPZ	B	宗教団体	1	2	3	4
TR3SCHLZ	C	学　校	1	2	3	4
TR3BCRAZ	D	中央官庁	1	2	3	4
TR3UNNZ	E	労働組合	1	2	3	4
TR3NWSPZ	F	新　聞	1	2	3	4
TR3HSPLZ	G	病　院	1	2	3	4
TR3TVZ	H	テレビ	1	2	3	4
TR3SPCAZ	I	裁判所	1	2	3	4
TR3ACDAZ	J	学者・研究者	1	2	3	4
TR3CGMNZ	K	国会議員	1	2	3	4
TR3CITYZ	L	市区町村議会議員	1	2	3	4
TR3DEFZ	M	自衛隊	1	2	3	4
TR3COPZ	N	警　察	1	2	3	4
TR3FINZ	O	金融機関	1	2	3	4

Q35　あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ

良 い　　悪 い
1　2　3　4　5

Q36　日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。（AB 共通 B 票 Q57）

			とても感じている	ある程度感じている	あまり感じていない	まったく感じていない
TMAFFL	A	時間的なゆとり	1	2	3	4
PCMIND	B	心のゆとり	1	2	3	4
LONELY	C	孤独感	1	2	3	4

Q37　あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。（AB 共通 B 票 Q38）

		強く賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	強く反対
NOFUTR	A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない	1	2	3	4	5
NOGOAL	B 私が目指している目標は達成できないだろう	1	2	3	4	5

Q38　次にあげるのは、過去１カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。（AB 共通 B 票 Q36）

		いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない
SFMHPEAC	A おちついていて、おだやかな気分でしたか→	1	2	3	4	5
SFMHENGY	B 活力（エネルギー）にあふれていましたか→	1	2	3	4	5
SFMHDPRS	C おちこんで、ゆううつな気分でしたか→	1	2	3	4	5

Q39　一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM　0 ０人　1 １人　2 ２人　3 ３人　4 ４人　5 ５人以上（具体的に＿＿＿人）

APPCCNMX

Q40　もし、子どもを１人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB　1 男の子　2 女の子

Q41　あなたは一般に、三世代同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR　1 望ましい　2 望ましくない

Q42　あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR　1 賛 成　2 反 対

Q43　一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。（AB 共通 B 票 Q73）

OP4TRUST

1	2	3	4
ほとんどの場合、信用できる	たいていは、信用できる	たいていは、用心したほうがよい	ほとんどの場合、用心したほうがよい

Q44　人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（１～７）を１つ選んでください。

OP7GDEVO

人間の本性は本来「悪」である　1　2　3　4　5　6　7　人間の本性は本来「善」である

ここからは、新型コロナウイルスに関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q45　今日の日付をご記入ください。(AB 共通 B 票 Q65)　　月　　日

XXTODAY　　**XXTODAYM**　　**XXTODAYD**

Q46　あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染することについてどの程度不安を感じますか。
(AB 共通 B 票 Q66)

COVWRY

1	2	3	4
とても不安	ある程度不安	少し不安	まったく不安ではない

Q47　あなたは、新型コロナウイルスに対する予防として、次にあげる行動をどのくらいしていますか。
それぞれについてお答えください。

			よくする	時々する	あまりしない	まったくしない
CVPWASH	A	20 秒以上手を洗う	1	2	3	4
CVPNOTCH	B	目、鼻や口を手で触らないように気をつける	1	2	3	4
CVPDINF	C	手をアルコール消毒する	1	2	3	4
CVPCGH	D	咳エチケットを守る	1	2	3	4
CVPMASK	E	マスクを着用する	1	2	3	4
CVPVENT	F	換気に気をつける	1	2	3	4
CVPDIST	G	人との距離を１メートル以上あける	1	2	3	4
CVPCRWD	H	人混みを避ける	1	2	3	4

Q48　あなたは、新型コロナウイルスに感染した人は、本人の責任だと思いますか。(AB 共通 B 票 Q70)

CVRSPG

1	2	3	4
そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

Q49　あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまったら、ご自身の責任だと思いますか。(AB 共通 B 票 Q71)

CVRSPR

1	2	3	4
そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

Q50　あなたは、新型コロナウイルスの予防接種（ワクチン）が始まったら受けますか。

COVVAC

1	2	3	4
すぐに受ける	しばらく様子を見る	受けない	すでに受けた(臨床試験を含む)

Q51　あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染する可能性はどのくらいあると考えますか。(AB 共通 B 票 Q67)

COVPROB

大いに有りうる　　ほとんど有りえない

1　2　3　4　5　6　7



Q52 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、あなたの生活において以下の事柄に変化はありましたか。それぞれについてお答えください。

			はじめて経験した	感染拡大前より増えた	同じくらい	感染拡大前より減った	感染拡大前も今もしていない	
CVSTLWK	A	テレワーク（自宅などからインターネットで接続）	1	2	3	4	5	6 働いていない
CVSCMT	B	時差出勤	1	2	3	4	5	6 働いていない
CVSOLMTG	C	オンライン会議・授業	1	2	3	4	5	
CVSOLDRK	D	オンライン飲み会	1	2	3	4	5	
CVSOLEVT	E	オンラインイベント（芸術鑑賞やコンサートなど）	1	2	3	4	5	
CVSDLV	F	食べ物などの出前・デリバリー	1	2	3	4	5	
CVSOLDGN	G	オンライン診療	1	2	3	4	5	
CVSARGFM	H	同居家族との言い争い	1	2	3	4	5	6 一人暮らし
CVSVSFM	I	離れて住む家族と会うこと	1	2	3	4	5	6 離れて住む家族はいない
CVSCOMFM	J	離れて住む家族との電話やメールなどでのやりとり	1	2	3	4	5	6 離れて住む家族はいない

Q53 新型コロナウイルスの感染拡大により、あなたは以下のことを控えましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

CVRFTRNS	1	公共交通機関（電車やバスなど）の利用	CVRFTRP	5	宿泊を伴う旅行
CVRFSHOP	2	買い物（食料品や日用品）に出かける回数	CVRFMOV	6	映画、観劇、コンサートやスポーツ観戦
CVRFMED	3	病院での診療	CVRFGYM	7	スポーツジムやフィットネスクラブの利用
CVRFRST	4	飲食店（レストラン､居酒屋やバーなど）の利用	CVRFHAIR	8	美容院や理髪店などの利用

Q54 新型コロナウイルスの感染拡大以前と現在を比べると、あなたの仕事や収入に変化はありましたか。

			増えた		変わらない		減った		働いていない
CVCHWKVL	A	仕事量	1	·····	2	·····	3	·····	4
CVCHWKHR	B	労働時間	1	·····	2	·····	3	·····	4
CVCHBTRP	C	出　張	1	·····	2	·····	3	·····	4
CVCHINC	D	収　入	1	·····	2	·····	3	·····	4

Q55 2020年２月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、あなたは次のようなことを経験しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2020年２月以前から仕事についていなかった方は、「10」に○をつけてください。

CVXNORNW	1	契約が更新されなかった	CVXDSZ	6	事業を縮小した（自営業）
CVXRETIR	2	希望退職をした	CVXCLS	7	事業が廃業した（自営業）
CVXFIRED	3	解雇された	CVXETC	8	その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）
CVXNEWJB	4	新しい仕事を見つけた	CVXNONE	9	いずれも経験していない
CVXBNKR	5	勤務先が倒産した	CVXNEMP	10	仕事についていなかった

Q56　感染症拡大への対策について、政府は何を優先するべきだとお考えですか。以下の事柄について、あてはまる数字に○をつけてください。（AB 共通 B 票 Q68）

CVGECON　A　感染拡大防止と経済活動

感染拡大防止を優先することが重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　経済活動を優先することが重要

CVGPRV　B　個人の行動の追跡（モニタリング）とプライバシーの尊重

個人の行動を追跡（モニタリング）することが重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　プライバシーを尊重することが重要

CVGBORD　C　政府が国境を封鎖することは重要である

とても重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　まったく重要ではない

CVGMOVE　D　政府が移動を制限することは重要である

とても重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　まったく重要ではない

Q57　新型コロナウイルスをめぐる、現在の政府の対応について、あなたはどの程度評価しますか。（AB 共通 B 票 Q69）

COVGOV　1 大いに評価する　2 ある程度評価する　3 あまり評価しない　4 まったく評価しない

Q58　あなたは、新型コロナウイルスについての情報を何を通して知りますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

CVINNP　1　新　聞（オンライン版含む）
CVINRD　2　ラジオ
CVINTV　3　テレビ
CVININT　4　インターネット（ウェブ記事）
CVINSM　5　ソーシャルメディア（ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、ﾂｲｯﾀｰなど）
CVINPN　6　知　人
CVINOT　7　その他（　　）

ここからは、人付き合いやお住まいの地域の環境についておうかがいします。

Q59　あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。（AB 共通 B 票 Q75D～F）

		よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない
OPNBSAFE	A 安心して生活できる	1	2	3	4	5
OPNBMTCN	B 近所の人は、お互いに気にかけている	1	2	3	4	5
OPNBASS	C 近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる	1	2	3	4	5

Q60　あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所はありますか。（AB 共通 B 票 Q76）

FEARWALK　1　はい　　2　いいえ

Q61 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

			大いに有りうる	かなり有りうる	ある程度有りうる	ほとんど有りえない
DISQUAKE	A	地 震	1	2	3	4
DISTSNM	B	津 波	1	2	3	4
DISFLOOD	C	高潮や河川の氾濫による水害	1	2	3	4
DISTSNOW	D	豪 雪	1	2	3	4
DISVOLC	E	噴火による災害	1	2	3	4
DISLAND	F	土砂災害（地滑り、土石流など）	1	2	3	4
DISNUC	G	原子力発電所の事故	1	2	3	4

Q62 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

AXDIS

1	2	3	4
とても不安	ある程度不安	少し不安	まったく不安ではない

Q63 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS

1	2	3	4	5	6	7
強くそう思う	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	強くそう思わない

Q64-1 あなたは、自然災害によって建物や家財、人的被害を受けたことがありますか。どのような自然災害ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

＊ 津波は調査後に「その他」の記述から追加

XDSSTREQ 1 地 震 / XDSSTRTF 2 台風・水害 / XDSSTRHS 3 豪 雪 / XDSSTROT 4 その他（ ） / XDSSTRTS 津波* / XDSSTRNE 5 被害を受けたことはない

Q64-2 被災後に、ふつうの生活に戻るまで何日かかりましたか。２回以上経験した場合は、最も長かった期間についてお答えください。

XDSRCOV

1	１日以内	3	１週間程度	5	１カ月程度	7	半年程度
2	数 日	4	２週間程度	6	３カ月程度	8	１年以上

Q64-3 その被災経験はいつのことですか。

XDSYR 西暦 [ ][ ][ ][ ] 年

Q65 あなたは自然災害から緊急に避難しなければならない場合、どこに避難しますか。１つだけ○をつけてください。

EVCPL

1	避難所	5	車中泊
2	家族や親せきの家	6	自宅に留まるほうが安全だ
3	知人の家	7	安全ではないが自宅に留まる
4	ホテルや旅館など	8	その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q66 あなたやご家族は、自宅以外の場所への避難に備えて次のことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EVCFCT	1	家族との連絡方法の取り決め	**EVCGDS**	5	非常持ち出し品の準備（懐中電灯、携帯ラジオ、非常食など）
EVCFMT	2	家族と落ち合う場所の取り決め	**EVCMAP**	6	ハザードマップや防災マップを確認
EVCSHLT	3	避難所の位置の確認	**EVCNONE**	7	特に何もしていない
EVCROUT	4	避難所までの経路の確認	**EVCOTHR**	8	その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q67 「政府や地方自治体は、被災者や被災地域の実情の変化に合わせて、復興政策を定期的に見直すべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

OP5GVRP

1	2	3	4	5
賛 成	どちらかといえば賛 成	どちらともいえない	どちらかといえば反 対	反 対

Q68 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。（A～B: AB 共通 B 票 Q74A～B）

			とても深 刻	ある程度深 刻	あまり深刻ではない	まったく深刻ではない
ENHMAP	A	大気汚染	1	2	3	4
ENHMWP	B	水質汚染	1	2	3	4
ENHMSP	C	土壌汚染	1	2	3	4
ENHMAGNG	D	高齢化	1	2	3	4
ENHMSHOP	E	買い物の不便さ（店が遠いなど）	1	2	3	4
ENHMEMP	F	空き家の増加	1	2	3	4
ENHMDCRM	G	犯罪の増加	1	2	3	4
ENHMDEPP	H	人口の流出	1	2	3	4
ENHMTRNS	I	公共交通機関の不便さ	1	2	3	4
ENHMDSLD	J	耕作放棄地の増加	1	2	3	4
ENHMANML	K	鳥や獣（イノシシ、シカなど）による被害	1	2	3	4
ENHMD	L	山林の維持管理	1	2	3	4

Q69 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

DOECSLP	1	ソーラーパネル（太陽光発電）
DOECMNP	2	深夜電力（深夜電力の割引契約）
DOECWC	3	エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など
DOECLMC	4	低公害車（LPG 車やハイブリッド車、電気自動車など）
DOECNONE	5	いずれも利用していない

Q70　あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

			よくする	時々する	あまりしない	まったくしない
FQ4DENKI	A	電気は、こまめに消す	1	2	3	4
FQ4ELC	B	消費電力を減らす工夫をする	1	2	3	4

Q71　日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

OPNUCPOL

1　原子炉をさらに増やす
2　今ある原子炉は稼働し、数は増やさない
3　原子炉の数は減らすが、全廃はしない
4　原子炉を長期的にはすべて廃止する
5　原子炉を即時全廃する

Q72　あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

AXFDRAD

1	2	3	4
とても不安	ある程度不安	少し不安	まったく不安ではない

Q73-1　過去１年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。（AB 共通 B 票 Q72-1）

LSCON

1 はい
2 いいえ
3 心配事はなかった

Q73-2　それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（AB 共通 B 票 Q72-2）

LSCONFF	1	同居家族	**LSCONFR**	5	友　人
LSCONRL	2	その他の親族	**LSCONPR**	6	専門職の人（カウンセラー、ヘルパーなど）
LSCONCL	3	職場の人	**LSCONOTH**	7	その他（具体的に＿＿＿＿＿）
LSCONNB	4	近所の人			

Q74　かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか。（AB 共通 B 票 Q77）

OP10LVL

一番上　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　一番下

Q75　「親による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5PMSPNK

1	2	3	4	5
賛 成	どちらかといえば賛 成	どちらともいえない	どちらかといえば反 対	反 対

Q76　「教師による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5TTSPNK

1	2	3	4	5
賛 成	どちらかといえば賛 成	どちらともいえない	どちらかといえば反 対	反 対

あなたのお仕事について、おうかがいします。

Q77　先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。
XJOB1WK　（AB 共通 B 票 Q78）

1 仕事をした
2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ
3 仕事をしていない → 18 ページ Q93 へ

お仕事について少し詳しくおうかがいします。２つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事１つについてお答えください。

Q78-1　あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 B 票 Q79-1）
TPJB

1 雇われている人
2 会社などの役員
3 内 職
4 自家営業の手伝い
5 自営業主・自由業者

2・3・4 → Q79 へ

Q78-2　雇用形態は、この中のどれにあたりますか。
TPJBS　（AB 共通 B 票 Q79-2）
1 常時雇用の職員・従業員
2 パート・アルバイト
3 派遣社員
4 契約社員
5 嘱　託

Q78-3　役職は、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 B 票 Q79-3）
TPJOBP
1 役職なし
2 職長・班長・組長など
3 係長（係長相当）
4 課長（課長相当）
5 部長（部長相当）
6 その他の役職（具体的に＿＿＿＿＿）

Q78-4　家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。（AB 共通 B 票 Q79-4）
TPJBSE
1 はい
2 いいえ

Q78-5　現在の働き方をしている主な理由１つに○をつけてください。（AB 共通 B 票 Q79-5）
TPJBNR
1 自分の都合の良い時間に働きたいから
2 家計の補助・学費等を得たいから
3 家事・育児・介護等と両立しやすいから
4 通勤時間が短いから
5 専門的な技能等を活かせるから
6 正規の職員・従業員の仕事がないから
7 定年後の再雇用として
8 その他

Q79　あなたは、先週、残業も含めて主な仕事を合計何時間しましたか。副業を含めないでください。 先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。（AB 共通 B 票 Q80）
XJOBHWK　主な仕事を週合計で［　　］時間

Q80　あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。（AB 共通 B 票 Q81）
SZ7CMT
1 15 分未満
2 15～30 分未満
3 30 分～１時間未満
4 １時間～１時間半未満
5 １時間半以上
6 住まいと職場は同じ
7 日によって行先が違う

Q81 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。(AB 共通 B 票 Q82)

XJOBYR

自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。 [ ] 年間【1年未満の場合は0(ゼロ)とご記入ください】

Q82 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q83)

XWPLC

1 農 業	8 運輸業（旅行業含む）	15 情報・通信サービス業
2 林 業	9 卸売業	16 医療・福祉サービス業
3 漁 業	10 小売業	17 教育・研究サービス業
4 鉱 業	11 飲食店	18 法律・会計サービス業
5 建設業	12 金融・保険業	19 その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）
6 製造業	13 不動産業	20 公 務
7 電気・ガス・熱供給・水道業	14 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	

公開データでは「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」と「77 分類不能の産業」を追加

Q83 あなたは、通常そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）
(AB 共通 B 票 Q84)

XXJOB
XXJE08

（できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。）

Q84 あなたの主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。(AB 共通 B 票 Q85)

JOBNPO 1 公益的な団体 2 それ以外

Q85 あなたと同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。(AB 共通 B 票 Q86)

SZTTLSTA

1 1 人	5 30～99 人	9 1,000～1,999 人
2 2～4 人	6 100～299 人	10 2,000～9,999 人
3 5～9 人	7 300～499 人	11 1 万人以上
4 10～29 人	8 500～999 人	12 官公庁

Q86 昨年1年間のあなたの主なお仕事からの収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。(AB 共通 B 票 Q87)

SZICOMX

1 な し	7 250～350 万円未満	13 850～1,000 万円未満
2 70 万円未満	8 350～450 万円未満	14 1,000～1,200 万円未満
3 70～100 万円未満	9 450～550 万円未満	15 1,200～1,400 万円未満
4 100～130 万円未満	10 550～650 万円未満	16 1,400～1,600 万円未満
5 130～150 万円未満	11 650～750 万円未満	17 1,600 万円以上
6 150～250 万円未満	12 750～850 万円未満	

Q87　あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。(AB 共通 B 票 Q88)

JOINUNI

1	2	3
職場の労働組合に入っている	職場以外の労働組合に入っている	入っていない

Q88　現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。(AB 共通 B 票 Q89)

ST5JOB

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である

Q89　今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。(AB 共通 B 票 Q90)

WLKEEPJA

1	2	3
近いうちにやめるつもり	当 分やめるつもりはない	まったくやめるつもりはない

Q90　今後１年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。自営業主が倒産などで失職する場合も含めてお答えください。(AB 共通 B 票 Q91)

OP4UNEMP

1	2	3	4
かなりある	ある程度ある	あまりない	まったくない

Q91　もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。(AB 共通 B 票 Q92)

OP3NEWJB

1	2	3
非常に容易である	ある程度容易である	容易ではない

Q92-1　主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。(AB 共通 B 票 Q93-1)

XSJB1WK

1　はい

2　いいえ → 19 ページ Q100 へ

Q92-2　いくつ副業をしていますか。(AB 共通 B 票 Q93-2)

XSJBNUM

副業 [　　] 個

Q92-3　あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。(AB 共通 B 票 Q93-3)

SZSJBHWK

副業を週合計で [　　] 時間

Q92-4　あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。副業が複数ある場合には、主なもの１つについてお答えください。(AB 共通 B 票 Q93-4)

XXSJOB
XXSJE08

（できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。）

19 ページ Q100 へ

［現在働いていない人におたずねします］

Q93　先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。（AB 共通 B 票 Q94）

TP5UNEMP

1　失業中
2　定年で退職している・高齢のため仕事をやめている
3　学　生
4　主に家事をしている
5　心身上の事情で働けない
6　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q94　あなたは、これまでに収入をともなう仕事をしたことがありますか。（AB 共通 B 票 Q95）

XWORK

1　はい　→
2　いいえ　→ 19 ページ Q100 へ

最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きします。

Q95　最後に収入をともなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。（AB 共通 B 票 Q96）

AGESTPWK

［　　］歳

Q96　当時、あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。（AB 共通 B 票 Q97）

XXSTPJB

1　定年など退職（引退）する年齢になった
2　早期退職（引退）を選んだ
3　早期退職（引退）をさせられた
4　健康上の理由で働けなくなった
5　会社が倒産したり、職場が閉鎖された
6　解雇された
7　雇用期間や契約期間が終了した
8　仕事や労働条件等が不満だったので
9　開業や転職のため
10　家族の介護のため
11　結婚したため
12　出産・育児のため
13　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）
15　孫の世話

15 は「その他」の記述から追加したコード

Q97-1　その仕事は、大きく分けて、この中のどれでしたか。（AB 共通 B 票 Q98-1）

TPLSTJB

1 雇われている人　2 会社などの役員　3 内 職　4 自家営業の手伝い　5 自営業主・自由業者

Q97-2　当時の雇用形態は、この中のどれでしたか。（AB 共通 B 票 Q98-2）

TPLSTJBS

1　常時雇用の職員・従業員
2　パート・アルバイト
3　派遣社員
4　契約社員
5　嘱　託

Q97-3　当時の役職は、この中のどれでしたか。（AB 共通 B 票 Q98-3）

TPLSTJBP

1　役職なし
2　職長・班長・組長など
3　係長（係長相当）
4　課長（課長相当）
5　部長（部長相当）
6　その他の役職（具体的に　　）

Q98　あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）（AB 共通 B 票 Q99）

XXLSTJB
XXLJE08

（できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。）

Q99　あなたと同じ会社・組織で働いていた方は何人でしたか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ていた場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。（AB 共通 B 票 Q100）

SZSTFLS

1	2	3	4	5	6
1 人	小企業（2～29 人）	中企業（30～299 人）	大企業（300～999 人）	大手大企業（1,000 人以上）	官公庁

［全員の方におたずねします］

Q100　あなたは現在、仕事を探していますか。(AB 共通 B 票 Q101)

DOLOOKJB　　1　は い　　2　いいえ

Q101　あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。
現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。(AB 共通 B 票 Q102)

XNUMCOWK

1	2	3	4	5	6	7
0 社	1 社	2 社	3 社	4 社	5 社	6社以上

Q102　あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。(AB 共通 B 票 Q103)

XSPSCH　　1　通ったことがある　　2　通ったことがない

Q103　あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。１つだけ○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q104)

XLSTSCH

1　中学校（旧制小学校）
2　高　校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
3　高　専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）
4　短　大
5　大　学（旧制高校・大学）
6　大学院

Q104　あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。
(AB 共通 B 票 Q105)

DOLSTSCH　　**XGRADE**

1　卒 業　　2　中 退　　3　在学中（　　年生）

Q105　あなたが一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。(AB 共通 B 票 Q106)

SZFFONLY　　**SZFFTTL**

同居者 [　　] 人 ＋ あなた（１人）＝ 合計 [　　] 人

Q106　現在、あなたと一緒に住んでいる方は、どなたですか。すべてに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q107)

COFMSS	1 配偶者	**COFMMM**	6 あなたの母親	**COFMGPL**	11 配偶者の祖父
COFMCC	2 あなたの子ども	**COFMPPL**	7 配偶者の父親	**COFMGML**	12 配偶者の祖母
COFMCSS	3 子どもの配偶者	**COFMMML**	8 配偶者の母親	**COFMSB**	13 あなたの兄弟姉妹
COFMGCC	4 孫	**COFMGP**	9 あなたの祖父	**COFMSBL**	14 配偶者の兄弟姉妹
COFMPP	5 あなたの父親	**COFMGM**	10 あなたの祖母	**COFMOT**	15 その他（具体的に＿＿＿＿）
				COFMNONE	16 一人暮らし

「その他」の具体的記述から追加

COFMGCSP 孫の配偶者	COFMBYCC 弟の子	COFMSBCM 甥	COFMUNAT 父母の兄弟姉妹	COFMAT おば
COFMBYSP 弟の妻	COFMSYCC 妹の子	COFMSBCF 姪	COFMUN おじ	COFMUNAC おじ・おばの子

Q107　現在、あなたと一緒に住んでいる方の中で、最も高齢の方の年齢を教えてください。(AB 共通 B 票 Q108)

COFMELD

1　一人暮らし	4　40 歳代	7　70 歳代
2　20 歳代	5　50 歳代	8　80 歳以上
3　30 歳代	6　60 歳代	

Q108 昨年１年間のあなたの家の世帯収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入で、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。(AB 共通 B 票 Q109)

SZHSICM

1	な し	7	250～350 万円未満	13	850～1,000 万円未満
2	70 万円未満	8	350～450 万円未満	14	1,000～1,200 万円未満
3	70～100 万円未満	9	450～550 万円未満	15	1,200～1,400 万円未満
4	100～130 万円未満	10	550～650 万円未満	16	1,400～1,600 万円未満
5	130～150 万円未満	11	650～750 万円未満	17	1,600 万円以上
6	150～250 万円未満	12	750～850 万円未満		

Q109 そのうち、あなたご自身の収入は、どのくらいになりますか。仕事以外からの収入も含めてください。(AB 共通 B 票 Q110)

SZICOMA

1	な し	7	250～350 万円未満	13	850～1,000 万円未満
2	70 万円未満	8	350～450 万円未満	14	1,000～1,200 万円未満
3	70～100 万円未満	9	450～550 万円未満	15	1,200～1,400 万円未満
4	100～130 万円未満	10	550～650 万円未満	16	1,400～1,600 万円未満
5	130～150 万円未満	11	650～750 万円未満	17	1,600 万円以上
6	150～250 万円未満	12	750～850 万円未満		

Q110 あなたのご両親が最後に通った学校は、次のどれにあたりますか。わかる範囲でお答えください。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。(AB 共通 B 票 Q111)

PLSTSCH

【父親】(１つに○)

1 中学校(旧制小学校)
2 高　校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
3 高　専(高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関)
4 短　大
5 大　学(旧制高校・大学)
6 大学院
7 わからない

MLSTSCH

【母親】(１つに○)

1 中学校(旧制小学校)
2 高　校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
3 高　専(高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関)
4 短　大
5 大　学(旧制高校・大学)
6 大学院
7 わからない

Q111-1　これまでにおもちになったお子さんは何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。養子・連れ子についても含めてお答えください。(AB 共通 B 票 Q112-1)

CCNUMC　　**CCNUMCX**

0 持ったことがない　1 1 人　2 2 人　3 3 人　4 4 人　5 5人以上（具体的に＿＿＿人）

Q111-2　末子の現在の年齢を教えてください。(AB 共通 B 票 Q112-2)

CCYLIVE

1　満 [　　] 歳　　2　亡くなっている

CCYNG

Q112　あなたは結婚していますか。この中から選んでください。(AB 共通 B 票 Q113)

DOMARRY

1 現在、配偶者がいる　2 離婚した　3 死に別れた　4 結婚したことはない　5 離婚を前提に別居中　6 同棲中

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

ここからは、あなたの配偶者について、おうかがいします。

Q113　配偶者の方の現在の年齢を教えてください。(AB 共通 B 票 Q114)

SPAGEX　満 [　　] 歳

Q114　あなたの配偶者の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ

良い 1　2　3　4　5 悪い

Q115　あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。(AB 共通 B 票 Q116)

PSPSCH　1　通ったことがある　　2　通ったことがない

Q116　あなたの配偶者が最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。１つだけ○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q117)

SLSTSCH

1　中学校（旧制小学校）
2　高　校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
3　高　専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）
4　短　大
5　大　学（旧制高校・大学）
6　大学院

Q117　あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。(AB 共通 B 票 Q118)

SSDOLSTS　1　卒 業　　2　中 退　　3　在学中（　　年生）　　**SSXGRADE**

Q118-1　先週、あなたの配偶者は収入をともなう仕事をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q119-1)

SSJB1WK

1 仕事をした

2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ

3 仕事をしていない

Q118-2　先週の配偶者の方はこの中のどれにあたりますか。(AB 共通 B 票 Q119-2)

SSTPUNEM

1 失業中
2 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている
3 学　生
4 主に家事をしている
5 心身上の事情で働けない
6 その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

Q119　配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。２つ以上仕事をおもちの場合は合計の時間を教えてください。先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。(AB 共通 B 票 Q120)

SPWRKHRS　週合計で［　　］時間

Q120-1　あなたの配偶者の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。(AB 共通 B 票 Q121-1)

SSTPJB

1 雇われている人
2 会社などの役員
3 内 職
4 自家営業の手伝い
5 自営業主・自由業者

次ページ Q121 へ

Q120-2　雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJBS　(AB 共通 B 票 Q121-2)

1 常時雇用の職員・従業員
2 パート・アルバイト
3 派遣社員
4 契約社員
5 嘱　託

Q120-3　役職は、この中のどれにあたりますか。(AB 共通 B 票 Q121-3)

SSTPJOBP

1 役職なし
2 職長・班長・組長など
3 係長（係長相当）
4 課長（課長相当）
5 部長（部長相当）
6 その他の役職（具体的に＿＿＿＿）

Q120-4　家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。(AB 共通 B 票 Q121-4)

SSTPJBSE

1 はい
2 いいえ

Q121 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q122)

SSWPLC

1 農 業	8 運輸業（旅行業含む）	15 情報・通信サービス業
2 林 業	9 卸売業	16 医療・福祉サービス業
3 漁 業	10 小売業	17 教育・研究サービス業
4 鉱 業	11 飲食店	18 法律・会計サービス業
5 建設業	12 金融・保険業	19 その他(具体的に＿＿＿＿＿＿)
6 製造業	13 不動産業	20 公 務
7 電気・ガス・熱供給・水道業	14 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	

公開データでは「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」と「77 分類不能の産業」を追加

Q122 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。(たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように) (AB 共通 B 票 Q123)

SSXXJOB
SSXXJE08

(できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。)

Q123 あなたの配偶者の勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。
(AB 共通 B 票 Q124)

SSJBNPO

1 公益的な団体　　2 それ以外

Q124 配偶者の方と同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。(AB 共通 B 票 Q125)

SSSZSTFA

1 1 人	5 30～99 人	9 1,000～1,999 人
2 2～4 人	6 100～299 人	10 2,000～9,999 人
3 5～9 人	7 300～499 人	11 1 万人以上
4 10～29 人	8 500～999 人	12 官公庁

Q125 昨年1年間の配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。
(AB 共通 B 票 Q126)

SSSZICA

1 な し	7 250～350 万円未満	13 850～1,000 万円未満
2 70 万円未満	8 350～450 万円未満	14 1,000～1,200 万円未満
3 70～100 万円未満	9 450～550 万円未満	15 1,200～1,400 万円未満
4 100～130 万円未満	10 550～650 万円未満	16 1,400～1,600 万円未満
5 130～150 万円未満	11 650～750 万円未満	17 1,600 万円以上
6 150～250 万円未満	12 750～850 万円未満	

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。

（第 1225 号）2021 年 1 月
〔JGSS-2021H 留置調査票 B 票〕

文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「第 13 回 生活と意識についての国際比較調査」
「健康と暮らしについての調査」

（調査企画）日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター
（調査協力）京都大学 大学院 教育学研究科 教授　岩井八郎
（調査実施）一般社団法人　中 央 調 査 社

（Q31～37 までは次のライセンス契約の上で使用しています） SF-12v2™ Health Survey © 2009 by QualityMetric Incorporated and Shunichi Fukuhara. All rights reserved. SF-12® is a trademark of Medical Outcomes Trust. (SF-12v2 Standard, Japanese Version 2.0)

Q1　あなたの性別を教えてください。(AB 共通 A 票 Q1)

SEXA

1　男　性　　2　女　性

Q2　あなたの現在の年齢を教えてください。(AB 共通 A 票 Q2)

AGEB *　満 [　　] 歳

＊ 公開データでは、2020 年 12 月 31 日時点の年齢に統一した。

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q3　あなたは、平均して１日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は０(ゼロ)とご記入ください。(AB 共通 A 票 Q3)

HRTV　[　　] 時間くらい

Q4　あなたは、１カ月に何冊くらい本（マンガ、雑誌を除く）を読みますか。電子書籍も含めてお答えください。(AB 共通 A 票 Q4)

FQ5READ

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	１冊程度	２冊程度	３冊程度	４冊以上

Q5　あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。(AB 共通 A 票 Q5)

FQ5NEWSP

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週１回程度	それ以下	まったく読まない

Q6　あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。(AB 共通 A 票 Q6)

FQ6NWSIN

1	2	3	4	5	6
ほぼ毎日	週数回	週１回程度	それ以下	まったく読まない	インターネットは利用していない

Q7　あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。A～H のそれぞれについて、お答えください。(AB 共通 A 票 Q9)

			ほぼ毎日	週に数回	週に１回程度	月に１回程度	年に数回	年に１回程度	まったくしていない
FQ7FFDNR	A	家族と一緒の夕食	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B	友人との会食や集まり	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C	夕食の用意	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D	洗　濯	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E	買い物(日用品や食料品)	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F	家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G	ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7
FQ7RPH	H	家の簡単な修理(電球の交換、壁や庭の補修など)	1	2	3	4	5	6	7

Q8　あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

			よくする	時々する	あまりしない	まったくしない/知らない
FQ4GAME	A	テレビゲーム（PC ゲーム・携帯用を含む）	1	2	3	4
FQ4NBS	B	ナンバーズ・ミニロト・ロト６など	1	2	3	4
FQ4LOTTO	C	宝くじ	1	2	3	4
FQ4TOTO	D	サッカーくじ（BIG・toto など）	1	2	3	4
FQ4PGAM	E	公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇など）	1	2	3	4
FQ4PACHI	F	パチンコ・パチスロ	1	2	3	4

Q9　過去５年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y

0	1	2	3	4
な し	1 回	2 回	3 回	4回以上

Q10　生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（１～５）を１つ選んでください。（AB 共通 A 票 Q12）

			満足				不満	
		（ 回答例 ）	1	2	3	4	5	
ST5AREAY	A	住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B	余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C	家　庭　生　活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D	現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY	E	友　人　関　係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F	健　康　状　態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G	配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q11　全体として、あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPE

非常に幸せ				非常に不幸せ
1	2	3	4	5

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q12　あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 A 票 Q14）

OWNHOUSE

1　持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
2　民間の賃貸住宅
3　社宅・公務員住宅等の給与住宅
4　公社・公団等の公営の賃貸住宅
5　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q13　あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。（AB 共通 A 票 Q15）

1　一戸建て　　2　集合住宅（アパート・マンションなど）

※調査員が記入する回収状況記入票に同じ情報（変数名：TPHOUSE）が含まれているため、公開データには含めていない。

Q14　あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。（AB 共通 A 票 Q16）

XLIVEYR

1　生まれてからずっと	5　5年～10年未満
2　1年未満	6　10年～20年未満
3　1年～3年未満	7　20年～30年未満
4　3年～5年未満	8　30年以上

Q15　あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。（AB 共通 A 票 Q17）

WLLIVE

1	2	3	4
ずっと住みたい	当分の間は住みたい	できれば他の地域に引越したい	すぐにも他の地域に引越したい

Q16　あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを1つ選んでください。（AB 共通 A 票 Q18）

SIZEHMT

1	2	3	4	5
大都市の中心部	大都市の郊外	中小都市	町村部	人家がまばらな農山漁村

Q17　この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。（AB 共通 A 票 Q19）

OP3ECN3A

1	2	3
良くなった	悪くなった	変わらない

Q18　世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。（AB 共通 A 票 Q20）

OP5FFINX

1	2	3	4	5
平均よりかなり少ない	平均より少ない	ほぼ平均	平均より多 い	平均よりかなり多い

Q19　あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。（AB 共通 A 票 Q21）

OPFFIX15

1	2	3	4	5
平均よりかなり少ない	平均より少ない	ほぼ平均	平均より多 い	平均よりかなり多い

Q20　今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。（AB 共通 A 票 Q22）

OP5CHNCA

1	2	3	4	5
充分にある	少しはある	どちらともいえない	あまりない	まったくない

Q21　かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。（AB 共通 A 票 Q23）

OP5LEVK

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q22　今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。(AB 共通 A 票 Q24)

AXECNSF

1	2	3	4	5
とても 感じている	ある程度 感じている	どちらとも いえない	あまり 感じていない	まったく 感じていない

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q23　以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（１～５）を１つ選んでください。(AB 共通 A 票 Q26)

		個人や家族の責任				国や自治体の責任
OP5SRWFY	A　高齢者の生活保障(生活費)	1	2	3	4	5
OP5SRMDY	B　高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
OP5CCED	C　子どもの教育	1	2	3	4	5
OP5CCARE	D　保 育・育 児	1	2	3	4	5

Q24　政治的な考え方を、保守的から革新的までの５段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。(AB 共通 A 票 Q28)

OP5RADCA

保守的				革新的
1	2	3	4	5

Q25　「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。(AB 共通 A 票 Q27)

Q5GVEQAA

1	2	3	4	5
賛 成	どちらかといえば 賛 成	どちらとも いえない	どちらかといえば 反 対	反 対

Q26　現在、あなたはどの政党を支持していますか。<u>１つだけ</u>選んでください。(AB 共通 A 票 Q29)

XX8PLPTY

1	自民党	5	共産党	9	特に支持する政党はない
2	立憲民主党	6	国民民主党	10	わからない
3	公明党	7	社民党		
4	日本維新の会	8	その他の政党（　　）		

Q27　あなたは以下の意見についてどう思いますか。(AB 共通 A 票 Q30)

			よく あてはまる	あて はまる	どちらとも いえない	あて はまらない	まったく あてはまらない
Q5POLINT	A	私は、政治に対して関心がある ⟶	1	2	3	4	5
Q5CNTSOC	B	私は、社会のために役立ちたい ⟶	1	2	3	4	5
Q5SLVPRB	C	自分の問題は、できるだけ他人に頼らずに解決したい ⟶	1	2	3	4	5

Q28　次の A～F の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。（AB 共通 A 票 Q31）

			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
Q4WWHHX	A	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B	夫に充分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい	1	2	3	4
Q4MNCOOK	C	男性も身の回りのことや炊事をすべきだ	1	2	3	4
Q4WNMGA	D	なんといっても女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4MNMGA	E	なんといっても男性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4JBMMCC	F	母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える	1	2	3	4

Q29　あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。（AB 共通 A 票 Q32）

MEMPLTGP	A	政治関係の団体や会	1 はい	2 いいえ
MEMIND	B	業界団体・同業者団体	1 はい	2 いいえ
MEMVLNTR	C	ボランティアのグループ	1 はい	2 いいえ
MEMCIVIL	D	市民運動・消費者運動のグループ	1 はい	2 いいえ
MEMRL	E	宗教の団体や会	1 はい	2 いいえ
MEMSPORT	F	スポーツ関係のグループやクラブ	1 はい	2 いいえ
MEMHOBBY	G	趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）	1 はい	2 いいえ
MEMCOOP	H	消費生活協同組合（生協）	1 はい	2 いいえ

Q30-1　あなたは、信仰している宗教がありますか。（AB 共通 A 票 Q33-1）

DORL　1　ある　　2　特に信仰していないが、家の宗教はある　　3　ない

Q30-2　それは何ですか。（AB 共通 A 票 Q33-2）

XXRL　（具体的に ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

Q30-3　あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。（AB 共通 A 票 Q33-3）

DO3PIOUS　1　熱心である
2　まあまあ熱心である
3　そんなに熱心ではない

ここからは、心身の健康についておうかがいします。

Q31　あなたの健康状態は、いかがですか。

SFHLCND

1	2	3	4	5
最高に良い	とても良い	良 い	あまり良くない	良くない

Q32　以下の質問は、日常よく行なわれている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をすることがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

			とても むずかしい	少 し むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
SFLMTMA	A	適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど ⟶	1 ……	2 ……	3
SFLMTSTR	B	階段を数階上までのぼる ⟶	1 ……	2 ……	3

Q33　過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

			いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
SFPHUSL	A	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5
SFPHCNT	B	仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5

Q34　過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。

			いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
SFMNTUSL	A	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5
SFMNTCNT	B	仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5

Q35　過去１カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨げ（さまた）られましたか。

SFINTFPN

1	2	3	4	5
ぜんぜん 妨げられなかった	わずかに 妨げられた	少 し 妨げられた	かなり 妨げられた	非常に 妨げられた

Q36　次にあげるのは、過去１カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。(AB 共通 A 票 Q38)

			いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
SFMHPEAC	A	おちついていて、おだやかな気分でしたか ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5
SFMHENGY	B	活力（エネルギー）にあふれていましたか ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5
SFMHDPRS	C	おちこんで、ゆううつな気分でしたか ⟶	1 ……	2 ……	3 ……	4 ……	5

Q37　過去１カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

SFINTFSC

1	2	3	4	5
いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない

Q38　あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。(AB 共通 A 票 Q37)

		強く賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	強く反対
NOFUTR	A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない	1	2	3	4	5
NOGOAL	B 私が目指している目標は達成できないだろう	1	2	3	4	5

Q39-1　あなたは、慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。

XCHRDIS　1　はい　　2　いいえ

Q39-2　それはどのような病気または問題ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

CRHYTNS	1	高血圧	**CRMENIL**	8	精神疾患
CRDIABT	2	糖尿病	**CRHRTDIS**	9	心血管疾患（心筋梗塞、狭心症など）
CRHYLPM	3	脂質異常症（コレステロールが高い、中性脂肪が高いなど）	**CRMSBN**	10	筋骨格系疾患（関節炎、腰痛、膝痛、関節痛、リウマチなど）
CRCRBVAS	4	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）	**CRRSPROB**	11	呼吸器疾患（ぜんそく、肺気腫など）
CRCANCR	5	癌	**CRDGST**	12	消化器疾患（潰瘍など）
CRLIVER	6	肝疾患	**CROTHER**	13	その他（具体的に＿＿＿＿＿）
CRKIDDIS	7	腎臓疾患			

「その他」の具体的記述から追加

CRARGDIS　アレルギー性疾患

CRSENDIS　感覚器系疾患

Q40-1　あなたの視力についておうかがいします。あなたは近視ですか。

NRSGHT　1　はい　　2　いいえ

Q40-2　普段、メガネやコンタクトレンズを着用していますか。

DOGLS　1　はい　　2　いいえ

Q41　あなたの身長を教えてください。

HEIGHT　□□□　センチメートル

Q42　あなたの体重を教えてください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください）。

BDWEIGHT　□□□　キログラム

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。

Q43　あなたは煙草（加熱式タバコなどを含む）を吸いますか。（AB 共通 A 票 Q10）
DOSMOKEX

1	2	3
現 在 吸っている	以前は吸って いたがやめた	ほとんど／まったく 吸ったことはない

Q44　あなたは、どのくらいの頻度でお酒（アルコール含有飲料）を飲みますか。
DO5DRINK

1	2	3	4	5
毎 日	週に数回	月に数回	年に数回以下	まったく飲まない

Q45　あなたは以下のことを、まわりの人から「やりすぎだ」と注意されたことがありますか。

ADALC	A	飲 酒 ----------→	1	は い	……	2 いいえ
ADSMOKE	B	喫 煙 ----------→	1	は い	……	2 いいえ
ADGMBL	C	ギャンブル（パチンコを含む）----------→	1	は い	……	2 いいえ
ADGAME	D	テレビゲーム/ネットゲーム（携帯などもすべて含む）→	1	は い	……	2 いいえ

Q46　平日に歩いている時間は合計でどのくらいですか。「歩く」とは、職場や自宅での日常生活、別の場所への移動、気晴らし、運動、レジャー、散歩やウォーキングなどをすべて含みます。
WLKMIN

1	2	3	4	5
15 分未満	15～29 分	30～59 分	60～89 分	90 分以上

Q47　平均的な１週間では、少し息がはずむような身体活動をどのくらい行いますか。家事、子どもと遊ぶ、荷物の運搬、仕事、ジョギング、水泳、自転車、その他の運動などを含みます。歩行やウォーキングは含めないでください。
PHYACTHR

0	していない	4	約１時間	8	約５時間
1	15 分未満	5	約２時間	9	約６時間以上
2	15～29 分	6	約３時間		
3	30～59 分	7	約４時間		

Q48　平日に座っている時間はどのくらいですか。机に向かって何かをしたり、横になってテレビを見ている時間をすべて含みます。

SITHR　□□ 時間　　**SITMIN**　□□ 分

Q49　平日の実際の睡眠時間はどのくらいですか。（寝床の中にいる時間ではなく、睡眠時間のみ）

SLPHR　□□ 時間　　**SLPMIN**　□□ 分

Q50　過去１カ月間において、ご自分の睡眠の質を全体として、どのように評価しますか。
SLPQUAL

1	2	3	4
非常に良い	良 い	悪 い	非常に悪い

Q51　過去３年の間に、あなたは健康診断を受けましたか。
XHLTCHK

1	2	3
定期的に受けた	不定期に受けた	受けていない

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

Q52　過去１年間に、あなたはどのくらいの頻度で、医師の診断を受けましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください）。
FQ6DCTR

1	2	3	4	5	6
週に数回以上	週に１回程度	月に１回程度	年に数回	年に１回程度	まったくない

Q53-1　過去１年間に、病気やケガにもかかわらず、医師の診断を受けることを控（ひか）えたことがありますか。風邪や虫歯の場合も含めてお答えください。
XRFDCTR

1	2	3
控えたことがある	控えたことはない	過去１年間に病気・ケガはしていない

Q53-2　それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

RFDRWL	1	待ち時間が長い
RFDRCST	2	費用がかかる
RFDRDIS	3	病院が近くにない
RFDRDK	4	どの病院に行ったらよいかわからない
RFDRTRNS	5	交通手段がない
RFDRAVSN	6	病院に行くのは好きではない
RFDRBSY	7	忙しくて時間がない
RFDRSLGT	8	病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
RFDRINS	9	保険が使えない
RFDRCV	10	新型コロナウイルスに感染したくない
RFDROTH	11	その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q54　あなたは、どのような医療保険に入っていますか。
TPHLINS

1	2	3	4	5
公的医療保険のみ	公的医療保険と民間の医療保険	民間の医療保険のみ	医療保険には入っていない	わからない

Q55　ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

			非常に不安	やや不安	あまり不安はない	まったく不安はない
FRMDREC	A	必要なときに医療を受けられない→	1	2	3	4
FRMDPAY	B	深刻な病気にかかったときに医療費を払えない →	1	2	3	4

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q56　あらためておたずねしますが、あなたの健康状態は、いかがですか。

SLFHLTH

1	2	3	4	5
最高に良い	とても良い	良 い	普 通	良くない

Q57　日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。（AB 共通 A 票 Q36）

			とても感じている	ある程度感じている	あまり感じていない	まったく感じていない
TMAFFL	A	時間的なゆとり →	1	2	3	4
PCMIND	B	心のゆとり →	1	2	3	4
LONELY	C	孤独感 →	1	2	3	4

Q58　あなたは、次のことをどのくらい行なっていますか。

			ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	まったくしない
FRLXBATH	A	温泉・銭湯・サウナに行く →	1	2	3	4	5	6
FRLXMSSG	B	マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける →	1	2	3	4	5	6
FRLXNATR	C	自然の中で過ごす（森林浴、海・川などへ行く）→	1	2	3	4	5	6
FRLXPET	D	ペットと過ごす →	1	2	3	4	5	6
FRLXEXE	E	体操（ヨガ、ストレッチ、ピラティスなど）をする →	1	2	3	4	5	6
FRLXMSC	F	音楽を聴く・歌をうたう →	1	2	3	4	5	6

Q59　過去１年間に、あなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

XOMDACP	A	鍼（はり） →	1 はい	2 いいえ
XOMDMXB	B	灸（きゅう） →	1 はい	2 いいえ
XOMDHRB	C	漢方薬 →	1 はい	2 いいえ
XOMDMAS	D	指圧・マッサージ →	1 はい	2 いいえ

Q60　あなたは過去１年間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。

XFLUVCC

1　はい　　2　いいえ

Q61　あなたは、ご自分の生活を楽しんでいると思いますか。
ENJYLF

1　はい　　2　いいえ　　3　どちらともいえない

Q62　「健康」について考えるとき、次のそれぞれのことはどのくらい重要だと思いますか。

		非常に重要	重要	ある程度重要	重要ではない
HLTNPN	A 身体の痛みがないこと	1	2	3	4
HLTPEAC	B 心のやすらぎがあること	1	2	3	4
HLTDMST	C 家庭内の役割を果たせること	1	2	3	4
HLTWKPL	D 職場や社会での役割を果たせること	1	2	3	4

Q63-1　あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。
（あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください）
CRNDFF

1　いる → Q63-2 へ
2　いない → 次へ

Q63-2　あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。
CRGIVFF
1　はい　　2　いいえ

Q64　あなたは次の意見について、どう思いますか。

		強く賛成	賛成	どちらともいえない	反対	強く反対
WAGTARND	A 年をとるにつれて、自分で自分のことができなくなるのが心配だ	1	2	3	4	5
WAOTHMD	B 年をとるにつれて、自分のことを他の人に決めてもらわなくてはならなくなるのが心配だ	1	2	3	4	5
WAFINDPN	C 年をとるにつれて、他の人に経済的に依存しなくてはならなくなることは、大きな不安だ	1	2	3	4	5

ここからは、新型コロナウイルスに関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q65　今日の日付をご記入ください。（AB 共通 A 票 Q45）
XXTODAY　　**XXTODAYM**　月　　**XXTODAYD**　日

Q66　あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染することについてどの程度不安を感じますか。
（AB 共通 A 票 Q46）
COVWRY

1 とても不安　　2 ある程度不安　　3 少し不安　　4 まったく不安ではない

Q67　あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染する可能性はどのくらいあると考えますか。（AB 共通 A 票 Q51）
COVPROB

大いに有りうる　1　2　3　4　5　6　7　ほとんど有りえない

Q68　感染症拡大への対策について、政府は何を優先するべきだとお考えですか。以下の事柄について、あてはまる数字に○をつけてください。（AB 共通 A 票 Q56）

CVGECON　A　感染拡大防止と経済活動

感染拡大防止を優先することが重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　経済活動を優先することが重要

CVGPRV　B　個人の行動の追跡（モニタリング）とプライバシーの尊重

個人の行動を追跡（モニタリング）することが重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　プライバシーを尊重することが重要

CVGBORD　C　政府が国境を封鎖することは重要である

とても重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　まったく重要ではない

CVGMOVE　D　政府が移動を制限することは重要である

とても重要　0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　まったく重要ではない

Q69　新型コロナウイルスをめぐる、現在の政府の対応について、あなたはどの程度評価しますか。（AB 共通 A 票 Q57）

COVGOV

1	2	3	4
大いに評価する	ある程度評価する	あまり評価しない	まったく評価しない

Q70　あなたは、新型コロナウイルスに感染した人は、本人の責任だと思いますか。（AB 共通 A 票 Q48）

CVRSPG

1	2	3	4
そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

Q71　あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまったら、ご自身の責任だと思いますか。（AB 共通 A 票 Q49）

CVRSPR

1	2	3	4
そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

ここからは、人付き合いやお住まいの地域の環境についておうかがいします。

Q72-1　過去１年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。（AB 共通 A 票 Q73-1）

LSCON　1 はい　／　2 いいえ　／　3 心配事はなかった

Q72-2　それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（AB 共通 A 票 Q73-2）

LSCONFF	1	同居家族	**LSCONFR**	5	友　人
LSCONRL	2	その他の親族	**LSCONPR**	6	専門職の人（カウンセラー、ヘルパーなど）
LSCONCL	3	職場の人	**LSCONOTH**	7	その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）
LSCONNB	4	近所の人			

Q73　一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。（AB 共通 A 票 Q43）

OP4TRUST　1 ほとんどの場合、信用できる　／　2 たいていは、信用できる　／　3 たいていは、用心したほうがよい　／　4 ほとんどの場合、用心したほうがよい

Q74　あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。（A～B: AB 共通 A 票 Q68A～B）

			とても深刻	ある程度深刻	あまり深刻ではない	まったく深刻ではない
ENHMAP	A	大気汚染	1	2	3	4
ENHMWP	B	水質汚染	1	2	3	4
ENHMNP	C	騒音被害	1	2	3	4
ENHMSUN	D	日照被害	1	2	3	4

Q75　あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。（D～F:AB 共通 A 票 Q59 A～C ）

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない
OPNBEXE	A	ジョギングや散歩などの運動をするのに適している	1	2	3	4	5
OPNBFD	B	新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る	1	2	3	4	5
OPNBPF	C	公共施設（公民館・図書館・公園など）が整っている	1	2	3	4	5
OPNBSAFE	D	安心して生活できる	1	2	3	4	5
OPNBMTCN	E	近所の人は、お互いに気にかけている	1	2	3	4	5
OPNBASS	F	近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる	1	2	3	4	5

Q76　あなたの家から１キロ（徒歩 15 分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所はありますか。（AB 共通 A 票 Q60）

FEARWALK　1　はい　／　2　いいえ

Q77　かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層にわけるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか。（AB 共通 A 票 Q74）

OP10LVL　一番上　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　一番下

あなたのお仕事について、おうかがいします。

Q78　先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。
XJOB1WK　（AB 共通 A 票 Q77）

1 仕事をした
2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ
3 仕事をしていない → 18 ページ Q94 へ

お仕事について少し詳しくおうかがいします。２つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事１つについてお答えください。

Q79-1　あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 A 票 Q78-1）
TPJB

1 雇われている人
2 会社などの役員
3 内 職
4 自家営業の手伝い
5 自営業主・自由業者

3 → Q80 へ

Q79-2　雇用形態は、この中のどれにあたりますか。
TPJBS　（AB 共通 A 票 Q78-2）
1 常時雇用の職員・従業員
2 パート・アルバイト
3 派遣社員
4 契約社員
5 嘱　託

Q79-3　役職は、この中のどれにあたりますか。（AB 共通 A 票 Q78-3）
TPJOBP
1 役職なし
2 職長・班長・組長など
3 係長（係長相当）
4 課長（課長相当）
5 部長（部長相当）
6 その他の役職（具体的に＿＿＿＿＿）

Q79-4　家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。（AB 共通 A 票 Q78-4）
TPJBSE
1 はい
2 いいえ

Q79-5　現在の働き方をしている主な理由１つに○をつけてください。（AB 共通 A 票 Q78-5）
TPJBNR
1 自分の都合の良い時間に働きたいから
2 家計の補助・学費等を得たいから
3 家事・育児・介護等と両立しやすいから
4 通勤時間が短いから
5 専門的な技能等を活かせるから
6 正規の職員・従業員の仕事がないから
7 定年後の再雇用として
8 その他

Q80　あなたは、先週、残業も含めて主な仕事を合計何時間しましたか。副業を含めないでください。 先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。（AB 共通 A 票 Q79）
XJOBHWK　主な仕事を週合計で［　　］時間

Q81　あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。（AB 共通 A 票 Q80）
SZ7CMT
1 15 分未満
2 15～30 分未満
3 30 分～１時間未満
4 １時間～１時間半未満
5 １時間半以上
6 住まいと職場は同じ
7 日によって行先が違う

Q82 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。(AB 共通 A 票 Q81)

XJOBYR

自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。 [ ] 年間【1年未満の場合は0(ゼロ)とご記入ください】

Q83 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q82)

XWPLC

1 農 業	8 運輸業(旅行業含む)	15 情報・通信サービス業
2 林 業	9 卸売業	16 医療・福祉サービス業
3 漁 業	10 小売業	17 教育・研究サービス業
4 鉱 業	11 飲食店	18 法律・会計サービス業
5 建設業	12 金融・保険業	19 その他(具体的に＿＿＿＿＿＿)
6 製造業	13 不動産業	20 公 務
7 電気・ガス・熱供給・水道業	14 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	

公開データでは「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」と「77 分類不能の産業」を追加

Q84 あなたは、通常そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
(たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)
(AB 共通 A 票 Q83)

XXJOB
XXJE08

(できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。)

Q85 あなたの主な勤め先は、公益的な団体(病院、学校、市役所、非営利組織など)ですか。(AB 共通 A 票 Q84)

JOBNPO

1 公益的な団体　　2 それ以外

Q86 あなたと同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。(AB 共通 A 票 Q85)

SZTTLSTA

1 1 人	5 30～99 人	9 1,000～1,999 人
2 2～4 人	6 100～299 人	10 2,000～9,999 人
3 5～9 人	7 300～499 人	11 1 万人以上
4 10～29 人	8 500～999 人	12 官公庁

Q87 昨年1年間のあなたの主なお仕事からの収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。(AB 共通 A 票 Q86)

SZICOMX

1 な し	7 250～350 万円未満	13 850～1,000 万円未満
2 70 万円未満	8 350～450 万円未満	14 1,000～1,200 万円未満
3 70～100 万円未満	9 450～550 万円未満	15 1,200～1,400 万円未満
4 100～130 万円未満	10 550～650 万円未満	16 1,400～1,600 万円未満
5 130～150 万円未満	11 650～750 万円未満	17 1,600 万円以上
6 150～250 万円未満	12 750～850 万円未満	

Q88　あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。(AB 共通 A 票 Q87)

JOINUNI

1	2	3
職場の労働組合に入っている	職場以外の労働組合に入っている	入っていない

Q89　現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。(AB 共通 A 票 Q88)

ST5JOB

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である

Q90　今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。(AB 共通 A 票 Q89)

WLKEEPJA

1	2	3
近いうちにやめるつもり	当 分やめるつもりはない	まったくやめるつもりはない

Q91　今後１年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。自営業主が倒産などで失職する場合も含めてお答えください。(AB 共通 A 票 Q90)

OP4UNEMP

1	2	3	4
かなりある	ある程度ある	あまりない	まったくない

Q92　もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。(AB 共通 A 票 Q91)

OP3NEWJB

1	2	3
非常に容易である	ある程度容易である	容易ではない

Q93-1　主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。(AB 共通 A 票 Q92-1)

XSJB1WK

1　はい

2　いいえ → 19 ページ Q101 へ

Q93-2　いくつ副業をしていますか。(AB 共通 A 票 Q92-2)

XSJBNUM

副業 [　　] 個

Q93-3　あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。先週、休暇、病気、休業などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。(AB 共通 A 票 Q92-3)

SZSJBHWK

副業を週合計で [　　] 時間

Q93-4　あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。副業が複数ある場合には、主なもの１つについてお答えください。(AB 共通 A 票 Q92-4)

XXSJOB
XXSJE08

（できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。）

19 ページ Q101 へ

［現在働いていない人におたずねします］

Q94　先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。（AB 共通 A 票 Q93）

TP5UNEMP

1　失業中
2　定年で退職している・高齢のため仕事をやめている
3　学　生
4　主に家事をしている
5　心身上の事情で働けない
6　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q95　あなたは、これまでに収入をともなう仕事をしたことがありますか。（AB 共通 A 票 Q94）

XWORK

1　はい　→
2　いいえ　→ 19 ページ Q101 へ

最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きします。

Q96　最後に収入をともなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。（AB 共通 A 票 Q95）

AGESTPWK

［　　］歳

Q97　当時、あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。（AB 共通 A 票 Q96）

XXSTPJB

1　定年など退職（引退）する年齢になった
2　早期退職（引退）を選んだ
3　早期退職（引退）をさせられた
4　健康上の理由で働けなくなった
5　会社が倒産したり、職場が閉鎖された
6　解雇された
7　雇用期間や契約期間が終了した
8　仕事や労働条件等が不満だったので
9　開業や転職のため
10　家族の介護のため
11　結婚したため
12　出産・育児のため
13　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）
15　孫の世話

15 は「その他」の記述から追加したコード

Q98-1　その仕事は、大きく分けて、この中のどれでしたか。（AB 共通 A 票 Q97-1）

TPLSTJB

1 雇われている人　2 会社などの役員　3 内 職　4 自家営業の手伝い　5 自営業主・自由業者

Q98-2　当時の雇用形態は、この中のどれでしたか。（AB 共通 A 票 Q97-2）

TPLSTJBS

1　常時雇用の職員・従業員
2　パート・アルバイト
3　派遣社員
4　契約社員
5　嘱　託

Q98-3　当時の役職は、この中のどれでしたか。

TPLSTJBP（AB 共通 A 票 Q97-3）

1　役職なし
2　職長・班長・組長など
3　係長（係長相当）
4　課長（課長相当）
5　部長（部長相当）
6　その他の役職（具体的に　　）

Q99　あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にご記入ください。
（たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）（AB 共通 A 票 Q98）

XXLSTJB
XXLJE08

（できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。）

Q100　あなたと同じ会社・組織で働いていた方は何人でしたか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ていた場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。（AB 共通 A 票 Q99）

SZSTFLS

1	2	3	4	5	6
1 人	小企業（2～29 人）	中企業（30～299 人）	大企業（300～999 人）	大手大企業（1,000 人以上）	官公庁

［全員の方におたずねします］

Q101　あなたは現在、仕事を探していますか。(AB 共通 A 票 Q100)

DOLOOKJB　　1　は い　　2　いいえ

Q102　あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。
現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。(AB 共通 A 票 Q101)

XNUMCOWK

1	2	3	4	5	6	7
0 社	1 社	2 社	3 社	4 社	5 社	6社以上

Q103　あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。(AB 共通 A 票 Q102)

XSPSCH

1　通ったことがある　　2　通ったことがない

Q104　あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。１つだけ○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q103)

XLSTSCH

1　中学校（旧制小学校）
2　高　校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
3　高　専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）
4　短　大
5　大　学（旧制高校・大学）
6　大学院

Q105　あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。
(AB 共通 A 票 Q104)

DOLSTSCH　1　卒 業　　2　中 退　　3　在学中（　　年生）　**XGRADE**

Q106　あなたが一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。(AB 共通 A 票 Q105)

SZFFONLY　　**SZFFTTL**

同居者 [　　] 人 ＋ あなた（１人）＝ 合計 [　　] 人

Q107　現在、あなたと一緒に住んでいる方は、どなたですか。すべてに○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q106)

COFMSS	1 配偶者	**COFMMM**	6 あなたの母親	**COFMGPL**	11 配偶者の祖父
COFMCC	2 あなたの子ども	**COFMPPL**	7 配偶者の父親	**COFMGML**	12 配偶者の祖母
COFMCSS	3 子どもの配偶者	**COFMMML**	8 配偶者の母親	**COFMSB**	13 あなたの兄弟姉妹
COFMGCC	4 孫	**COFMGP**	9 あなたの祖父	**COFMSBL**	14 配偶者の兄弟姉妹
COFMPP	5 あなたの父親	**COFMGM**	10 あなたの祖母	**COFMOT**	15 その他（具体的に＿＿＿＿）
				COFMNONE	16 一人暮らし

「その他」の具体的記述から追加

COFMGCSP 孫の配偶者	COFMBYCC 弟の子	COFMSBCM 甥	COFMUNAT 父母の兄弟姉妹	COFMAT おば
COFMBYSP 弟の妻	COFMSYCC 妹の子	COFMSBCF 姪	COFMUN おじ	COFMUNAC おじ・おばの子

Q108　現在、あなたと一緒に住んでいる方の中で、最も高齢の方の年齢を教えてください。(AB 共通 A 票 Q107)

COFMELD

1　一人暮らし	4　40 歳代	7　70 歳代
2　20 歳代	5　50 歳代	8　80 歳以上
3　30 歳代	6　60 歳代	

Q109 昨年１年間のあなたの家の世帯収入は、どのくらいになりますか。税金を差し引く前の収入で、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。(AB 共通 A 票 Q108)

SZHSICM

1	な し	7	250～350 万円未満	13	850～1,000 万円未満
2	70 万円未満	8	350～450 万円未満	14	1,000～1,200 万円未満
3	70～100 万円未満	9	450～550 万円未満	15	1,200～1,400 万円未満
4	100～130 万円未満	10	550～650 万円未満	16	1,400～1,600 万円未満
5	130～150 万円未満	11	650～750 万円未満	17	1,600 万円以上
6	150～250 万円未満	12	750～850 万円未満		

Q110 そのうち、あなたご自身の収入は、どのくらいになりますか。仕事以外からの収入も含めてください。(AB 共通 A 票 Q109)

SZICOMA

1	な し	7	250～350 万円未満	13	850～1,000 万円未満
2	70 万円未満	8	350～450 万円未満	14	1,000～1,200 万円未満
3	70～100 万円未満	9	450～550 万円未満	15	1,200～1,400 万円未満
4	100～130 万円未満	10	550～650 万円未満	16	1,400～1,600 万円未満
5	130～150 万円未満	11	650～750 万円未満	17	1,600 万円以上
6	150～250 万円未満	12	750～850 万円未満		

Q111 あなたのご両親が最後に通った学校は、次のどれにあたりますか。わかる範囲でお答えください。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。(AB 共通 A 票 Q110)

PLSTSCH

【父親】(１つに○)

1 中学校(旧制小学校)
2 高　校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
3 高　専(高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関)
4 短　大
5 大　学(旧制高校・大学)
6 大学院
7 わからない

MLSTSCH

【母親】(１つに○)

1 中学校(旧制小学校)
2 高　校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
3 高　専(高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関)
4 短　大
5 大　学(旧制高校・大学)
6 大学院
7 わからない

Q112-1　これまでにおもちになったお子さんは何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。養子・連れ子についても含めてお答えください。(AB 共通 A 票 Q111-1)

CCNUMC　　**CCNUMCX**

0 持ったことがない　1 1 人　2 2 人　3 3 人　4 4 人　5 5人以上（具体的に＿＿＿人）

Q111-2　末子の現在の年齢を教えてください。(AB 共通 A 票 Q111-2)

CCYLIVE

1　満 [　　] 歳　　2　亡くなっている

CCYNG

Q113　あなたは結婚していますか。この中から選んでください。(AB 共通 A 票 Q112)

DOMARRY

1 現在、配偶者がいる　2 離婚した　3 死に別れた　4 結婚したことはない　5 離婚を前提に別居中　6 同棲中

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

ここからは、あなたの配偶者について、おうかがいします。

Q114　配偶者の方の現在の年齢を教えてください。(AB 共通 A 票 Q113)

SPAGEX

満 [　　] 歳

Q115　あなたの配偶者の健康状態は、いかがですか。

SSHLTH

1 最高に良い　2 とても良い　3 良 い　4 普 通　5 良くない

Q116　あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）は含めないでください。(AB 共通 A 票 Q115)

PSPSCH　1　通ったことがある　　2　通ったことがない

Q117　あなたの配偶者が最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。１つだけ○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q116)

SLSTSCH

1　中学校（旧制小学校）
2　高　校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
3　高　専（高等専門学校：工業分野を中心として、中学卒業後に入る５年一貫の高等教育機関）
4　短　大
5　大　学（旧制高校・大学）
6　大学院

Q118　あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。(AB 共通 A 票 Q117)

SSXGRADE

SSDOLSTS　1　卒 業　　2　中 退　　3　在学中（　　年生）

Q119-1　先週、あなたの配偶者は収入をともなう仕事をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q118-1)

SSJB1WK

1 仕事をした

2 仕事をもっているが、休暇、病気、育児・介護休業などで先週は仕事をすべて休んだ

3 仕事をしていない

Q119-2　先週の配偶者の方はこの中のどれにあたりますか。(AB 共通 A 票 Q118-2)

SSTPUNEM

1 失業中
2 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている
3 学　生
4 主に家事をしている
5 心身上の事情で働けない
6 その他（具体的に＿＿＿＿＿＿）

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

Q120　配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。２つ以上仕事をおもちの場合は合計の時間を教えてください。先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態についてお答えください。(AB 共通 A 票 Q119)

SPWRKHRS　週合計で［　　］時間

Q121-1　あなたの配偶者の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。(AB 共通 A 票 Q120-1)

SSTPJB

1 雇われている人
2 会社などの役員
3 内 職
4 自家営業の手伝い
5 自営業主・自由業者

次ページ Q122 へ

Q121-2　雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJBS　(AB 共通 A 票 Q120-2)

1 常時雇用の職員・従業員
2 パート・アルバイト
3 派遣社員
4 契約社員
5 嘱　託

Q121-3　役職は、この中のどれにあたりますか。(AB 共通 A 票 Q120-3)

SSTPJOBP

1 役職なし
2 職長・班長・組長など
3 係長（係長相当）
4 課長（課長相当）
5 部長（部長相当）
6 その他の役職（具体的に＿＿＿＿）

Q121-4　家族以外に従業員を雇っていますか（アルバイトを含みます）。(AB 共通 A 票 Q120-4)

SSTPJBSE

1 はい
2 いいえ

Q122 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q121)

SSWPLC

1 農 業	8 運輸業（旅行業含む）	15 情報・通信サービス業
2 林 業	9 卸売業	16 医療・福祉サービス業
3 漁 業	10 小売業	17 教育・研究サービス業
4 鉱 業	11 飲食店	18 法律・会計サービス業
5 建設業	12 金融・保険業	19 その他(具体的に＿＿＿＿＿＿)
6 製造業	13 不動産業	20 公 務
7 電気・ガス・熱供給・水道業	14 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	

公開データでは「19 その他」を削除し、その具体的記述から「19 その他のサービス業」と「77 分類不能の産業」を追加

Q123 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にご記入ください。(たとえば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転手、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピューターのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)(AB 共通 A 票 Q122)

SSXXJOB
SSXXJE08

(できるだけ詳しく具体的にご記入ください。会社名をお答えいただく必要はございません。)

Q124 あなたの配偶者の勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織など）ですか。(AB 共通 A 票 Q123)

SSJBNPO 1 公益的な団体 2 それ以外

Q125 配偶者の方と同じ会社・組織で働いている方は何人ですか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、官公庁に○をつけてください。ただし、公社は官公庁ではありません。(AB 共通 A 票 Q124)

SSSZSTFA

1 1 人	5 30～99 人	9 1,000～1,999 人
2 2～4人	6 100～299 人	10 2,000～9,999 人
3 5～9人	7 300～499 人	11 1万人以上
4 10～29 人	8 500～999 人	12 官公庁

Q126 昨年1年間の配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。(AB 共通 A 票 Q125)

SSSZICA

1 な し	7 250～350 万円未満	13 850～1,000 万円未満
2 70 万円未満	8 350～450 万円未満	14 1,000～1,200 万円未満
3 70～100 万円未満	9 450～550 万円未満	15 1,200～1,400 万円未満
4 100～130 万円未満	10 550～650 万円未満	16 1,400～1,600 万円未満
5 130～150 万円未満	11 650～750 万円未満	17 1,600 万円以上
6 150～250 万円未満	12 750～850 万円未満	

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。

◎ 健康と暮らしについての調査（JGSS-2021H） ◎

（回収状況記入票）

支 局	地 点	対 象 数	点 検

2021年1月

一般社団法人　中央調査社

◎　対象地点の全体的な地域の様子を、以下の中から１つ選んでください。

AREA

1　工場の多い地域
2　商店・事業所の多い地域
3　主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
4　主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
5　農山漁村
6　その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

◎　対象№ごとに、住居形態から欠票理由までを記入してください。

紙を開いて縦向きにして記入

対象№	NAMEPLAT 【全員に】 表札の有無 *集合住宅ではﾎﾟｽﾄの名札も含む （○は１つ）	TPHOUSE 【全員に】 住居形態 （○は１つ）	AUTOLOCK 【集合住宅の方に】 オートロック か、否か （○は１つ）	INTERCOM 【全員に】 家のインターフォンの種類 *集合住宅の入口がｵｰﾄﾛｯｸの場合は そのｲﾝﾀｰﾌｫﾝの種類（○は１つ）	【全員に】 完了・欠票 （○は１つ）	【全員に】 完了の場合：回収日 欠票の場合：欠票決定日	【欠票の方に】 欠票理由 （主な理由に○は１つ）
０１	**1** あ　り **2** な　し	**1** 一戸建て **2** 集合住宅 **3** 不　明	**1** オートロック **2** オートロックではない	**1** カメラ付きインターフォン **2** カメラなしインターフォン **3** チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) **4** チャイムもなし	**1** 完　了 **2** 欠　票	MONTHB　DAYB □□月□□日 回収（又は欠票決定）	**1** 住所不明 **2** 転　居 **3** 長期不在 **4** 一時不在 **5** 拒　否 **6** 病気・ケガ 聴力/言語障害 **7** 入院中・入所中 **8** 死　亡 **9** そ の 他 （具体的に ）
０２	**1** あ　り **2** な　し	**1** 一戸建て **2** 集合住宅 **3** 不　明	**1** オートロック **2** オートロックではない	**1** カメラ付きインターフォン **2** カメラなしインターフォン **3** チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) **4** チャイムもなし	**1** 完　了 **2** 欠　票	□□月□□日 回収（又は欠票決定）	**1** 住所不明 **2** 転　居 **3** 長期不在 **4** 一時不在 **5** 拒　否 **6** 病気・ケガ 聴力/言語障害 **7** 入院中・入所中 **8** 死　亡 **9** そ の 他 （具体的に ）

対象No.	【全員に】 表札の有無 *集合住宅ではポストの名札も含む （○は１つ）	【全員に】 住居形態 （○は１つ）	【集合住宅の方に】 オートロック か、否か （○は１つ）	【全員に】 家のインターフォンの種類 *集合住宅の入口がオートロックの場合は そのインターフォンの種類（○は１つ）	【全員に】 完了・欠票 （○は１つ）	【全員に】 完了の場合：回収日 欠票の場合：欠票決定日	【欠票の方に】 欠票理由 （主な理由に○は１つ）	
０３	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロックではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ（インターフォンなし） ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	月 日 回収（又は欠票決定）	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 （具体的に ）	(35)-(46)
０４	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロックではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ（インターフォンなし） ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	月 日 回収（又は欠票決定）	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 （具体的に ）	(47)-(58)
０５	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロックではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ（インターフォンなし） ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	月 日 回収（又は欠票決定）	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 （具体的に ）	(59)-(70)
０６	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロックではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ（インターフォンなし） ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	月 日 回収（又は欠票決定）	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 （具体的に ）	(71)-(82)
０７	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロックではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ（インターフォンなし） ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	月 日 回収（又は欠票決定）	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 （具体的に ）	(83)-(94)

対象No.	【全員に】 表札の有無 *集合住宅ではﾎﾟｽﾄの名札も含む （○は１つ）	【全員に】 住居形態 （○は１つ）	【集合住宅の方に】 オートロック か、否か （○は１つ）	【全員に】 家のインターフォンの種類 *集合住宅の入口がｵｰﾄﾛｯｸの場合は そのｲﾝﾀｰﾌｫﾝの種類（○は１つ）	【全員に】 完了・欠票 （○は１つ）	【全員に】 完了の場合：回収日 欠票の場合：欠票決定日	【欠票の方に】 欠票理由 （主な理由に○は１つ）	
０８	1 あ り 2 な し	1 一戸建て 2 集合住宅 3 不 明	1 オートロック 2 オートロックではない	1 カメラ付きインターフォン 2 カメラなしインターフォン 3 チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) 4 チャイムもなし	1 完 了 2 欠 票	月 日 回収(又は欠票決定)	1 住所不明 2 転 居 3 長期不在 4 一時不在 5 拒 否 6 病気・ケガ 聴力/言語障害 7 入院中・入所中 8 死 亡 9 そ の 他 (具体的に)	(11)-(22)
０９	1 あ り 2 な し	1 一戸建て 2 集合住宅 3 不 明	1 オートロック 2 オートロックではない	1 カメラ付きインターフォン 2 カメラなしインターフォン 3 チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) 4 チャイムもなし	1 完 了 2 欠 票	月 日 回収(又は欠票決定)	1 住所不明 2 転 居 3 長期不在 4 一時不在 5 拒 否 6 病気・ケガ 聴力/言語障害 7 入院中・入所中 8 死 亡 9 そ の 他 (具体的に)	(23)-(34)
１０	1 あ り 2 な し	1 一戸建て 2 集合住宅 3 不 明	1 オートロック 2 オートロックではない	1 カメラ付きインターフォン 2 カメラなしインターフォン 3 チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) 4 チャイムもなし	1 完 了 2 欠 票	月 日 回収(又は欠票決定)	1 住所不明 2 転 居 3 長期不在 4 一時不在 5 拒 否 6 病気・ケガ 聴力/言語障害 7 入院中・入所中 8 死 亡 9 そ の 他 (具体的に)	(35)-(46)
１１	1 あ り 2 な し	1 一戸建て 2 集合住宅 3 不 明	1 オートロック 2 オートロックではない	1 カメラ付きインターフォン 2 カメラなしインターフォン 3 チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) 4 チャイムもなし	1 完 了 2 欠 票	月 日 回収(又は欠票決定)	1 住所不明 2 転 居 3 長期不在 4 一時不在 5 拒 否 6 病気・ケガ 聴力/言語障害 7 入院中・入所中 8 死 亡 9 そ の 他 (具体的に)	(47)-(58)
１２	1 あ り 2 な し	1 一戸建て 2 集合住宅 3 不 明	1 オートロック 2 オートロックではない	1 カメラ付きインターフォン 2 カメラなしインターフォン 3 チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) 4 チャイムもなし	1 完 了 2 欠 票	月 日 回収(又は欠票決定)	1 住所不明 2 転 居 3 長期不在 4 一時不在 5 拒 否 6 病気・ケガ 聴力/言語障害 7 入院中・入所中 8 死 亡 9 そ の 他 (具体的に)	(59)-(70)

(8) (9)=02
(10)=skip

対象No.	【全員に】 表札の有無 *集合住宅ではﾎﾟｽﾄの名札も含む （○は１つ）	【全員に】 住居形態 （○は１つ）	【集合住宅の方に】 オートロック か、否か （○は１つ）	【全員に】 家のインターフォンの種類 *集合住宅の入口がｵｰﾄﾛｯｸの場合は そのｲﾝﾀｰﾌｫﾝの種類（○は１つ）	【全員に】 完了・欠票 （○は１つ）	【全員に】 完了の場合：回収日 欠票の場合：欠票決定日	【欠票の方に】 欠票理由 （主な理由に○は１つ）	
１３	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロック ではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	□□月□□日 回収(又は欠票決定)	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 (具体的に)	(71)-(82)
１４	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロック ではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	□□月□□日 回収(又は欠票決定)	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 (具体的に)	(83)-(94)
１５	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロック ではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	□□月□□日 回収(又は欠票決定)	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 (具体的に)	(8)(9)=03 (10)=skip (11)-(22)
１６	１ あ り ２ な し	１ 一戸建て ２ 集合住宅 ３ 不 明	１ オートロック ２ オートロック ではない	１ カメラ付きインターフォン ２ カメラなしインターフォン ３ チャイムのみ(ｲﾝﾀｰﾌｫﾝなし) ４ チャイムもなし	１ 完 了 ２ 欠 票	□□月□□日 回収(又は欠票決定)	１ 住所不明 ２ 転 居 ３ 長期不在 ４ 一時不在 ５ 拒 否 ６ 病気・ケガ 聴力/言語障害 ７ 入院中・入所中 ８ 死 亡 ９ そ の 他 (具体的に)	(23)-(34)

◎　以上で、記入は終わりです　◎

文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「第 13 回 生活と意識についての国際比較調査」

「健康と暮らしについての調査」ご協力のお願い

大阪商業大学 JGSS 研究センターは、文部科学省や科学研究費の研究助成を受けて、1999 年から継続して調査研究を行なってきました。今回、第 13 回目の調査を実施するにあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜(たまわ)りたく、このような書面をお送りしました。

この調査の目的は、日本人の健康や暮らしに関する意識について、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元(かんげん)することです。この調査は、学術調査として、文部科学省の共同利用・共同研究拠点形成事業費と日本学術振興会の科学研究費の助成を受けて行なわれております。調査の結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用されます。今までに、38 万人以上の研究者や学生がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることは決してございません。調査の実施を委託しております一般社団法人中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 1 月下旬から 2 月下旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、質問用紙を配付させていただきます。調査員はマスクを着用するなど、ウイルス感染予防に取り組みながら稼働いたします。

なお、同封のクオカード(300 円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらにクオカード(700 円分)をご用意しております。

この調査の詳細やご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2021 年 1 月

「生活と意識についての国際比較調査」研究代表
谷岡 一郎(大阪商業大学 学長・教授)
岩井 紀子(大阪商業大学 JGSS 研究センター長)
[調査協力]
岩井 八郎(京都大学大学院 教育学研究科 教授)

文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「第１３回 生活と意識についての国際比較調査」

「健康と暮らしについての調査」について

（調査企画）大阪商業大学 JGSS 研究センター
（調査協力）京都大学 大学院 教育学研究科 教授　岩井八郎
（調査実施）一般社団法人　中 央 調 査 社

調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省と科学研究費の研究助成を受けて行なわれています。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外の教育・研究機関、行政機関で活用され、日本人の健康・暮らしに対する考え方や、現代社会の問題が分析されます。

調査の時期

調査は 1 月下旬から 2 月下旬までの約 4 週間に全国いっせいに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、質問用紙の配付にうかがいます。調査員は調査員証を携帯し、時節柄、マスク着用などのウイルス感染予防に取り組みながら稼働いたします。



ご協力をお願いする回答者の皆様

日本に在住する満 20～89 歳の 6,600 人の方々が対象です。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民基本台帳を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきというように、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

お問い合わせ先

○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

一般社団法人 中央調査社　　E-mail: office@crs.or.jp
〒104-8179 東京都中央区銀座 5-15-8　　TEL:0120-48-5351（フリーダイヤル）
【平日　9：00～17：00】

○調査の趣旨や内容についてのご質問

【平日　10：00～17：00】
大阪商業大学 学術研究事務室　　E-mail: jgss@daishodai.ac.jp
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10　　TEL: 06-6785-6139

京都大学 大学院 教育学研究科　　E-mail: iwai.hachiro.2r@kyoto-u.ac.jp
〒606-8501 京都市左京区吉田本町　　TEL: 075-753-3003

学内立ち入り制限で自宅からのオンライン授業のため教育学研究科からの転送電話に出られない場合は、折り返しご連絡しますので、研究科にご伝言ください。またはメールでお尋ねください。

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

[Q&A] よくあるご質問と回答

◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 440 箇所を選び、それぞれの地点で約 15 人の方々（合計で 6,600 人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民基本台帳を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、台帳から何人おきというように、まったく無作為に選ばれています。

◇ 調査員はいつ来るの？　どんな調査方法？

1 月下旬から 2 月下旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

◇ どんな質問？

健康や暮らしに関する意識、お仕事、家族・友人関係などについてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省の共同利用・共同研究拠点形成事業費と科学研究費の研究助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。健康や暮らしに対する皆様の考え方などをアンケートの形でたずね、基礎的なデータ（資料）を集めます。調査はおよそ 2 年に 1 回、継続して行なわれ、今回で 13 回目となります。調査結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関や行政において活用されており、今までに、38 万人以上の研究者や学生がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

◇ 自分の代わりに家族が記入してもいい？

正確な統計を得るために、必ずお願いしたご本人様に回答をお願いいたします。

◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡（フリーダイヤル:0120-48-5351）いただければ幸いです。

◇ 答えたくない質問は？

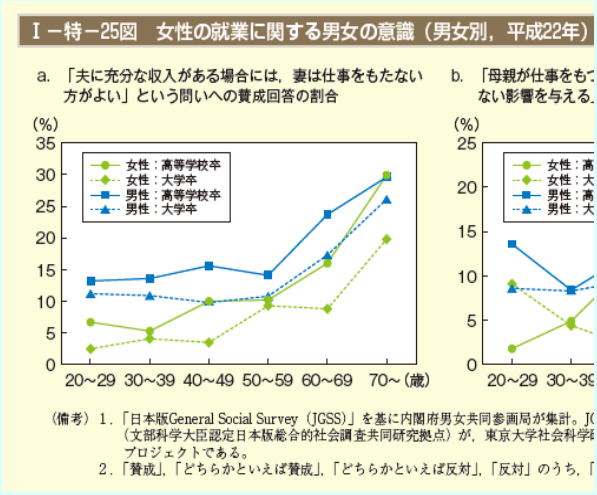
どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。

◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約 1 年半後に、回答分布をまとめた基礎集計表が公表されます。JGSS プロジェクトから得られたこれまでの調査結果は、『日本人の姿』（有斐閣）、『日本人の意識と行動』（東京大学出版会）、『データで見る東アジアの家族観』（ナカニシヤ出版）などの刊行物として公表しています。調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ（https://jgss.daishodai.ac.jp/）に掲載しています。調査の結果は、さまざまな新聞やテレビでも取り上げられています。行政機関の白書でも参照されています。







『平成 26 年版　男女共同参画白書』（内閣府）

◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する一般社団法人中央調査社は、適正なプライバシー保護を行なっている機関の証となる「プライバシーマーク」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、誰にアンケートが行なわれたか、第三者に知られることは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、「専門社会調査士」（一般社団法人社会調査協会の認定）が指導にあたります。

回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果から回答者個人を特定することはできません。個人情報は一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができております。2003 年 11 月 28 日には、（財）日本統計協会から「統計活動奨励賞」を受賞しています。



○この調査は、大阪商業大学研究活動管理・監査委員会の承認を得ました（承認番号：研究倫理審査 2020－2）。
○研究倫理についての連絡先：大阪商業大学研究活動管理・監査委員会（事務局学長企画室気付）
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10　TEL 06-6781-0381（代表）

これまでの JGSS プロジェクトの調査結果の一部

日本人はよく運動する
ようになったの？

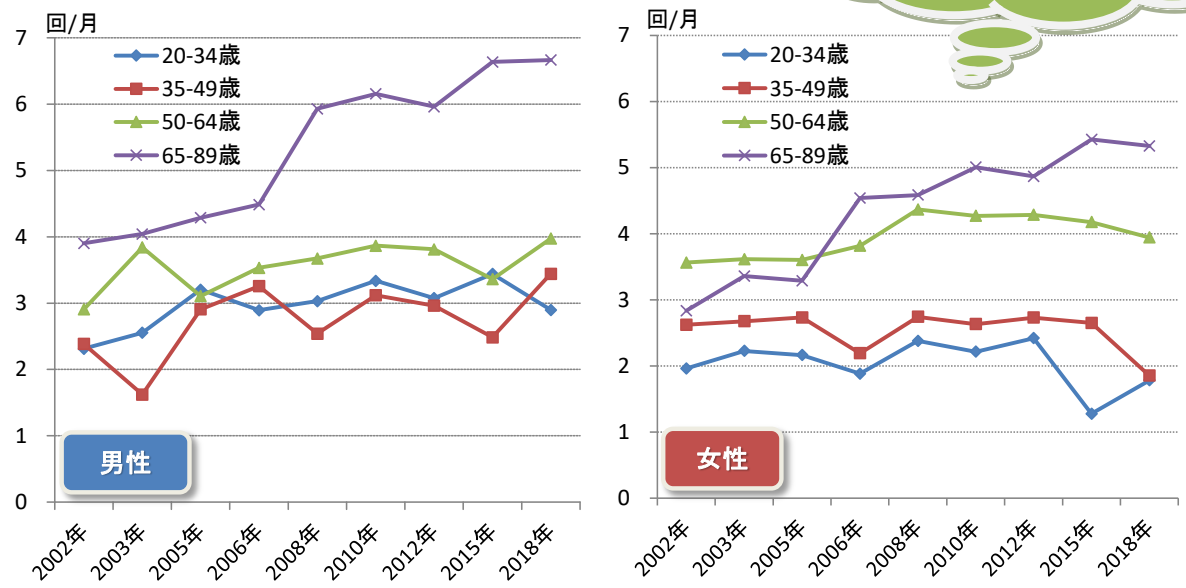


図1　性・年齢別の月あたり運動頻度

新聞や本を読む頻度は
どう変化しているの？

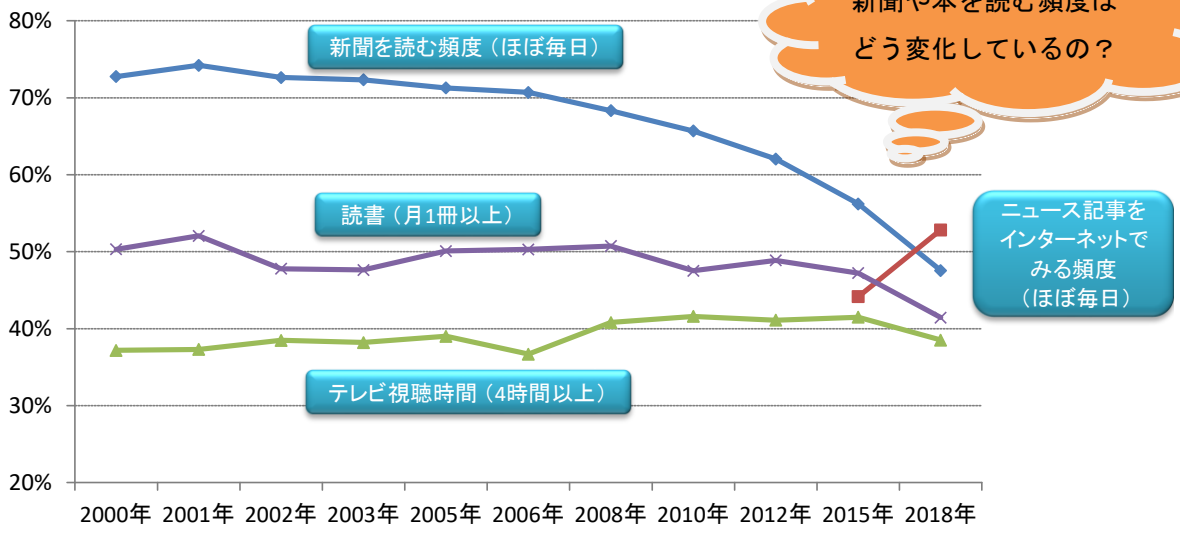


図2　新聞や読書の頻度とテレビの視聴時間

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

調査にご協力いただけない場合は、おうかがいした調査員にその旨をお伝え下さい。
または、中央調査社（TEL：0120-48-5351／office@crs.or.jp）までご一報いただければ幸いです。

JGSS-2021H 調査

第 1225 号

「第 13 回　生活と意識についての国際比較調査」

「健康と暮らしについての調査」

〔 調 査 要 領 〕

2021 年 1 月　（一社）中央調査社

１．調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
留置調査票 a（桃色）	
留置調査票 b（青色）	
回収状況記入票	地点ごとに１枚
郵送用依頼状（封書）	本社から 1 月 15 日(金)に一斉投函しているものの見本 （実際には 300 円分のクオカードが同封されている）
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
調査票返送用封筒（切手不要）	対象者が郵送返送を希望する場合に使用
クオカード 700 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証	実施中は必ず携帯し、首から下げておく
訪問確認カード	

２．調査対象　　満２０歳～８９歳（2020 年 12 月 31 日時点）の男女　６，６００名

３．調査期間　　１月２２日（金）～２月２２日（月）

４．この調査の特徴

この調査は、大阪商業大学 JGSS 研究センターが、文部科学省や科学研究費の研究助成を受けて 1999 年から継続してきた「生活と意識についての国際比較調査」(日本版総合的社会調査：略称 JGSS）の 13 回目で、健康をメインテーマに留置記入依頼法のみ※で実施する。研究協力者として京都大学 大学院 教育学研究科の岩井八郎教授が参加している（対象者への説明は依頼状・事前郵送封書見本内のパンフレットや本紙の５ページなどを参照)。

※通常の JGSS 調査は、個別面接聴取法と留置記入依頼法の併用で実施している。

５．訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

a）調査要領・調査票・回収状況記入票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票・回収状況記入票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。

- **留置調査票は、a 票（桃色）と b 票（青色）の 2 種類がある。a 票・b 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。**
- **対象者名簿に記載されている a 票と b 票の区別と、手書きで記入する A（男性）と B（女性）の区別を混同しないように注意する。**

b）対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 2020 年 12 月 31 日時点のものになっていることを本紙６ページの「年齢早見表」で確認しておく。

６．訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

***対象者から、事前に調査を「拒否したい」との連絡が入った場合には、訪問はしない。**

a）対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1 日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

＊集合住宅の部屋番号等がわからず訪問できない場合について＊

名簿に集合住宅の部屋番号等が記載されていないために、訪問できないことがまれにあるので、その場合は本社管理部もしくは支局調査担当者に連絡する。［ 対象者宛に「連絡して欲しい」旨の文書を送付するなどの方法を考えます（ただし、事前依頼状が「宛先不明」等で差し戻されない場合のみ)。］

b）訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。平日の訪問と土日祝日の訪問を織り交ぜ、不在が多い場合も、会うことができるように努力する(4ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「**その対象者を、3 日以上にわたって訪問する**」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない（**ただし、拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る**)。

「3 回以上」ではなく「3 日以上」であることに注意する（ただし、同じ日に 2 回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

c）多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、以下のような点に気をつける。

・事前に依頼状を送ったこと[1 月 15 日(金)本社投函]を告げる（持参用依頼状：お願いの文書と封書見本の両方を見せながら)。
・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
・対象者や家族とのやり取りは、インターフォン越しに話しかけるところから始まる。とくに、カメラ付きインターフォン越しに話しかける場合は、落ち着いた様子で対応すること。

・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、文部科学省と科学研究費の研究助成を受けている、一般社団法人が実務を担っている、謝礼品がある、全国調査である、過去に十数回行なわれている研究プロジェクトの一環である、他の人では回答できない、対象者は無作為に選ばれている、プライバシーの保護、調査にかかる時間、すべて答えなくてもよい、等々（依頼状・事前郵送封書見本内のパンフレットや本紙の５ページなどを参照）

d）謝礼品について

持参したクオカードは、調査票を回収してから渡す。

e）プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

f）間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児や小学生など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

7．留置調査の実施

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

a）対象者本人の回答を依頼

必ず対象者本人が回答するように依頼する。調査票を手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。対象者の目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

b）回収の日時の約束

調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す。

c）回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行なう。

・「○○様、ご本人のお答えですね」
・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」
「かまわない」→確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。
「見られたくない」→回答者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。

d）回収日のメモ

後述する回収状況記入票の作成のため、調査票の実際の回収日が回収予定日と違った場合は必ずメモしておく。

e）対象者が郵送返送を希望の場合

対象者が郵送での返送を希望する場合は、クラフトの返送用封筒右下に必ず支局-地点-対象番号を転記したうえで封筒を渡す。その際には「対象者本人が回答するよう」念押しする。（原則として、謝礼は中調本社への調査票返送が確認でき次第、調査員が改めてお届けにうかがう）

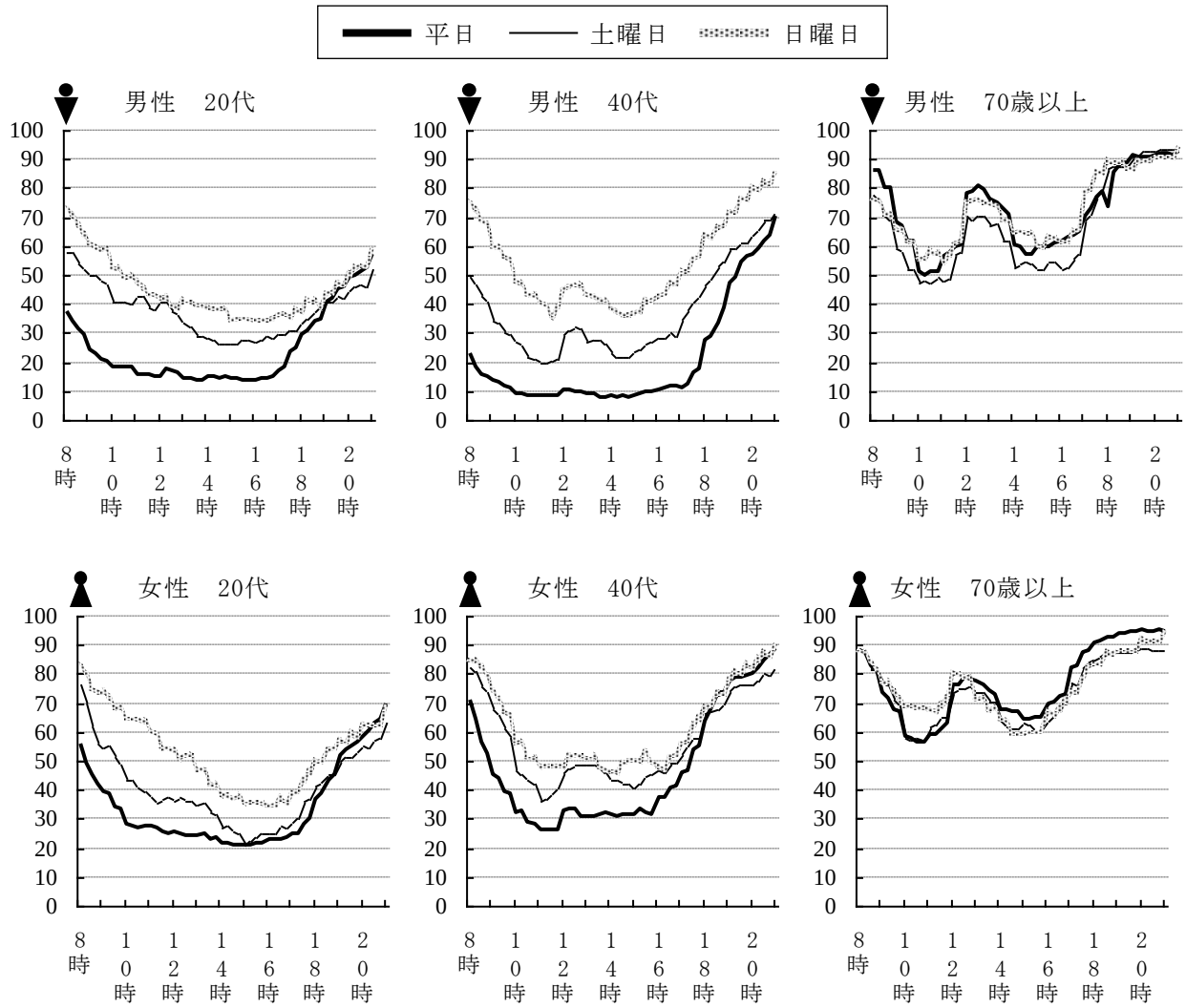
8．回収状況記入票の作成など

調査結果の提出前に、対象者名簿や回収状況記入票を、以下の要領で整理・作成する。

・調査票を回収できた対象者については、対象者名簿の「対象番号（no)」の上から○印を付け、調査不能（欠票）となった対象者については、「対象番号（no)」の上から×印を付ける。
・回収状況記入票は、「完了／調査不能（欠票)」に関わらず、担当地点の全対象者について必要事項を記入して提出する。二つ折りになっているので、紙を広げて縦向きにして記入する。
・提出までに郵送返送の対象者からの返送連絡が中調からない場合は、回収日の空白部分に“郵送返送依頼中”と記入する。

◇◇◇ 在宅率の情報 ◇◇◇

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



◇◇◇ 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例 ◇◇◇

Q. この調査の目的は？

この調査は、日本人の健康や暮らしに対する考え方・行動についてアンケートの形で調査して、それらが年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

Q. 依頼状に書いてある「文部科学大臣認定　日本版総合的社会調査」とは？

大阪商業大学 JGSS 研究センターが、文部科学省などからの助成を受けて 1999 年から継続してきた調査で、日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。今回の調査では、研究協力者として京都大学 大学院 教育学研究科の岩井八郎教授が参加しています。

Q. どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 440 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名程度を選ばせていただきました（合計で 6,600 人の回答者になります)。対象者は、全国の自治体の住民基本台帳から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民基本台帳を閲覧しています。

Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から 440 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 6,600 人を無作為に選びました。

Q. どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、30 分程度です。

Q. プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですので、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）と記入してください。

Q. 調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果を発表し、論文や出版物として公表したり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なったりします。各新聞社にも分析結果を公表します。
（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。
JGSS 研究センター …… https://jgss.daishodai.ac.jp/

◇◇◇ 年齢早見表（2020 年版）◇◇◇

対象者本人の年齢は、2020 年 12 月 31 日現在のものとする。

年号	西暦	干支	年齢
大正 9	1920	申　さる	100
10	1921	酉　とり	99
11	1922	戌　いぬ	98
12	1923	亥　いのしし	97
13	1924	子　ねずみ	96
14	1925	丑　うし	95
15/昭和元年	1926	寅　とら	94
昭和 2	1927	卯　うさぎ	93
3	1928	辰　たつ	92
4	1929	巳　へび	91
5	1930	午　うま	90
6	1931	未　ひつじ	89
7	1932	申　さる	88
8	1933	酉　とり	87
9	1934	戌　いぬ	86
10	1935	亥　いのしし	85
11	1936	子　ねずみ	84
12	1937	丑　うし	83
13	1938	寅　とら	82
14	1939	卯　うさぎ	81
15	1940	辰　たつ	80
16	1941	巳　へび	79
17	1942	午　うま	78
18	1943	未　ひつじ	77
19	1944	申　さる	76
20	1945	酉　とり	75
21	1946	戌　いぬ	74
22	1947	亥　いのしし	73
23	1948	子　ねずみ	72
24	1949	丑　うし	71
25	1950	寅　とら	70
26	1951	卯　うさぎ	69
27	1952	辰　たつ	68
28	1953	巳　へび	67
29	1954	午　うま	66
30	1955	未　ひつじ	65
31	1956	申　さる	64
32	1957	酉　とり	63
33	1958	戌　いぬ	62
34	1959	亥　いのしし	61
35	1960	子　ねずみ	60
36	1961	丑　うし	59
37	1962	寅　とら	58
38	1963	卯　うさぎ	57
39	1964	辰　たつ	56
40	1965	巳　へび	55
41	1966	午　うま	54
42	1967	未　ひつじ	53
43	1968	申　さる	52
44	1969	酉　とり	51
45	1970	戌　いぬ	50

年号	西暦	干支	年齢
昭和 46	1971	亥　いのしし	49
47	1972	子　ねずみ	48
48	1973	丑　うし	47
49	1974	寅　とら	46
50	1975	卯　うさぎ	45
51	1976	辰　たつ	44
52	1977	巳　へび	43
53	1978	午　うま	42
54	1979	未　ひつじ	41
55	1980	申　さる	40
56	1981	酉　とり	39
57	1982	戌　いぬ	38
58	1983	亥　いのしし	37
59	1984	子　ねずみ	36
60	1985	丑　うし	35
61	1986	寅　とら	34
62	1987	卯　うさぎ	33
63	1988	辰　たつ	32
64/平成元年	1989	巳　へび	31
平成 2	1990	午　うま	30
3	1991	未　ひつじ	29
4	1992	申　さる	28
5	1993	酉　とり	27
6	1994	戌　いぬ	26
7	1995	亥　いのしし	25
8	1996	子　ねずみ	24
9	1997	丑　うし	23
10	1998	寅　とら	22
11	1999	卯　うさぎ	21
12	2000	辰　たつ	20
13	2001	巳　へび	19
14	2002	午　うま	18
15	2003	未　ひつじ	17
16	2004	申　さる	16
17	2005	酉　とり	15
18	2006	戌　いぬ	14
19	2007	亥　いのしし	13
20	2008	子　ねずみ	12
21	2009	丑　うし	11
22	2010	寅　とら	10
23	2011	卯　うさぎ	9
24	2012	辰　たつ	8
25	2013	巳　へび	7
26	2014	午　うま	6
27	2015	未　ひつじ	5
28	2016	申　さる	4
29	2017	酉　とり	3
30	2018	戌　いぬ	2
31/令和元年	2019	亥　いのしし	1
令和 2	2020	子　ねずみ	0

≪お願い≫

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行われた方は、
その掲載誌などを下記の JGSS 研究センター宛に１部お送り下さい。
本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで掲示いたします。

大阪商業大学 JGSS 研究センター

〒577-8505　大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10
Tel：06-6785-6013　Fax：06-6785-6011
E-mail:jgss@daishodai.ac.jp
https://jgss.daishodai.ac.jp

2023 年 3 月 31 日発行（非売品）

文 部 科 学 省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援
（JPMXP0620335833）」
日本学術振興会「科学研究費補助金・基盤研究 A（JP20H00089）」
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
（JPJS00218077184）」

日本版 General Social Surveys
基礎集計表・コードブック
JGSS-2021H

編 集・発 行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

印 刷

キンコーズ・ジャパン(株)